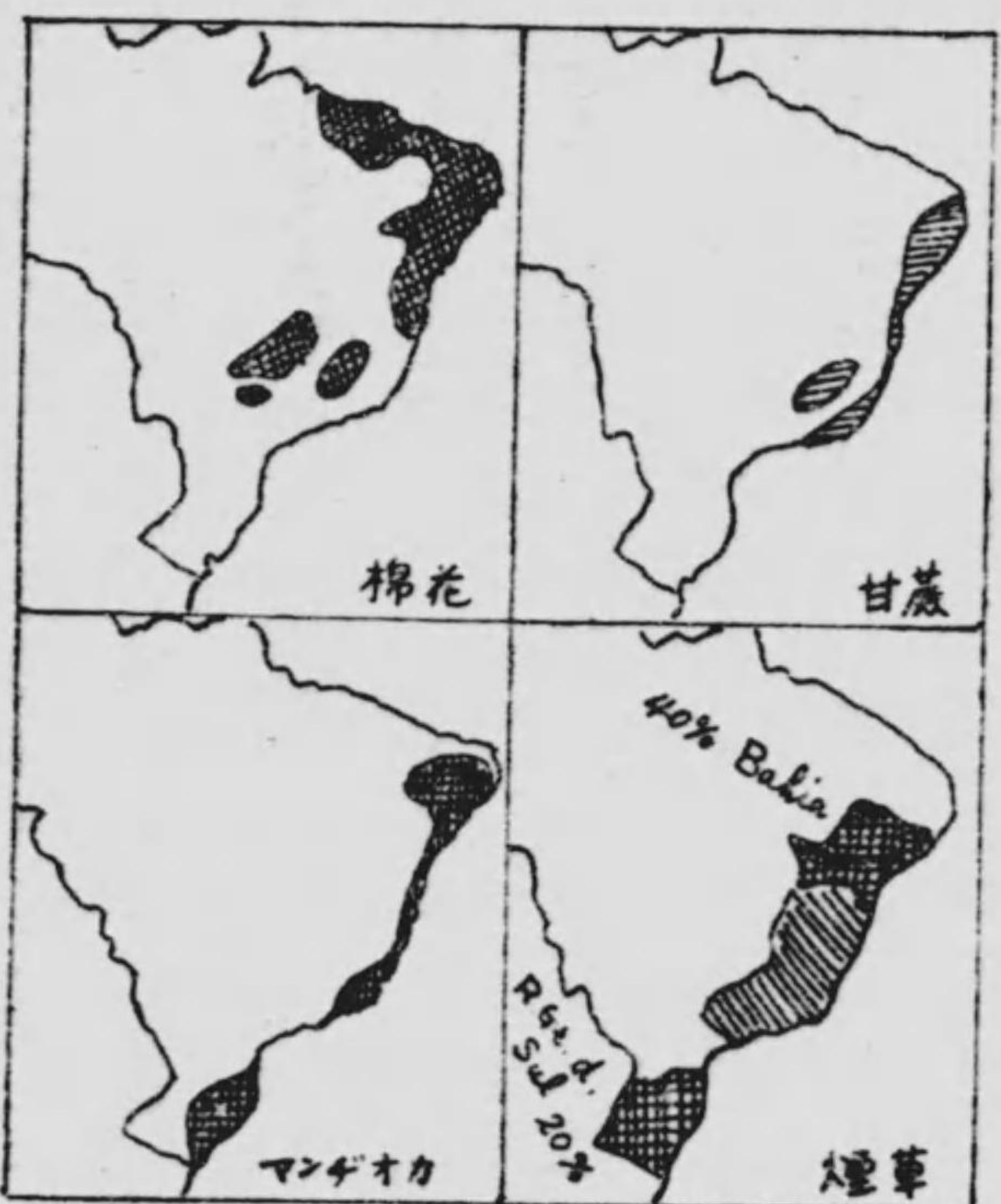


Cotton) 埃及産のモッコ種 (Mako Cotton) 等を栽培して一二萬噸を生産してゐるが、その大部分は國內の消費であつて僅かに一萬噸の輸出があるに過ぎない。モッコ種は多年生の植物でその收穫も多く、長纖維であつてブラジルの氣候に適するから有望視されてゐる。



第74圖 各種農産の生産地帯

mの高地に跨つた都市で、烟草・甘蔗・皮革・棉花等の輸出がある。

【マンディオカ】(Mandioca)

バイヤ州を主とした海岸地方に産し、古くから土着のインデアンによつて栽培されたもので、栽培法の簡単なこと、地味を論じないこと、は各地に生産地を有する理由である。マンディオカは一種の塊根植物で澱粉を採つて食物に混じたり、菓子を製して食用に供するもので、その産額は九

〇萬噸、その價額は一億二〇〇〇萬圓に達してゐる。

甘蔗

ブラジルの農産中重要なもので、多大の雨量を必要とするから南東海岸のペルナンブコ・バイヤ・ミナスジェライス・サンパウロの諸州が中心をなしてゐる。この國の地味・氣候は甘蔗栽培の好適地であつて、施肥の必要なく、灌溉・排水を要しないから非常な發達をなしたのであるが、奴隸開放後勞力の不足を來して衰微した。近年の産額は八〇萬噸内外であるが將來有望である。

(5) コーヒー地帯 (Coffee Belt)

珈琲は濕潤温熱な亞熱帯氣候に適する植物で、熱帯では山地の高所に栽培せられ、排水のよい傾斜地を好適とするから、ブラジル南部の波浪狀高原はコーヒー栽培地の中心となつたのである。然し氣候條件としては成長期の降雨(一五〇〇—四〇〇〇耗)と成熟期の乾燥を要とし、特に氣候的變化の影響を受けることが大であつて豊凶が生じ易く、その産額の變化が多いのである。又、コーヒー栽培に對する安價な勞働力を多大に要とし、消費國に對する良好な位置を大切な條件としてゐる。

ブラジルの栽培地帯は南熱帯の外縁部、南緯一八—二五度間が栽培の中心であり、その面積四〇〇萬エーカーあつて、栽培地の高度は二〇〇—七〇〇mの所を占めてゐる。コーヒーはブラジル第一の富源であつて、輸出額の七五%を占め一九三二年の總收穫高は二六〇〇萬袋(一袋六〇庇)で、一九二八年の二八〇〇萬袋に比較すると減少を來してゐる。ブラジルの珈琲産出は全世界産出の七〇%を占め、最近十ヶ年の平均輸出額は一三〇〇萬袋であり、輸出先は米國が第一位で五七%に相當し、其他佛・獨(各一〇%)伊等

のヨーロッパ諸國への輸出が多い。

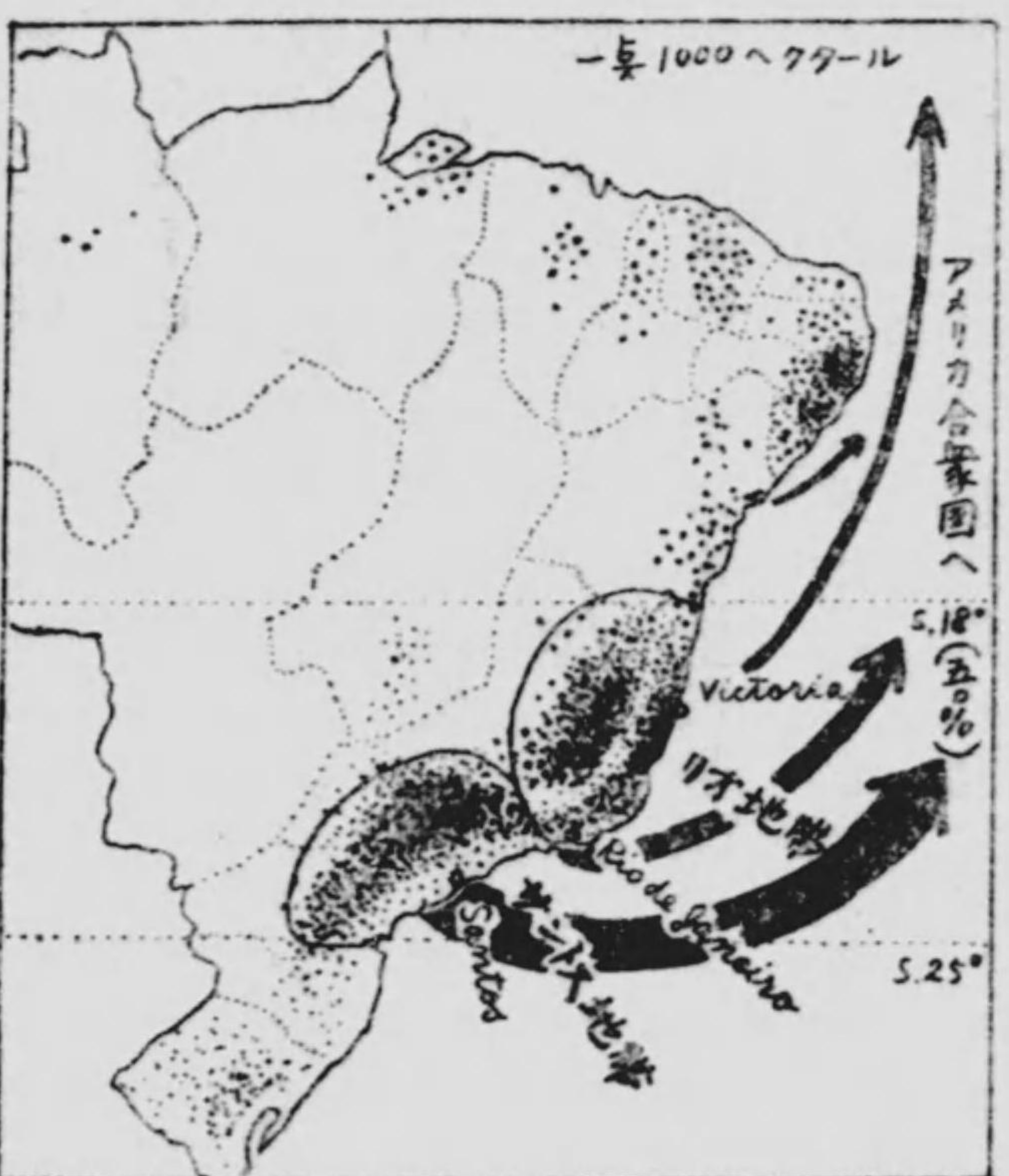
かくブラジルは珈琲の好適地であり世界産出の大部を占めて居るのであるが、その單種栽培 (Monoculture) は非常な危険であつて、珈琲栽培の發達による年々の生産過剰は價額の暴落を來し住民の生活は極度の不安に導かれた。かくして價額調節の必要を生じ貯藏倉庫を設

置し、又は輸出の制限を行つたのであるが、一九三〇年の世界的不況に伴つて珈琲の大暴落を來し、之に起因して革命が起つた程である。一九三二年には珈琲の新栽培を向後三ヶ年の禁止をするに至らしめた。

珈琲の生産地は、(A)リオ地帯(B)サントス地帯——の二區に分つことが出来る。

(A)リオ地帯 コーヒー地帯の北部で、エスピリトサント・リオデジヤネイロ・ミナスジェライス諸州の地域を占め、リオデジヤネイロ・ヴィクトリア (Victoria I) 等は珈琲の主要輸出港である。

リオデジヤネイロ (Rio de Janeiro 158) はシドニー及びナポリと共に世界三大美港と稱せられ、リオデジヤネイロ灣に面した貿易港で政治都市である。一五三二年一月一日ポルトガル人スザ (Sousa) によつて



第75圖 コーヒーの生産地帯

コーヒー産出(一九三一)	
南米	一七九・〇萬噸 八一%
内	ブラジル 一五〇・〇……………六八%
	コロンビヤ 一九・二……………九%
北米及中米	二一・〇……………一〇%
亞細亞	一一・九……………五%
アフリカ	七・八……………四%
世界總計	二二〇・〇……………一〇〇%

發見せられたもので、大河の河口であると信じたから一月 (Janeiro) の (de) 河 (Rio) (=Rio de Janeiro) と命名した。珈琲栽培地の發達によつてリオ市は經濟の大中心となり、政治の中心がバイヤより移されてその繁榮を見るに至つた。北方約五〇軒の地にあるペトロポリス (Petropolis 3) はリオ市の避暑地である。

(B)サントス地帯 サンパウロ州を中心とした珈琲地帯で海岸山脈と内部のグランデ河 (Rio Grande) 及びティエテ (Tiete) 河流域地方である。波浪狀の丘陵地で基盤は玄武岩・輝綠玄武岩から成り、その分解した赤色の Terra rossa は珈琲栽培に適する沃土をなすのである。こゝでは七〇〇—九〇〇mの高地が栽培地帯で、ブラジルのコーヒー樹二〇億本中一二億本はサンパウロ州 (生産高はブラジルの六〇%) に植付けられてゐる。珈琲以外に多量の米・馬鈴薯・玉蜀黍・麥類等の産がある。

サンパウロ (S. Paulo 100) 十八世紀の中葉には一の寒村であつたが、珈琲栽培の世界的中心となるに及んで人口は次第に増加し、一八九〇年には約六萬五千人の人口を有したが、一九二〇年には五八萬、一九二八年の調査によれば八八萬の人口がある。サンパウロ州政治の中心地で交通の要地を占め、商業が繁盛である。サントス (Santos 9) はこの珈琲地帯の外港で、珈琲輸出の盛んなこと世界第一である。北方にあるバ

ウルル (Bahuru) リンエイロンプレト (Ribeiron Preto) は珈琲生産地の中心であつて、我移民の發展地の中心をなしてゐる。

【註】日本移民 ブラジルの日本移民は一九〇八年初めて七八〇人の移住民を送り、一九二九年には一萬六〇〇〇餘人となり、最近は著しい増加をなして一九三一年にはその總數一二萬を算するに至つた。移民の九〇%以上はサンパウロ州に居住し、農業者は全體の九〇%餘に相當し、殆んど全部珈琲の栽培に従事してゐるが、その他米・煙草・甘蔗等の耕作に従ふ者も多くなつた。

移民はその大部が勞働移民であることは勿論で、其の初めは他人の珈琲園で勞働するが、こゝで長年の經驗を経て資本を蓄へると多くは地主から借地して自分で經營するに至る。又土地を所有して獨立する様になるので、各地に地主の邦人がある様になつた。その發展は已に基礎が鞏固であると言ふべきである。然し最近に至つて、昭和九年七月新たに移民が制限せらるゝに至り、當該國移民が過去五〇年間にブラジルに定着した總數の二%となつたので、邦人に取つては殊に打撃であつて、入國數は一ヶ年二七五五名に限られる様になつた。近年は單に南部地方のみの移民ではなく、アマゾン河流域地方・北東海岸地方に定着する邦人の移民も増加するに至つた。

【教授】地質・氣候・植物等の説明をするには常に地域的區分に着眼せしめたい。南東海岸地帯の産業とコーヒー區域の文化地帯を特に注意せしめ、我が移民の發展地として將來に對する考察の基礎を充分授けたい。我が移民についてはその生活の状態を授け、彼我の關係に對する現状をよく説明せねばならない。

第五章 南部地誌

第一節 パラグアイ (Paraguay) (面積四五萬方料 人口八九萬)

【グランチャコ】(Gran Chaco) チャコは土語の狩獵地の意であり、イスパニヤ語の大の意であるグランを冠してグランチャコと呼ばれる。その範圍はボリヰイヤ・パラグアイ・アルゼンチン三國に跨る低地で五〇萬方料の面積を有し、パラグアイ國ではピルコマヨ河 (Rio Pilcomaya) パラグアイ河 (Rio Paraguay) 兩河間の地域を占め、ボリヰイヤ・パラグアイ兩國間多年の係争地である。チャコの原野は全くの草地ではなく、氣候が熱帶性で夏季の降雨が大であるから(年雨量一〇〇〇耗)熱帶森林が繁茂し、沼澤地・森林・灌木の林・草原から成る地域である。土地の傾斜は極めて緩かた河川は雨期には氾濫し、濕地・沼澤地等の連續することはチャコの一大特色であるが、乾期には河水は多く涸れて井水以外には水は殆んどない。この熱帶森林中には有用材ケブラチヨ (Quebracho) があつて、鐵道枕木及びタンニンの原料として輸出せられてゐる。

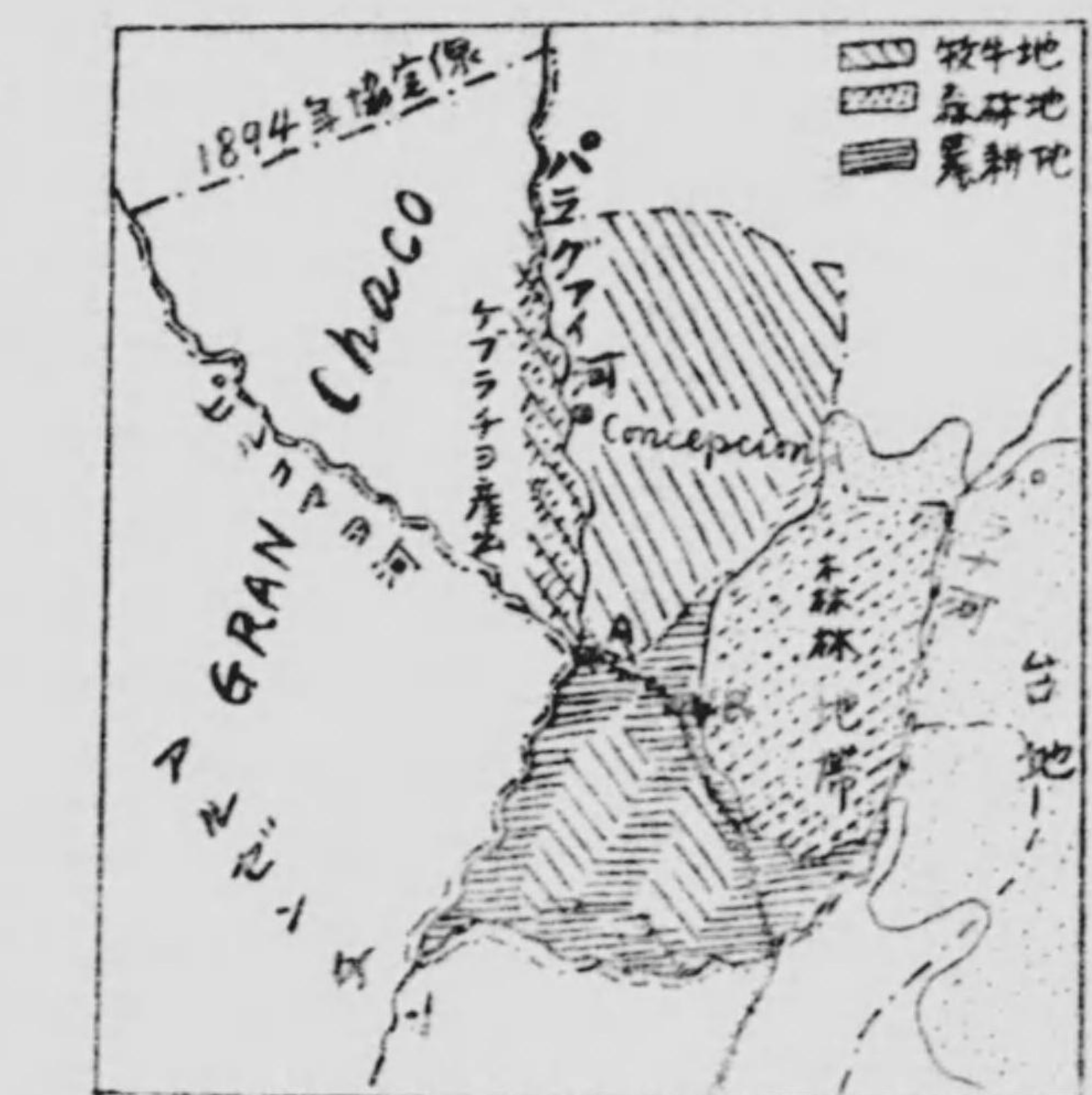
パラグアイ・ボリヰイヤ間の國境問題は實にこのチャコの地域にあるもので、パラグアイ・ピルコマヨの河間の地を占めてゐる。南米諸國の國境はイスパニヤ植民地時代の各州がその基礎をなしたもので、踏査を経て決定せられたものでなく、古い記録によつてその解決するのが常であつた。

現在の兩國間の境界線は一八九四年の條約によるものであるが、一方ボリヰイヤ議會には上程さるゝに至らず一の懸案であつた。一九二八——一九二九年の兩國の衝突はチャコの政治的・經濟的關係を如實に物語つてゐる。太平洋海岸の領域を失つたボリヰイヤは全くの内陸國で、ピルコマヨ河は水深が淺きに失する爲

にパラグアイ河の水運を要望することが切である。一方河間の地はケブラチヨ・マテ茶(Mate)等の生産があり、石油の産出が想定せられるに至つて経済的價値を増し、その領有は二國間に至大の關係を持つ様になつたものである。

【産業區】

パラグアイ河を中心として政治的に二分せられ、Orientalはチャコをなしケブラチヨを特産とする。Orientalがパラグアイ國の主要部であつて、北・東・南の三地域を區分することが出来る。その北部は牧牛地帯で全國土の二六%に相當する地域が牧場をなし、獸皮の産出が多い。コンセプション(Concepcion)はこの地方の中心地でパラグアイ河に面してゐる。



第76圖 パラグアイの産業地圖

茶採取の中心で最近マテ茶の栽培が行はるゝに至つた。一九三一年にはマテ茶の輸出は六八〇〇噸(一噸——一〇〇〇庇)を超過してゐる。

南部はパラグアイ・パラナ(Rio Parana)兩河間の低地で、煙草・玉蜀黍・甘蔗・柑橘等の農耕地帯をな

してゐる。首府アスンシオン(Asuncion 14)は河港であつてブエノスアイレスより一五〇〇千の上流にあり、マテ茶・煙草・獸皮・棉花等の輸出がある。パラグアイ鐵道(Paraguay Railway)は同市より南方に通じ、遂にブエノスアイレスに結ばれてゐる。この國の貿易は殆んどアルゼンチンとの間に行はれ、年々輸出超過である。

第二節 ウルグアイ(Uruguay) (面積一八萬方呎 人口二〇〇萬)

【牧畜國】

ウルグアイは南米中の最小共和國で、一八萬方呎の面積を有し、北部山地(二〇〇——五〇〇m)の森林地帯を除けば其の他は牧場であつて、國土の六〇%(一一〇〇萬ヘクタール)が純牧場、二〇%(四〇〇萬ヘクタール)は農牧の混合地、僅かに七%が農耕地で他の一三%が未開拓の山地區をなしてゐる。この土地は氣候が牧畜に適し、全土綠草のよく生ずる(Pastureland)で牧羊を第一としてゐる。

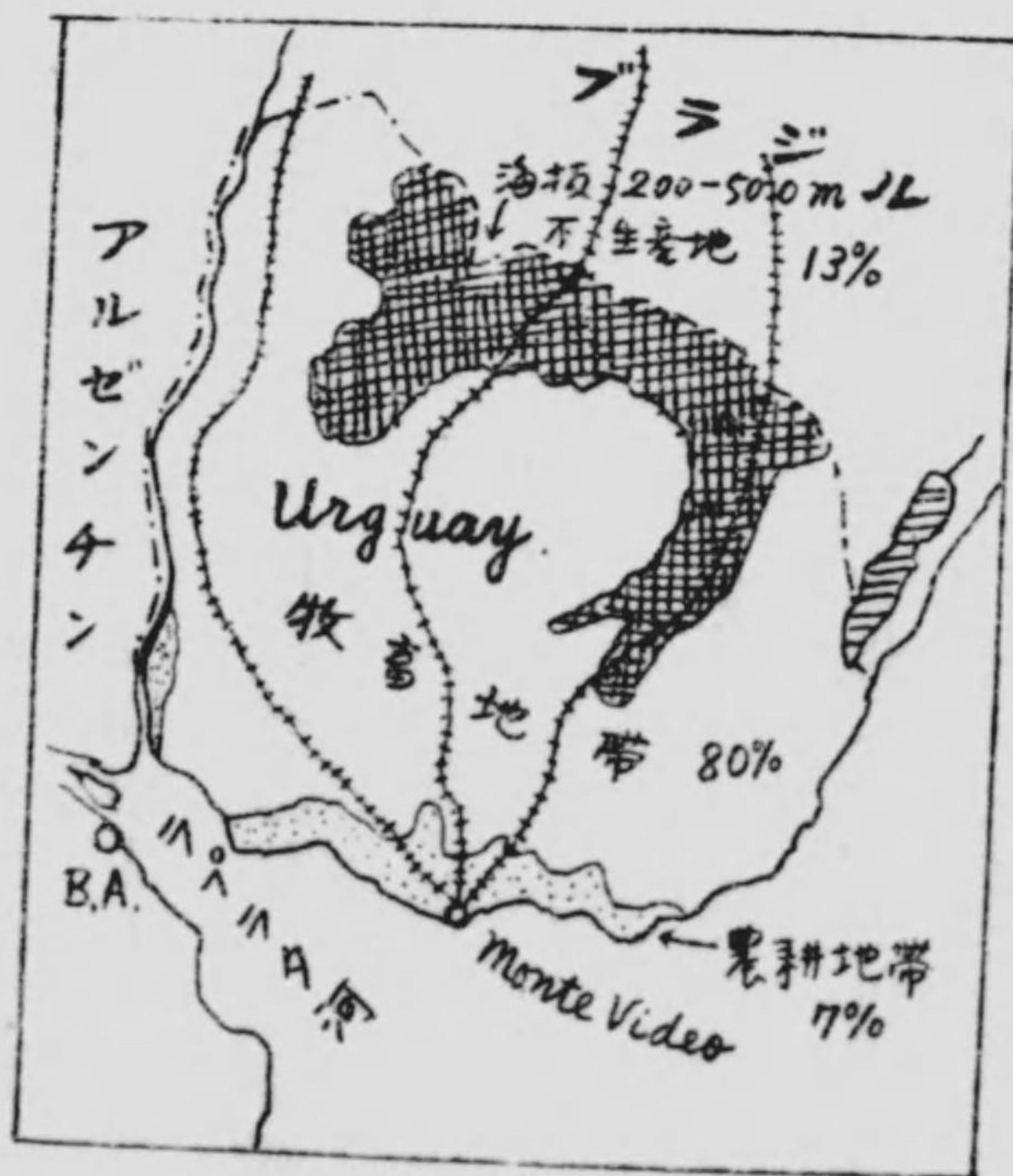
羊の頭数は二〇五五萬頭に達し人口數の一〇倍餘に當り、牛は七二〇萬頭あつて人口の四倍に近い。かく牧畜地を構成する理由は、氣候が溫和で雨量が適度であり、牧草として好適であるアルファルファ(Alfalfa)の生長がよく、地價が甚だ安いところであるからで、労働力の不足である地方に盛大であることがその特徴である。羊毛は保存も簡單で、迅速な運搬を必要としないから、交通の不便な時代には南米其の他の各地に牧羊が先づ發達した。それが肉類を歐米殊にヨーロッパに凍肉として輸送するに至つて漸次肉類を目的とな

ウルグアイの牧畜	
万頭	人口の倍数
牛	七二二
羊	二〇五五
豚	二五
	一〇・八
	〇・十
	(一九三〇)

す様になり、ウルグアイの牧畜も肉類・肉エキス等の産出を増したのである。羊は牛よりも一層雨量の少ない且つ貧しい牧場にも養ふことが出来るから、羊は移動せられ牧牛地に變化を見た。ウルグアイは牧畜の最も盛大に到達した時代の國であつて、已に南方海岸には年々農業地が増加してゐる。

ウルグアイ共和国の首府である。山(モンテ)我見る(ヴィデオ)の意で發見時代に大洋を横斷してこの地の丘陵を見出した時に、かく叫んだことから地名となつたのである。現在は築港されて良港となり、この國唯一の貿易港で羊毛・冷凍肉及肉罐詰・皮革等の畜産物の輸出が甚だ多い。

ウルグアイ國はスペインの植民地であつたところで、一時はブラジル帝國の一州となつたことがあり、一八二五年獨立を宣言するに至つた。英國の斡旋によつて一八二八年調印せられたモンテヴィデオ條約によつて獨立は確認せられた。この國の獨立はブラジル・アルゼンチン二國間にあることから全うし得たもので、一の緩衝國を



第77圖 ウルグアイ國の土地分類

なしてゐる。我が國とは一九三四年最惠國條款 Most-favoured-nation clause (有効期間二ケ年)の通商條約が結ばれた。

第三節 アルゼンチン (Argentine Republic) (面積二八〇萬方呎 人口一一八〇萬)

【經濟區】 アルゼンチンの平原は極めて廣大であつて、その中央部はパンパス (Pampas) 北部はグランチャコ (Gran Chaco) と稱せられてゐる。文化の發達が著るしくない南米の各地では、自然的景觀が地理的區分の基礎となるのは勿論であつて、アルゼンチンの地理區分に際してもかゝる方法をなさねばならぬ。

- 經濟區
- (1) パンパス (Pampas) …… 農耕地・牧畜地
 - (2) グランチャコ (Gran Chaco) …… 森林・棉花耕地
 - (3) モンテ地方 (Monte) …… 乾燥地北部
 - (4) パタゴニヤ (Patagonia) …… 乾燥地南部
 - (5) アンデス區 (Andes Region) …… 森林・牧地

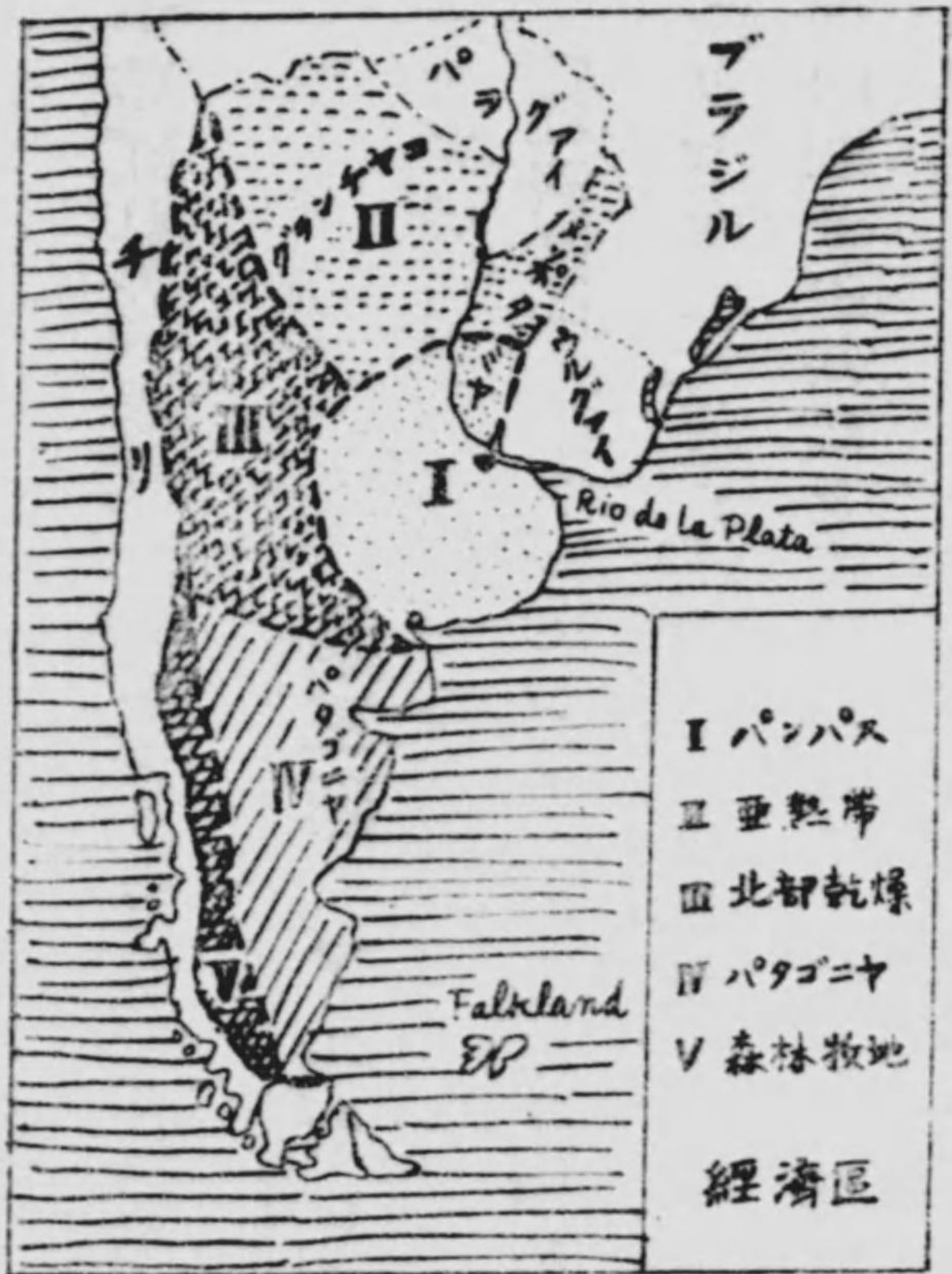
右の五區は何れも經濟的に一區を構成するもので、自然區が經濟區に一致してゐる。パンパスは厚いパンパ層の堆積層から成つてゐて、その表層をなすものが黒土である。この地域は經濟的に農牧の地帯をなし

て、南米中で最も重要な所である。第二のグランチャコはアルゼンチンの二九度以北を占め、有用材・牧畜等の地域として開拓されて来たが、最近では棉花耕作が發達して来た。アンデス山麓地方はモンテ地方と呼ばれ、イスパニヤ語の森を意味し乾燥地帯の北部であるが、南部の地方はバタゴニヤ臺地をなし牧羊地帯をなしてゐる。

【一】パンパス(Pampas)

【地形・氣候】

Rio de la Plata 西岸地方に續く低平な土地を土語によつてパンパス(平原の意)と稱し、



第78圖 アルゼンチンの經濟區

樹木の乏しい草原から成つてゐる。この平原を形成してゐるパンパス層は河成堆積物・河成及び湖成の黄土・火山灰のある風成黄土層等から成つてゐて、礫のないことは著しい特色である。乾天が續くと土砂の飛散が多いが、降雨に際しては泥濘となる。この黄土層はその上部が植土となり、平均に於いて三〇厘の厚さに黒色を呈する表層があり、嘗ては總べてが草原をなしてゐたのである。この地帯が世界に於いて主要なる大農牧地帯となり、世界の穀物倉をなすに至つたの

である。

パンパスの限界は地質學的には廣大なものであるが、その地理的限界は必ずしも地質的限界と一致してゐない。パンパスの植物景觀はその大部が草原であつて、樹木の乏しい平坦地をなしてゐるが、その四周には樹木地帯があつてパンパスの限界となつてゐる。その範圍はブエノスアイレスを中心とした半徑六〇〇軒の圓弧によつて示されてゐる。パンパス草原の景觀は、自然的原因によるものが最も大であつて、厚層の存在と氣候的原因によつて樹木の乏しい地域となつたことは、地質學者・植物學者によつて認められてゐる。

快き空氣

Buenos Aires

の稱がある程氣候のよい所で健康に適し、ブエノスアイレスの年平均氣温は一

六・三度で、最暖の一月に二三度を示し、最冷の七月には一〇度を示してゐる。雨量は夏季に多く年雨量は八五〇耗である。地表の部分は黄土層であつて、且つ地形が平坦であるから、降雨に際しては表水として流下する量は少なく、地下水は地下二mの下に存してゐて、農業に至大の關係を有してゐる。即ち降雨量の異なる年には穀物の産出は豊かであつて、雨量の小なる年には地下水は一層低下して凶作となるのである。

【牧畜業の發達】

自然の草地を利用して牧畜は早くから發達し、アルゼンチンは世界第一の肉輸出國となつてゐる。溫和な氣候であつて無雪であることは牧畜に適し、牧草として最もよいアルファルファ(Alfalfa)を栽培してこゝに世界主要の牧場が發生したのである。一九三〇年の調査によれば牛の頭数は三二二〇萬頭(人口の二・八倍)羊は四四四〇萬頭(人口の三・八倍)豚は三七七萬頭あつて、その分布はパンパスが中

心地をなしてゐる。パンバスよりウルグアイに至る地域は一の牧畜地帯であつて、連続した Grassland が牧牛・牧羊の地帯となつたのである。

牛の頭数は一八九五年に二二〇〇萬頭あつて、一九一四年には二五八〇萬頭に増加し、一九二二年には三七〇〇萬頭に激増した。之は罐詰及び冷蔵法の發明によつて肉類の輸出が盛んになつた結果で、皮革及び



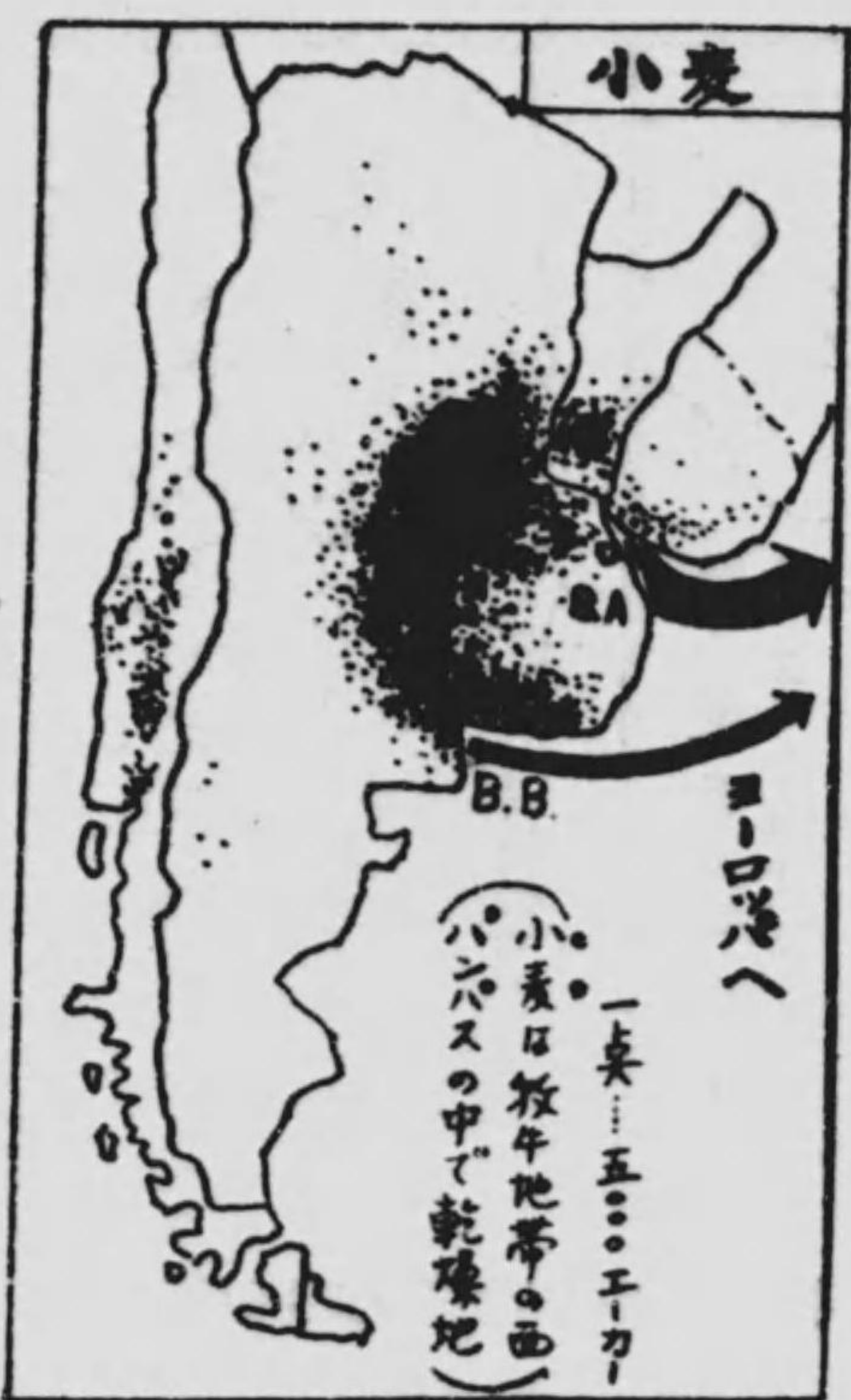
第79圖 アルゼンチンの牛・羊・豚の中心地帯

萬頭以上を送つてゐる。

羊はもと羊毛を目的として放牧せられたのであるが、次第に羊毛より肉類に主要目的がある様になつて、羊の種類に於いても食肉種の頭数を増したのである。羊は一八九五年に七五〇〇萬頭、一九一四年には四三二〇萬頭に減少し、パンバスが現在も主要中心地をなしてゐるが、その牧羊地は擴大を見た。羊は牛の

乾肉としたタサジョ (Tasajo) 以外には輸出を見なかつたものが、凍肉・罐詰肉の輸出が行はれる様になつて價値を増したのである。然し近年は其の頭数の増加は少なく、一九三〇年には三二二〇萬頭であつて寧ろ頭数の減少を來したのである。すでにアルゼンチンの牧畜は頂點に達したもので、農業は之に代つて著るしい發達をなすに至つた。牛の屠殺数は年々二〇〇萬頭以上に達し、冷凍肉として四〇

如く著しい氣候には不適であるが、降雨量はパンバスよりも一層少ない地方にも可能である。現在は四四〇〇萬頭の羊群を有して、濠・露・米・南阿に次いで世界第五である。一九三一年の屠殺数は羊五四〇萬頭、牛二三〇萬頭、豚四〇萬頭で、羊凍肉は八萬頭の出産をなした。豚の中心地はパンバスの中部以北にあつて、玉蜀黍の生産地帯に一致してゐることは著るしいことで、玉蜀黍を豚の飼料とすることによつてゐる。



第80圖 小麦の生産地帯と輸出

草地と化したのである。この農業の發達に對する自然的制約は、降雨量と灌漑事業の可能範圍とによつてゐる。前者は時に甚だしい旱魃によつて産額を激減することがあり、乾燥地では灌漑事業に依存してゐる。又、農作物の害蟲である蝗の大群は作物に甚だしい損害を與へるもので、時に列車を停車せしめることもあつて、政府は多大の經費を投じて之が驅除に當り、時に軍隊の出動をなすこともあるといふ。

【耕作草地】(Kulusteppe) アルゼンチンは南半球第一

の農業國で、黄土層上部の植土は肥沃であつて農耕に適する。農耕地は一億九〇〇〇萬エーカーに達し、小麦・燕麥・玉蜀黍・亞麻等の耕作地はパンバスの地域であつて、牧畜地帯であると同時に農耕地帯をなす。十九世紀の末葉以來、多數の農業移民が流入して牧畜草地は次第に開墾せられ、耕作

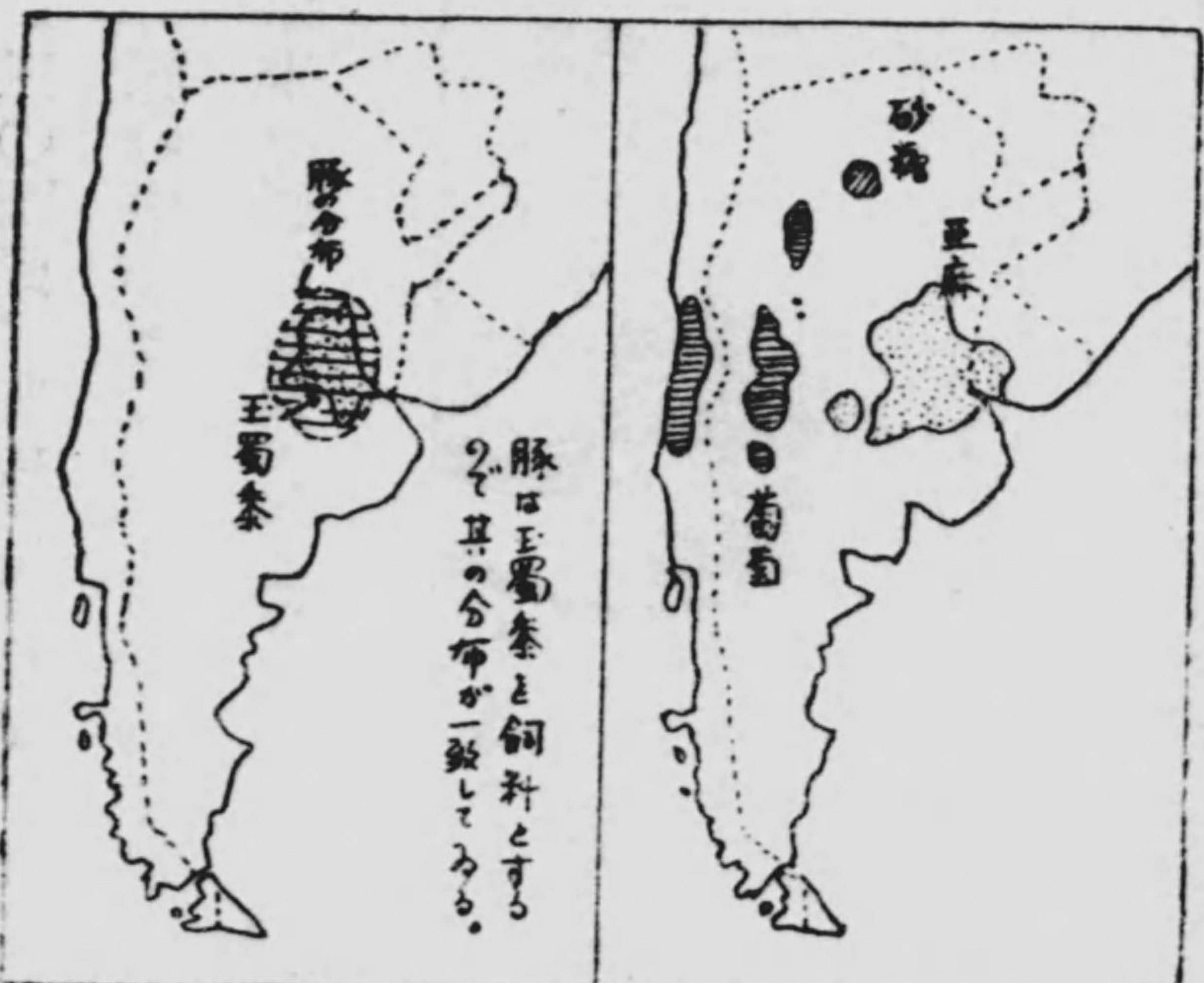
小麥の生産地帯はラプラタ河西岸からバイヤブランカに至る半圓形をなした地帯で、ブエノスアイレスを中心とした六〇〇万の圓弧をなしてゐる。十九世紀の終りには未だ自國の消費量を満すに過ぎなかつたものが、近年は頗にその産出を増し、一九三二年には六三〇〇萬キントルを出してゐる。小麥は輸出品の首位

を占め、ブエノスアイレス・バイヤブランカ(Bahia Blanca)ロサリオ(Rosario)等の諸港より輸出せられてゐる。

玉蜀黍の産出地はブエノスアイレスがその中心であつて、七二〇〇萬キントルに達し、全く食料に供することが目的でなく、輸出品として、また牛よりも豚の飼料として耕作せられる。アルゼンチンの玉蜀黍産出量は世界産出量の僅かに1/10以下であるが、國內消費が僅少である爲に輸出量は世界第一である。

亞麻の生産地帯は玉蜀黍と略々一致してゐて、亞麻仁を採取して之を輸出してゐる。纖維を利用することなく、亞麻仁からは採油をしないで原料として輸出することは、勞力の不足によることでは

あるが、工業は未だ發達してゐないことによつてゐる。亞麻仁は一三五〇萬キントルの輸出をなして、小麥・亞麻仁の輸出は全輸出額の六五%に相當してゐる。



第81圖 農産の分布(玉蜀黍・亞麻・葡萄)

主要輸出品 (一九三二)	
輸出額	三三〇〇萬弗
小麥亞麻仁	六五%
肉・生獸	一五%
羊 毛	六%
家畜副産物	五%
皮 革	四%
林産其他	五%

の去來することに比すべきであつて、イスパニヤ語の燕の意であるゴロンドリナ(Golondrinas)と稱せられてゐる。

【エントレ・リオス(Entre Rios)】は河間州の義であつて、ウルグアイ河と巴拉ナ河の中間地方の南部を占め、南米のメソポタミヤと稱せられる。地質は河流堆積物から成る地域で、小麥・亞麻の農産及び牛・羊の牧畜地をなして經濟的に全くパンパス區に屬してゐる。エントレリオスは溫和な南部地方の氣候區をなしてゐるが、北部は雨量多く植物がよく繁茂し、農牧地をなすと同時に林業地である。

【二】 北部アルゼンチン

【燕移民】(Golondrinas) アルゼンチンの農業は近來著しい發達をなしたので、多數の勞働力を必要としたのである。殊に小麥の收穫期には勞力の不足を來すことが多く、イタリヤ人の季節的移民の勞働者によつて收穫が行はれてゐる。その數は數萬に達し、小麥收穫期の一一——一月に入移民が多く、三——五月には出移民が多いのである。北半球の收穫時を働いて南半球のアルゼンチンに入國して、この地の收穫期を過し、賃金を得て歸國する季節的移動は燕

【グランチャコ】 北部アルゼンチンの大部はグランチャコで、Formosa, Chaco の二地方と Santiago del Estero の一州の地を占め、南緯二九度以北の大分野地帯である。地形は僅かの傾斜を有するのみであつて、殆んど平坦な草原地から成り、所々に森林があつてモンテ(Monte)と呼ばれてゐる。モンテはケブラチヨ・椰子等の樹林から成る森林地で、こゝにはマテ茶・コカ・規那等の有用植物がある。動物にはジャグール(Jaguar)ピューマ(Puma)アルマチロ(Armadillo)猿・狐・コンドル鳥(Condor)鸚鵡等の種類に富み、實に大狩獵地(Gran Chaco)の名に相應しい。

チャコの開發は比較的近年のことで、この地に産出する有用材(Quebracho)の需要によつて植民が行はれ開發が進んだのである。ケブラチヨには二種類あつて、白ケブラチヨはタンニン用としては不適であるから、強い火力がある爲に石炭の代用品として燃料に供せられてゐる。赤ケブラチヨはコロラド(Colorado)と稱し、緻密であつて腐蝕することが少ないから鐵道枕木・建築材として賞用される。またこの樹よりタンニンを抽出することが行はれる様になつて其の價值が増大し、グランチャコ地方産出量の3/4はアルゼンチン北部のものである。

サンチャゴ・デ・ロス・リオス州はグランチャコ最南の地方で比較的農耕が發達し、小麦・甘蔗の産出がありクローバー(clover)の多い地方には牧畜が行はれる。チャコ及びフォルモサの兩地方は森林の著るしく豊かな所で、植物景觀はセルツァスに類してゐる。この地の棉花栽培は二〇年以來のことに屬し、チエツコス

ロバック人の移民によつて近年次第に發達したもので、小資本によつても容易に栽培し得るといふ好條件がある。合衆國の棉花地帯に比較して土地肥沃であり、氣候も好適であるから、將來チャコに於ける最も有望な産業の一つである。

【メソポタミヤ】

ウルグアイ河・巴拉ナ河の河間地方で南米のメソポタミヤと稱せられ、南緯三〇度以

南はエントレリオス州の地域であつてパンバスの經濟景に屬するが、三〇度以北はグランチャコに類してゐる。夏の高溫和多雨を特色とするので森林が多く、ケブラチヨ・マテ茶を産出する。コリエンテス(Corrientes)は河川・鐵道交通の要地で、獸皮・バラグアイ茶・棉花・木材等の取引が行はれる。

【ラプラタ國際河川】

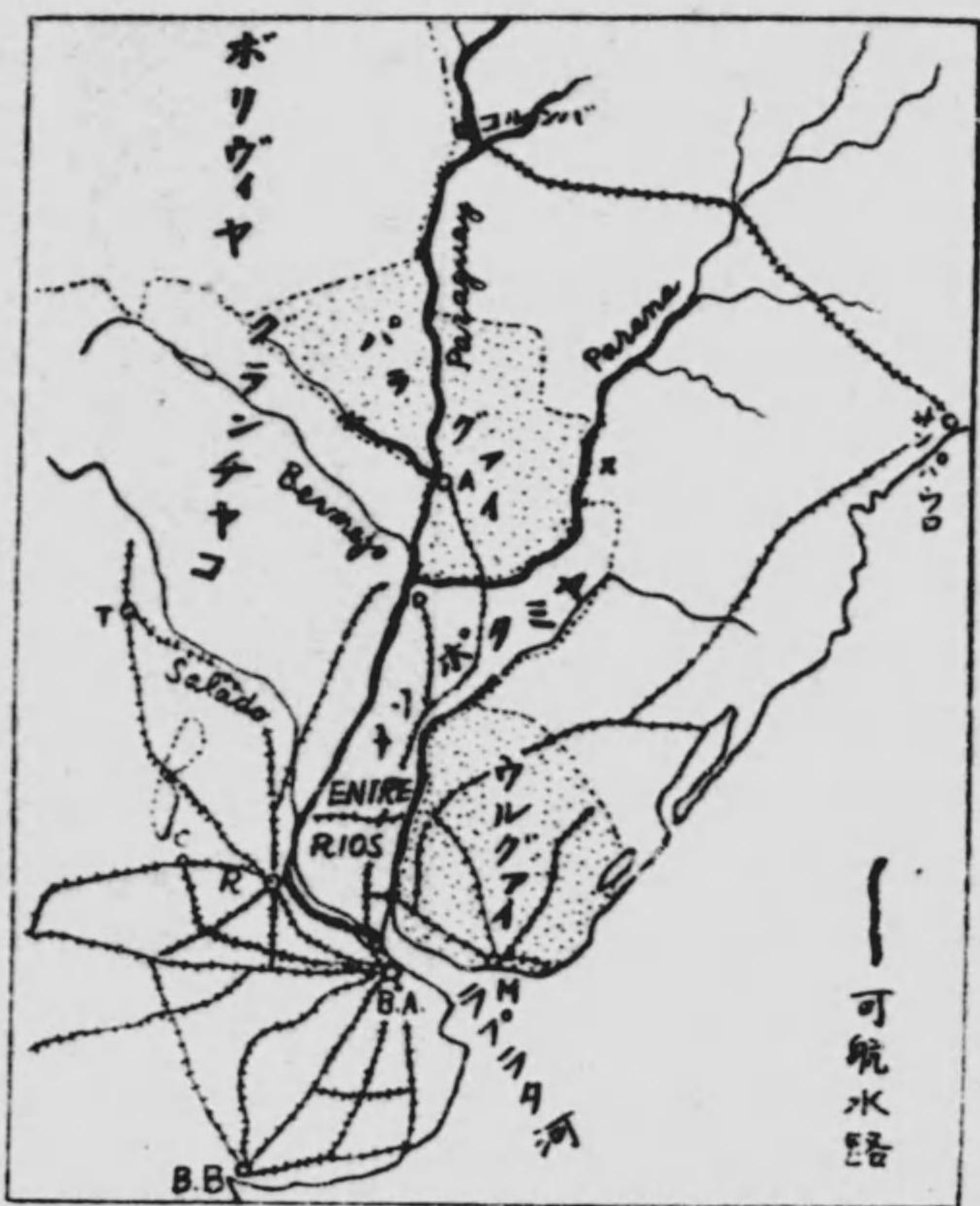
ラプラタ河は南米第二の大河で、その長さは四七〇〇浬、流域面積は三一〇萬方浬に達し、南米總面積の1/6

に當つてゐる。主流巴拉ナ河(Rio Parana)はブラジルに發してバラグアイ・アルゼンチン境を流れ、バラグアイ河を合せて南流し、ブエノスアイレスに近くウルグアイ河を合流する。このラプラタ河系を普通廣義にラプラタ河と稱するのであつて、狹義のラプラタ河は三角江の部分に限られる。

南米の河川中では最も發達した經濟地帯であるから、物資の輸送が大であつて、上流地の木材・マテ茶・



第82圖 グランチャコの西部境界



第83圖 ラプラタ河可航路と鐵道網

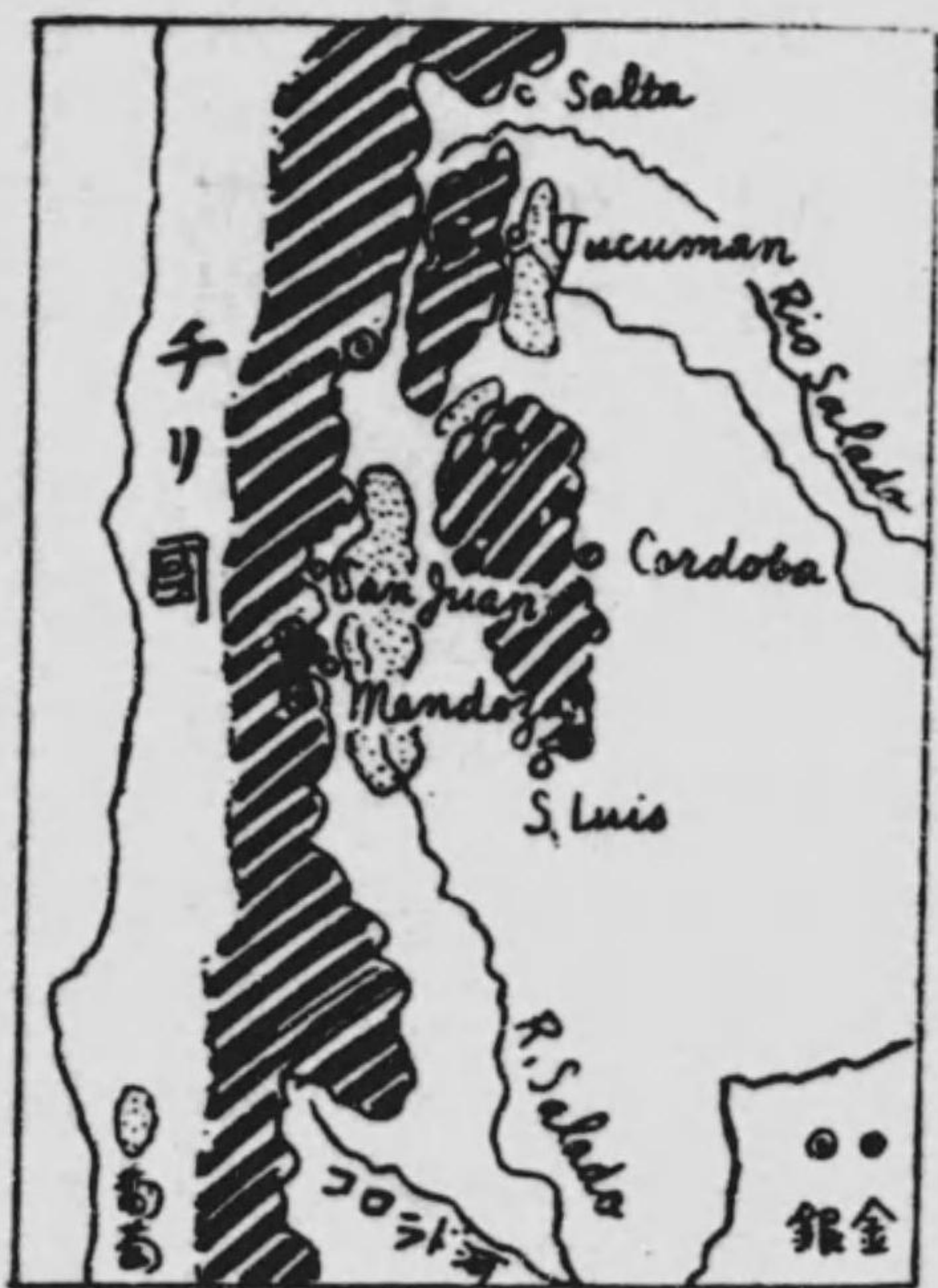
皮革等の輸送が多い。アマゾン河・オリノコ河と共に南米の國際河川であるが、この二河川に比してラプラタ河は内陸國——パラグアイ・ボリヴェイヤの二國の水路として利用されてゐる。

ラプラタ河は常に泥流を押し流して、泥土・砂洲の堆積地を形成し、メソボタミヤ西部の水路網にはリヤチヨス (Rio Paraguay) (小河の意)の名が與へられてゐる所がある程である。然しながら河口よりロサリオに至る間は河幅四〇呎に達し、パラグアイ國の首府アスンシオンに至る一六〇〇呎間は二〇〇〇噸級の船舶が溯航し、河口より二〇〇〇呎上流に位するブラジルのコロンバ迄は一〇〇〇噸級の船舶の溯航が可能である。

〔三〕 モンテ地方(北部乾燥地)

モンテ地方はアンデス東方の傾斜地及び平地であつて、パンパ山地が平原に屹立してゐる。コルドバ附近のシエラドコルドバ (Sierra Cordoba) は傾動地塊で最高點チャムパクイ山 (Champagui) は二八五〇mの高度を有する。この山中の石英脈中に金の産がある。この山地西部には南北に細長い地溝がある。モンテ

(Monte) は西語の森の意であつて、乾性灌木林及び有棘灌木林から成るもので、グランチャコ中の森林とは大いに異なる。雨量は西南に進むに従つて少なく、サンタフェ(八七四呎)コルドバ(七〇〇呎)メンドサ(一五〇呎)サンファン(七六呎)を比較すると西方に著るしく急減することがわかる。北東部はサラド河附近でグランチャコに接し、南部は略々コロラド河によつてパタゴニヤに連つてゐる。



第84圖 モンテ地方(Monte)

地形上の特色はアンデス東斜面に形成された扇狀地の複合によつて成れる所で、各河川の流出する溪口に多くの聚落が發達し、甘蔗及び葡萄栽培を主とした果樹園が存する。第八二圖に示した如く灌溉によつて農園が發達し、そこに Salta, Tucuman, Cordoba, S. Luis, Mendoza, S. Juan 等の聚落が發達した。コルドバ(25)はイスマニヤ植民地時代の舊都で、帽子・飲料品・柳行李・樂器等の特殊工業品の産がある。メンドサ(7)は葡萄栽培の中心地で葡萄酒の醸造業が發達した。この葡萄酒は鐵道運賃の高率な爲地方人の消費が大で、ブエノスアイレスでは外國品が一般の飲料に供される。北方の山麓地にあるツクマン(12)は新興の都市で醸造等の工業地である。

〔四〕 パタゴニヤ(南部乾燥地)

コロラド河(Rio Colorado)以南の乾燥地で、その大部はバタゴニア臺地(Patagonia Plateau)をなし、水平層の臺地から成つてゐる内部にはメサ(Mesa)の地形が発達する。海岸地は北部の一小部に海岸平野(Coastal Plain)を有するのみで、臺地面は一〇〇—一五〇mの海蝕崖に終つてゐる。地形帯は海岸地に僅かの海岸平野があり、内部にはバタゴニア臺地、その西部には地溝があつて三帯をなしてゐる。この地溝(Trough)は北方に延長してコルドバ山地西部の地溝に續き、前コルデラ地溝(Pre-Cordillera Trough)を形成する。地溝中には水を湛へ内陸湖をなし、山地の小流を集めてゐる。バタゴニア臺地及び地溝中には、氷河作用によつて生じた堆石が多く、臺地上は荒原をなし特に西部に甚だしい。西風帯の風下にあるから雨量は極めて少なく、二五〇耗以下である。

バタゴニア人はこの地の原住民であつて、イスパニヤ人は彼等が海岸地に印した足跡の大なることから、大足の義であるPatagonの語をもつて呼ばるゝに至つた。身長の大なることで有名で平均一八五種(六呎以上)あり、穴居するもの多く食物は魚肉及び狩獵によつて得た獸肉等である。この種族はブラジルのマツトグロツソ地方に住するボロ、族と同一の種族であると言はれ、石器を用ひてゐる未開人も多く、人口数は次第に減少して現在は僅かに五萬である。

聚落は著るしいものなく、草地を利用して牧羊が発達したから、臺地の各地にはヨーロッパ人の孤立聚落が見られ、大聚落はネグロ河(Rio Negro)チュプト河(Rio Chubut)の谷底にあつて果樹園がよく発達

し、著るしい谷底の文化景を有する所となつてゐる。南東海岸地には人工灌溉がよく行はれて牧羊の發達を見、石油の産出は臺地東斜面の地帯で、一九三二年には一二萬バーレルの産出があるに至つた。

〔植民及び都市の發達〕



第85圖 アルゼンチンの人口密度

民によつて開發されたのであつた。ヨーロッパ人の植民した順序は、一方はラプラタ河より他方はアスンシオンより、更にペルー國及びチリ國より植民せられた。

アルゼンチンの住民は一九一四年には七八九萬であつたが、一九二八年には一〇六五萬に達し著るしい人口の増加を示してゐる。人口の分布は都市に甚だ大で六〇%の人口を有し、地方の全人口は四〇%である。

【植民】 Rio de la Plata はイスパニヤ語の(白銀の河)

の意であつて、最初の探検者は土人から白銀を得て河の名とし、「白銀の國」アルヘンチナ(Argentina)と稱したのであつた。然し平原國であるアルゼンチンの發達は鑛山業によつて著るしい發達をなしたものでなく、氣候の溫和な所でヨーロッパ人の移住に適し、農耕地として肥沃な平原地であつたから、その發達は南米中第一であつて、農牧業を目的とする移

最大の人口は最も産業の發達したバンパスで全人口の七五%を占めてゐる。人口は甚だしく偏在的であり、且つ都市集中的であることが特色である。更に人口分布の一特性は交通線に關係があることで、鐵道の敷設によつて植民街が發達し、鐵道沿線に線狀の聚落集團が見られるのである。アルゼンチンは植民の状態によつて三つの異なる地域に分つことが可能である。

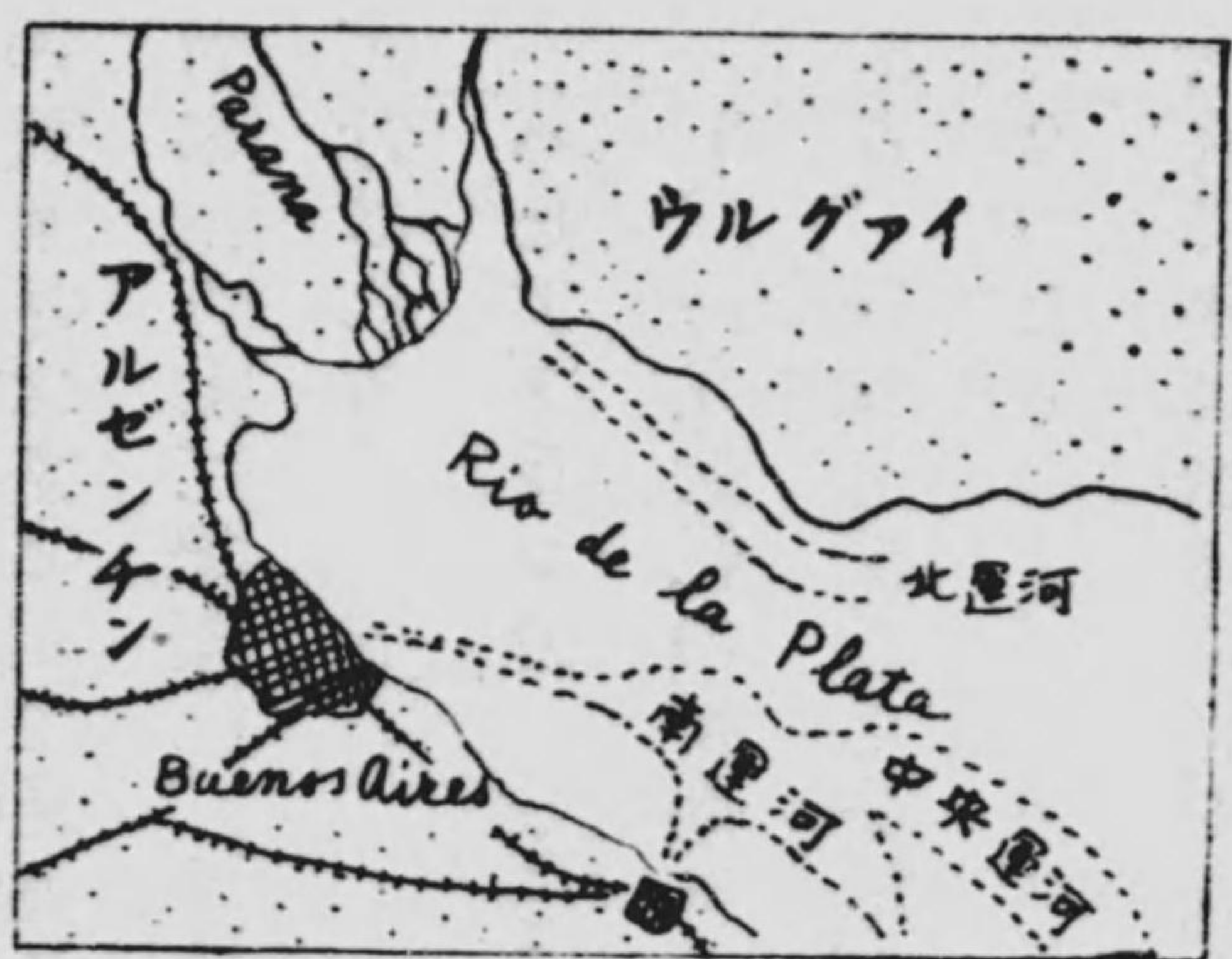
- (a) 中心地域バンパス：：農牧業の中心地
- (b) 西部及北西部：：歴史的植民の中心地
- (c) バタゴニヤ：：南部の新天地

ブラジルは温暖な地域を主とするから、黒人・アジア人等の熱帯地労働者少なく、インディアンの数は約四〇萬、スペイン人とインディアンの混血種(ガウチョ Ganchos) は約二〇萬であつて、其の他の大部は白人系の移民及び其の子孫から成り、イタリア人最も多く之に次いでイスパニヤ人・フランス人等のラテン系であつて、開國以來の入移民数の比はこの三者について二三である。

【エスタンシヤ】(Estancia) エスタンシヤはイスパニヤ植民地時代に大莊園に區分された名残りであつて、この土地制度は廣大な土地を有する大地主 Estanciero とそこには多數の小作人及び労働者があるので、聚落形態等もこの制度に依ることが著るしい。即ちエスタンシエロの立派な家屋と、之に附隨した泥造りの小作人の家屋とがあつて聚落は誠に殺風景である。小作人は土地を借りて二三年耕作すると他の地に移動す

るが、エスタンシエロに返却する場合には *Alfalfa* を植ゑ付けて置くから、其處は良好な牧場となる。即ち各エスタンシエロは牧場を良好にする爲に小作人に農耕せしめる場合が多い。

白人とインディアンの混血種であるガウチョは、牧場の忠實な監督者であつて、小作人と共に貧しい生活者である。この両者は兎角エスタンシエロと融和を缺き、アルゼンチンの發達に對して甚だしい缺陷となつてゐる。



第86圖 ブエノスアイレス港

【都市】ブエノスアイレス (Buenos Aires) は南半球第一の都市であつて一九三〇年の國勢調査によれば二一五萬の人口を有し、一八八〇年には三〇萬の人口を有するに過ぎなかつたから、五〇年間に七倍になつた。アルゼンチンの首都で政廳・大學等があるばかりでなく、鐵道及びプラタ河系の交通によつて南米第一の經濟區バンパスを主要な Hinterland とする貿易港となり、穀物の都・肉類の都として發展したのである。この國の工業は未だ幼稚であるが、ブエノスアイレスには千餘の工場があつて、煙草・綿布・製粉等の工業が行はれ全國の九割以上を占めてゐる。この港の輸出品は小麥・羊毛・肉類・亞麻仁等で、この國貿易額の八割に相當し年々五萬隻の商船が出入する。

プラタ河の浚渫が行はれ、南運河及び中央運河の河道によつて吞吐される商船は、築港の完備したブエ

ノスアイレス港に碇泊すると、巨大なる穀物エレベーターによつて小麦が忽ちにして積載せられる。林立した大起重機によつて荷物の積出等の作業をなすことは、背域の生産を示してゐる。

ロサリオ (Rosario 48) はアルゼンチン第二の都會で、河運と鐵道交通の要地に發達したバンパス北部の貿易港である。この地方の農業が近來俄かに發展して農産が著るしくなるに従つて、ロサリオは必然的に貿易港として繁榮し、全くブエノスアイレスの縮圖たる觀がある。日用品製造・製糖・製粉・製革等の工業が行はれる。

バヒアブランカ (Bahia Blanca 10) はブエノスアイレス及びロサリオと共にバンパスの三大貿易港の一で、一九世紀の初期にインデアンに對する堡壘が築造された所であつたが、近年急速な發達をなしたのである。巨費を投じて築港が完備し、背域に連絡する鐵道が數多數設せられ、小麦・羊毛等の輸出が急増するに至つたもので、ブエノスアイレスの一大競争港である。ラプラタ河西岸のラ・プラタ (La Plata 17) は一八八二年に創建された新しい市街で、ブエノスアイレス州政治の中心地である。

【外國貿易】 アルゼンチンの貿易額は一九一三年には輸出五億二〇〇〇萬弗、輸入は五億萬弗であつたが、一九二八年には輸出一〇億弗輸入は九億弗に達した。一九三二年の貿易額は五億四〇〇〇萬弗で、額に於いては減少であるが量に於いては近年に至る迄發達を續けてゐる。同年の輸出は三億三〇〇〇萬弗、輸入は二億一千萬弗で、年々の貿易は輸出超過を示す場合が普通である。

輸出品の主要なるものは小麦及び亞麻仁で輸出額の六五%を占め、肉類・羊毛・皮革等の畜産物は三〇%に當つてゐる。その輸出品の第一位にある小麦はその收穫期が北半球と相反する點に特色があつて、十一月がその收穫時であるから世界市場に對しては大きな優越性がある。上記の農牧の生産品は實に九五%であつて、其の他に森産・石油等の輸出品がある。輸入品は織物・鐵及銅鑛・玻璃器・工器・食料原料・

飲料・化學藥品等が主なるもので、工業品がその大部を占めてゐる。

主要貿易國は英國(二五%)米國(一七%)ドイツ・ベルギー・フランス・イタリア等で、輸入は米國よりのものが最も多く約二五%を有してゐるが、輸出に於いては英國が第一で、この大なる小麦・肉類の消費國へのものが二七%を占めてゐる。即ち製品の輸入については米國の工業に依ること多大で、穀物・肉類の輸出は工業國英

世界の小麦輸出額比率

	一九二五年	一九二八年
アルゼンチン	一九・五	二六・五
カナダ	三九・三	四九・七
米國	一一・九	一〇・五
歐洲	一七・五	七・九
印度	三・六	〇・二

本國への輸出が主要なるものとなつてゐる。

南米のABC國

【ABC同盟】

ラテン民族の建設した南米十共和國の中で、その國土の地理的位置が良好であり、温帯

性の氣候を有する所はアルゼンチン・ブラジル・チリの三國で、農・牧・林・鑛等の各種の産業が發達した富強國である。先づ國土の面積について對比すれば、アルゼンチンとブラジルはラインハルト氏の大領域國に屬し、チリは七五萬方呎で中領域國である。人口について見ればアルゼンチンは一一〇〇萬以上を有し、ブラジルは四四〇〇萬でラツツェル氏の中人口國であり、チリ國のみは僅かに四三五萬で小人口國に屬してゐる。將來に於ける強國 (Great Powers) の資格を具備した國は之等 A B C の三國であつて、面積・人口・地的富源等の地理的要素は備はつてゐる。

この三國は國名の頭字を取つて一九一五年五月に A B C 同盟が組織せられ、ウルグアイ國の首府モンテヴィデオに國際聯盟本部を置いて、南米に於ける國際間の問題を解決せんとしたのである。然し乍ら各國の進歩發達は極めて著るしく、アルゼンチンは農牧の業に依つて經濟的に國富が充實し、ブラジルも多數の移民によつて南方の珈琲地帯を主とした文化地帯が見られ、著るしい進歩を來したのである。チリ國は農業・鑛業によつて國富を増大したのみでなく、一八七九年より一八八一年に亘る戦争によつて、ペルー・ポリウイヤの聯合軍を破り國際的地位を高めたのである。かくの如く各國が進歩するに至つて、北米合衆國の汎米主義に對してもその壓制を快しとせず、また三國も次第に相互間に反目が生ずるに至つた。

【政治】 アルゼンチンは一五一六年 Juan Diaz de Solis によつて發見せられ、一五三五年にはイスパニヤ王の命によつて Don Pedro de Mendoza がこの地に派遣されてブエノスアイレス市を建設し、爾來イ

スパニヤの植民地であつたが、一八一六年この地に革命起り其の後の無政府状態を経て、一八五三年アルゼンチン共和國が確立した。この國は聯邦共和國で一四州・一〇領土から成り、州は聯邦構成の一部をなすものである。大統領は任期六年で上下兩院から成る國民議會があり立法の權を有する。

ブラジルのみはポルトガルの植民地であつた所で、ナポレオン一世がポルトガルを併合した時ポルトガル王はブラジルに逃れ一八一五年にブラジル王國が生じた。其の後王は本國に歸還せられ、その長子 Don Pedro をこの地に君臨せしめたが、一八八九年革命が起つてブラジル合衆國 (United States of Brazil) が獨立した。大統領は任期四年で上下兩院を有し、二〇州と一領土から成つてゐる。

チリ國はアルゼンチンとアンデス山脈によつて相接してゐる國で、一八一〇年に獨立を宣言し一八一七年アルゼンチン軍の援助を得てイスパニヤ軍に戦勝し、一八一八年獨立を達成した。一八七九年チリ國の軍隊は、ポリウイヤ政府が條約 (一八七四年の條約) を無視した事からポリウイヤ領のアントファガスタを占領した。ペルー・ポリウイヤ二國は聯合してチリ國に應戦したが遂にチリ國の勝利に歸し、ペルー國よりはタラカカ州を得、ポリウイヤ國よりはアントファガスタ州を得て北方に領域を増したので、ポリウイヤ國は全くの内陸國となつたのである。

【教授】 アルゼンチンの發達はヨーロッパの移民によつてなされ、農牧業の發達に依つてゐる。アルゼンチンパンパスが

農牧業に適した所であつたことが、この地を中心として産業が発達した理由である。鐵道網の密なること、ラプラタ河系の交通によつて農牧地帯は一層外方に延びて、ブエノスアイレス・ロサリオ・パリアブランカの三港の發達が促された。南アメリカの地理教授に際しては、所謂A・B・C三國を對比してその發達を理解せしめ、この南部諸國の考察を最も重視せねばならない。その中に於いても、氣候良好で肥沃な平原を有するアルゼンチンが富強をなしたことは最も著しいこと、ヨーロッパの多數の移民によつてこの植民地の發達が促された。

第六章 西部地誌

第一節 チリ (Chile) (面積七五萬方呎 人口四三五萬)

【伸長形態國】 チリ國は南米の南部西海岸にある狹長國で、南北の緯度三八度に亘りその長さは四二〇〇呎に達してゐる。その幅員は最も廣いアントファガスタ附近では三〇〇呎で、平均は一七〇呎に過ぎない。伸長形態國の好例であつて、政治的には他國の攻撃に對して不利なる形態の國家であるが、アンデス山脈の自然的境界によつてこの國家の不利なることは多分に保護されてゐる。然し南部アンデスは漸く低く、西斜面の多雨地帯に於いては侵蝕作用大であるから東部河流の上流部を截頭するものなどあつて、分水界は高地帯を越えて東方に存在することからアルゼンチンとの間に國境問題を起したのであつたが、一九〇七年の仲

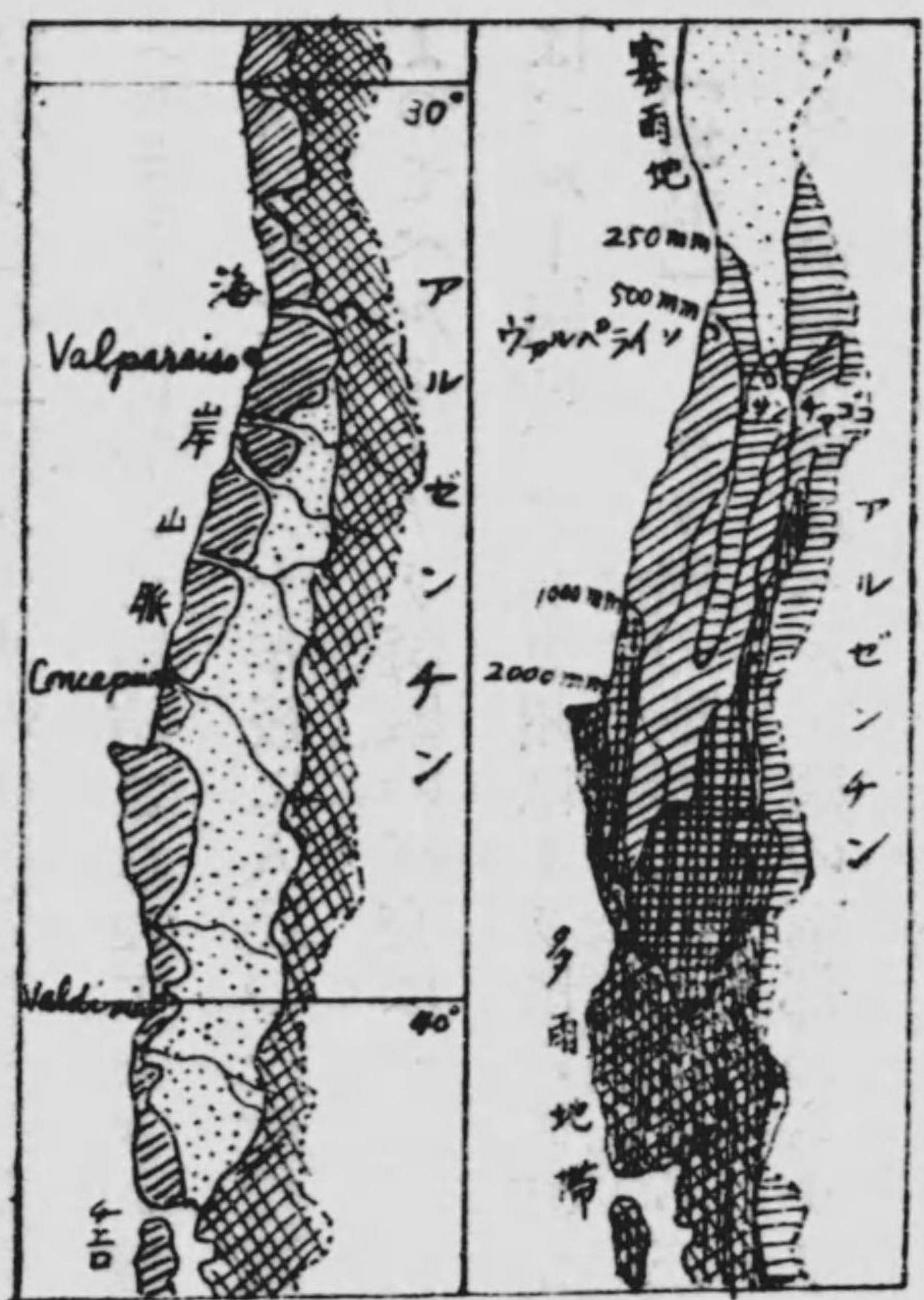
裁裁判の判決によつて解決された。アルゼンチン國が大西洋方面に目標を有し、チリ國は太平洋に前面を向けてゐる爲に、この二國間の國境問題は比較的靜穩なのである。

北境部は常に係争の行はれた地域で、アントファガスタがポリヴィヤ領時代に、こゝで硝石採掘に従つてゐたチリ國人が課税（輸出税）に反對して國交が斷絶し、ペルー・ポリヴィヤ間には攻守同盟の密約があつたからこの二國とチリの係争となり、前後四年間の戦争が起つたのである。一八八三年ペルーのアンコン港（Ancon）に於いて締結されたアンコン條約によつて、タクナ（Tacna）アリカ（Arica）二州は十ヶ年間チリ國の有に歸し、十年後に人民の一般投票によつて所屬が決定することとなつてゐた。この一般投票問題によつてペルー・チリ兩國の國交は一九〇一年決裂するに至つたが、米國の調停によつて一九二九年タクナ州はペルー國に、アリカ州はチリ國に領域が決定して國境問題も落着を見たのである。

【地形】 チリ國の地形は南北に走る三並行地帯——(1)海岸山脈(2)チリ縦谷(3)アンデス山脈から成立してゐる。海岸山脈はペルー國の南部からチリの海岸に沿つて南走し、中部チリに於いては急崖をなして海に迫り、南部ではチャカオ海峡（Chacao Chan.）で海に没するが再びチリの南部の島嶼となつて南部に走り、タイトオ半島（Taitao）では陸地に連続してゐる。それ以南は再び島列をなし、フェエゴ島（Tierra del Fuego）ではダーウイン山（Darwin 2100m）となる。

チリ縦谷地帯は南米のカリフォルニア縦谷と稱せられ、北部ではタラパカ（Tarapaca）アタカマ（Atacama）

の沙漠性低地をなし、その幅員は四〇軒に達してゐる。サンチャゴ低地では北部も南部も共に谷は甚だ狭く隘路によつて南北の低地に連なるのである。南はプエルトモンテ(Puerto Montt)に至るまで間断なく續いてゐるが、それ以南では海水に被はれてゐる。



第87圖 チリの地形及び雨量

東部には雄大なるアンデス山脈が存在してゐて、土人によつて『雪』と呼ばれ Chile の國名が生じたもので、名の如く雪山をなしてゐるが、その北部のルライリヤコ火山(Lincaillaco 6500m)では乾燥境界は五〇〇〇mの高度に達してゐる。チリの南部では南緯四〇度の Valdivia 以南の海岸にフィオルドが発達してゐる。南北に走る海峡に直角に東西の水道があつてフィオルドをなし、Magellan 海峡はフィオルド海峡の一つである。

【氣候區】

地形は主として南北に走る三帯を区分し得るが、伸長形態國であることが原因をなして、その南化性を決定する氣候的區分によつて導かれ、之が最大の條件をなして地理區が定められる。①北部乾燥地は南緯三〇度附近に南部限界があり、②中部は地中海式氣候區で三〇—四〇度間の地帯を占め、ツアルパライソでは年雨量五〇〇耗で冬季五月—八月の降雨は四〇〇耗以上に達してゐる。③南部多雨地は西歐型

の地域で南緯四〇度以南の地を占め、氷蝕の地形を有する地帯に一致してゐる。反對貿易風が下降して卓越西風となり、『勇敢なる西風』に依つて多雨地帯が形成された。この三氣候區は各々經濟上の特色を有する地帯であつて三經濟區を構成し、北部・中部・南部の三地理區となつてゐる。

【地誌】

チリ國は次の三地理區に分つことが出来る。

- (1) 北部チリ……乾燥地。鑛業地帯。
- (2) 中部チリ……地中海型。農業地帯。
- (3) 南部チリ……西歐型。林業牧畜地帯。

(1) 北部チリ

【硝石地帯】

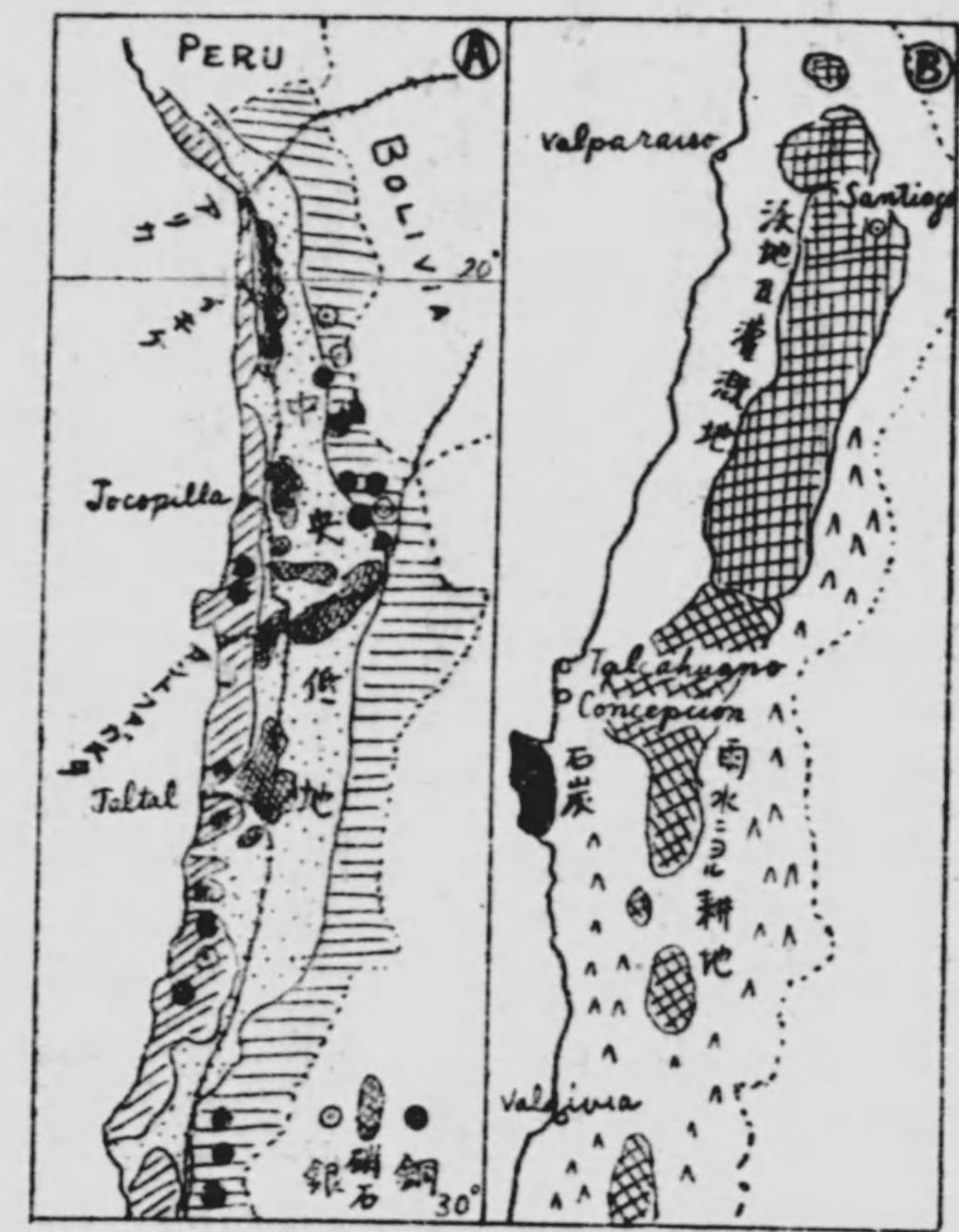
北部チリは南緯三〇度以北で、その主要部は硝石の産出地をなし經濟的に最も重要な地帯である。硝石は北部の沙漠性高原に産出し、山地にあつた鹽類が水に溶解して遊離沈積したもので、硝石は溶解し易い礦石であるが乾燥氣候であつた爲に保存されたのである。硝石礦をカリチエ(Caliche)と稱し、地下一—二mに存してゐるので露天掘に依つて採掘し、各地の工場では之を煮沸して後に食鹽を分ち、硝石を結晶せしめるのである。

硝石は世界戦争當時は火薬として消費せられたが、其の後は肥料として用ひられるのが主であるから、獨逸の人造窒素肥料の産出によつて著るしく消費量を減じ、一九一三年には世界消費の五五%が智利硝石で四五%が人造肥料であつたが、一〇年後には三〇%が硝石の消費であつた。かくて硝石は輸出額の大部を占め

たものであつたが、一九三一年には全輸出額八億二〇〇〇萬ペソ中三億六〇〇〇萬ペソが硝石で四四%に當つてゐる。

【硝石港】

アントフアガスタ (Antofagasta 6) はチンバ灣 (Chimba B.) に臨み、硝石地帯の外港であつて鐵道によつて硝石の産地及びボリヰア國に結ばれてゐる。硝石輸出港はイキケ (Iquique 4) トコピリヤ (Tucopilla) 及びアントフアガスタで、イキケは全輸出の約13%を占めてゐるが、トコピリヤの小港も次第に硝石港として他の諸港に伍するに至つた。



第88圖 チリの生産地帯 (A、硝石地帯B、農業地帯)

アントフアガスタ北東のチユキカマタ (Chugucamata) 及びサンチャゴ南東山地にあるエルテニエンテ (El Teniente) の二大銅山が主なるもので、硝石に次いで第二の輸出品である。その輸出は三億萬ペソで輸出額の三八%に相當し、鐵礦・石炭等の輸出を加へれば鐵産輸出は九〇%を占めてゐる。

(2) 中部チリ

最も人口密度の大なる所で氣候の良好な地帯を占めてゐる。ヴァルパライソ以南の中央低

地帯は農耕地帯をなし、耕地總面積は五九〇〇萬エーカーで、小麦・

燕麥・馬鈴薯・葡萄等を産出する。葡萄栽培地はクリュー (Curico) 及

コンセプション (Concepcion) 地方で、農産中の第一の輸出品であ

る。Concepcion (9) は農耕地の中心であり附近には石炭を産し、そ

の外港タルカフアノ (Talcahuano) は軍港と商港を兼ね水産物の集

散も多い。

サンチャゴ (Santiago 70) は中央低地にあり海拔五五〇mで、

政治都として發達したもので政廳・大學・博物館等がある。近年に至つて著るしい發達を遂げ、製粉・製鐵等の諸工業が起つた。ヴァルパライソ Valparaiso (20) (Valley of Paradise の意) はサンチャゴの外港であるばかりでなく、この國第一の貿易港として銅・銀・羊毛・獸皮等の輸出多く、織物・自動車・原油・砂糖等の輸入がある。商業區は海岸の狭長地で、住宅區は臺地であるからケーブルカーによつてこの二區が結ばれてゐる。

(3) 南部チリ

卓越西風の影響を受けて降水量多く、南緯四〇度以南の地を占めてゐる。南部チリは森林がよく繁茂し、將來其の利用は大であらうが未だ僅かにその一部が伐木されてゐるに過ぎない。海岸地には漁業が盛んに行はれ、チロエ島 (Chiloé) はその中心地をなす。プエルトモント (Pto Montt) は縦貫鐵道の

世界銅産出 (一九三一)	
米 國	五五、六〇〇 萬 噸
チ リ	二一、六〇〇
白 領 領 土	一一、〇〇〇
カ ナ ダ	一一、一〇〇
日 本	七、五八〇
世 界	一三九、〇〇〇
	一〇〇%

終点であつて、鐵道によつて木材が北方に輸送される。マゼラン海峡に面したプンタアレナス(Punta Arenas)は最南の港市で、南米迂回航路の要地に當るから貯炭所があり、この地方に産出する羊毛・皮革・鯨油の輸出が行はれる。パナマ運河の開通によつてこの港の交通的價値は著るしく減じた。

アンデス横断鐵道(Trans-Andean Railway)

- (1) アルゼンチン・チリ横断鐵道(ブエノスアイレス—ウアルバイソ間、一四三〇軒)
- (2) アントファガスタ・ボリヴィヤ鐵道(アントファガスタ—オルロ Oruro 間)
- (3) アリカ・ラパス鐵道(Arica—La Paz 間)
- (4) ペルー南部鐵道(Mollendo—Cuzuzco 間)
- (5) ペルー中央鐵道(Callao—Oroya 間)
- (6) グアヤキル・キト鐵道(Guayaquil—Quito 間)

Buenos Aires—Valparaiso 間は一四三〇軒あつて横断線中最も著るしいもので、一九一〇年開通した。所要時間は三八時間で、アルゼンチンのメンドサよりメンドサ河谷を西進してウスバラッタ(Uspallata)の縦谷を北進して西折し、アプト式齒狀軌道によつてアコンカゲア山(Aconcagua)の南の谷を進んでチリ境に達する。三一九〇mの高度にあるトンネル(Cumbre Pass 3990mの下を通過する)を通過してチリ國に入り、急斜面を下り Los Andes (816m)の驛で廣軌の汽車となりバルバイソに至る。Antofagasta-Bolivia Railway は一九二五年に開通したもので、アンデスの横断に際して世界最高所四八二二mの地點を通過して

ゐる。Peruvian Central Railway は四七五三mの高所を有してゐて、之に次ぐ世界第二のものである。

ボリヴィヤ國は二條の主要線によつて、アリカ・アントファガスタの二港を外港となしてゐる。然しながら鐵道運賃の大きいことは大きな缺點で、アルゼンチン・チリ間の横断線の如きも收支相償はず運轉の一時中止をなすに至つた程であり、この間の理由を明示してゐる。Bahia Blanca—Concepcion 間の横断鐵道の如きも豫定はされてゐるが、開通は今のところ見込がない。古來行はれてゐる交通の方法は現在も重要なもので、騾・リヤマ等によつて山地と海港間を往復する行列(Pack-Train)は鐵道交通の補助となつてゐる。

【教授】アンデス山脈を境界として、チリ國とアルゼンチン國は相對してゐる。この二國の地形・氣候及び産業等を比較することは、教授上最も重要なことである。全く相反する地理的特色が兩國に見られることは、アンデス山脈の存在に依つてゐる。

第二節 ボリヴィヤ(Bolivia) (面積一三三萬方軒 人口三〇〇萬)

【内陸國】(Binnenlandstaaten)

ボリヴィヤはもと上部ペルーと稱せられたところで、アルゼンチン及びペルー等の獨立後もイスパニヤ王黨が之に據つてゐた。シモン・ボリヴァーはコロンビヤ軍を率ゐてボリヴィヤに至り、一八二四年イスパニヤ軍を各地に敗りペルーの獨立を達成せしめたのである。國名ボリヴィヤはボリヴァーの名を記念したものである。一八七九年より一八八三年に至る四ヶ年のチリ國との交戦によつ

て、アントファガスタ——(現在チリ國の最も重要な硝石地帯)——を失つたのである。この爲に嘗ては臨海國であつたものが全くの内陸國となり、この國の發達は著るしく支障を來したのである。海洋への進出を望んでゐることは言ふまでもなく、北東部ではアマゾン河の國際河によつて海へ出ることが出来るが、パラグアイとの交戦を繰り返してグランチャコを領有せんとすることはパラグアイ河によつて、南米の文化地帯に進出せんとすることに依るものである。

人口三〇〇萬中、35はインデアンで白人は僅かに1/6に過ぎない。其の他は混血種メスチゾ族(Mestizos)である。チリ國及びアルゼンチンはその大部が白人で、アルゼンチンの如きは白人アルゼンチンを標榜する程であるが、ポリヴィヤには白人の少ないことはその國勢の強大をなすに至らない一つの理由である。

【地形・氣候】 アンデス山脈中で最も幅員の大なる部分であり、北彎と南彎アンデスがこゝで急轉して所謂對曲(Scharung)をなすのである。山列は東列・西列の二個に區別せられ、東の山地にはイリマニ山(Ilimani 6405m) ソラタ山(Sorata 6550m)等の火山があり、その東部にはグランデ河(R. Grande)によつて圍まれたユンガス(Yungas)の高原地が存在してゐる。この兩山地間の地帯をグランデ河が流れてゐる。東西兩山列間は大内陸盆地を形成し、チ、カ、湖(L. Titicaca) ポーポ湖(L. Poopo)がある。チ、カ、湖は海拔三八一二mで我が富士山よりも高く、六九〇〇方呎の面積を有してゐる。東部低地(Eastern Lowland)はその大部がアマゾン流域で Madeira 河の上流部をなす。南東の一部がグランチャコ平原である。

る。

氣候は垂直的に變化し、一〇〇〇m以下の東部地方は炎熱の氣候區をなすが、一〇〇〇m毎に熱地(Tierra Caliente) 暖地(Tierra Templada) 冷地(Tierra Fria)を區別することが出来、三〇〇〇m以上の所は年平均氣温四——八度で暴風・雹雪の多い所となり、ポリヴィヤではプナ(Puna)と呼ばれてゐる。

地理的に區分すれば、(1)高原地帯(The Antiplano Region) (2)ユンガス地方(The Yungas) (3)東方低地(Eastern Lowland)の三区となる。

(1)高原地帯 (The Antiplano Region)

ポリヴィヤ國民の經濟生活の中心地をなすところで、鑛業・農牧業等が行はれ人口密度が大である。農牧業について見れば、臺地東部(Platan Oriental)のスクレ附近は玉蜀黍・小麥の産出多く、チ、カ、高原の中央部低地には農牧業、西部コルデラ山地は乾地牧場地帯をなしてゐる。ポリヴィヤ國の農産は殆んど國內消費に終るもので、交通が不便であることは其の販賣に多大の缺點となることにより、新農場を求めて耕作地を増すことは目下のところでは少ない。白人は主に農場主で播種期と收穫時を除いては常に都市生活をなし、混血種マヨルドモ(Mayordomos)及び土人が勞働に従つてゐる。

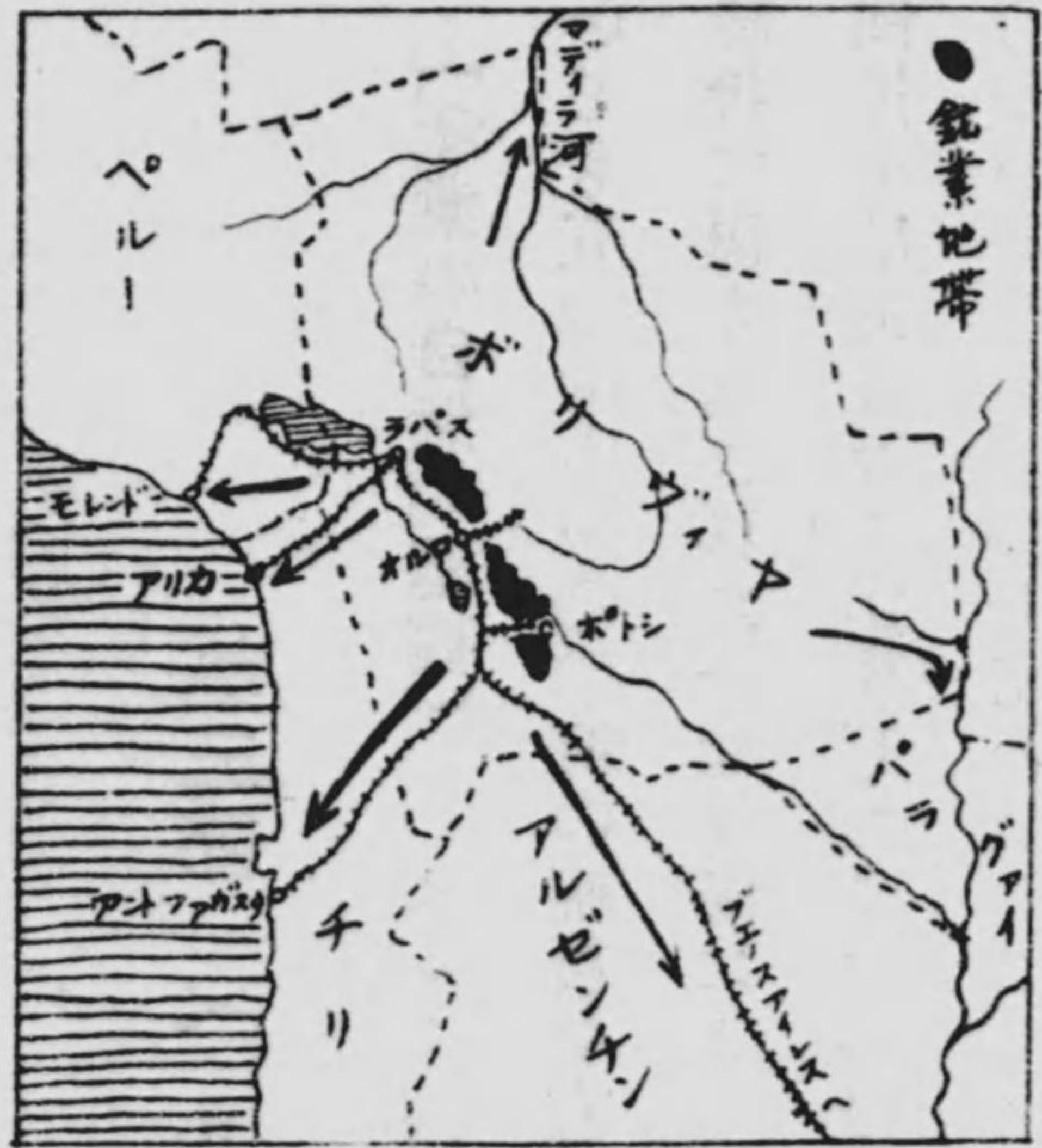


第89圖 ポリヴィヤの地形

馬來半島諸國	三八%
ボリヴィヤ	二二%
バンカ島	一八%
シヤム國	七%
其他	一五%
世界産出量	一六八七〇〇噸

率運賃とマレー半島地の錫が世界の相場を支配する爲に大なる障碍を被つてゐるが、將來はその大なる堆藏量によつて世界の相場を支配するに至るものと豫測されてゐる。石炭の産出が殆んどなく錫は原鑛の儘輸出せられ、全輸出額の七〇%以上を占めてゐる。産出地が南部であるから、Antofagasta-Bolivia Railway に依つて輸出されるものが大部を占めてゐる。銀は輸出の一〇%に當り輸出品の第二位にあり、第三位の銅は七%に相當してゐる。かくて鑛産物の輸出は九〇%以上を占めてゐる。

【都市】 高地都市をなすこの國の大衆落は鑛業によつて發達した鑛山都市の性質を有し、オルロ(Urmo)は三七一五mの高地にある錫・銀産出の中心地で、ポトシ(Potosi)は三九七〇mの高所にあり銀の鑛山町で三八〇年前イスパニヤ人によつて發見せられ、嘗ては人口一〇萬を有したが銀の減少と共に人口も少



第90圖 ボリヴィヤの鑛産地及び交通

なくなつて約三萬となつた。

スクレ(Sucre)はこの國の舊都で今も名義上の首府であるが、事實上はラパス(La Paz)が政治の中心地である。政廳・大學があり交通經濟の中心をなし、土地高燥で氣候よく金・パラグアイ茶・シンコナ等を集めて Arica-La Paz Railway によつてチリ國のアリカ港より輸出する。

(2) ユンガス地方 (The Yungas)

ユンガス地方はラパス東方にあるアンデスの東斜面及びその谷地・臺地等を占め、氣温高く雨量も一〇〇〇耗以上に達し、コカ・珈琲・カ、オ等を産出する。ユンガス地方と高原の交通は主にリヤマ・馬によつてなされ、鐵道はラパスより東方に五〇料の間通じたのみである。高原草地にはリヤマ・アル

バカ・羊等が養はれ、他に大麥・馬鈴薯等の農産がある。

(3) 東部低地 (The Eastern Lowland)

北部はアマゾン河流域地で熱帯森林をなすが、南方に行くに従つて樹木少く南部はグランチャコの一部をなす。北部平野は人口稀



第91圖 ボリヴィヤの産業地帯

薄で、ゴム採取人が河流沿岸地に住してゐる。ゴム採取の爲に一時は多額の投資が見られたが、今は全く顧みられず、ゴムの輸出は全輸出額の僅かに3%である。中部を占めたサンタクルズ地方は開発も容易であり、交通も次第に便となつて來たので漸く近年に至つて發達し、甘蔗・煙草が栽培されてゐる。サンタクルーズ(Santa Cruz)はこの地方の中心地で、製糖業が行はれ邦人の居住者もある。南部のチャコ地方はパラグアイ國との係争地で、石油の産出地として有望視されてゐるが、未だその豫測は困難である。

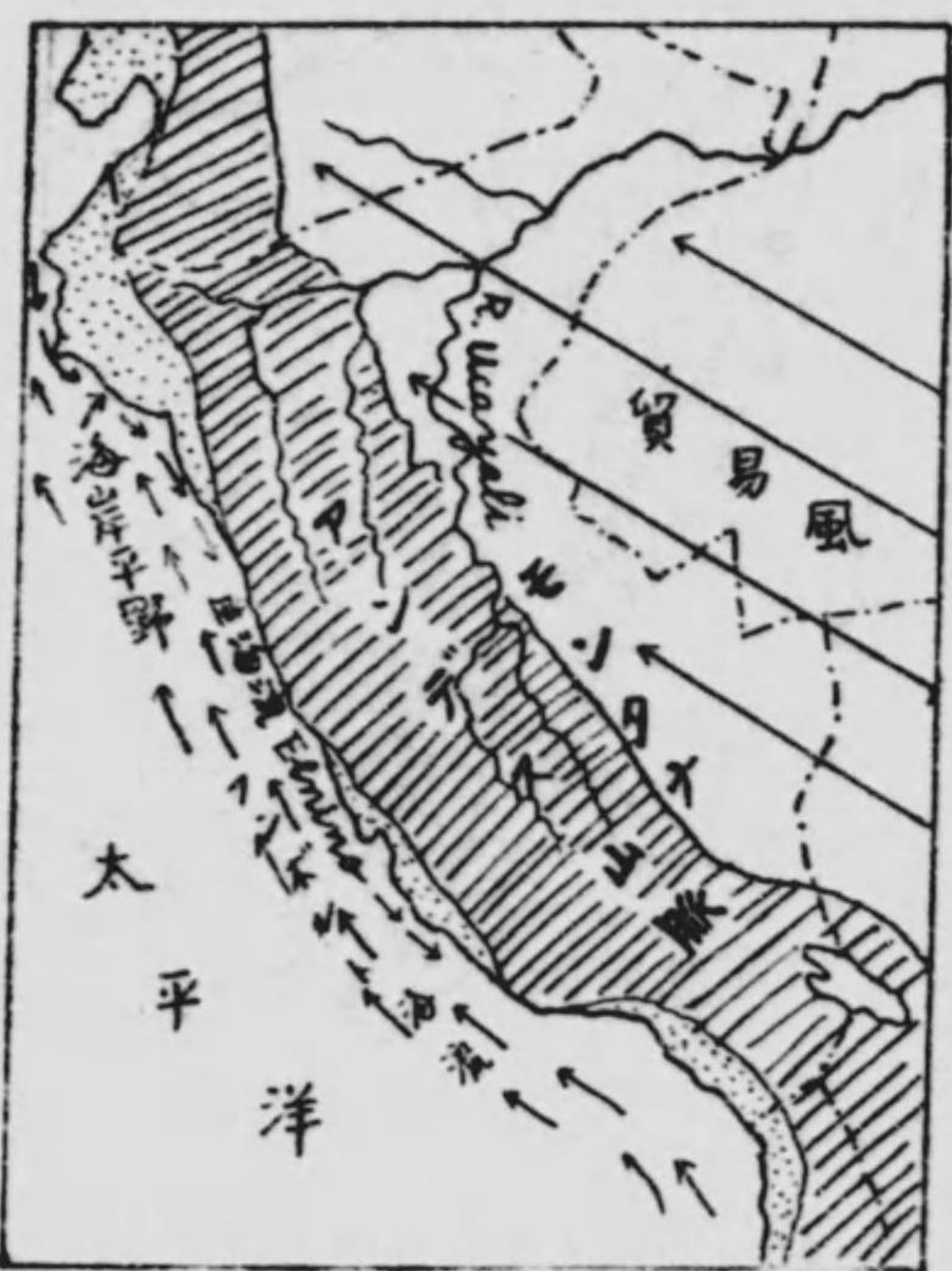
【註】チ、カ、湖(Lititican)の如き大湖が三八二mの高地にあることは著るしいことで、湖岸の氣候を調節することが大で、三九〇mの高地に至るまで玉蜀黍及び麥が耕作される。この湖沼で有名な蘆舟(Balsa Balsa)は蘆の葉を編んだ舟で、蘆で作つた棹と根がついてゐる。この蘆舟から成る水上の聚落がある程で、極めて珍らしいものである。

第三節 ペルー(Pern) (面積一二五萬方呎 人口 六六〇萬)

【産業の自然的基礎】 ペルー國の海岸低地は狭長な沙漠地帯をなし、バリナ岬附近の最も廣い部分に於ても五〇——一〇〇呎の幅員を有するに過ぎない。アンデス山脈の西斜面は隆起海岸をなし、過去の地質時代に繰り返された隆起沈降によつて四箇の階段狀地形が形成され、海岸段丘が見事に發達し之に對應して河岸には河成段丘が生じた。之の段丘は臺地の意を有する語によつて Tullaxo と呼ばれ、高いものは四〇〇mの高所に存在してゐる。

アンデス山地の南部、バスコ以南の地は一大高原をなし、ロスアンデスと呼ばれ、ボリヴィヤ國境のココロ山(Cololo Mt.)は六五七〇mの高度を有してゐる。バスコ以北は南北に並行した三列のコルデラに分たれ、東コルデラは Ucayali, Huallaga 兩河間を占め、フアリヤガ河西に中央コルデラが連つてゐる。アンデス東斜面はモンタナ(Montana)と呼ばれる山地森林地をなし、それ以東は極めて廣大な熱帯森林 Selvas の平原森林地をなしてゐる。

ペルーの氣候を支配する根本的條件は、貿易風・アンデス山脈・フンボルト海流・沖風等によるもので、貿易風の風上にあるアンデス東斜面は降雨が最大に達し山地密林のモンタナをなしてゐる。然しアンデス西斜面では二五〇〇mの高地に至るまで乾燥地帯が続いてゐて、その地帯の降雨は數年に一回といふ程度のものである。アンデスの大障壁があつて貿易風を遮斷してゐる爲に、西斜面では南回歸線地帯の高氣壓の影響を受けて南風の沖風となり、東斜面の貿易風の如く大きな力を有してゐない。西岸は Humboldt 海流の存在する結果、その寒さを受けて氣温は一般に低い。中央部のコルデラ山地では最も氣候の變化に富み、各氣候帶の變化は垂直的に見られ、植物帶は東斜面では非常に著るしく西斜面では乾燥地に堪え得る植物が二五〇〇mの高地に生じてゐる。三〇〇〇m以上の高地ではボリヴィヤに於ける如



第92圖 ペルー國の地形・氣候

く Puna と稱せられてゐる。

【産業の特色】

(1) 海岸地帯

乾燥氣候であつて沙漠地帯であるから、農業は灌漑を必要としてゐる。灌漑はこの地帯に於いて最も必要とするものであつて、農牧地帯を構成する生命であり、灌漑可能の地域が生産地となつてゐる。多くの河川は灌漑に用ひられてゐるから、その水が海洋に注ぐものは南方の Honda, Tambo 等の河川のみである。近時北方海岸地帯には、マラニヨン河の水を引いて農耕地となす大計畫があるから、完成後は農産も増加を來すであらう。



第93圖 ペルーの海岸地帯

ことは其の成長を妨げない。かゝる土地に充分の灌漑が行はれたならば最も良好と云ふべきで、採取期は一定でなく年中棉花賣買の出来ることは大きな特色である。その種類はタンギス (Tungst) 棉が其の八〇%を占め、光澤のよいことは英國に歓迎されてゐる理由で、ポップン綿布の原料に供される。

甘蔗 は海岸地帯の生産物として古くから重要な地歩を有したもので、棉花と共に主要農産である。栽培

地は一三萬エーカーで、四〇萬噸の砂糖が生産される。耕地として最も大切なところは、北方のチカマ谷 (Chicama Valley) で大資本と新式栽培によつて耕地を増加したが、Rimac Valley の如く棉花栽培地に變つた所もある。棉花と甘蔗は常に生産についての競争が見られたが、現在は棉花がより有利であり、小資本によつてもこの業をなし得るので次第に發達を遂げた。

グアノ (Guano) フンボルト海流は夥しい鰯群其の他の魚族を養つてゐて、海鳥(土語ではピケロ)の食

する所であるから鳥の大群が海上を去來する。その鳥糞が古來乾燥氣候に保護されて厚層をなすに至つたもので、Pisco Bay の島嶼には特に多い。窒素肥料として價值があるから國有となり、九五萬噸の産出(一九三一年)があつた。

石油 の産出地は二ヶ所あつて、一は海岸油田と稱せられるものでバリニヤ岬附近に存在し、その南部のネグリス (Negritos) 油田がその大部分を

産出してゐる。その二はアンデスのチ、カ、油田で、湖の西岸に位し海拔三八〇〇mの高所であつて世界最高の油田である。石油の産出量は一九三〇年には一三〇〇萬バレルを出し、この國の輸出品の第一位を占めてゐる。

(2) コルチレラ山地 (Andes Region)

ペルー國の輸出 1930

石油 22%	其他 34%
銅 16%	羊毛 4%
棉花 12%	砂糖 12%

統計 2411,3000 ペルー石

第94圖 ペルー國の輸出品

【**農牧業**】 農業は高さによつて耕作の種類を異にし、二五〇〇——三三〇〇mの高さに於いては温帯農業が行はれ、小麦・大麥・馬鈴薯・果實類（林檎・梨）が栽培されてゐる。この地帯では氣候が温和で水量があり農耕には好適であるが、耕地が小で勞力も少なく且つ運搬が不便であるから地方消費に當てられてゐるのみである。山岳地方には野生の龍舌蘭があつて製綱に適する纖維を供する。牧畜は山岳地方の主産業であつて、河谷の低地及び傾斜地のアルファアルファ牧草地には牛・羊等が養はれ、高地帯草地には羊・リヤマ・アルバカ等が養はれてその獸毛が輸出せられ、羊毛は六〇萬ペルー磅の輸出があつた。

【**鑛業**】 イスパニヤ人がこの地を攻略し、インカ帝國を滅亡せしめたことは金銀に主目的があつた。山地の各地には種々の鑛産があつて、金・銀・銅・鉛・タングステン・水銀等を産出し、約六〇年前にアンデスの横斷鐵道が敷設されたのは鑛物の輸送を目的としたものである。鐵道の開通によつてこの國の鑛業は著るしい發達を遂げ、米・英人によつて大鑛業が經營される様になつた。セルロデバスコ（Cerro de Pasco）は鑛業の中心地であつて、銀は一九二九年に六六八噸（世界の八%で第四位）を出したが、世界的不況によつてその産額は激減を來し、一九三一年には僅かに二八〇噸の産出があつて世界第五位であつた。

銅はオロヤ（Oroya）セルロデバスコ附近に九〇%以上の産出があり、一九三一年の産出は五萬噸あつて世界第六位である。又、銅の張力を増す爲に使用されるVanadiumは世界第一の産出がある。

(3) **森林地帯** Cord. Oriental 東斜面の森林地帯 Montana と稱する山地森林で、太平洋岸と反對に降雨

の多い（二五〇〇耗以上）而して暑いところで植物は鬱然とした所をなしてゐる。東部低地は肥沃であつてセルッアスをなし、種々の熱帯産物がある。イキトス（Iquitos）は森林地のコカ及びシンコナを多く集散し、棉花・甘蔗・コ、ア・珈琲等が栽培せられてこの港から輸出せられる。運搬に多大の勞力を要する爲に、高價で且つ軽いものが選ばれて耕作されてゐる。ゴム全盛時代にはイキトスは著るしい發展をなした所であつて、北東部の重要な貿易港で且つ軍事上の要地を占め、製材・線綿・製帽等の工業も行はれてゐる。

【**註**】 **日本移民** は約二萬あつて、海岸地帯の農業地に居る者が多く甘蔗・棉花の耕作に従つてゐる。我が移民の最初の渡航は明治三二年で、南米に於いて最も早く移民した所である。沙漠地帯を開拓して非常な奮闘努力をなした結果人口を増したのであるが、近來都市に集る者多くカリヤオ・リマの兩市に多數の日本人が居て各種の業に従つてゐる。

【**交通・都市**】 リヤマ（Lima）はアメリカ駱駝と言はれ山地の交通に適した動物であるから、アンデス地方の運搬・交通に使用されてゐる。交通路は多くは馱獸の足跡であつて Road ではない。然しインカ帝國の様なインデアンの文明國では古くから立派な道路が通じ、多數の軍隊を有してゐたのである。リヤマは速度が甚だ小で一日に二〇——二五軒を行くに過ぎないから、イスパニヤ植民地時代にはインデアンを強制的に使役して鑛物運搬をなさしめた。

鐵道の敷設はこの山地の交通に一大變革を與へ、Callao—Huancayo 間と Peruvian Central Railway（四二〇軒）及び South Peruvian R.（五二五軒 Mollendo—Puno）の兩線は交通的價値が極めて大である。ペル

一國の西岸のカリヤオからアンデス鐵道によつて東行し、自動車・馬・汽船によつてイキトスに出るには三週日以上を要するが、汽車と飛行機・自動車・飛行船によれば二十五時間で達し得ることゝなつた。

リマ(Lima 27)はペルー共和國の首府でリマツク(Rimac)河に沿つてゐる。もとインカ國の豪族リマツクの住した所であつたが、ピザロに征服せられてイスパニヤ領南米の首都となつた。綿織・日用品の製造が行はれ、日本人は約一萬人この地に住して商業に従つてゐる。カリヤオ(Callao)はリマの外港でペルー第一の貿易港である。この國の工業の中心地であつて、醸造・製粉・雜貨等の工業が發達してゐる。モレンド(Mollendo)はカリヤオと同様に内地に入る門戸で、鐵道によつて内地の鑛業地に入ることが出来る。

【註】インカ帝國とはペルーを中心として起つたインデアの文明國で、極盛時代には北はコロンビヤより南はボリヴェイヤ・チリに達する版圖を有し、アンデス山地に狭長な國家を形成した。紀元十一世紀にManco Capacが出現してインカ國を起し、爾後一五三二年にピザロによつて滅ぼされる迄続いたもので、氣候の溫和なアンデス高地に起つた文明國である。クスコ(Cuzco)はその首都として繁榮し人口は二〇萬を有した。現存する石造の宮殿・天文臺・ピサツクの要塞等は往時の文化を物語るもので、彫刻物や土器・織物・編物・或は手術を施した頭蓋骨等によつてもその發達の狀態が知られる。

第四節 エクアドル(Ecuador)(面積三一萬方浬 人口二〇〇萬)

【地理區】

國名エクアドルは赤道の意であつて、この國を地理的に區分すれば①海岸低地②アンデス山

地③アマゾン盆地の三地理區となる。

(1)海岸低地　グアヤキル灣(Gulf of Guayaquil)以北の太平洋岸には海岸山地があつて、ペルーの海岸山脈の續きをなし、アンデス山地との間には低地帯が南北に走つてゐる。この低地を南流するものが Daule, Vinces の兩河であつて、下流は相合してグアヤス河(Rio Guayas)と稱せられグアヤキル灣の凹入部に注いでゐる。



第95圖 エクアドル國の地理區

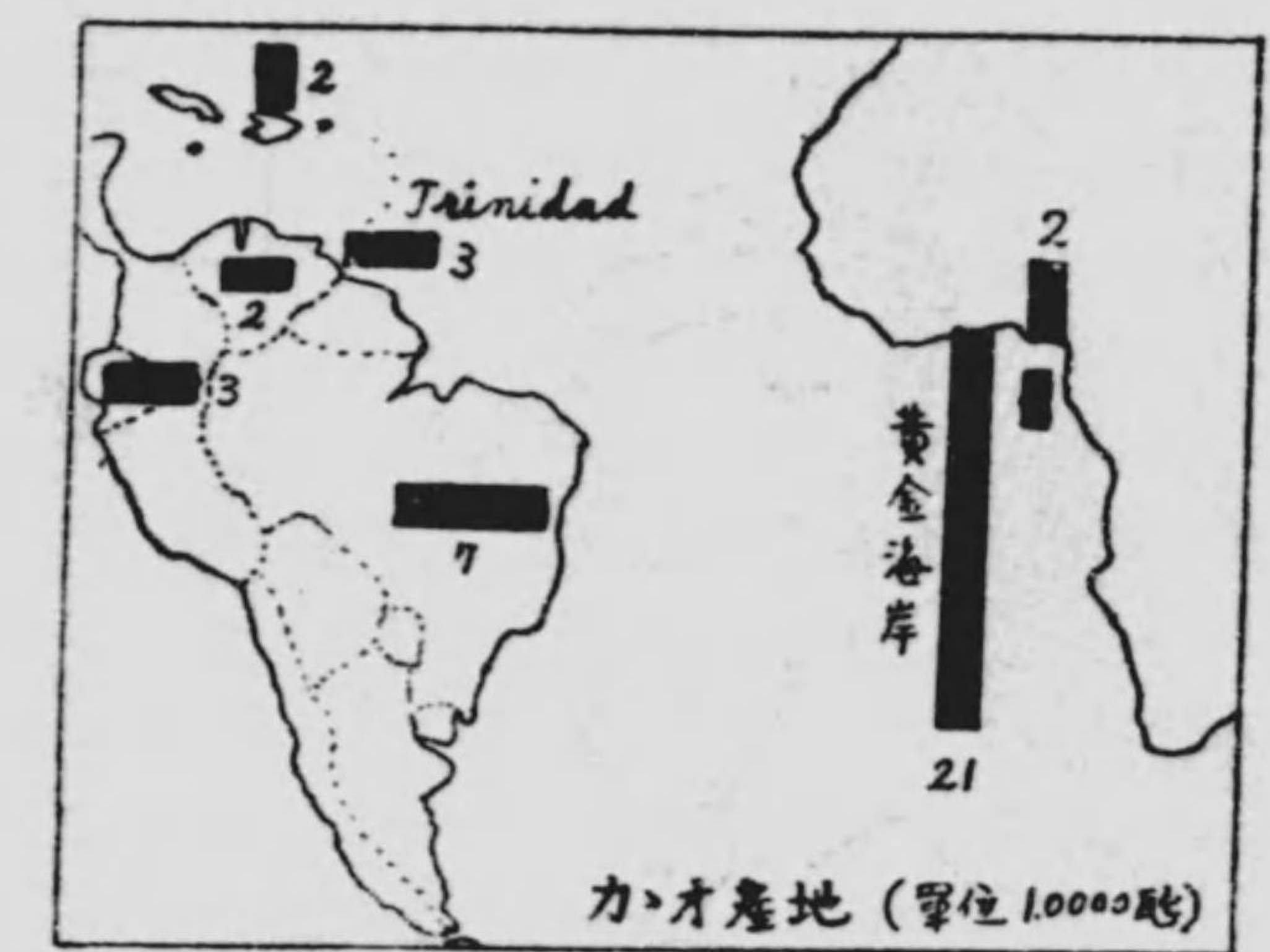
カ、オ(Caño)はこの地方が世界の原産地であつて、年平均氣温二四—二八度、年雨量は二〇〇〇耗以上を要件としてゐるものであるが、強い日光をさけて日蔭に栽培される。エクアドル低地はカ、オに最も適した所で、大戰前には世界の1/3を出してゐたが一九一六年と一九二二年の害蟲發生によつて産出量を減じ、アフリカの黄金海岸地方が最も大なる産地となつた。現在はアメリカ全體の産出量が世界の1/4(一九三一年は一四萬噸)を出すに過ぎない。グアヤキル(Guayaquil 12)はグアヤス河に沿つた貿易港で、カ、オ・パナマ帽・皮革・棉花等を

黄金海岸	二一・三〇〇〇噸
其他アフリカ	一二・八〇〇〇
南アメリカ	一四・〇〇〇〇
北米及中米	七・五〇〇〇
アジア	六四〇〇
世界總計	五六・〇〇〇〇

輸出する。この地は濕熱の不健康地で黄熱病の甚だしい所であつたが、我が野口英世博士によつて病菌が研究せられてこの病は殆んど退治することが出来た。グアヤキルの對岸よりキトーに至る四五〇軒の鐵道によつて首都に連絡される。

(2)アンデス山地

二條の山脈から成つてゐて平均高度は四〇〇〇mに及び、東コルデラは結晶片岩・片麻岩・花崗岩より成り、西コルデラは白堊紀層及び火成岩から成つてゐる。



第96圖 世界のカ、オ産地

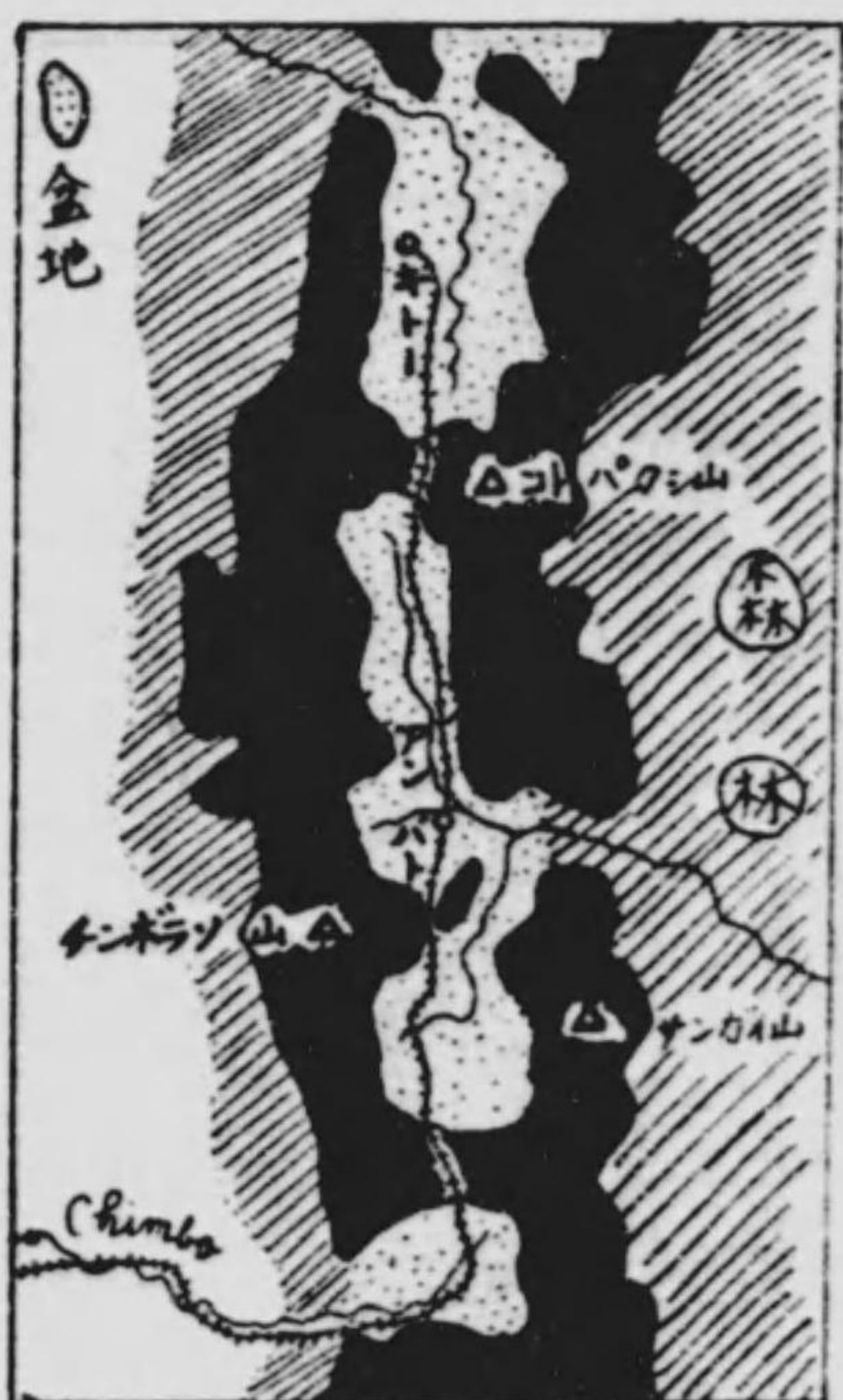
Tierra Templada は珈琲・規那・小麦・大麥を産し、二〇〇〇m以上の高山の冷地 (Tierra Fria) には馬鈴薯を産し、三〇〇〇m以上の高地は常に天候悪く、霜・雪等の多い所で植物の生育を缺き全く不生産の地域である。ペルーのバナと同様であるが、コロンビヤ及びエクアドルではパラモス (Paramos) と稱せられ

てゐる。

キトー (Quito S) 及びアンバト (Ambato I) はこの山間盆地の中心地で、氣候良好な農耕地に位してゐる。キトーはエクアドルの首都であつて、地震と革命によつて度々都市が破壊された。綿工業・羊毛工業は主なる工業である。

(3)アマゾン盆地

この地方は交通未だ不便であつて開拓が十分でないが、林産及び鑛山地として注目されてゐる。アマゾン河沿岸地方にはゴム・キナ等の産出がある。



第97圖 エクアドルアンデスの盆地

【住民】 人口二〇〇萬中約三〇%が白人系で、イスパニヤ人・イタリー人を主としてゐる。その他インディアン・黒人及びインディアンとラテン人の混血種メスチズ族 (Mestizos) 等がある。一五三五年以來イスパニヤの植民地となり、次いでコロンビヤの領土となつたが、一八三〇年その羈絆を脱して共和國となつた。國內の政情は常に不安で度々革命起り、憲法の改正されたことも十數回に達してゐる。東方國境も係争問題を起し、一八二九年及び一九一六年の二回にペルー及びコロンビヤの二國に領土を割き、七〇萬方軒以上を有したものが現在は三〇萬軒 (エクアドルの要求線によれば四五萬方軒) の小地域となつた。

第五節 コロンビア (Colombia) (面積一四四萬方呎、人口一八八〇萬)

【國境問題】

ペルー・コロンビア間の國境地帯は、境界に關する紛争を續けたところであつて、一九二二年に至つて國境に關する條約が結ばれた。この條約によればプツマヨ河 (R. Putumayo) を境界として、



第98圖 コロンビアの地理區

北はコロンビア國に南はペルー國に屬することとなるのであるが、レテシヤ (Leticia) 地方のみはプツマヨ河以南にあるがコロンビアに讓渡したのである。一九三二年の所謂レテシヤ問題は、この地に對するペルー人の不滿が同地を占領するに至らしたものである。ペルー國は自國內の問題であるからコロンビアの容喙すべきでないとして解してその鎮靜に當らしめたが、他方ペルー國では軍艦を送つて待機せしめた。この危機は國際聯盟の勸告を受諾して平和的に理事會によつて取扱はれた。

南米各地の境界は未だ不確定なる部分が存してゐて境界の係争を起し易く、確定されたもの、中にも調査が不充分であつて、將來經濟的價値が増大するに従つてこの種の問題も繰返さるゝものと思はれる。

【地形・氣候】

アンデス山脈はコロンビアの國內に入つて東・中・西の三脈となり、その縱谷を北流す

るものがマグダレナ河である。東コルデレラ (Cordillera Oriental) はマグダレナ河本流の東部に連亘してペリハ山脈 (Sierra de Perija) と呼ばれ、マグダレナ河及びマラカイボ湖の分水嶺をなす。Central Cordillera はマグダレナ河及びその支流カウカ河 (Cauca) 間の山脈で、クインヂオ山脈 (Quindio Cordillera) とも稱せられる。その西にある西コルデレラ (Cordillera Occidental) と共にコロンビアの山岳地帯をなすもので、

氣候は垂直的に變化し一〇〇〇m——二五〇〇mの高地は溫和であつて健康に適し、一年は二期の雨季と二期の乾季とがある。三〇〇〇m以上の高地は Paramos の地域で雲霧が多く生産に乏し。



第99圖 コロンビアの珈琲産地

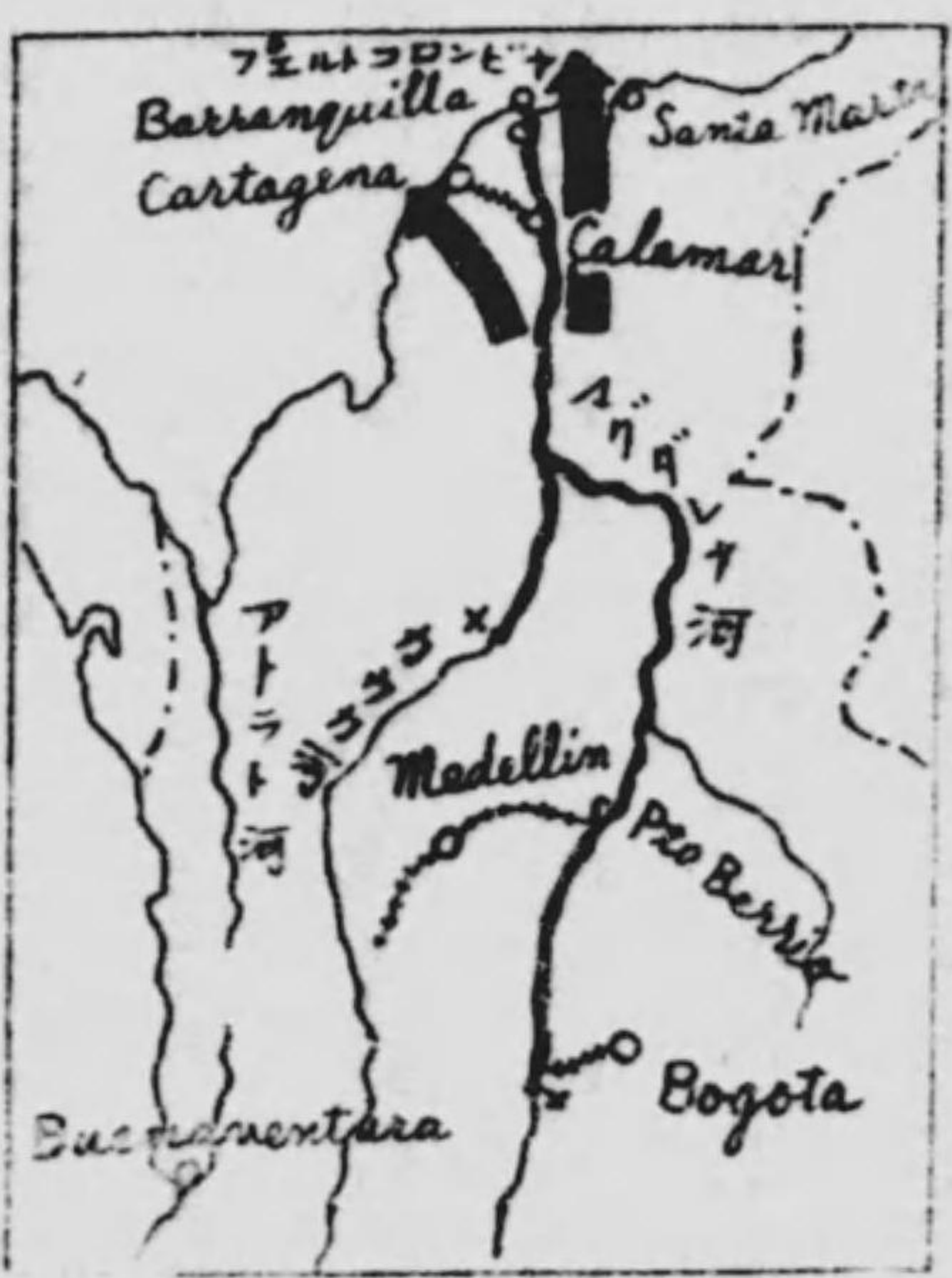
太平洋岸には海岸山脈をなすチヨコルデレラ (Choco Cordillera) があつて低い山地をなしてパナマ國に續き、その東には低地が存在してそこをアトラト河 (Atrato) が北流してゐる。氣候は濕熱であつて Coconut, Yagna, Cacao, 護謨・バナ、・珈琲等の生産が豊かである。北方のマグダレナ河流域には廣い平野があつて、支流カウカ河と共にコロンビ

ヤ國交通の大動脈である。氣候は濕熱であつて熱帯性の森林地帯となつてゐる。東部低地は國土の3/5を占め、その北部はリヤノスに屬し南部はセルヴァスの一部を占めてゐる。エクアドル・ペルーの東部低地に比して人口密度が大である。

であつて、品質は良好で苦味のない珈琲である。

(3) カリブ・コロンビヤ

【産業】 マグダレナ低地は森林の豊かな地帯で、規那・Yagua, Cedar, Wax-Palm 等の有用植物が多いが組織的でないから産額も大でない。Tarma は鉛製造に使用されるので、主として獨逸・米國等に輸出せら



第100圖 マグダレナ河の交通

れてゐる。棉花栽培の業は近來漸く發達し、大西洋海岸地とカウカ流域がその中心である。然し目下の所では國內の需要を充すに過ぎない状態にある。バナ、は理想的の栽培地と言はれ、カリブ海岸の Santa Maria 地方では米國人の經營する United Fruit Co. がその所有地を土人に小作せしめてバナ、を栽培し、この地方の産出品と共に米國に送つてゐる。甘蔗はマグダレナ河の下流地方で耕作せられ、Cartagena-

Calamar Railway 地方は主な耕作地をなしてゐる。かゝる産業は何れも有望なものであつて、其の耕作は好適なものであるが、資本と勞力の不足である爲にその發達は著るしくない。

石油 は南米に於いてヴェネズエラに次ぐ産油國で、一九三一年には一八〇〇萬バレルに達した。その産地はマグダレナ河流域で、Santander 州のインファンタス (Infantas) 油田がその中心地となつてゐる。鑛床は背斜構造の地層中にあつてインファンタス背斜と呼ばれてゐる。

【交通】

Magdalena 河はコロンビヤ國の主要交通路をなし、河口より一〇〇〇軒の上流に至る迄舟運がよく行はれてゐる。山脈が南北走して東西の交通を妨げてゐることは、河川の利用を一層大ならしめるものであつて、この國では鐵道線は河川の補助的交通線となつてゐる。一〇〇〇隻以上の船舶が河川交通に利用せられ、Barranquilla, Cartagena の兩港を二大貿易港として河川運輸が行はれてゐるが、一九三〇—一九三一年には世界經濟の大荒慌の影響によつて貨物輸送の減退を來した。カルタヘナ港はマグダレナの河港カラマルと鐵道によつて結ばれて、バランキリヤに對する貿易港をなしてゐる。工業市メデリンの外港は河岸の Berrío 港で鐵道によつて結ばれてゐる。首都ボゴタも同様に鐵道によつて Honda の河港と結ばれてゐて、マグダレナ河の舟運によつてカリブ海に出ることが出来る。

【貿易港】

バランキリヤ (Barranquilla) はこの國第一の貿易港で、海外輸出品の過半はこの港によつて取引されてゐる。この港の輸出額の九〇%は珈琲でコロンビヤ國の珈琲港をなしてゐるが、石油の輸出も次第に増加を示してゐる。バランキリヤの補助港はプエルトコロンビヤ (Puerto Colombia) である。カルタヘナ (Cartagena) は第二の貿易港で良港灣を有してゐる。バランキリヤとの間に貨物の爭奪が甚だしく競争港をなしてゐるが、貿易額はバランキリヤよりも少なく2と1の比を示してゐる。

(4) 東部平野

平原地はコロンビヤ國面積の3/5を占め、南方エクスアドルの森林地に比すれば經濟的價値は一層大である。南部のセルヴァスではゴム樹が有用であつて、Putumayo 河によつてブラジル國に送られ

てゐる。北部のサヴァンナ地では牧畜業が発達してゐて、牛皮革の産出が多い。文化地帯をなす高原地とこの低地間の交通は容易であつて、畜産物は高原地に送られてから取引される。

【住民】 全人口は約八〇〇萬で、人口密度は一方約七人である。太平洋岸及びカリブ低地は共に濕熱であつて人口密度は小であるが、中央コルデラ及び東部コルデラの珈琲地帯に最も人口が多い。この珈琲が経済的に最も價值あるもので、人口の大部は珈琲の栽培によつて養はれてゐる。住民の中で五〇%がイスパニヤ人とインデアンの混血種メスチゾ族(Mestizos)で、純白人は約二五%を占めてゐる。白人と黒人の混血種ムラット族(Mulattoes)は一三%で、その他黒人・インデアン等がある。ラテン系の常として國民は一般に陽氣であつて、音楽・文學等を熱愛する者多く、漫談・雑談等に時を移すのである。チュートン系の植民地に見る如き活動と勤勉は、この地には缺けてゐる。

【教授】 ブラジル國と共に南米のコーヒー國をなし、兩國共コーヒーが第一の富源をなしてゐる。其の生産地帯・輸送・貿易等について比較することが大切である。コロンビヤ國の河系が北流してカリブ海に流入することの利益(アメリカ合衆國との貿易關係)を考察せしめたい。

第六節 南アメリカの屬島

【フォークランド】 Falkland (英)

英國の直轄植民地で、東・西フォークランドの二大島と二〇〇餘の小島とから成り、面積は一萬方籽餘である。アンデス山脈の南部の續きをなすもので、最高のアダム山は七〇〇mの高度を有してゐる。一八三三年英領となつた島で、寒い暴風が強吹くので樹木なく、Tweed-grass が生じてゐるから牧羊が行はれ七〇萬頭に達してゐる。住民は約三〇〇〇人で大部がスコットランドからの移住民である。首府はスタンレー(Stanley)である。

【フェルナンデス島】 Juan Fernandez (智利)

チリ國の西方六五〇籽の海上にある小島である。一七〇四年スコットランドの水夫アレクサンダー・セルカークが乗船に遅れて、以來四年間孤獨生活を續けて漸くにして助けられた。この青年の物語によつてロビンソンクルソーの漂流記が生れた。この島は僅かに牧畜業が行はれてゐる。

【ガラパゴス諸島】 Galapagos (エクアドル)

エクアドルの西方一一七〇籽の海上にある火山島群で、その面積は七〇〇方籽である。ガラパゴスは西語の龜の意で、珍らしい陸龜の居たことから名づけられたもので、現在は Colon 島と改稱されてゐる。パナマに對する軍事上の要地にあるから、合衆國は一九一一年その租借を申込んで拒絶された。フンボルト海流の影響を受けて氣候は溫和であり、棉花・甘蔗・パイナップル等を産出する。

第五編 北アメリカ洲

第一章 概説

【北アメリカ洲】(North America) (面積二一八〇萬方呎)

(人口一七〇〇萬)

北アメリカはパナマ地峽によつて南アメリカに連続した大陸で、南部の小地域のみ熱帯に属し他の大部は温帯で、地味も肥沃であり天産も豊かで、合衆國の如きは殊に著るしい發達をなしたのである。メキシコ以南はラテン人の植民により、カナダ及び合衆國の地はチユートン人の植民地として發達した。その開拓は新らしいのであるが、舊世界の文化地帯にも劣らない進歩を示し、アメリカ合衆國の如きはその富強を全世界に誇るに至つたのである。地理的に見てもオーストラリヤ・アフリカ・南アメリカ等の大陸に比して最も複雑な大陸である。

【南北アメリカの對比】 南アメリカの地形を記述するに當つて、ウエーゲネルの大陸移動説を引用してその構造を述べたのであるが、之によれば兩大陸の類似點は極めて合理的に説明される。

自然上から南北アメリカを對比すれば、その外形が共に北に擴つた三角形の大陸をなすばかりでなく、西部には大山脈が太平洋岸に連亘してゐることも極めて類似して居り、中央に一大低地があつて東部には何れ

も高地を有してゐて——三大地形區をなしてゐる。構造上南米のブラジル臺地及びギアナ臺地は何れも楕狀地をなし、北米ではアークオゾイック及びプロテロゾイックの結晶片岩・片麻岩・花崗岩等から成るカナダ楕狀地が存してゐる。南米の中央部には、オリノコ低地・アマゾン盆地・ラプラタ平原が横はつてゐるのに對して、北米ではミシシッピ低地の堆積平原がある。西部では褶曲山脈が南米から北米に迄續いてコルデラ山系をなし、其處に環太平洋火山帯が通過してゐて多くの火山が噴出してゐる。

氣候上から見れば南米は炎熱多雨であつて北米は氣候の良好な温帯地がその大部を占めてゐる。その爲に南米では植物がよく繁茂して植物大陸をなし、セルヅアスの如く廣い熱帯森林があるのに對して、北米ではミシシッピ流域の大平原はプレーリー(Prairie)と呼ばれる草地をなす。

人文上からこの兩大陸を比較すれば所謂新大陸の地であつて、原住民のインデアンはインカ帝國の如き一部を除けば、その文化は甚だ低い状態にあつたのである。一四九二年コロンブスによつてこの New World が發見せられ、久しい發見時代と植民時代を経て獨立國が兩米の地に生じた。この間にヨーロッパ人は絶えず舊大陸より新大陸へと流入して聚落・交通・産業・政治等何れもそのヨーロッパ化が著るしいのであるが、南米の各地は未だその不調和が甚だしい。チユートン系に先んじたラテン人の植民地は主として南米であつて、發見時代には熱帯性産物の多い土地がより重要であつたことに依つてゐる。北米ではイギリス人・フランス人によつて植民せられ本國と同様に氣候の温和な所であつたから、早くから移住民を招來したことは南

米と異つてゐる。この地では主として北歐人によつて開拓せられ、南米の植民地に比して非常に活動的であり、單にヨーロッパの文明を取入れただけでなく、合衆國では立派に發育して政治・經濟其の他に於いて世界の特殊な指導的位置にある様になつた。

然し兩大陸ともその發達が極めて新しいことは共通であるから、地理的諸事象が歴史によつて支配されることは少なく、産業の發達・都市の發達等はすべて現在の地理的關係を明示してゐる。かくの如くこの兩大陸は、自然及び人文上の類似點を多く有すると共に、またそこには幾多の相異點を見出すことが出来るのである。

【アングロアメリカ】(Anglo-America) アメリカ合衆國及びカナダは、主としてイギリス人によつて開拓された所であるから、アングロアメリカと稱せられてゐるもので、北米の南部及びメキシコ以南は南米の如くラテンアメリカである。メキシコ共和國は北米のラテンアメリカ中の最大なるもので、其の他中米諸國・キューバ・ハイチ・サントドミンゴ等の共和國がある。

ラテン族は南米の各國に於ける如く一般に遊惰であつて、且つ勤勉でないけれども、チユートン族の植民地は産業及び文化が何れも發達した。植民時代に入つて英國人はアメリカの東海岸ジェームスタウン、ニューヨーク附近に植民して次第に内地に入つたが、一方フランス人は十七世紀の初めにセントローレンス河地方に植民し内地に進んだのである。英佛兩國は世界の各地に於いて植民地の争を起し、北米では十八世紀の

初めにクエベック城を英軍に破られて、佛國の勢力は次第に衰微しカナダは全く英國の有に歸した。

アメリカ合衆國はイギリスの植民地より獨立したもので、アングロサクソンの開拓地である。英國はもとアメリカ植民地に對して諸外國との貿易を禁じ(航海條例)又、植民地の棉花・砂糖等の産物を英本國以外の國への輸出を禁じ、(通商條例)などして植民地の發達を障碍することが甚だ大であつた。その上一七六五年には印紙條例を發し、更に一七六七年には輸出品に課税するに及んで、植民地の住民は之に反對し益々本國及び植民地間の感情の疏隔を來し、一七七六年獨立を宣言したのである。ヨーロッパ諸國は合衆國の獨立を援助したので遂に英國は合衆國の獨立を認め、ミシシッピ河以東の地を割讓したのである。それより國勢は次第に大となつて兩米の指導者となり、版圖を四方に擴張して太平洋沿岸迄達したのである。

米國は太平・大西の兩洋によつて世界の強國から離れた有利な地理的位置にあり、世界に於いて最も豊かな富源の所有者であつて、世界大戰に於いて歐洲諸國が全く經濟的にその活動を中止せざるを得なかつた機會に一躍して世界の強國となつたのである。チユートン系住民の活躍を大いに發揮して、局地強國より世界強國へと進んだことは驚異に價するものがある。

【教授】こゝでは北アメリカの特色を知らしめることを目的となし、主として人文關係にその内容を求めた。先づ北アメリカの大きな特色を授ける目的にあるので、第二章では自然景域を理解せしめて次に地誌に入り、最後にはその總括をなすといふ順序がよからうと思ふのである。

第二章 自然景域

第一節 地形誌

【地形區】 北アメリカ大陸は北方に廣い三角形の大陸で、南北に並走する帶狀の地域を區分することが出来る。大西洋岸には狭長な海岸平野があり、その西にはアパラチャ山脈及びブラドル臺地から成る Atlantic Mountains があり、南は合衆國のジョージヤ州から北は北極海諸島・グリーンランドに迄及んでゐる。西部山地はロッキーマウンテン・カスケード山脈・シエラネヴァダ等から成る雄大な山地群であつて、太平洋岸山地 (Pacific Mountains) をなしてゐる。この東西兩山地間に大陸盆地 (Continental Basin) が横はつてゐて、メキシコ灣からハドソン灣に續く低地を形成する。大陸の南部ではカリブ海岸に沿つて Antillean Mountains の一區があり、中央アメリカ及び西印度諸島の地域を占めてゐる。

地形區

- (1) 海岸平野及臺地。……大西洋海岸平野・メキシコ灣海岸平野
- (2) 大西洋岸山地。……アパラチャ山脈・ニューイングランド・ローレンシヤ高地・グリーンランド
- (3) 大陸盆地。……ブレイリー
- (4) 太平洋岸山地。……ロッキーマウンテン・カスケード山脈・シエラネヴァダ・シエラモレナ・海岸山脈
- (5) アンチル山地。……中央アメリカ・西印度諸島

(一) 海岸平野及び臺地 大西洋海岸平野 (Atlantic coastal plain) 及びメキシコ灣海岸平野 (Gulf coastal plain) は北アメリカに於いて最も廣い地域を有する海岸平野であつて、海洋に向つては緩かな傾斜をもつて終つてゐる。大陸棚の部分に沈積した海成層が隆起してこの平野をつくつたもので、砂質・粘土質・泥炭質等の累層から成る耕地である。アパラチャ山脈の山麓臺地と海岸平野は、地質構造上著るしい差異があるので、この上を東流する諸川は侵蝕の差を生じて山麓臺地端に瀑布線 (Fall Line) を造つたのである。

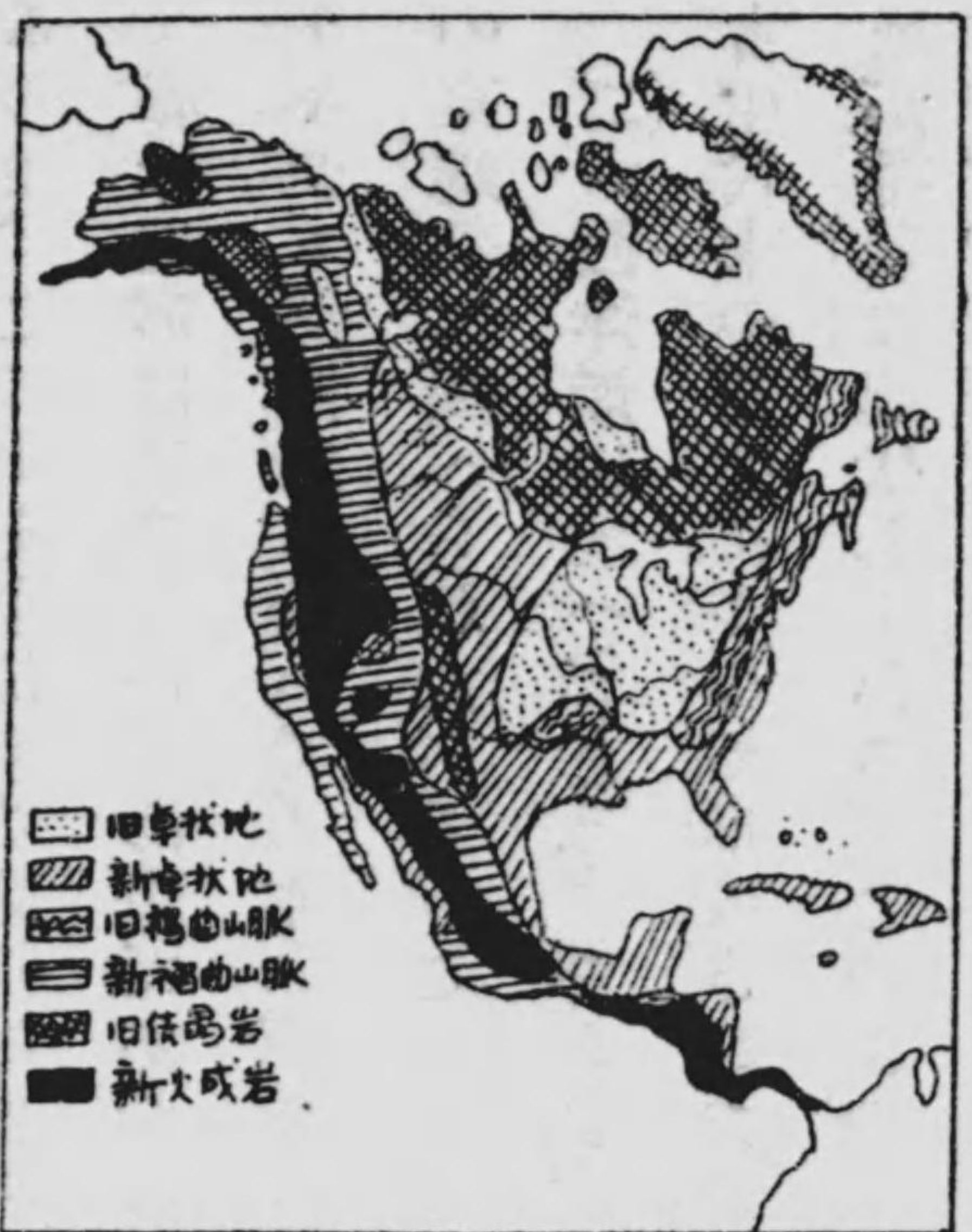
海岸地形は單調な砂濱海岸であつて、沿岸潮流によつて沿岸洲 (Offshore bar) が形成されること多く、テキサス海岸地に於いても亦大西洋岸にも斷續してゐる。ハッチラス岬 (Cape Hatteras) の如きは沿岸洲の東端部に與へられた名で、この沿岸洲の内部には各所に潟が存在する。

(二) 大西洋岸山地 (Atlantic Mountains) 南部はアパラチャ山脈 (Appalachian Mts.) の部分であつて、古生代末の褶曲によつて形成された薄殼型 (Thin-shelled type) の標式的褶曲山地であり、背斜と向斜の地域が帶狀に起伏してゐる。この山地は長期の侵蝕によつて一度準平原となり後に隆起して侵蝕が復活した重輪廻の褶曲山地である。その西部の主要部は Blue Ridge ヲレガニー山地等であるが、その東部では Piedmont Plateau と稱せられる波浪狀臺地で、こゝに瀑布が懸つて瀑布帶をなしてゐるのである。

北東部のニューイングランド (New England) はアパラチャ山脈の連續であるが、花崗岩・片岩・片麻岩等の結晶岩から成つてゐる。アパラチャ系褶曲山地と北部のローレンシヤ高地 (Laurentian Upland) は、

セントローレンス低地によつて區分せられてゐる。ローレンシヤ高地はカナダ楯状地(Canadian Shield)と稱せられる舊地塊であつて、グリーンランド・北極洋諸島・ニューヨーク州の山地の地域に涉つてゐる。

ローレンシヤ高地の一部であるラブラドル臺地(Plateau of Labrador)は、ハドソン灣の淺海と大西洋間に存在してゐて、その臺地上には無數の湖沼が散在してゐる。これは氷河の侵蝕によるものであつて、洪積期に於けるラブラドル大陸氷河がこの臺地面を被覆して四方に流出し、臺地上には氷河湖を造り海岸にはフィヨルドを形成した。



第101圖 北アメリカの地體構造

單純な平原ではなく、ミシシッピ河沿岸にあるオザク高原(Ozark Plateau)の南部及びオウアキタ山地(Onachita Mountains)に於ては、地形・地質がアラチャ山脈に類似してゐる。

ハドソン灣はラブラドル臺地・バフィンランド等によつて圍まれた内海で、カナダ楯状地の上を最深部に於いても僅かに二〇〇mの淺海に被はれたトランスグレッション海である。従つてハドソン灣岸低地(Hudson Bay Lowlands)はハドソン灣に向つて傾斜してゐて、洪積期に於ける氷河の流動の方向とは反對に河水は灣に向つて流入してゐる。

カナダ及び合衆國の境上に存在する五大湖——Superior, Michigan, Huron, Erie, Ontario 及びカナダのWinnipeg, Reindeer, Athabaska, Great Slave, Great Bear 等の諸湖は何れも氷河湖であつて、カナダ楯状地の舊地塊と四周の堆積層との接觸する位置に氷河の侵蝕によつて大湖列が生じた。

(四)太平洋岸山地(Pacific Mountains) ロッキー山脈(Rocky M'ts.)を主脈として形成されてゐる山系で、北米のコルデラと稱せられるもので、第三紀の造山作用によつて隆起した若い褶曲山脈である。コルデラはアラスカに於いてアラスカ山脈と對曲をなしてゐる。ロッキー主脈の西部にはカスケード山脈(Cascade Range) シェラネヴァダ(Sierra Nevada)があり、メキシコでは東西のシエラマドレ(Sierra Madre)となつてゐる。

アメリカ合衆國の地方ではその幅員が最も大であつて、こゝに多くの山間盆地がある。その北部にはコロンビヤ臺地(Columbia Plateau)があつて一大高原狀の臺地をなし、厚い熔岩が臺地面を被覆してゐて、この高原をコロンビヤ河が西流する。この南部には大盆地(Great Basin)があつて沙漠性の地域をなし、内陸流域(Inland drainage)となつてゐる。南部のコロラド高原の乾燥地を流れてゐるコロラド河は、この臺地に大峽谷(Grand Canon)を造つてゐる。この地帯に火山帯が南北走してゐるもので、アラスカでは高峻

な Mc. Kinley (6187m) Rogan (5948m) があり、合衆國に入つて Shasta (4336m) Lassen (3181m) メキシコでは Popocatepetl (5452m) Orizaba (5552m) 等の諸火山がある。

海岸山脈 (Coast Range) は太平洋岸に沿つて連なり、その東部には狭長な低地帯があつて、北はビューレット灣 (Puget Sound) から中央のカリフォルニア平原を過ぎて南走し、インピリアル谷 (Imperial Valley) よりカリフォルニア灣に達する全長四〇〇〇軒の低地帯がある。この低地帯を Pacific Coast Valley と呼び、コルデレラ山系の一大向斜部に相當するもので全くの地溝ではない。アフリカの大地溝に比してその長さは小であるが、地球周囲の約10に當る大規模のものである。



第102圖 北米の地向斜地帯

【大陸の地向斜】 ジウスはシエラネヴァダの積きがシエラマドレであると解してゐるのであるが、Kober に従へばシエラマドレはロッキーマウンテンの延長であつて、カリフォルニア灣は内部臺地の延長と見なしてゐる。コーベルの見解によれば、この北米造山帯は兩側の古期の地塊によつて壓縮せられた一大地向斜 (ジオシンクライン Geosyncline) であつて、プレコルデレラは隆起したフォアランドの一部であり、地向斜を隆起せしめた西部の前陸地は海底に没したのである。其の他に東部の地にはアバラチャ山地及びオウアキタ (Onachita) の兩褶曲山



第103圖 北アメリカの造山帯

脈地があつて古い地質時代の地向斜が壓縮せられて隆起した。過去の地質時代には淺海によつて覆はれたプリズム狀の地向斜部が褶曲を受けて隆起し、更に侵蝕を受けて現在の地形となつた。

(五) アンチル山地 (Antillean Mountains) 中央アメリカの山地は、コルデレラ山系の如く南北の走向を有するものでなくその系統を異にしてゐる。グアテマラ及びホンジュラスの山地では東西の方向を取つてゐて、西印度諸島との連絡關係を明示してゐる。中央アメリカは西印度諸島と共に所謂アンチリヤ大陸を構成したもので、アメリカ地中海と呼ばれてゐるカリブ海 (Caribbean Sea) メキシコ灣 (Gulf of Mexico) の陥没によつてその連絡は中斷せられた。その斷片の一部が中央アメリカの山地で、その東には大アンチルの列島が存在してゐる。

西印度諸島は大アンチル列島・小アンチル列島・バハマ諸島の三部に區分せられる。大アンチル列島は片岩・花崗岩・古期噴出岩等の地質から成り、中央部のハイチ島 (Haïti) では山脈が三列に分れて西走してゐるが、その南部の一脈はジャマイカ島からホンジュラスに連絡してゐる。この三列はポルトリコ島で結合してゐて、ヒスパニオラ分岐 (Hispaniola Virgation) と呼ばれる。かゝる大陸島列の存在に對して小アンチル列島は火山及び珊瑚礁から成り、南米のアンデス山脈に續く弧狀の島列をなしてゐる。バハマ諸島は珊瑚礁

から成る諸島であつて、フロリダ半島に續いた淺海底上に生じたものである。

最新世 (Pleistocene) 氷期と其の地形

【大氷期】

地質時代を通じて見るに、著るしい氷河時代は幾度かあつたものであるが、最も新しい大氷

期 (Great ice age) はブライストーションに於けるものである。

従つてその退却後に於ける侵蝕地形及び堆石の分布等も明らかであつて、現在の地形を支配することが大である。カナダ中央

平原の湖沼・ラブラドル半島の氷蝕地形・合衆國境上の五大湖等は何れも氷蝕によつて形成されたのである。北アメリカに於

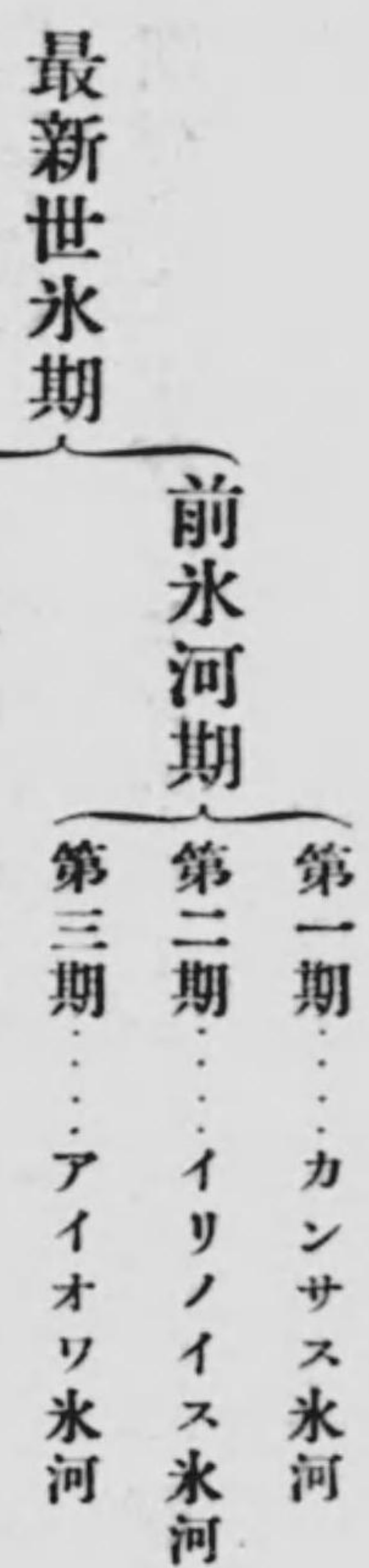
いて現存する水河地域は、グリーンランド島・コルデレラ山地等であつて、コルデレラ山地では Alpine type を示しアラスカ

では Piedmont type をなし、グリーンランドでは大陸氷河 (Continental glacier) をなしてゐる。

ブライストーションに於ける北アメリカの水河は、Chamberlin, Salisbury, 兩氏の研究によれば前後五回の氷期と四回の間氷期があつたのである。前期の三時代の後には温和な氣候となつて生物が北方に迄繁殖し、比較的長いこの間氷期 (Inter-glacial time) の生物がトロント層中の化石によつて示される。



第104圖 北米に於ける最新世の水河



この氷期には北米の陸地は大隆起をなしたもので、ロッキーマウンテンの如きも現在よりも著るしく高くこゝに

最も早く氷河が發達した。第一〇四圖に示す如く氷床 (Ice-sheet) の中心は Cordillera, Labrador, Keweenaw

の三箇あつて、第一期のカンサス氷河はラブラドル氷床より來れるものでカンサス州・ミズウリ州に達した

のである。第二期の場合にはイリノイス州・ウイスクンシン州・オハイオ州の地域に及び、ラブラドル氷床

の南下したものであることは第一期と同様である。第三期の氷期の後は長い間氷期があり、之に次いで後氷

河期があつたのであるが、その間に一の間氷期を有して居り、その地形は變形されることなしに保存され

た。

【氷床地形】

氷床は陸地全面を被覆して流動するから、丘陵地の如き部分は次第に侵蝕せられて低くな

り、氷河退却後には平坦な地形を呈する。カナダ東部に氷床の二大中心が存したことは、堅い岩石面の條痕

の方向や堆積物の存在によつて定められたのである。カナダ楯状地の廣い陸面は氷蝕を受けて低い滑らかな

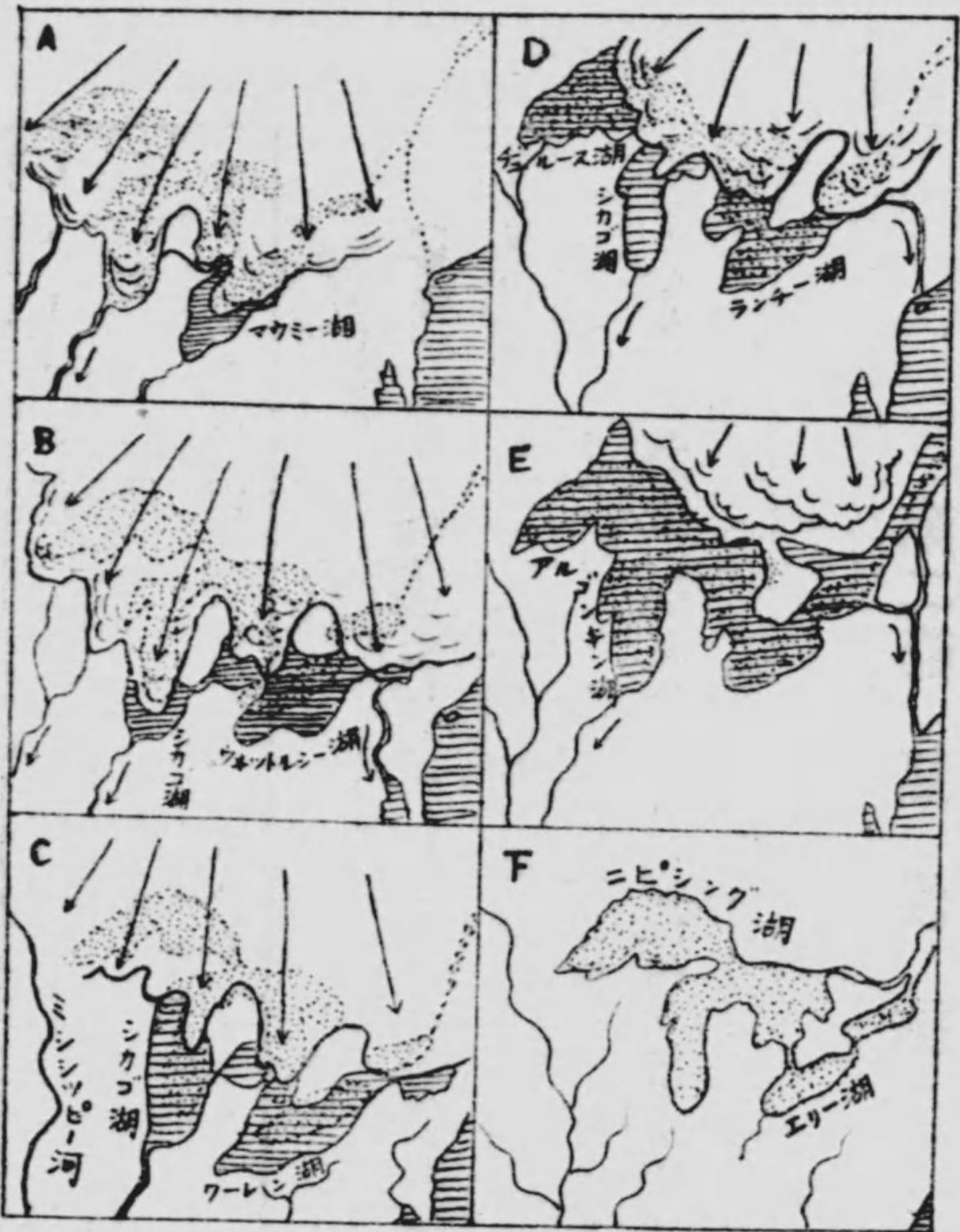
地形を呈し、無数の氷河湖が臺地上に生じた。中央低地にあるアサバスカ湖・グレートスレーブ湖・グレイ

トペーヤ湖等は、カナダ楯状地端の位置を占めるもので、新堆積層から成る周囲の地層が特に氷蝕されて大湖が形成されたのである。

氷蝕作用によつてその地形は滑らかなになり凹凸を少なくしたが、他方では小起伏を地表に現はしたのである。前述の小湖沼列の他に漂石・底堆石の地形ドラムリン(Drumlin)等はその著るしいもので、ウイスコンシン州附近には氷河流動の方向に延長したドラムリンの丘陵が存在してゐる。合衆國北部では終堆石(Terracial moraine)の丘陵地が連つて居り、その北部には五大湖が横はる。

中央平原に當つては嘗つて氷河の南進によつて侵蝕された谷地に湛水した湖があつて、その北方には退却した大氷床があり湖水の北流を阻止してゐた。即ち氷床端の湖であつてその水はミシシッピ河に注いでゐた。現在のウイニペグ湖(Lake Winnipeg) マニトバ湖(L. Manitoba) ウィニペゴシス(L. Winnipegosis)の三湖はその残存であつて、この研究をなして大陸氷河を想定した Louis Agassiz の名に因んでアガシズ湖と呼んだ。又、西方のホルデレラ山地には他の氷床があつたもので、U字谷・懸谷(Hanging valley)等の氷蝕地形を残してゐる。

【五大湖】 大氷床の南部地方では地形及び河流の流域變化をなしたことは著るしい。プライストシオン氷期前には現在のセントローレンス灣は一層西方に入り込んでゐたが、氷河退却後に隆起して陸地となつた。第一〇五圖は五大湖の形成した順序で、その最初は氷河退却によつてマウメー湖(L. Maumee (イリー



第105圖 五大湖形成の順序

湖の前身)が出現し、他の氷河端に發する水と共にミシシッピ河に注いでゐた。氷河の侵蝕谷底が五大湖を形成したもので、舌状のシカゴ湖の如きもその例であつて、東方のワールン湖(L. Warren)の水と共に南流した。その流路は後には東方に轉じてハドソン河によつて海洋に注ぐに至り、又、氷床も次第に後退してアルゴンキン湖(L. Algonquin)の大湖が生じた。氷床の後退と同時に地殻運動が行はれ、土地は曲上(Upswarping)して水準の變化を來し、北東部の隆起があつたのである。カナダ北部の氷床は二—三〇〇〇mの厚層であつたといふから、氷床端の水はその縁邊を北東流してシャンペン海(Champlain Sea)に流入してゐた。現今のセントローレンス河はその流路を保持してゐるものである。アルゴ

湖名	面積(方軒)	湖岸線(軒)	海拔(米)	深さ(米)
スベリオル湖	八三三〇〇	三〇〇〇	一八三	三〇七
ミシガン湖	五七八五〇	二一〇〇	一七七	二六五
ヒューロン湖	五九五一〇	二七〇〇	一七七	二二三
イリノイ湖	二五八二〇	一一〇〇	一七四	六四
オンタリオ湖	一八五八五	八〇〇	七五	二二五

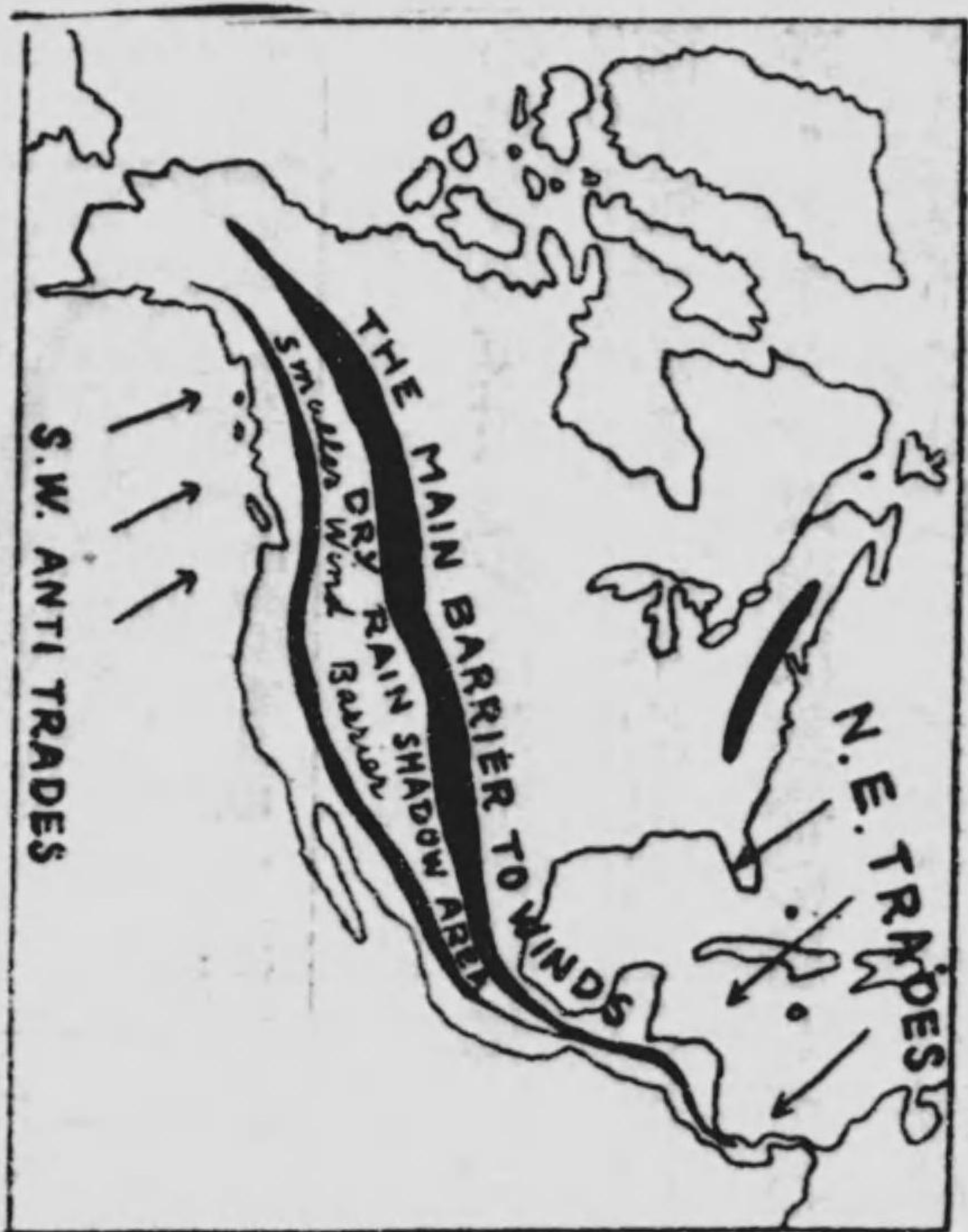
【教授】地形の教授に際しては、地形独自の立場から之を説明することが至當であると思はれる。之を以つて地理教授の域を逸脱したものといふのは餘りの議論であると思ふ。然しこの場合特に留意すべきことは人文との關係の密接な地方例へばニューイングランド・五大湖地方等の地域はより精細にその地形を授くべきである。こゝに於いて自然事項の教授中にも人文との關係に留意したものと云ひ得るのである。

第二節 氣候誌

【氣候の大障壁】

北アメリカの地形が氣候に及ぼす影響について見るに、ア巴拉チャ山脈の如きもその著るしいものではあるが、ロッキーマウンテンは殊に顯著な氣候の障壁をなしてゐる。南西反貿易風(S. W. Anti-

Trade Winds)の卓越する太平洋岸の氣候區は、ロッキーマウンテンの大障壁によつて完全に遮斷されてゐるか、海岸には狭長な西歐式(West European type)の地域が存在する。若しロッキーマウンテンがカナダの東部にあつたものと假定すれば、カナダの大部は氣候が良好となり、ヨーロッパ北部に見る如き氣候がこの大陸の北部に見られたものであらうと思はれる。



第106圖 北米の主風と障壁

【氣溫】

第一〇七圖によつてその等溫線の分布を見れば、一月の等溫線は南に著るしく彎曲してゐて大陸中央部の氣溫の低いことを示すが、太平洋岸は海流の影響を受けて溫暖である。攝氏零度の等溫線は内陸臺地(Intermontane plateau)の大部を包括してゐて、大陸性氣候の状態を物語る。夏七月の状態は、等溫線が一月に於ける場合と反對に北方への彎曲をなし、一六度の等溫線は太平洋岸を海岸に並行して北上し、中央平原ではカナダの北方に至るまで一六度を示してゐる。即ち中央平原では冬に著るしく寒冷となり、夏には反對に著るしく高温を呈する大陸性のところであることを示してゐる。ロッキーマウンテンの大障壁の存在によつて、冬には圖の如く Cold Winds の北風を受けて低温を示し、夏には Warm Winds の南風を受けてゐる。之に反して大障壁の西斜面では海流と西風によつて常に溫和であり、カナダ西海岸には四季を通じて降雨がある。大西洋岸では



第107圖 北アメリカの気温 (一月・七月)

の場合の東西變化は地形の變化に起因した氣候の相違であり、更に南北の變化は緯度の差異によつて生ずる南北性である。年平均気温二〇度の等温線はアメリカ合衆國の南部を通じ、フロリダ半島・メキシコ灣岸平野・メキシコ以南は熱帯に屬してゐる。年平均零度の線はアラスカの太平洋海岸の地方から、内陸ではカナダの南部を通じてラブラドルの海岸に及んでゐるから、北米大陸の大部は温帯に位してゐる。

メキシコ灣流及びラブラドル海流の影響が見られ、カナダ東岸・ニューイングランドではラブラドル寒流の存在によつて気温が比較的低くなつてゐる。かくの如く大障壁を境界として東西にその變化を見ることが出来るが、更に南北の變化を注意せねばならぬ。こ

地名	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	一〇月	一二月	年平均	位
ポストン	(一) 2.8	(一) 2.2	1.1	7.3	13.6	19.1	21.8	20.6	16.9	11.1	4.3	(一) 0.5	北東海岸
セントルイス	(一) 0.6	0.8	6.4	13.4	19.1	23.9	26.2	25.2	21.1	14.7	6.3	1.9	中央平原
サンフランシスコ	9.7	10.7	11.5	12.1	13.1	14.1	14.1	14.3	15.2	14.7	13.1	10.5	西海岸
コロ	26.2	26.1	26.2	26.6	26.4	26.1	26.2	26.0	26.1	23.9	25.9	26.1	中央アメリカ

地名	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	一〇月	一二月	年平均	位
ポストン	94	89	104	97	94	79	89	107	86	94	104	97	北東海岸
セントルイス	56	70	84	90	107	107	90	73	81	63	69	54	中央平原
サンフランシスコ	125	91	82	37	20	5	1	1	10	27	60	104	西海岸
コロ	98	42	41	107	323	340	407	382	322	378	542	297	中央アメリカ
アトリン	22	24	26	11	10	25	25	33	36	27	28	30	カナダ北部
	285	285	285	285	285	285	285	285	285	285	285	285	

【風向・雨量】 氣候上からアメリカ南部を占める熱帯區を分つことが出来る。北東貿易風 (N. E. Trade Winds) の卓越する西印度諸島では、島嶼の北東部風上に常に雨が多く南西部の風下には雨が少ない。中央

地名	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	一〇月	一二月	年平均	位
ポストン	94	89	104	97	94	79	89	107	86	94	104	97	北東海岸
セントルイス	56	70	84	90	107	107	90	73	81	63	69	54	中央平原
サンフランシスコ	125	91	82	37	20	5	1	1	10	27	60	104	西海岸
コロ	98	42	41	107	323	340	407	382	322	378	542	297	中央アメリカ
アトリン	22	24	26	11	10	25	25	33	36	27	28	30	カナダ北部
	285	285	285	285	285	285	285	285	285	285	285	285	

アメリカのコロンでは全年を通じて雨多く年雨量は三二七〇耗に及んでゐる。太平洋海岸地方ではカナダ西海岸及び合衆國の北部地方に降雨量が大きであつて、全年を通じて降雨が見られる。この海岸には南西の逆貿易風(S. W. Anti-Trades)が卓越して北太平洋暖流上の水蒸氣を送る爲に降雨が著るしいのであつて、海岸の各地の雨量は二〇〇〇耗以上に達してゐる。アリユーション列島にある Dutch Harbor に於いては一四

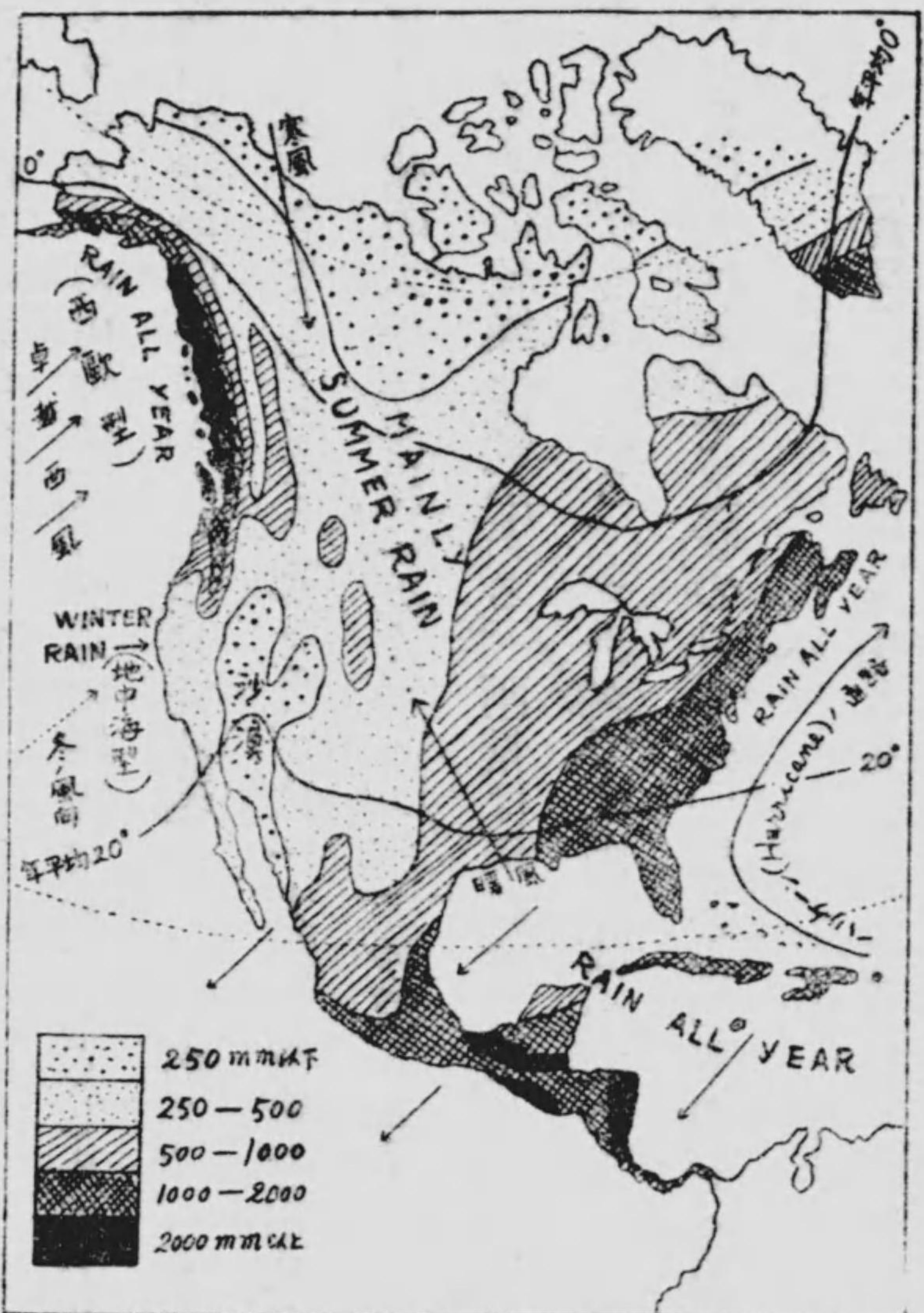


第108圖 北アメリカの降雨季節

〇耗であり、カナダ南部のヴィクトリヤでは六八七耗である。アメリカ合衆國のオレゴン州・カリフォルニア州の氣候は年中春の如き溫和な氣候であつて、氣温は月平均一〇——一五度の間を下してゐる。北半球の冬には南西逆貿易風帯が南方に移動するから、冬季には南西風が卓越してその時だけ降雨があるのであつて、サンフランシスコでは一一——三月の降雨は全年の五六〇耗中四六〇耗を占めてゐる。オレゴン州及びカリフォルニア州の太平洋岸地方は地中海型の氣候區であつて、この地以北の合衆國・カナダ海岸は西歐型の氣候様式をなしてゐる。

大西洋海岸地方はメキシコ灣流の影響を受けて温暖である。チャールストン(Charleston)の年雨量は一二五〇耗あつて四季を通じて降雨が多いが、特に六——九月に最多である。これは旋風地帯にあることが大きな理由であつて、小アンチル列島附近に發達した熱帯旋風(Tropical Cyclone)が北上して、フロリダ半

島から北東に進行してこの海岸に降雨を齎らすのである。この旋風をこの地方ではハリケーン(Hurricane)と呼んでゐる。



第109圖 北アメリカの氣候圖

り、雷雨・陣風を伴つて家屋等を破壊するものである。

【沙漠の分布】

氣候上の障壁をなすコルデラ山系中には、北緯四五度より三〇度に及ぶ山地間に乾燥

の地形によるものが大であつて、西に一大障壁があつて太平洋との氣候的關係が遮斷され、北極海の寒風もメキシコ灣上の暖風も共に妨害物なしにこの平原に直進してくることである。北アメリカ特有の大旋風トルネード(Tornado)は、この温暖な南部の氣流中に寒冷な北部の氣流が突入する爲に生ずるものである。北方のカナダでは春及び夏にトルネードがあり、米國東部では冬・早春に多い。この旋風の通過した地帯は氣温の激變があ

氣候 (Arid climate) の地帯が存してゐる。サハラ沙漠の熱帯沙漠に對して之は温帯沙漠とも稱すべきものであり、その景觀はサハラに於ける如き砂原の打ち續くものではなくして、砂原があり草地があり荒涼たる中にも疎らに植物がある。東部に存在するロッキーマウンテン山脈は東方との氣候的關係を斷ち、シエラネヴァダ・シエラモレナの山地は西方からの降雨を少なからしめてゐる。爲に内陸盆地の乾燥地がこゝに生じたもので、褶曲山脈の關係によつて生じた沙漠の好例である。コロンビヤ河とコロラド河の中間にあるインターモンテン高原 (Inter-montane Plateau) は一大内陸流域を形成し、乾燥地帯は更に南方に迄及んでゐる。カリフォルニア州の太平洋海岸に近くモハーヴェ沙漠 (Mohave Desert) があり、メキシコの北西部にはソノラ地方 (Sonora) の乾燥地帯がある。雨量は何れも二五〇耗以下であつて、二五〇耗よりも少ない部分はこの他にカナダ北部にも見られる。カナダでは雨量は小であつても蒸發量が少ない爲に沙漠とはならないもので、ケツペン氏の雪地氣候で最暖の月も一〇度以上の氣温を示さなう。

【教授】 氣候の東西に於ける變化と南北の差異に注意して教授を進めたい。東西に於ける變化はコルチレラ山系の地形と關係を持ち、帶狀にその變化を認め得るのである。太平洋岸地方・インターモンテン高原、中央平原・大西洋沿岸地方等の區分は東西性によつてゐる。更に南北性の場合には熱帯區・温帯區・寒帯區に分ち得るのである。アフリカ大陸及び南米大陸とこの大陸の氣候を比較して、この大陸が最もよい氣候であり、そこに文明國が起つたことに留意させることが肝要である。

【自然植物景域】

前述の氣候の特色を有する地域に一致して自然植物の地帯があつて、次の八箇の土地を區分し得るのである。地形・氣候・地質等の自然はその儘人類に密接不離な關係を持つものであるが、その自然の上にその土地の特質を物語る植物帯が現出してゐて、更に他方からは人類生活の自然的基礎をなしてゐる。



第110圖 北アメリカの植物景域

(1) ツンドラ (Tundra) カナダでは Barenland と呼ばれるところで、夏季には一〇度に近い温度となつて地表の氷を融解し、蘚苔類が生ずる。アラスカからラブラドルに亘る土地を占め、ツンドラ以北の地は全く氷に被はれた所である。

(2) 松科森林帯 (The Coniferous Forest Belt) は太平洋岸から大陸を横斷して大西洋岸に達してゐる。カナダ森林の大部分はこの森林帯に屬し、木材工業・パルプ工業に重要な役割をなしてゐる。ロッキーマウンテン北部の森林地及びピラチヤ山地の高地森林は矢張りこの森林である。カナダ森林の主要な樹木は樅 (Pine) 及び落葉松であるが、西部のブリチシコロンビヤでは冷温帯森林に見る巨樹ダグラス樅 (Douglas Firs) の樹林がある。

(3) 冷温帯森林 (Cool Temperate Forests) 冷温帯森林は落葉する濶葉樹をもつた森林帯で、合衆國の太平洋岸と北東部の地方を占めてゐる。西海岸の海岸山脈・シエラネヴァダ等にも冷温帯森林があつて、Rocky

Woodと呼ばれてゐる世界の巨樹セコイア(Sequoia)及びダグラス樅があり、北東部の森林地には落葉松・唐檜等の有用材がある。

(4) プレーリー (Prairie) 中央平原地を占めた温帯草地をプレーリーと稱し、第一一〇圖に示す如くメキシコ灣からロッキー山脈の山麓に延びた一線を底邊とし五大湖を頂點とした二等邊三角形の地域で、植物群落の觀點から東西の二部に分たれる。西經一〇〇度の線以東のプレーリーは丈高き草地 (Tall grassland) と呼び、この線以西は丈低き草地 (Short grassland) である。西部では雨量が少なく乾燥草地をなし、放牧の地帯となつてゐる。

(5) 地中海性植物 (Mediterranean Vegetation) 僅かにカリフォルニア州の狭小な地域を占めてゐて、樺や矮樹の叢林 (Chaparral) から成る景域である。

(6) 沙漠及び半沙漠 (Desert & Semi-desert) アメリカ合衆國の内陸臺地からメキシコ高原に及ぶ範圍で、沙漠地と半沙漠地を合した面積はプレーリーにも比較すべて廣大な面積を有してゐる。グレートベースン (Great Basin) は砂原・草地から成つてゐて、その北部には砂原中にサルヒヤ (Sage) の叢があり南部にはクレオソート (Creosote) の香ある小灌木がある。

(7) 暖温帯森林 (Warm Temperate Forests) メキシコ灣岸平野からフロリダ半島・ヴァーヂニア州に至る地方で、松林及び潤葉樹の常緑森林帯である。

(8) 熱温帯森林 (Hot Wet Evergreen Forests) 中央アメリカ及び西印度諸島の低地に於ける森林で、赤道氣候の炎熱多雨の地域を占めてゐる。染料木・ゴム樹・椰子・バナ、等の有用植物が多いけれども、黄熱病其の他の熱帯病が猖獗する所で不健康地である。有用材等は原始林中の水路によつて運搬されてゐる。

【註】 本大陸原産の動植物 本大陸原産の有用植物には馬鈴薯・玉蜀黍・煙草等があり、小麦・棉花・米・甘蔗・珈琲等は他大陸から移されたものである。動物中では七面鳥が原産で、其の他牛・馬・羊・豚等は舊大陸から移入された。この大陸特有の動物には北極熊 (Polar Bear) ヌーマ・野牛・海狸・響尾蛇・プレーリー犬・タピア (Tapir) 蜂鳥等がある。野牛 (Bison) はもとアメリカ平原に無数に群居してゐたもので、インデアンにとつては肉を供し毛皮を使用するなど重要な動物であつたが、ヨーロッパ人によつて捕獲されて殆んど絶滅に近い。ビニーマ (Puma) はアメリカ獅子と言はれる動物で南北アメリカに分布し、人畜に害を及ぼすのである。カナダの河湖地方には海狸 (Beaver) が居て手袋・帽子等に用ひられる毛皮を供する。齧齒類中の大なるもので齒は驚くばかりの發達をなし、樹木を噛み切つて巢を造る材料となし進歩した群居生活をなす動物である。プレーリー犬 (Prairie Dog) も群居する特性を有し、土を饅頭形に盛り上げた中に穴居する。これはプレーリーモルモットとも稱せられるものでモルモットに類似してゐるが、その聲は犬に似てゐる。その他響尾蛇 (Battle Snake) の如きは、尾に風管を有して振動せしめて音を發する毒蛇の如きものがある。

第三章 北部地誌

第一節 アラスカ Alaska (合衆國領) (面積一五三萬方呎 人口六萬)

【地形】

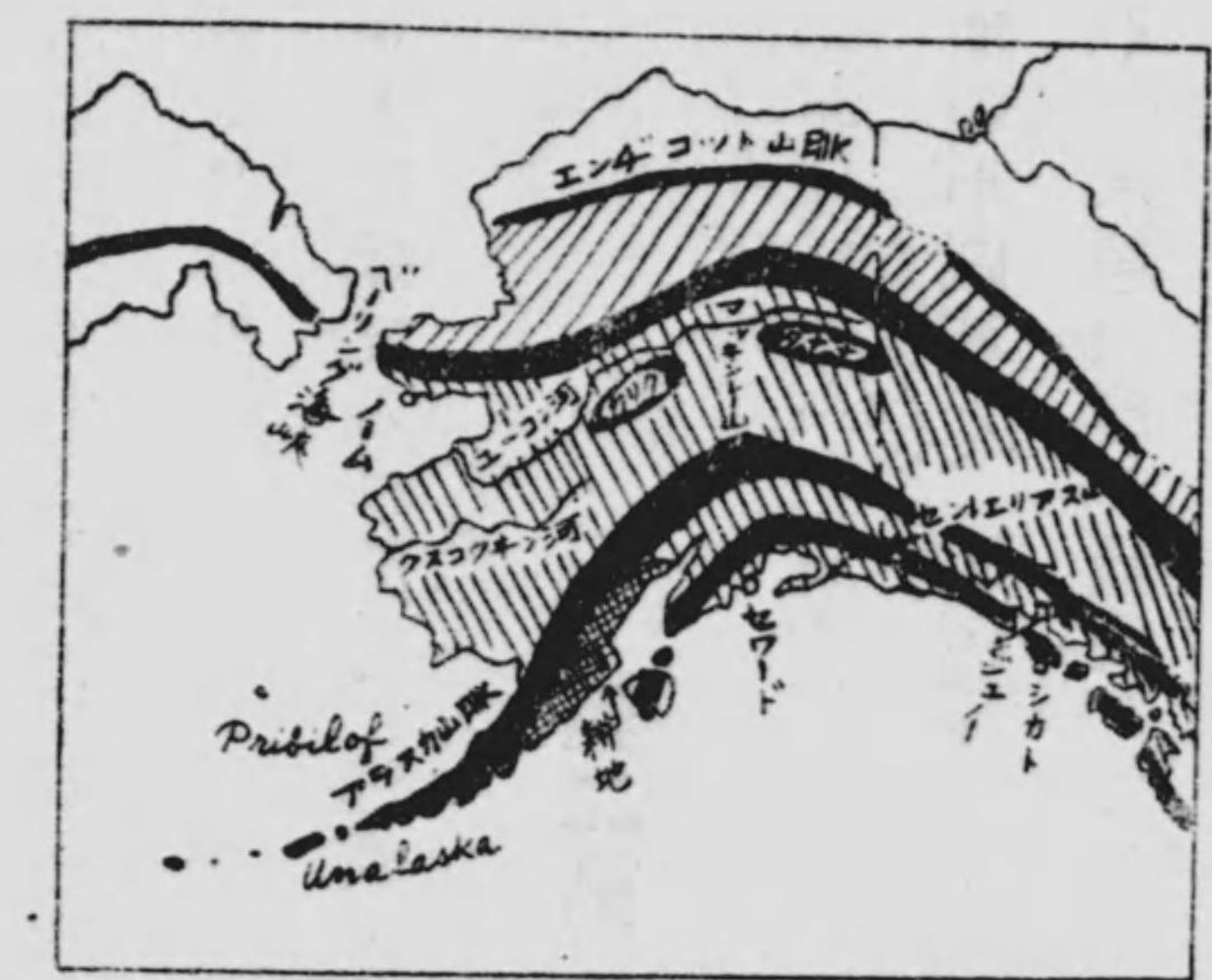
アラスカの地形上から見た特色は、カナダから連続してゐるコルデレラ山系がアラスカ山地と

對曲 (Selanin) をなしてゐることにある。カナダに於いて雄峻を極めたロッキー山脈はアラスカに入つて著るしく高度を減じ、ユーコン連丘 (Yukon Hills) タナ、連丘 (Tanana Hills) 等の中央高原地となつてゐる。この連山間を西流するものが Yukon R. 及び Kuskokvim R. であつて、ベーリング海岸には所々に圓丘が散在してゐて中央高地の連續を示してゐる。カナダに於いては低い山地であつた海岸山脈はアラスカに入つて雄大となり、アラスカの太平洋岸山地は著るしく高峻である。アラスカ山脈は北彎が甚だしく高く、その中には六二〇〇mの火山マツキンレー山 (Mc. Kinley) が聳立してゐる。その前山をなすチューガッチ山脈 (Chugach Mts.) にはセントエリヤス St. Elias (5495m) の火山が噴出し、その西部は Kenai の山地に續いて西方に消失する。

アラスカ南東部の太平洋岸は氷蝕を受けたフィオルド海岸であり、氷期以後に約二〇〇mの隆起があつて六〇mの高所に明瞭な海蝕臺地が存在してゐる。太平洋岸山地の主脈はアラスカ半島の山地となり、アリユウシヤン列島に連つて島弧をなしてゐる。中央高原地の北方、北極海岸に沿つて走るエンディコット山脈 Endikott (ブルックス山脈) は丘陵性の山地である。

【氣候・經濟地域】 氣候は一般に寒さが酷烈であつて、太平洋岸の小地域を除いては耕作を不可能ならしめてゐる程である。地形的に區分された三帯の氣候は相違が著るしく、太平洋岸地方は暖流の影響を受けて常に溫和で年平均氣温は四—五度である。樅・杉等の森林が多く、アラスカ中で最も發達した産業地域

を成してゐる。漁業は海岸地の主要産業でジュノー Juneau (四千) シトカ (Sitka) はその中心をなし、鮭の漁獲が多く罐詰の製造業が行はれる。ジュノーは米領アラスカの首府で金・石英鑛を産出する。高山地には氷河がよく發達してゐて Malaspina, Muir 等の氷河が懸り、山麓ではエブロン狀に擴つてゐる山麓型氷河 (Piedmont type) をなしてゐる。



第111圖 アラスカの地形圖

アリユウシヤン列島は經濟的には前記の太平洋岸地方に類似してゐる。列島中のウナラスカ島 (Unalaska) にあるダッチハーバー (Dutch Harbour) は、漁港であると共に海軍の根據地である。ベーリング海中の小火山島プリビロフ島 (Pribilof) は温馴獸の保護地で、世界第一の生育地である。アラスカの金は一九世紀の末葉に至つて採鑛せられ、一九〇〇年には一萬二〇〇〇人の移住者があつた。氣候は酷寒でありその上雪地であるが、ユーコン河地方及びノーム地方は黄金郷と化し多くの鑛山町が發達した。

ノームシチー (Nome City) は二萬の人口を有する都市であつたが、二〇世紀に入つて金の産出が減少すると共に人口は少なくなり、現在約二〇〇〇あつて夏季の取引が多い。ユーコン河中流にある鑛山町フェアバンクス (Fairbanks) はアラスカ鐵道によつて太平洋海岸のセワード (Seward) に結ばれてゐる。

【註】 アラスカは政治的にも經濟的にもカナダとの關係は少ない。この領域は一八六七年にロシアから七五〇萬留で買取つた所であり、漁

業地・金産地として價值がある。太平洋北岸に延びた狭長地であつて、アメリカ合衆國にとつては軍事的にも大きな價值がある。

【人口】 その数は僅かに六萬でエスキモー人・アレウト人・インディアン・白人等が主であり、白人が全人口の過半を占めてゐる。インディアン系のアラスカ土人中には動物の彫刻を施したトーテムポール (Totem-pole) を建てる風習がある。トーテムとは土人の語から來たもので、アラスカの原始的土人中には自分の先祖は動物であると信じてその動物を畏敬するのである。このインディアン系統のものにユーコン河流域に住するシワシ族、南部アラスカに住するスリンキット族がある。アリューシャン列島に住むアレウト族はエスキモーに類する種族で、漁業・狩獵業を主生業となしてゐる。

第二節 グリーンランド (Greenland)

面積は二一七萬方呎あつて、その陸地の大部は大陸氷河に被はれてゐる。第一二圖に示す如く南西海岸地の小區域と、東海岸の狭長地帯を除いては氷床 (Ice sheet) に被覆された不生産地であつて、海岸には多くの氷蝕地形が發達してゐる。スミス海峡に面してはイングレフィールド灣 (Inglefield Gulf) があり、東海岸に面してはデンマルク峽灣 (Denmark Fjord) スコレスビーサウンド (Scoresby Sound) 等の大峽灣があつて、氷床より流下した氷河の末端は切斷せられては冰山 (Ice-berg) となり海中に送られる。

グリーンランドの高度について見るに、大氷床の中央北部では約三〇〇〇mの高度にあり、氷床端に於い

ても多くは一五〇〇mを示してゐる。グリーンランド陸地は前カンブリア (Pre-Cambrian) の準平原化作用によつて平坦化せられたもので、氷期以後は引續いた氷蝕を受けて現在の地形を示すに至つた。島の中央を横斷して存在してゐる低地は Koch に依れば斷層であつて、北西部のヨーク岬 (C. York) に於いても斷層

地形が著るしい發達をなしてゐるといふ。山峯の中で著名なものは東海岸に屹立してゐるペーターマン峯 (Petermann Peak) であつて、二八〇〇mの高度を有してゐる。

植物の分布について見るに、樹木は僅かに本島最南部のフェアウエル岬 (C. Farewell) に於いて存するのみである。樹高は時に二〇呎に達するかんば属・はんのき属があり、西海岸北方のディスク島 (Disko I.)

では樹高三呎の柳属がある。耕作地は南部海岸の少許の地にあるのみであつて、麥類・大根・馬鈴薯等僅かに産出してゐる。

住民はその數一萬餘に過ぎずエスキモー族が主であり、カナダ地方に於けるものと同種族である。この種族はカナダ北方からエレスメーア島 (Elesmere) を經てグリーンランド島に移動したもので、輕舟を使用し



第112圖 グリーンランド島

て漁業・狩獵に従つてゐる。ノルマン人はコロンブスの新大陸発見前數百年頃に已にこの陸地に到達したもので、アイスランドを経てこの地に移住したことが明らかになつてゐる。この大島は自然的に人文的に全く北アメリカ大陸の一部であり、オーストラリヤ大陸の如き獨立性が見られない。依つて世界第一の大島と稱せられてゐるのである。Greenlandの地名は発見當時名づけたもので、その土地が樹木に富んだ居住に適するものであることを示したのであつた。

丁抹領のこの大島は「綠州」ではなくて、全くのWhiteland(白州)である。住民は漁業に従つてゐる者が多いので、その聚落は海岸に散在してゐる。ゴッドヘブン(Godhaven)はデイスコ島(Disko)の良港市であり、スミス海峡のエタ(Eta)は世界最北の聚落である。

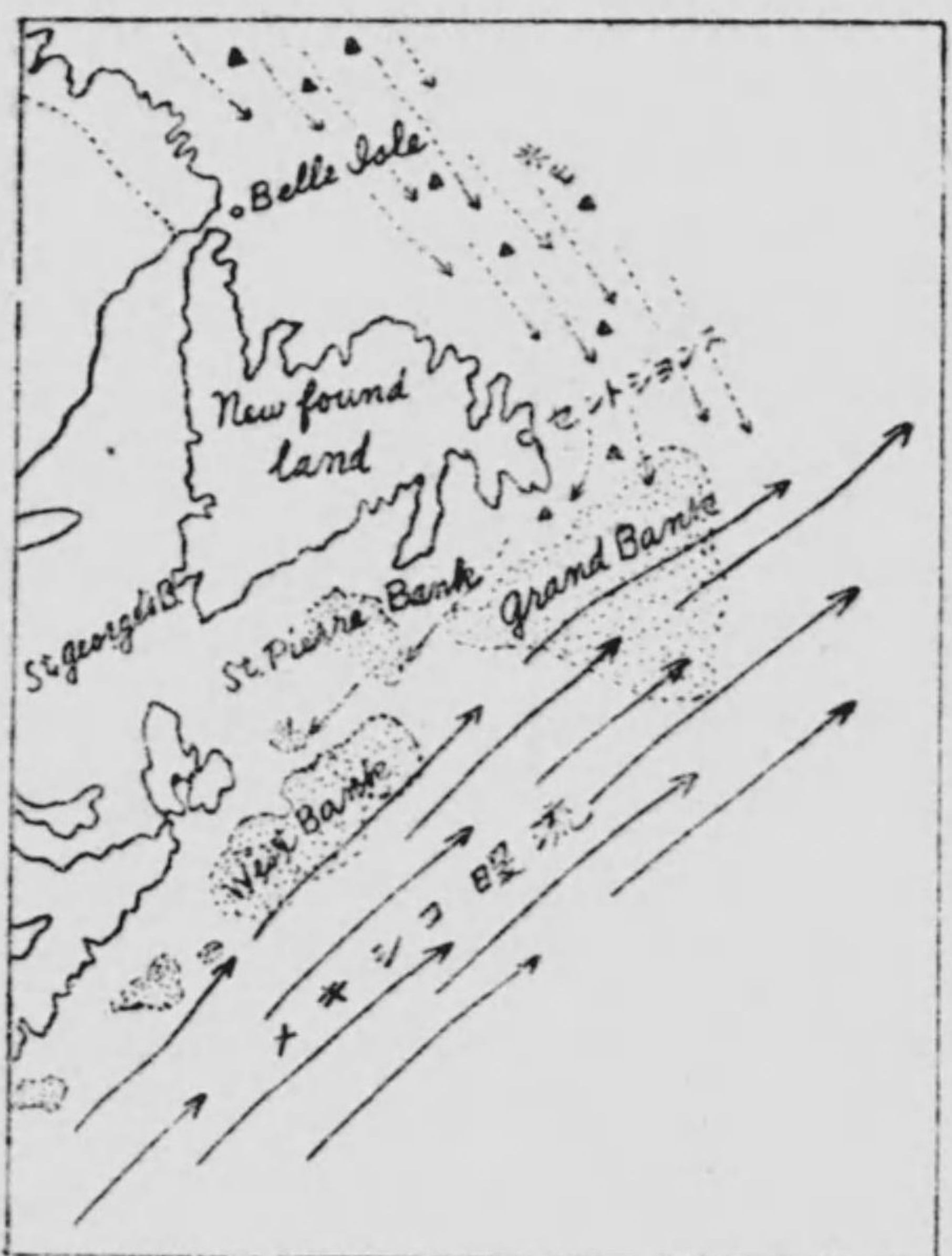
第三節 ニューファンドランド

(面積一二萬方軒
人口二八萬)

【自治領土】 ニューファンドランドは一九九七年 John Cabot に依つて新たに発見された島で、構造上全くアバラチャ山脈系に屬するものであり、地層は北東—南西の走向を有してゐる。従つてカナダ領土のNova Scotia, New Brunswick と密接な關係にあるが、政治上カナダとは分離した別箇の自治領土をなし、一二萬方軒の面積を有しその人口は二八萬である。ラブラドル東岸の地方も政治的には同一の地域で、その面積は約三〇萬方軒を有してゐる。

ニューファンドランド島の海岸は甚だ險阻であつて、フィヨルド式海岸をなす所が多い。氷期以後に於ける地殻運動によつてこの島の北部は隆起を來し、南部では沈降して海岸地の出入を増したのである。陸地には無数の氷河湖や氷蝕地形があつて荒蕪地をなし、良好な耕地は僅かに湖沼沿岸の地に見るに過ぎない。農業に従事する者は極めて少數であり、乾草・馬鈴薯を産するに過ぎない。鑛産物は比較的豊富であつて、石炭は西海岸のセントジョージ灣岸に産し、鐵鑛は北部のベル島(Belle)に多し。この地の鐵鑛はカナダのノヴァスコチヤ半島に送られて製鐵せられてゐる。

【ニューファンドランドバンク】 ニューファンドランド島の近海は世界三大漁場の一をなしてゐて、漁



第113圖 ニューファンドランド島の近海

業は最も重要な産業である。近海の海底を見るにそこには一大陸棚が存在してゐて、水深四五—一七五mの淺堆の面積は一二萬方軒に及ぶ。深い海底よりの隆起部に對してはBank(堆)の稱があり、Newfoundland Bank 中には東より西に並んで Grand Bank, St. Pierre Bank, West Bank 等が存してゐる。グリーンランドの氷床より流下した氷山はラブラドル海流によつて運搬されて南下するもので、メキシコ暖流の影響を受けて融解するに至るのである。この場合氷

山中に存在する土砂は全くこの海底に沈積する爲に、ニューファンドランド島の南東には最も大なるグラン
ドバンクが形成された。浅堆上には海草がよく繁茂し、こゝに會合する寒暖二流中には多くの浮游生物があ
るから多くの魚族が集つて世界の大漁場となつた。大西洋を横斷する船舶は、この氷山の多い危険な地方を
避けてその航路を南方にとつてゐるもので、殊に冬季には南に偏することになる。

この漁場は一五〇四年より漁業者に注目せらるゝに至り、各國の漁船はフィヨルドの良港を根據地として
出漁したのである。漁獲物には鱈・鯖・鮭・あひよう(ひらめの類)秋刀魚等があり、バンカー船(Banker)
によつて大仕掛に漁獲し、年々四〇〇萬ポンドの産額を出してゐる。三―六月は海獸の捕獲期で六―一
二月間は鱈・鮭を漁獲する。セントジョンズ(St. John's)はこの Dominion の首府で不凍港であり、近
海漁業の中心地をなし鯨油・海獸油の工場がある。

【佛領】 サンピエール島(St. Pierre) ミクロン島(Miquelon)の二小島は佛國がこの地方に活躍した
名残で、佛國のブルターニュ半島地方の漁業者はこの小島を根據地として近海の漁業に従事する。

【教授】 グリーンランドの氷床と氷山について教授した後、ニューファンドランドを授けることが連絡上よろしい。ニ
ューファンドランドの地理は陸上よりも海岸地及び海洋に留意することが肝要であつて、漁業といふ産業上の見地より淺
堆の海底地形及び海流の地文を吟味することが重要となるのである。

第四節 カナダ (Dominion of Canada) (面積九五五萬方呎 人口一〇三八萬)

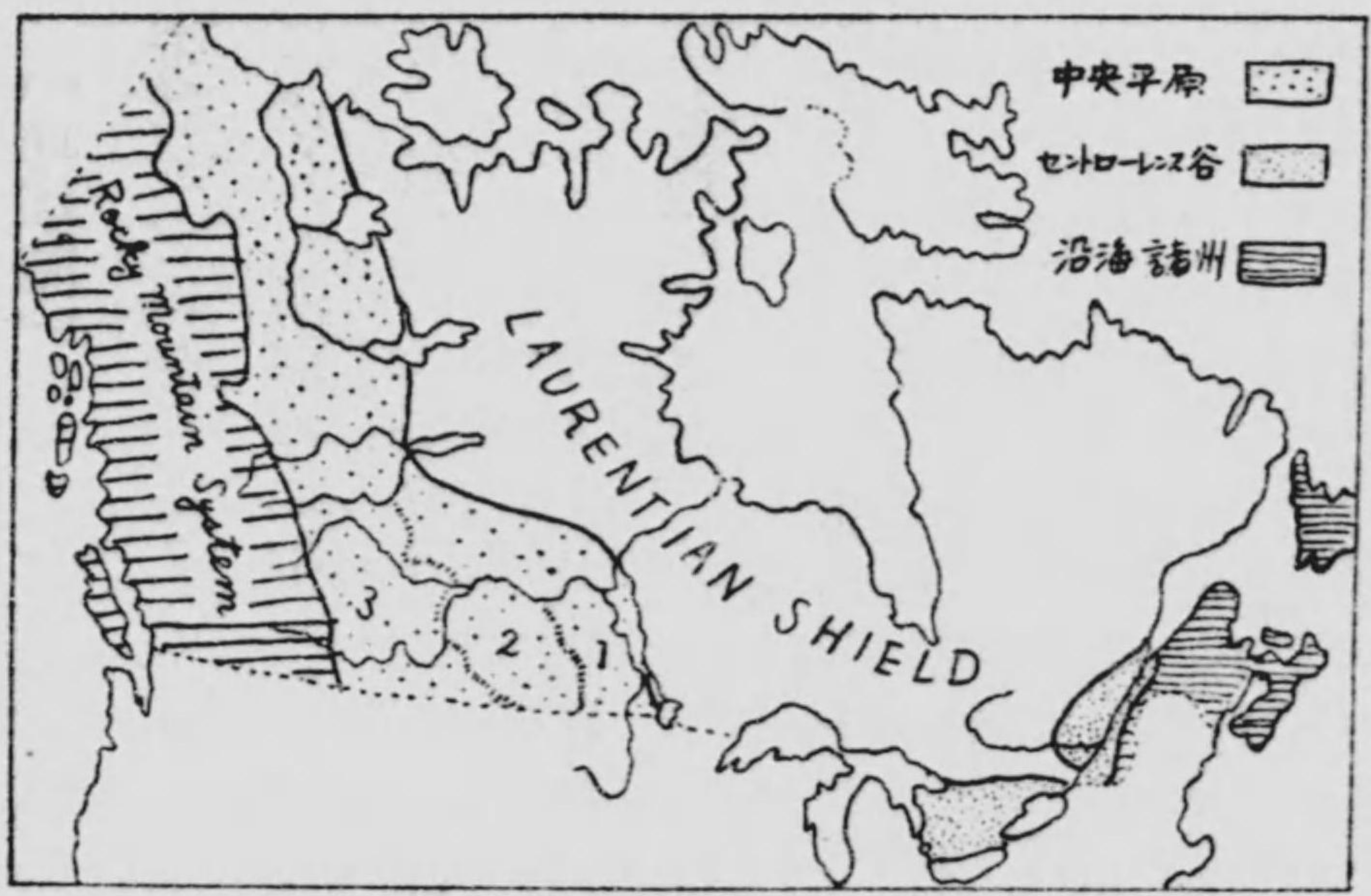
【地理區】 カナダ領土の地形は南北に並走する地帯から成つてゐるので、必然的に之に一致した數箇の
帶狀地を區分することが出来る。カナダの居住帯に就いて見るに氣候によつて著るしく制限せられ、合衆國
に接した南部の地帯に於いて之を見るのである。北緯五〇度の線はカナダの南方を通過してゐるのであつ
て、穀物の市場ウイニペグは北緯五〇度に位してゐる。従つてカナダ南部の東西性を検討することによつて
カナダの地理は明らかになるのであつて、カナダ太平洋鐵道(Canadian Pacific Railway)によつてこの大
陸を横斷する時、その特色ある地理的景觀の變化を觀察することが出来る。

- 地理區
- (1) 沿海諸州 (The Maritime Provinces)
 - (2) セントローレンス低地 (The St. Lawrence Lowlands)
 - (3) ローレンシヤ楯狀地 (The Laurentian Shield)
 - (4) プレーリー (The Prairies)
 - (5) ロッキーマ脈及び太平洋沿岸 (The Rocky Mountains and the Pacific Coast)
 - (6) 寒冷なる北部地方 (Barrenland)

(一) 東部沿海諸州

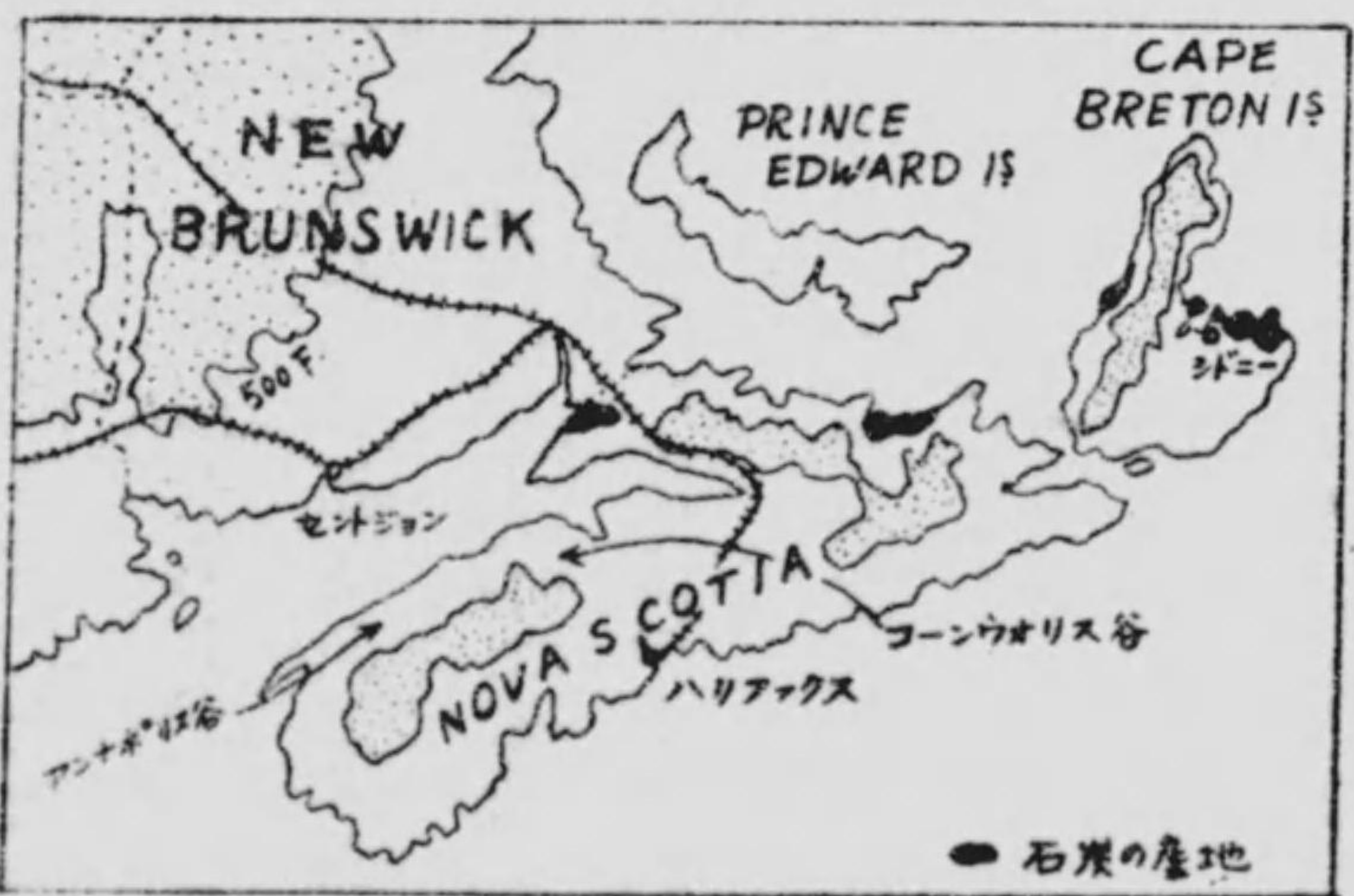
【ノヴァスコチヤ半島】(Nova Scotia) ニューブランズウィック(New Brunswick)プリンスエドワー

ド島の三地域から成つてゐて、アパラチャ山脈の横はるニューイングランドの延長部に當つてゐる。地表には褶曲を受けた古生層岩が露出してゐて、北東—南西の走向を有してゐる。ノヴァスコチヤ半島のフアン



第114圖 カナダの地理區

デー灣岸に存在する狭長な石炭紀及び三疊紀低地は褶曲の方向に一致するもので、アンナポリス谷・コーンウォリス谷 (Annapolis and Cornwallis Valley) は肥沃な土壤から成る温
暖な一連の低地をなしてゐる。この低地には林檎の如き果樹の栽培が行はれ、人口の稠密な農業地帯を形成してゐる。石炭の産地は北岸のピクラー (Pictou) 及びケープブレトン島 (Cape Breton) のシドニー (Sydney 2) 附近で、シドニーではニューファンドランド島から鐵鑛を得て製鍊業が發達した。南東海岸の



第115圖 カナダ東部沿海地方

ハリファクス (Halifax 6) は不凍港で四季を通じてカナダの門戸となり、港灣の修築が行はれて一層その發達を來すに至つた。

【プリンスエドワード島】(Prince Edward) はアンナポリス谷の如く沃地で赤土から成り、赤土の中に牧場の綠草が點綴する景觀は特色あるものであるといふ。近年養狐業が著るしい發達を遂げ、毛皮を産することが重要となつた。ニューブランズウィック州には森林地が廣大な地域を占めてゐて、木材・パルプを供給する。フアンデー灣岸のセントジョン (St. John 5) は不凍港で漁港である。

【註】砂糖糖 (Maple Sugar) は北アメリカの北東部にノヴァスコチヤ半島地方に多い植物で、早春この樹幹より液を採取するのである。幹の下部に傷をつけて置くと樹液が流出するから之を罐に溜めて工場に運び、これを煮つめて砂糖を製し又はシロップの原料とする。

(二)セントローレンス低地

【地形・氣候】 セントローレンス河の兩岸に沿つた地方をセントローレンス低地と稱し、北はローレンシヤ楕狀地によつて界され、南部から東部にかけては Appalachian Plateau, New England Plateau が接してゐる。南東部の構造線はチャンプレン湖 (Champlain) より北東に走る斷層線で示され、ケベックに達してゐる。ケベック・モントリオール・オッタワ等の各都市のある低地は堆積平原であつて、南部の限界はアディロンダック (Adirondacks) の地塊によつてゐる。アディロンダック地塊はカナダ楕狀地の一部であつて前カンブリヤの地質から成り、森林に被はれた景觀は低地のそれとは著るしコントラストをなすものである。オンタリオ湖 (L. Ontario) イリー湖 (L. Erie) 北岸の地方はセントローレンス低地南西部をなし、ケスタ (Cuesta) 地形がよく發達してゐる。ナイアガラ層崖 (Niagara Escarpment) はナイアガラ石灰岩からな

るケスタであつて北方に急斜し、これを北流するナイアガラ河はナイアガラ瀑布を懸けてゐる。ナイアガラ層崖を界線として北部と南部の二區を分つことが可能であつて、北部はオンタリオ湖岸の地方 Ontario Lowland をなし、南部のものはイリー湖岸の Erie Lowland をなすもので何れも軟い地層から成つてゐる。

セントローレンス低地は肥沃な堆積土から成る上に、寒風を避けることが出来るので氣候が溫和である。

殊に南部の大湖地方に進むに従つて溫暖となり、地中海式果物の葡萄・桃等の産物が見られるのである。オンタリオ湖岸のトロントは年平均氣温は七・八度を示し、雨量は七九〇耗であつて四季を通じて降雨がある。北東部に位するケベックでは、全年平均氣温は三・九度の低温であり、雨量は一〇四八耗に達し夏季に割合降雨が大となつてゐる。

三小地理區

(イ)セントローレンス下流低地 はフランス人によつて植民された地方で、現在もフランス系住民多くフランス語が行はれてゐる。農業は燕

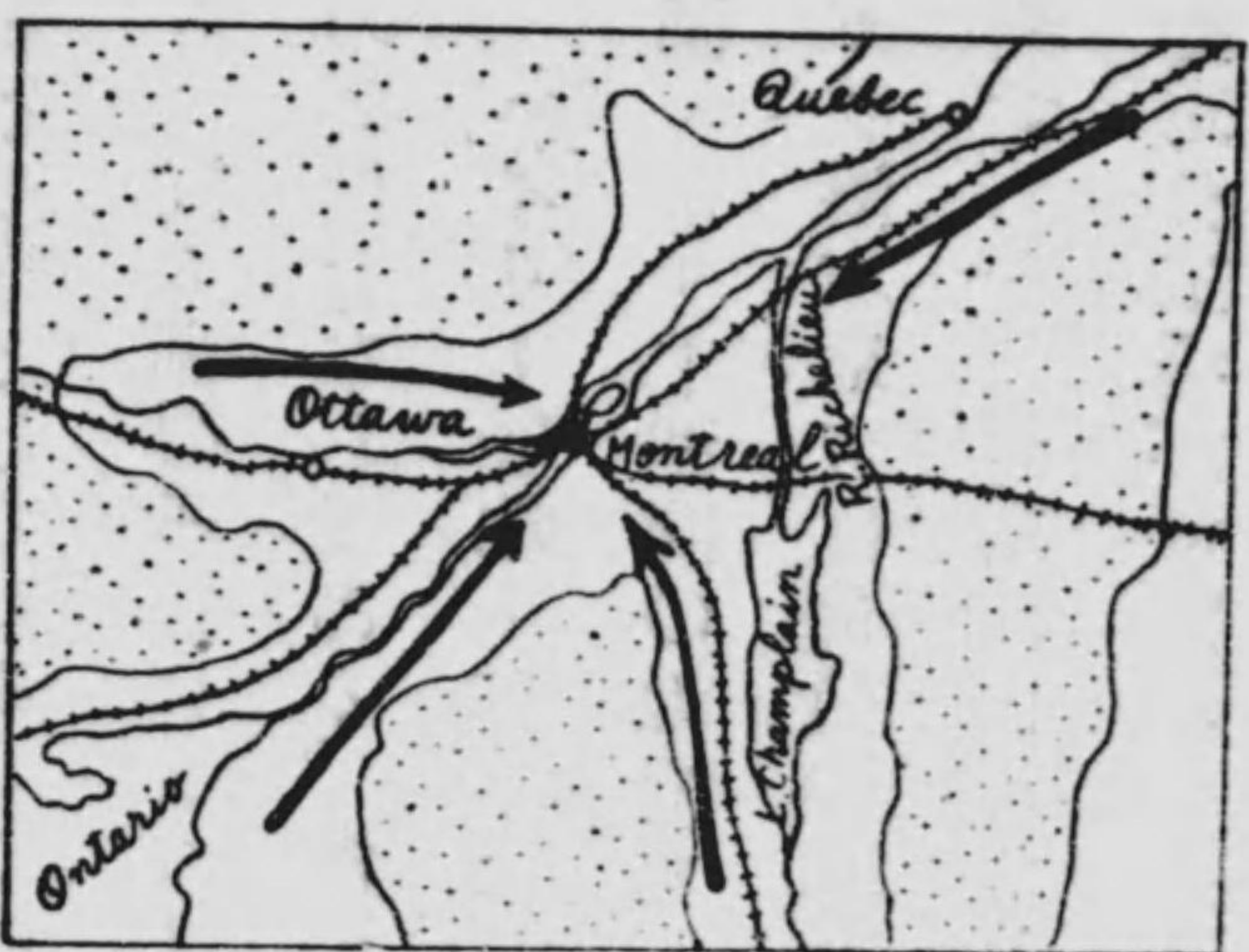


第116圖 セントローレンス低地

麥・大麥等が耕作せられ、果物では冷温帶性の林檎・梨・西洋李が栽培されてゐる。この地方はカナダに於いて最も人口稠密な地方であり、セントローレンス河の支流 Saguenay River, St. Maurice River, Ottawa River 等の諸川によつて水力發電が行はれ、この電力によつてオッタワ・モントリオール等の各都市に工業

が発達した。

ケベック (Quebec 13) はセントローレンスの三角江が狭くなつた位置にある要害の地で、(Gibraltar of America) の稱があり、その地名はインディアン語の「狭所」の義である。江岸に接したテレーズの地形が利用されて城塞が築かれ、フランス植民地の中心となつたのである。セントローレンス河の浚渫工事及び運河開



第117圖 モントリオールの位置

鑿工事の進捗によつて汽船は河を溯航してモントリオールに達するに至り、河口港としての價値は減じた。モントリオール (Montreal 82) はカナダに於ける最大の都市で、海洋汽船の終航點に發達した貿易港である。十二月—四月の凍結期間があることはこの港の缺點であるが、數條の大幹線鐵道はここに集中して交通の衝となり、商工業の中心地となつたのである。穀物の市場であり製材・綿絲・バルブ等の工業が行はれる。オッタワ (Ottawa 13) はカナダの首府で木材の市場である。ローレンシヤ臺地に産出する木材はオッタワ河の水運によつて運搬せられ、この地をカナダ第一の製材都市たらしめた。オッタワ市とオンタリオ湖を連結するリドー運河 (Rideau Canal) はオッタワに活氣を與へたことが大で、製材工場の動力はオッタワに近い瀑布の水力によつて供せられてゐる。

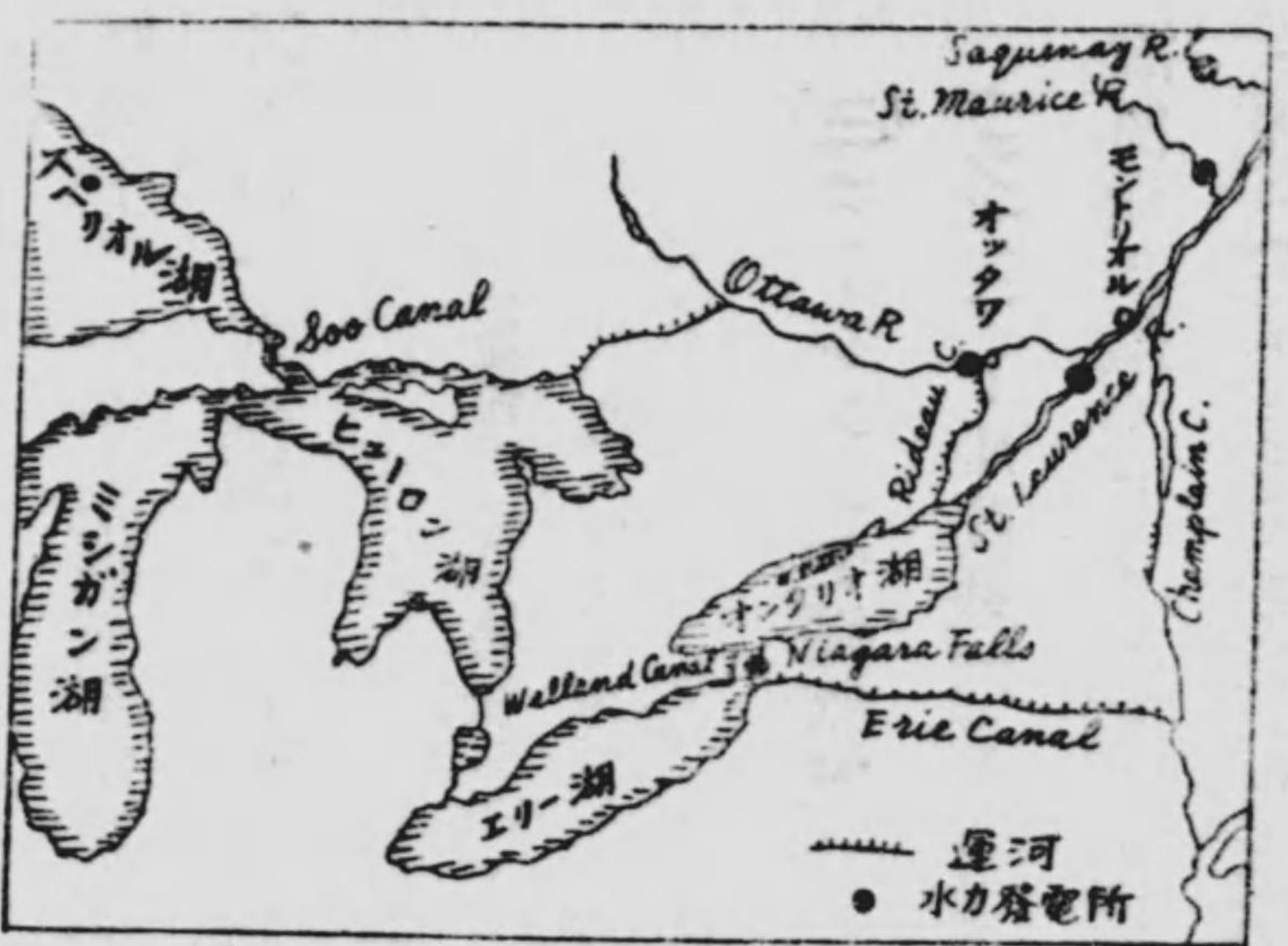
(ロ)オンタリオ低地 (Ontario Lowland) はデューチャ灣 (Georgian Bay) とオンタリオ湖間の低地で、

頁岩等の軟弱な地層から成つてゐる。この地方の農業は雜穀(Mixed Grains)の生産が特色であり、またオンタリオ州は牧畜業の發達した所であり、酪産物に於いてはカナダ全産出の過半を占めてゐる。オンタリオ湖岸のトロント(Toronto 63)は近年著るしい人口増加が行はれてカナダ第二の都會となり、農具製造の工業を特色としてゐる。この都市の急速な發展はカナダの農業が長足の發達をなしつゝあることを物語つてゐる。五大湖の舟運によつて鐵を容易に得ることが出來、ナイヤガラ瀑布によつて動力を得ることは工業發達の要件をなしてゐる。湖の西岸にあるハミルトン(Hamilton 16)は製鋼業が盛に行はれてゐる。

(ハ)イリー低地 (Erie Lowland) はナイヤガラ層崖によつてオンタリオ低地に接してゐる。ヒューロン湖・イリー湖間の地でオンタリオ半島と稱せられ、秋小麥及び冬小麥が栽培されてゐる。南東部のナイヤガラ瀑布地方は葡萄の栽培地としてカナダに於いて特色ある地方であり、この半島地を通じて農業は主な産業である。西端に位するウインズール(Windsor 5)にはアメリカ合衆國のデトロイトにあるフォードの自動車分工場が置かれてある。イリー湖・オンタリオ湖岸地方は合衆國の五大湖地方に連続した一地域を構成するものであり、工業都市の發達が著るしい特色となつてゐる。

【内陸水路】 五大湖は北米大陸の地中海と呼ばれてゐる程交通の便利な内陸水路であるから、カナダの水運はこの水域と結ばれることによつて大きな價值を生ずるのである。セントローレンス低地はカナダ第一の經濟地域であつて、モントリオールはこの地の中心に位し舟運と鐵道によつてこの經濟的中心となつてゐる。

るのである。この二地域は別箇のものではなくして連続した經濟地帯をなし、食料の産地・原料の産出地・工業地域等の異つた三箇の地域を結びつけてゐるのである。スベリオル湖とヒューロン湖を結ぶスー運河(Soo Canal)の如きは交通上重要なもので、結氷しない五箇月間に通過する船舶はスエズ運河に於けるものよりも多く、その三倍に達してゐる。セントローレンス河の水運を利用して五大湖に達する深水路開鑿は多年の懸案であつたが、カナダ及び合衆國政府は共力してその水路を完成せんとする新條約を締結してその工事に當ることゝなつた。その工事費用は約五億四〇〇〇萬弗でパナマ運河の總工費の二倍に達し、今後約十年の歳月を要するものであるといふ。この地方の主要運河は次の如くである。



第118圖 内陸水路及び発電所

- (1) スー運河(Soo Canal)……ソーサンマリー運河(Sault Ste. Marie Canal)……スベリオル湖とヒューロン湖間二條
- (2) リドー運河(Rideau Canal)……オッタワ オンタリオ湖間
- (3) ウェルランドシップ運河(Welland Ship Canal)……エリー湖 オンタリオ湖間の新運河完成。
- (4) イリー運河(Erie Canal)……イリー湖 ハドソン河間のものでニューヨークに結ばれてゐる。
- (5) チャンプレン運河(Champlain Canal)……ハドソン河 チャンプレン湖 セントローレンス河。
- (6) セントローレンス深水路開鑿豫定……(一九三二年米國・カナダ間にて調印)

この著るしい内陸水路の缺點とも見るべきものは一年のうち四—五ヶ月間の結氷期のあることである。ナイヤガラ瀑布の如き層崖部はウエルランドシイップ運河の閘門式運河によつて結ばれ、オンタリオ・イリノイ湖間の交通が便となつたのである。將來セントローレンス河の深水路が完成したならば、この地の交通・経済上に一大變化を來すに至るであらう。セントローレンス河の河口が甚だしく北東に向つてゐることは交通上の一大缺點であるが、ヨーロッパ方面に開口してゐる爲に迂回路ではあるが利用されてゐる。

【教授】 地理教授に於いては、その土地の文化地帯を明確に把握せしめねばならない。従つてカナダの地誌教授に際しては、最も重要な所であるセントローレンス低地の教授に充分留意することが肝要である。

(三) ローレンシヤ楯状地

【ラブラドル高地】(Labrador Highlands) ラブラドル高地はアブラチャ山脈の連続ではなく、ハドソン灣西岸に續くローレンシヤ楯状地の一部である。高地の東岸では一八〇〇mの高度に達し、北東部のチドレー岬(C. Chudleigh)附近が最も高峻である。氷期に於ける氷河の侵蝕作用によつて東岸地方には峽灣發達し、内陸地方には氷河湖が多く形成された。臺地の平均高度は五〇〇—六〇〇mであつて、中央を北東から南西に走る線によつて大西洋斜面とハドソン灣岸の兩斜面を區別し得るのである。この高地はカナダの重要な富源をなす森林地帯で樅・落葉松等の樹木が多く、この國の豊富な水力によつてパルプ及び製材の工業

が發達した。カナダの水力發電事業は一箇所に纏つて存在するものではなく、廣く分布してゐる點が價値の大なる理由である。カナダに於いて一九一〇年には一〇〇萬馬力以下の水力を得るのみであつたが、二〇年後には五〇〇萬馬力以上の水力を得ることが出來、全動力の九五%以上は水力に依るに至つた。森林中には毛皮獸が多く住し、その毛皮を供することが多い。

【ハドソン灣低地】(Hudson Bay Lowlands) ハドソン灣斜面の大部を占め、灣の沿岸には海岸平野が發達してゐる。ハドソン灣は撓曲運動によつて沈水したものであるが、氷床の退却後地盤は隆起を示し海岸段丘は最高一八〇mに達するものがある。ハドソン灣の南岸にはその面積三〇萬方呎に及ぶ粘土地帯(Clay Belt)があつて、氷期に於ける氷床に阻止されて生じたオジブウェー湖(Ojibway)の湖床堆積物であるといふ。この地域が近年に至つて漸く開發せらるゝに至り、森林地を開拓して馬鈴薯・燕麥・小麥・牧草等を栽培し酪農を主とした農業が行はるゝに至つた。

ポートネルソン (Port Nelson) 及びチャーチル (Churchill) はハドソン灣岸の港で、ハドソン灣鐵道(Hudson Bay Railway)によつてブレイリーの小麦地帯に結ばれた夏の穀物輸出港である。鐵道に於ける輸送は運賃が高價であり且つ時間を要するから、穀物地帯に近距離なこの二港が用ひられ、季節的に繁榮する都市となつたのである。スペリオール湖畔のポートアーサー (Port Arthur 2) フォートウィリアム (Fort William) は五大湖の舟運による小麦の輸出港として發達した双子都市である。

(四) プレーリー (Prairies)

マニトバ州・サスカッチワン州・アルバータ州に亘る平原地方をプレーリーと稱し、アメリカ合衆國に連なる三角形の地域を占めてゐる。プレーリーの大平原が經濟的に重要であるのは小麦地帯 (Wheat Belt) をなすことにあつて、カナダの穀倉 (The Granary of Canada) の稱がある。氣候は大陸的でウイニペグの一月平均気温は零下二一度であるが、七月には一八度に達しその較差は四〇度に及んでゐる。雨量は東より西に行くに従つて次第に減少し、南西地方では灌漑を必要としてゐる。この地方を區分して次の三區となすことが出来る。

(イ) 低地プレーリー (The Low Prairies) ウイニペグ湖 (Lake Winnipeg) ウイニペゴシス湖 (Lake Winnipegosis) の西部とレッド河 (Red River) 流域の地方を低地プレーリーと稱し、氷期に形成されたアガシス湖 (Agassiz) の湖底であつた所を占めてゐる。この地域は肥沃な黒土から成り、世界に於ける小麦の重要産出地をなしてゐる。カナダに於ける初期の小麦産地はこの地方であつて、次第に西方に擴張して山麓地方に及んだのであるが、鐵道の敷設及び其の通路と密接な關係を有してゐるのである。即ち鐵道の沿線地方三〇—五〇軒の地帯にその産地を見るのであつて、交通線の發達によつて小麦生産地が次第に擴大された。近年に至つて漸く混合農業 (Mixed Farming) が重要性を有するに至つたのである。

ウイニペグ (Winnipeg 22) はウイニペグ湖の南に位することが東西横斷鐵道の集合點となるに至つたもので、この集中的位置にあることが穀物の市場となつた理由である。一九〇〇年には僅かに四萬の人口であつたが二〇年後には一八萬となり、一九三一年には二二萬を有するに至つた。湖沼の存在によつて鐵道線が集中し其處に都市の發達を促したことは、合衆國のシカゴに於ける場合と類似してゐる。

(ロ) 中部プレーリー (The Middle Prairies)

低地プレーリーの西にある階段地で、東部よりも二〇〇—三〇〇mも高く、波浪狀の地形をなしてゐる。レジナ (Regina 5) サスカトーン (Saskatoon 3) は中部プレーリーに於ける農耕地の中心を占め、小麦の集散地に當つてゐる。

(ハ) 高地プレーリー (The High Prairies) 地形は一般に不規則であつて、Bow River の如きは峡谷を穿つて東流してゐる。高地プレーリーは産業上牧牛の中心地であるが、氣候乾燥であるが爲に牧草地は貧弱である。カルガリー (Calgary) の一月平均気温は年によつて變化を來し特に寒暖の變化が著るしい。この地方が比較的溫暖な冬を有つのはチヌーク風 (Chinook Winds) のロッキーマウンテンに依るものであつて、冬蒔小麦 (Winter-sown Wheat) が可能である。ロッキーマウンテンの山麓丘陵地には廣大な炭田があつて、エドモントン (Edmonton 8) は農産物・獸皮の市場であると共に石炭の集散地である。

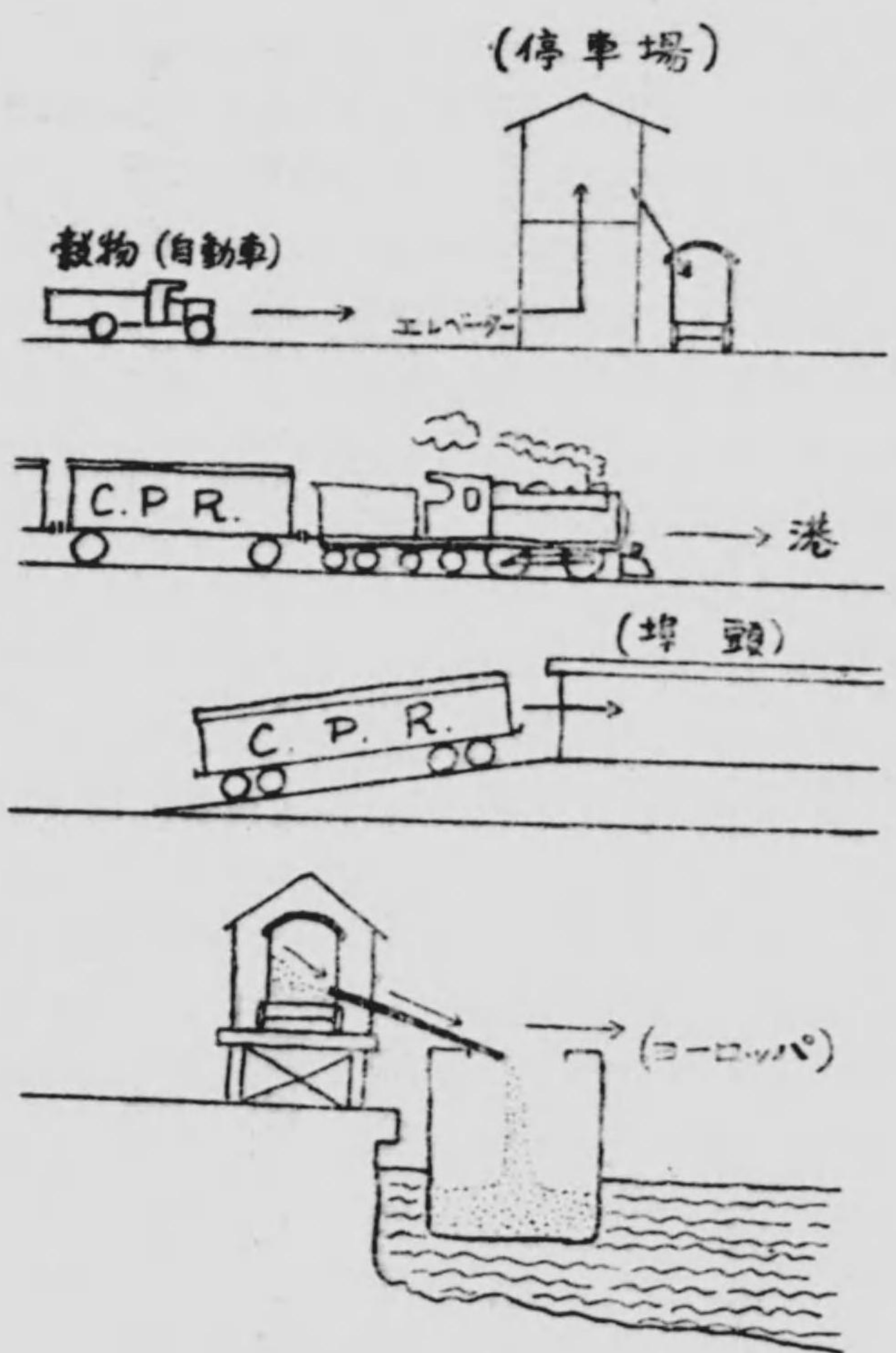
【小麦地帯】

カナダのプレーリーは合衆國に續いた北アメリカ小麦地帯の一部をなし、乾燥した冬季に



第119圖 プレーリーに於ける農業の型式

甚だしい寒さの所であるから春蒔小麦が耕作されてゐる。カナダに於ける冬蒔小麦の栽培地は僅かの地方に限られ、大西洋沿岸の温暖な小地域とアルバータ州の一部に見るのみである。カナダの小麦産出は一九三二年に於いて一億一七〇〇萬キントナルに及び、米・ソ聯邦に次いで世界第三位にあり、その輸出に於いては世界の第一位を占むるに至つた。この地の小麦栽培は粗



第120圖 カナダの穀物輸送

放的經營であるにも拘らず地味が肥沃であること、小麦に適する氣候條件によつてその産出額を増大し、世界の一大穀倉となつたのである。小麦の生産地は豊饒を必要とし、播種時と成長の盛んな時期の降雨と收穫期の乾燥を良好な條件としてゐる。カナダのプレーリーは肥沃な平原で機械力によつて大農法が行はれ、鐵道の發達と共に小麦産出が増加を來

した。農業者は小麦の生産販賣について一種の組合組織たる小麦プール(販賣組合 Pool)を組織して其の發達に貢献し、このドミニオンを小麦産出國として君臨せしめたのである。

(五) ロッキーマン脈及び太平洋沿岸

ロッキーマン脈は岩山の意であつて、カナダ南方では四〇〇〇m以上の高峯が多く存在してゐる。コロンビ

ヤ山(Columbia)は最高峯であつて四三三〇mに達してゐる。ロッキーマン脈の西に並走するものがセルカータ山脈(Selkirk Range)で、その北部にカリブー山脈(Cariboo Mts)が續してゐる。この兩山脈の間には南北走する山間地溝(Intermontane Trench)があつてロッキーマン地溝(Rocky Mountain Trench)と呼ばれ、Liard, Fraser, Columbia 等諸河の上流はこの縦谷中に存してゐる。氷期に於ける氷河の影響はコルチレラ山地の各地に見ることが出来、西部海岸では標式的のフィヨルド(Fjords)海岸をなしてゐる。ヴァンクワアー島は合衆國の海岸山脈(Coast Range)の延長であり、デョージャ海峡及びファンデフカ海峡(Juan de Fuca)によつて大陸から隔てられてゐる。氣候は西ヨーロッパ型(West European Type)で、ウィクトリアの年平均気温は一〇度であるから中央平原のウイニペグの〇・八度に比して著るしく海洋性である。鑛業は主要産業の一端で南部の Kootenai を中心とし、金・銀・銅・亜鉛・石炭等の産出がある。林産は主として太平洋海岸地方の針葉樹が伐り出され、樅樹の一種は米松の名をもつて輸出される。プリンスルパート(Prince Rupert)はカナダナショナル鐵道の終點に當り、漁業の一中心であると共に近時發展したこの地方林業の中心である。

ヴァンクワアー(Vancouver 28)はカナダ太平洋鐵道の西起點で太平洋の重要港である。一九〇一年には僅かに二萬七〇〇〇の人口を有するに過ぎなかつたが、三〇年後にはその十倍に達した。輸出品の主なものは小麦・木材・小麦粉・魚罐詰等で近年はモントリオールの貿易額を凌駕してカナダ第一の貿易港と

なつたのである。フレーザー河は鮭の漁獲が多く我が國人の之に従事する者が多い。この西方に横はるヴァンクーヴァー島は海岸山脈の一部をなし、ヴィクトリア(Victoria)は美しい英國風の住宅都市である。

(六) 寒冷なる北部地方

森林の北方限界以北の地は凍土帯(Tundra)でカナダではBarenlandと呼ばれてゐる。夏には草地凍土となつて蘇苔類を生じ良好な馴鹿の牧場となり、狐・狼等の毛皮獣が森林帯より來住するのである。エスキモー人の住居はこの地方に散在してゐる。ツンドラ以北は氷雪の地方で、内陸氷に被はれたグリーンランドの如きはPolar Desertとも言ふべき無住の地をなしてゐる。

【カナダ横断鐵道】

カナダの南部を東西に横断する鐵道は、カナダの植民上から見てもその先驅となり、沿線に産業の發達を促したことは著るしい。カナダ太平洋鐵道(Canadian Pacific Railway)の幹線はヴァンクーヴァーに起りウイニペグ・モントリオールを経てセントジョンに達し、その全長は五四二〇軒に及んでゐる。その北方にカナダナショナル鐵道(Canadian National Railway)として統一されてゐるカナダ北方線とグランドトランク太平洋鐵道とがある。カナダ北方線(Canadian Northern Railway)はハリファクス—ケベック—ウイニペグ—ヴァンクーヴァーに至り、グランドトランク太平洋鐵道(Grand Trunk Pacific Railway)はハリファクス—ケベック—ウイニペグ—エドモントン—プリンスルパートに達するカナダ北部の鐵道で、世界一周の最短線の一部に當つてゐる。

カナダ鐵道の要地は實にウイニペグであり、カナダ中部の焦點である。港としてはヴァンクーヴァー・モントリオール・ハリファクスの三大港があり、出入船舶噸數及び貿易額は共にヴァンクーヴァーが第一位にある。之は太平洋方面に於ける近年の貿易發達を物語るもので、鐵道交通の發達によつて中部平原にその背域(Hinterland)を有するに至つたからである。

【産業・貿易】

農業はカナダの主なる産業で、人口の三五%が之に従事してゐる。耕地面積は二五〇〇萬ヘクタールあつて主要耕地は、(イ)セントローレンス低地及び沿海諸州(ロ)プレーリー(ハ)ブリチシコロンビアの河谷低地等である、小麥はカナダ産業の大宗で小麥輸出額としてはアルゼンチン及びアメリカ合衆國よりも重要であり、カナダ總輸出額の四—五割を占めてゐる。燕麥は濕潤である沿海諸州に多く、プレーリーでは小麥地帯の北方に耕作せられ北部森林帯の縁邊に生産される。その他ライ麥・馬鈴薯・大麥等を産し、ノヴァスコシャ半島の谷地・セントローレンス低地には果樹栽培がよく發達してゐる。牧畜業は牛・羊・豚等が飼育せられ、牛は乳牛が多く夏に於いてさへ比較的低温である東部地方では、ミルクの保存及び酪業に對して好都合である。

カナダ西部の森林中には米松と稱せられてゐる Douglas fir 及びえぞ松があつて、米材として太平洋岸の諸港より輸出されてゐる。東部山地の森林はパルプの製造用として好適であり、オッタワ・モントリオールの如きは木材工業の中心地である。パルプ工業の發達に就いてカナダ東部の針葉樹森林帯に關係があり、え

ぞ松・樅等の豊富な森林に原料を得てゐる。第二の條件としては水力による低廉な動力と多量に要する水に依存してゐる。

鑛業は次第に發達を來し、金・石炭・鉛・銅・ニッケル・銀・石棉等の産がある。石炭の埋藏は豊富であるが、年々一五〇〇萬噸内外を出すに過ぎず年々輸入の状態にある。之は合衆國の石炭が安價に供給されてゐる爲で、プリーリー西部炭田の如き内陸に於けるものよりも運搬が容易であるからである。金は石炭と共に重要であり、一八六九年にユーコン河地方に金が發見せられて多くの移民を集め、一九〇〇年にはその絶頂に達した。クロンダイク(Klondyke)のドーソンシチー(Dawson City)は砂金の鑛山都市で著るしい發達を見たのであつたが砂金の減少と共に衰微した。一九三一年の金産出は南阿聯邦に次ぐ第二位がカナダであり、八三廂の金を出してゐるのである。産金の中心は北方より南方に轉じてオンタリオ州が中心となり、カナダの五分の四を出してゐる。ニッケルはオンタリオ州の Sudbury 地方がその中心で、世界産出の七〇%以上を占めてゐる。

貿易は輸入超過で一九三〇年の輸出は八億一七〇〇萬弗で、輸入は九億〇七〇〇萬弗であつた。輸出品の主要なるものは、小麦・紙及び紙製品・木材・麥粉・銅等で、輸出品は鐵及び鐵製品・石油・石炭・綿織物・毛織物等である。その取引國は米國との間に最も多く五五%に當り、英本國は之に次ぎ(二二%)其の他獨・佛等の諸國との間に盛んである。カナダから我が國への輸出品は小麦・鉛・木材・パルプ等で、我が

國からの輸入品は贅澤品及び製造品が多く絹織物・生絲・茶・米・絹製毛布等が主である。

【ドミニオン[○]の發達】 カナダの人口は一〇〇〇萬餘で英人の子孫が多く、セントローレンス下流地方には佛人系が多い。一四九七年 John Cabot はイギリスのプリストルを出帆してニューファンドランドに達し、更にラブラドルの海岸地を探検した。十七世紀に入つて英人は宗教上の自由を求めてニューイングランド地方に植民地を開拓したが、一方フランス人は新フランス會社を設立してカナダ植民地を經營したのである。こゝに於いて英佛兩國人間に植民地競争が起り、英佛本國間係争はこの植民地間にも争が波及し、七年戰役の結果遂にカナダは英領に歸した。(一七六三)其の後カナダは東西の二部に區分せられ、英人の多く居住する上カナダ[○] Upper Canada (西部)と佛人の多し下カナダ[○] Lower Canada (東部)の行政區劃より成つてゐたか、後には合同して英の一自治領となつた。

カナダはカナダ領土(Dominion of Canada)と稱する英國の一聯邦で、その主權は英國王に屬し總督が派遣されてゐる。オッタワはカナダ領土の首都であり上下兩院の議會があり、各國と通商條約を締結し國際聯盟に加入する有様で、我が國とは公使を交換してゐるのである。地方は九つのプロヴィンス(Province)に分れ、各プロヴィンスには總督から任命された副總督がある。各プロヴィンスは何れも一院或は二院制の議會を有し自治をなすもので、其の他に北方の地方は三つのテリトリー(Territory)に分たれてゐる。

【教授】 カナダを地理的に区分してその地誌を説明し、産業・交通・政治によつて之を統括するといふ記述の方法をとつた。教授に際しても同様の方法でよいと思はれるが、教授時数によつてその順序を變更することも必要となるのである。二時間の時数で之を授くる時も三時間の場合に於いても、常にカナダの總括的教材と地理的地域を精細に授くる教材を適當に考慮することが大切である。

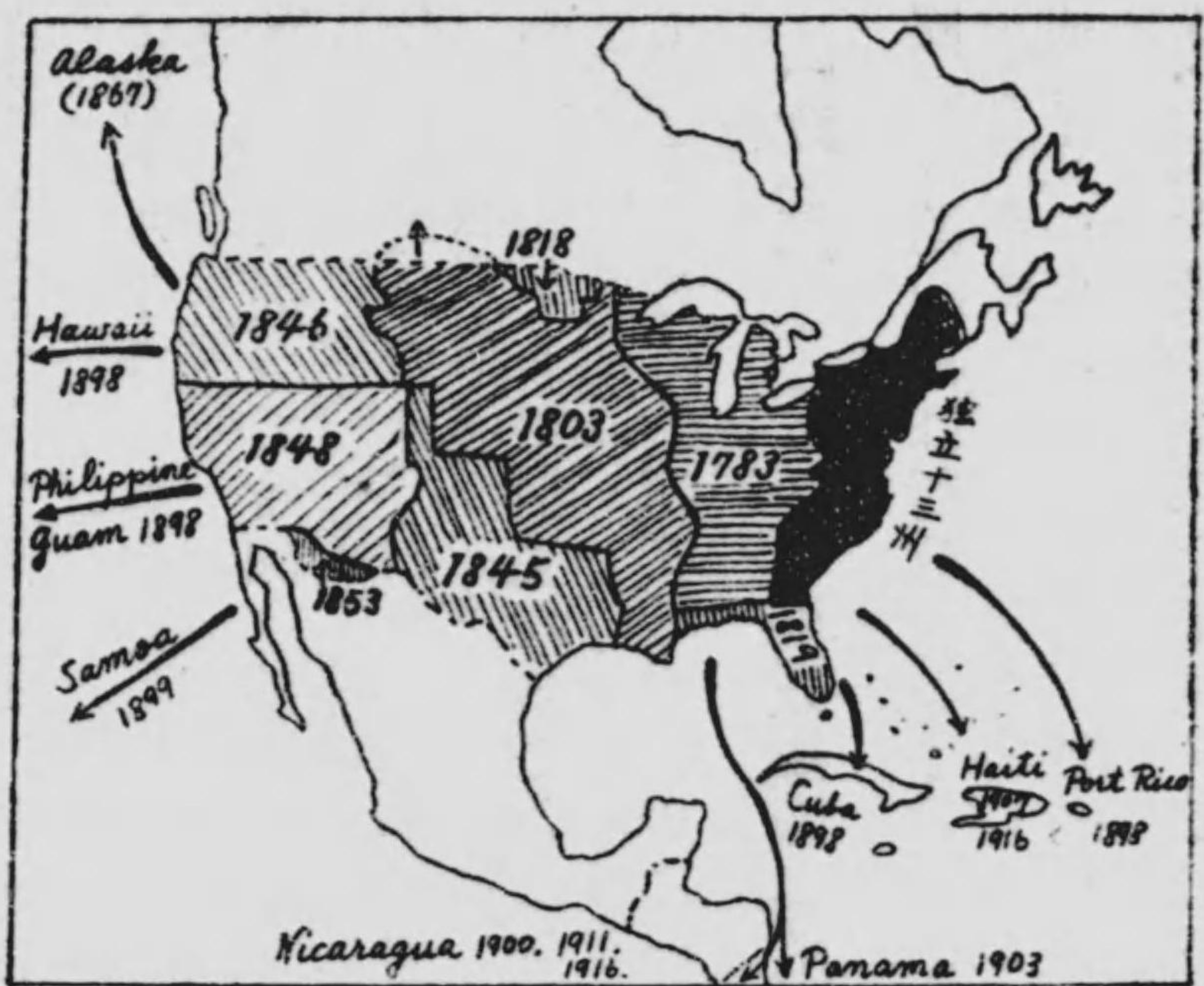
第四章 アメリカ合衆國 (United States of America) (面積七八〇萬方料 人口一二二八〇萬)

第一節 政治

【合衆國の膨脹】 第十六世紀の中葉に英國々立教會の宗教統一に反抗して起つた新教徒の團體がピューリタン Puritans (清教徒)であつて、すべての英國國民を國立教會に歸せしめんとする宗教の統一令に猛烈な反對をなしたのである。ピューリタン一派は政府より大いに迫害せられて國外に逃れる者多く、オランダに移つた者の中には一〇〇餘名の團體を組織して新大陸に自由の天地を求めたのであつた。彼等はアメリカ合衆國の北東地方ニューイングランド (New England) に理想郷を求め、一六三〇年にはボストン市を開きマサチューセツツ州・ニューハンプシャー・ロードアイランド州・コネチカット州等のニューイングランド四州の基を開いた。アメリカ植民地は十七世紀の中葉には南方一帯に迄伸び、ニューイングランド地方の北部諸州民は殊に自由を尊ぶものであり、中部(四州)諸州ではこの思想に従ふ者も多かつたが、南部(五州)諸

州民は貴族的で且つ保守的であつた。

上記の諸州が所謂アメリカの十三州をなすもので、七年戦役後次第に獨立心をたかめ産業の發達も著しくなつたので、英本國の不當課税に反對して本國と通商を絶ち、一七七六年獨立宣言書を公にした。次いで十



第121圖 アメリカ合衆國の膨脹

一八九八年にはハワイ諸島・フィリッピン諸島を領有して著るしい國土の膨脹が促された。

【汎米主義】(Pan-Americanism)

大西洋岸に起つたアメリカ合衆國は、獨立當時の十三州に比して四八

州となり、その西進の領土擴張に對してはさまで妨害となるべき國家を見出さなかつた。建國の當初より米國は中立主義を守り之を國是としたが、一八二三年時の大統領モンロー (James Monroe) は所謂モンロー主義 (Monroe Doctrine) を宣言してアメリカ大陸に對するヨーロッパ諸國の干渉を防止し、遂には西半球に對する干渉をも拒絶して南米諸國の獨立を擁護した。而してその版圖及び人口は次第に増加し、國力が充實するに従つて帝國主義的傾向を示し、米西戦争の結果海外に植民地を有するに至り、又キューバの獨立を達成せしめたり、パナマ運河地帯を租借するなどその強勢を示すに至つたのである。今やアメリカ合衆國は南北アメリカの盟主たることは國人の信念となり、世界大戰後は世界の國際關係に於いて特殊の地位を占めてゐる。この急速な障害の少ない發展は、必然的に世界第一主義の精神が米人を支配するに至つた。

【政治】 アメリカ合衆國は立憲共和國であつて、その政治形態は一七八七年の憲法に基いてゐる。合衆國の政治組織は行政・立法・司法の三權が分立せられ、政府と上下兩院の國會 (Congress) 及び大審院とから成り立つてゐるもので、國會が政府によつて解散せられる如きことはない。行政權は任期四年の大統領にあり、副大統領が之を補佐する。立法は國會の權限であつて、上院及び下院の二院制であり、上院議員は四十八州より各二名宛合計九六名でその任期は六年である。下院議員は十年毎に行はるゝ國勢調査に依つて約二一萬人に對して一名の割合で選出されるもので、現在四三五名の議員から成つてゐる。之等の議員は州知事と共に選舉に依るものであつて、婦人も選舉權を有し代表的な普通選舉である。大統領 (President) の選

舉は、各州より議會に送つてゐる上下兩院の議員數に等しい選舉人を一般投票によつて選舉し、その選舉人の投票によつて選舉されるのである。大統領の權限は種々制限される所であつたが、次第に大統領の地位は向上を來し國王と總理大臣を兼具した如きものとなつてゐる。米國の政治は純然たる政黨政治であつて、有力な政黨は共和黨及び民主黨の二大政黨である。民主政治に伴つて生じたので、建國の當時より政黨は大いに活動してその勢力を張り、州を中心とした地方政治と中央政府とは政黨によつて結合されてゐると見ることが出来る。この米國政治の流れが多くの共和國に見られるもので、共和政治の大宗とも言ふべきである。

第二節 地形區

【三大地形區】

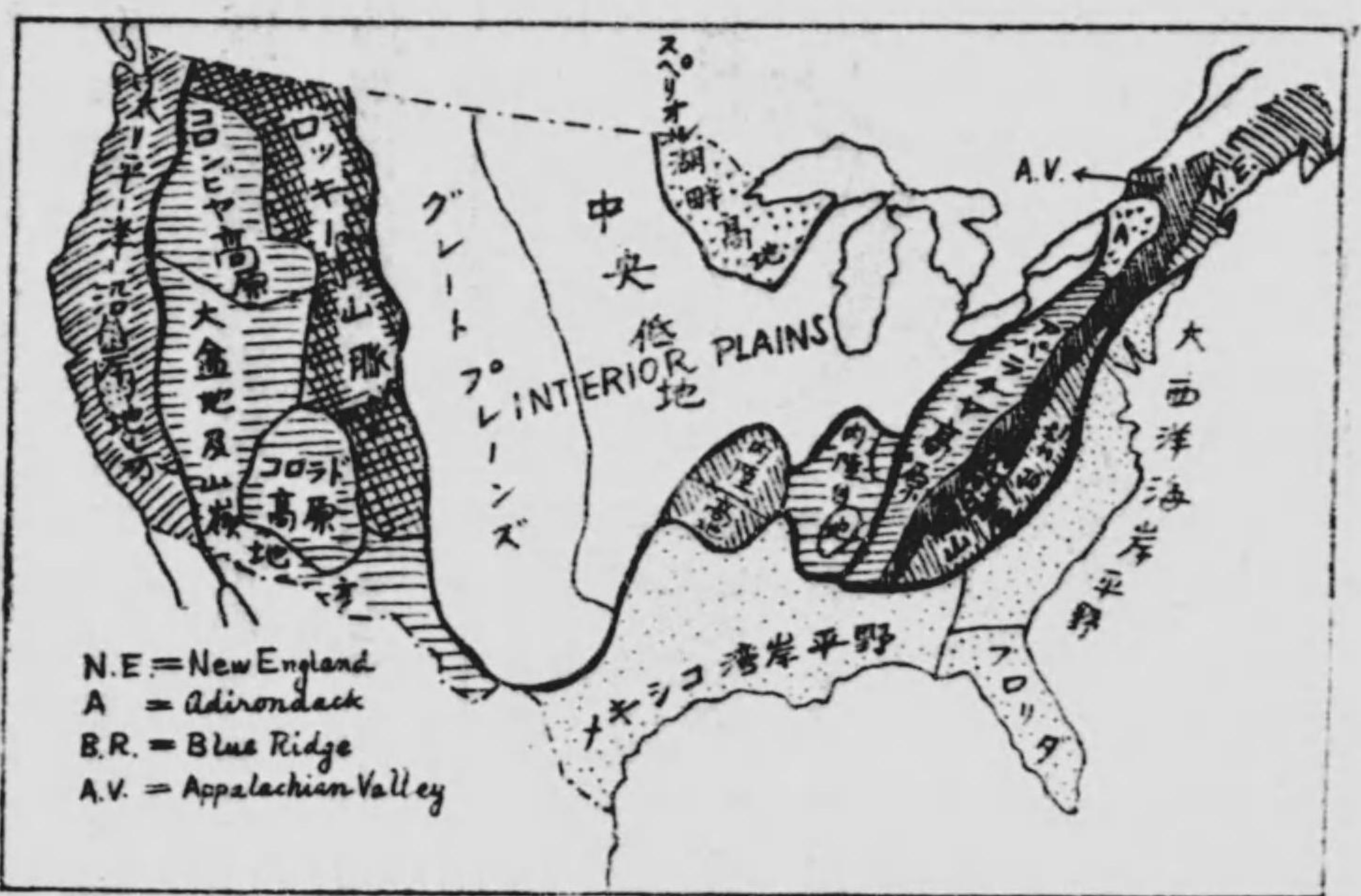
北米大陸は地形及び構造上より南北に走る三帶を區別し得ることは既に記述した。

(1) 大西洋岸山地 (Atlantic Mountains) を構成するもの、主部はアラチャ山脈 (Appalachian Mountains) で、その主軸とも稱すべき所がアレガニー山脈 (Allegheny) である。地質時代には幾度かの隆起と削剝の時代を繰返されて現在の地形を呈したものであり、重輪廻の褶曲山脈である複雑な構造を有してゐる。その東部に存在してゐるピドモント高原 (山麓高原 Piedmont Plateau) はアラチャ山脈の山麓地帯をなすもので、古い結晶質岩石から成るところであるから、地質學者に依つて名づけられたアラチャ古大陸の一部に相當するものである。その東部の大西洋岸平野は、砂質及び粘土等の新しい地質の堆積層から成つて

ゐて、近世に至つて海底が隆起して生じた純然たる海岸平野 (Coastal Plain) をなしてゐる。

(2) 大陸盆地 (Continental Basin) として区分した中央平原は、ミシシッピー (Mississippi) 河流域の廣大な平原で、或は低く或は高く地形上も決して單調ではなく、地質構造上多くの變化をもつてゐる。平原の略、中央にあるオザーク高地 (Ozark Highland) 及びオウアキタ山脈 (Ouachita Mountains) の如きもその單調を破るもので、アパラチャ褶曲系に屬する高地をなしてゐる。ミシシッピー河は全長六五三〇軒あつてその長大なこと世界第一であり、その下流では著るしく蛇曲 (Meander) して千切れメアンドンダーを多く残し、廣い Meander Belt を有してゐる。下流ではメキシコ灣海岸平野の中央部に突出三角洲を形成してゐて、その形は掌狀に分れて河口は淺く、毎年一〇〇m宛海中に進出を續けてゐる。ミシシッピー河の西部は所謂プレーリー (Prairies) で、もとは森林を有した平原であつたが、インデアンに依つて焼拂はれて現今は次第に農業地となつた。プレーリーに續いた西部は高原狀の土地となり、高度の如きも一五〇〇——二〇〇〇mに達する所で大平原 (Great Plains) と稱せられてゐる。

(3) 太平洋岸山地 (Pacific Mountains) は第三紀の造山運動に依つて形成された新しい褶曲山地で、合衆國に於いて最も大なる幅員を有してゐる。ロッキー山脈を主脈とし、氷河公園・黄石公園 (Yellowstone) 等の雄大な國立公園を有し、コロラド州のブランカ (Blanca) 峯の如きは四三八六mの高度を有してゐる。太平洋岸には海岸山脈 (Coast Range) があり、その背後にある Cascade Range 及び Sierra Nevada (ネヴァダ



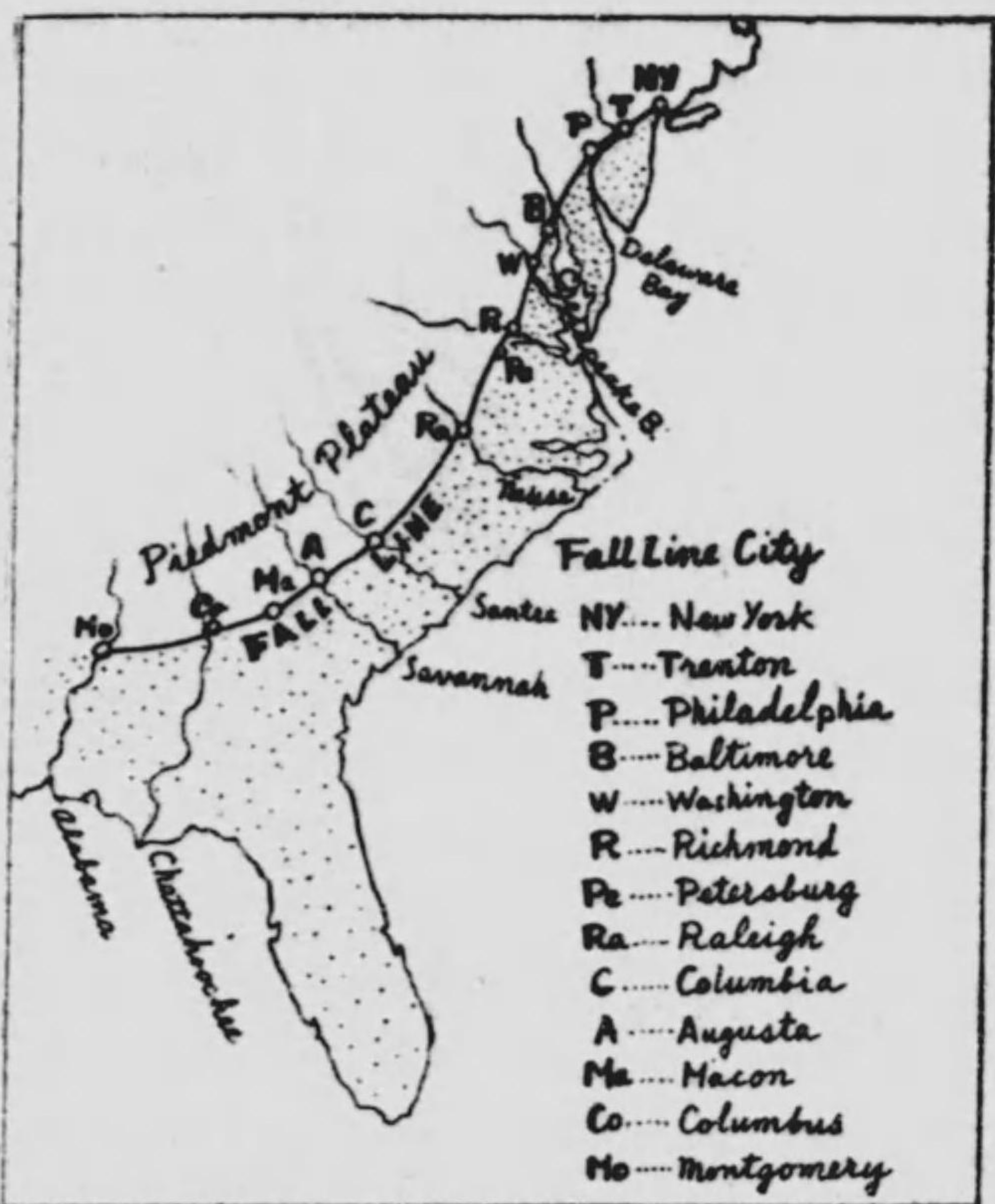
第122圖 合衆國の地形區

山脈) は著るしく壁立した山脈を構成し、ヨセミテ公園 (Yosemite) セクオイヤ公園などがある。以上の三つの並行山脈間には一大山間盆地列と狭長な低地帯とが存在してゐる。コロンビヤ河はコロンビヤ高原を流れて西流し、コロラド高原には大峽谷 (Grand Canon) の如き著るしい侵蝕をなして流れてゐるコロラド河があつて、『造化の最も驚くべき作品』(The most wonderful work of Nature) であると言はれてゐる。山間盆地の中間にあるものが大盆地 (Great Basin) で、廣大な内陸流域を形成し大鹽湖 (Great Salt Lake) の如き内陸湖が多く存してゐる。西部の一大低地帯にはピュージェット灣 (Puget Sound) の如き陥没の著るしい所があり、中央部にはカリフォルニア平原がありその縦谷をなしてサクラメント河・サンオーキン河の二河が貫流してサンフランシスコ灣に流入してゐる。

【地形區】

【一】 大西洋海岸平野 (Atlantic Coastal Plain)

アパラチャ山地と大西洋間に存在してゐる狭長なる海岸平野で、南西部ではメキシコ湾海岸平野 (Gulf Coastal Plain) に連続してゐる一連の平野であるが、フロリダ半島地によつて之を二分し、その北東部を大西洋海岸平野と呼ぶことに従つた。この平野の基盤をなすものは、中生・第三紀及び第四紀の石灰岩・砂質・粘土等の地層で、削剝作用に依つて帯狀の小起伏を生じたが、地層の傾斜は地表面の傾斜より一般に緩かであるから、ケスタ地形は顕著な發達はなしてゐない。然しこの地質に應じて土壤が異なる爲に、帯狀に生産地帯の區分を見る。海岸地帯の砂質及び泥質地帯の内側には粘土地帯があつて農耕が行はれ、その内側にある砂質地帯には松の森林がある。木材の供給に於いては價値を有してゐるが、農耕地帯は生産的により重要である。



第123圖 布瀑線及び瀑布線都市

この海岸平野は新しい隆起に依つて生じたものであるが、その北部に於いては沈降を示した爲に、チェサピーク (Chesapeake Bay) デラウェア湾 (Delaware B.) 等の屈曲に富んだ溺れ谷がある。その幅員は次第に北方に狭くなりニューヨークで海に没してゐる。之に反して、ヴァージニア以南の海岸は沿岸州・潟湖がよく發達してゐて、隆起海岸の特色を呈してゐるのである。

【瀑布線】(Fall Line) 大西洋海岸平野の西限にはピド

モント臺地 (Piedmont Plateau) があつて、その臺地縁邊の接觸部に一連の瀑布線がある。大西洋に流入する Delaware, Potomac, James, Neuse, Savannah, Altamaha 等の諸河川は、臺地を流れて海岸平野に出る所で瀑布・早瀬をなしてゐる。硬軟の異なる地層が侵蝕の差異によつてこの地形を呈したもので、こゝには瀑布線都市 (Fall Line City) の發達を促した。北部に於いては沈降の結果に依つて、瀑布線都市は臨海都市たる性質を有し、New York, Philadelphia, Baltimore, Washington 等の港が發達し、南部に於いては瀑布に位して Richmond, Raleigh, Columbia, Augusta, Macon, Columbus 等の都市が存してゐる。

【二】アパラチャ諸地方 (Appalachian Provinces)

(1) ニューイングランド アパラチャ山脈の北東部に當る所で、大西洋海岸平野の如く新しい地質から成る海岸ではなく、片麻岩・片岩・花崗岩等の古い結晶質の岩石から成つてゐて、長期の侵蝕作用によつて準平原化せられた所である。その西の境界はハドソン川チャンプレン低地によるものであつて、英國よりの宗教移民によつて最初に開拓された所である。ニューイングランドの南部では隆起準平原が見られ、準平原上には残丘群があつてモナドノック山 (Monadnock) グリーン山地 (Green Mountains) ホワイト山地 (White Mountains) 等が残存してゐる。グリーン山地はニューヨーク州のアデロンダック山地と共に避暑地として有名であり、ニューハンブシャーのホワイト山地は北アパラチャ山系の最高地でワシントン山 (Washington)

ton)は一九一八米の高度を有してゐる。Monadnockは殘丘の術語として Davis 教授によつて使用されたもので、ニューハンプシャーの南境に近く存してゐる。ニューイングランド準平原はその平均高度二一三〇〇mであつて、その表面は臺地狀の地形を呈し多くの幼年期の河谷が発達してゐて、東海岸に終る所には多くの溺れ谷があり岩石海岸をなしてゐる。

氷期に於ける大陸氷河の侵蝕を受けて、臺地狀の平坦面中に多くの小湖が形成された。氷河堆積物等の分布が多いから土地は肥沃でなく、農業には好適とは言ふことが出来ない。然し氷蝕地形によつて瀑布・急流等が多く、水力發電に適してゐるから工業地として發達したのである。Johnson に依れば、ニューイングランドの海岸地形は氷河作用に關係あるもので、峽灣海岸・端堆石海岸・氷河性河流堆積物海岸・ドラムリン海岸等を區分してゐる。コッド岬 (Cape Cod) の如きも氷河作用に關係して生じたもので、氷河性三角洲海岸をなすものとして説明した。

メイン灣の沖にある海底臺地は、大陸に急斜面を向け大洋に向つて緩斜する非對稱的淺堆で、多くの學者によつて注意せられたのである。海流或は氷河等に依るものとの説があつたが、ジョンソンは地形的研究によつて地殻運動を論じ、この淺堆は過去のケスタ地形であり、メイン灣の深部は縁邊の陥落地であつたもので共に沈水して生じたのであるといふ。Shepard に依ればニューイングランドの海底には多くの河成による峽谷があつて、陸棚形成以前のものであらうと述べられた。

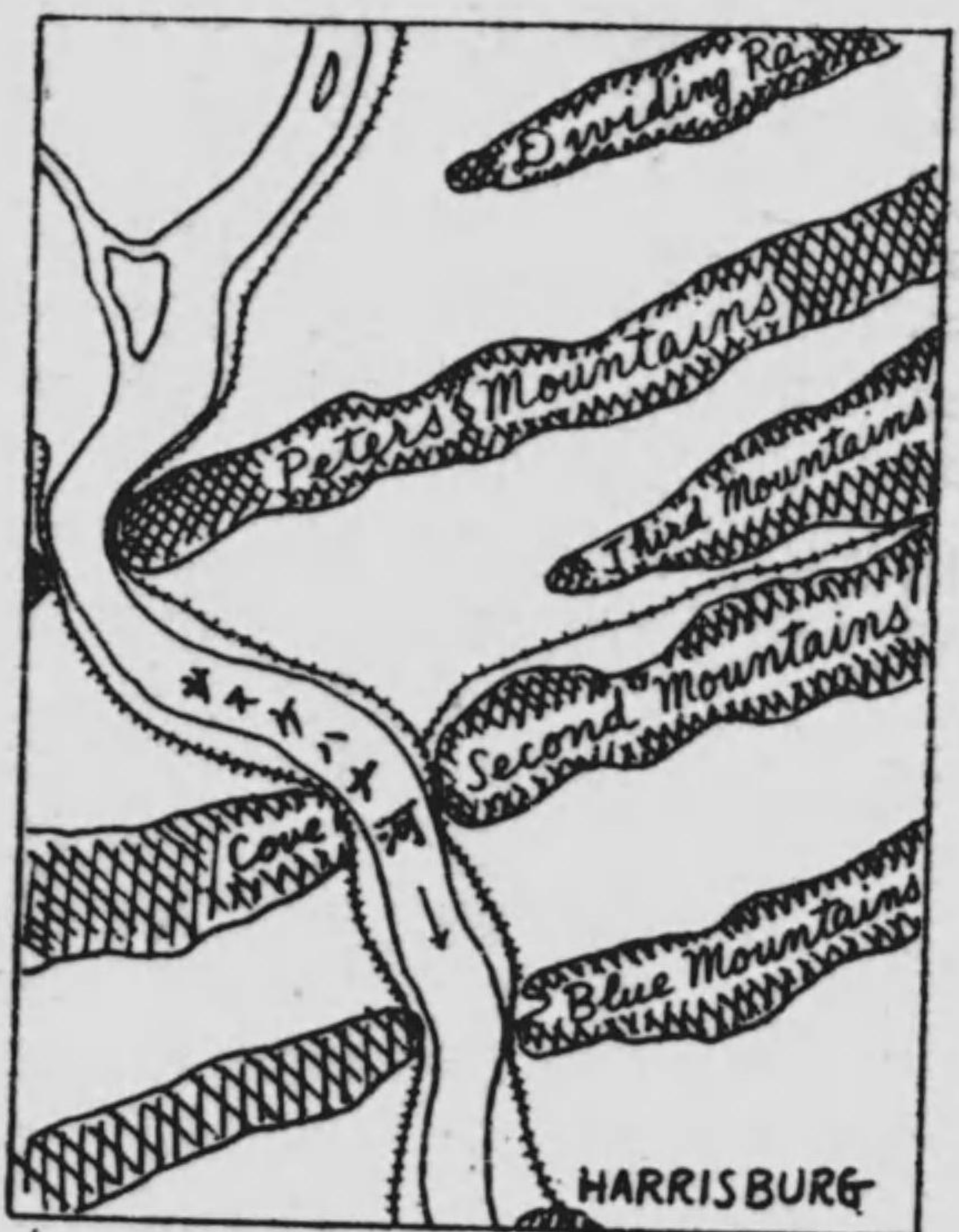
(2) 山麓臺地 (Piedmont Plateau)

北はハドソン河口より南はアラバマ州に至る結晶質岩石の臺地面で、高度は一〇〇—四〇〇m内外であり、隆起準平原をなしてゐる。これは地形上ニューイングランド準平原に相當するもので、西部に於いてはブルーリッジに接してゐるのであるが、彼に比して氷蝕を受けることなく、岩石の分解による土壤が之を被覆して厚層をなしてゐるから極めて肥沃である。北部のニューヨーク・フィラデルフィヤ地方では諸所に多くの丘陵が存在し、著るしく削磨された三疊紀の地層から成つてゐて、そこには郊外小都市が多く人口も稠密である。南部のメリーランド・ヴァージニア以南では、波浪狀の臺地をなし老年期の狀をなした広い河谷をなしてゐる。ピドモントの各地は肥沃な土壤が厚く存してゐるから、東部の海岸平野に續いた農耕地帯をなし、ヴァージニア州では煙草が栽培せられ南部諸州では棉花の耕作が發達した。この地方の生産が著るしいこと、水力利用に依存して多くの工業都市の發達が見られ、アトランタ (Atlanta) の如きは紡績工業の盛大な都市をなしてゐる。

(3) アパラチャ山脈 (Appalachian Mountains)

アパラチャ山系は北東—南西の走向を有してゐて、ニューイングランド・アダイロンダック・ピドモント等の部分もこの山系に屬するものであるが、その西部には高峻なブルーリッジ (Blue Ridge) その西に續いて褶曲アパラチャ (Folded Appalachians) アパラチャ台地 (Appalachian Plateau) 等の山脈が連亘してゐる。山麓台地とブルーリッジの部分は古アパラチャ (Older Appalachians) と呼ばれてゐる所であり、之に對してカナダの南部からペンシルヴァニア・メリーランド・

ヴァージニア・チヨージヤ・アラバマ等の諸州を通じてゐる新アラバチヤ (Newer Appalachians) の二部を区分し得るのである。前者は奥陶紀の褶曲層と結晶質の岩石とから成り、地質學者に依つてアラバチヤ舊大陸として知られた所であり、後者の新アラバチヤは古生代の石灰岩・砂岩・頁岩等の累層から成り、褶曲アラバチヤとアラバチヤ高原の部分に分たれる。アラバチヤ高原はアレガニー山脈等の名によつて呼ばれてゐるけれども、水平的構造を有する臺地をなして西部に横はつてゐる。

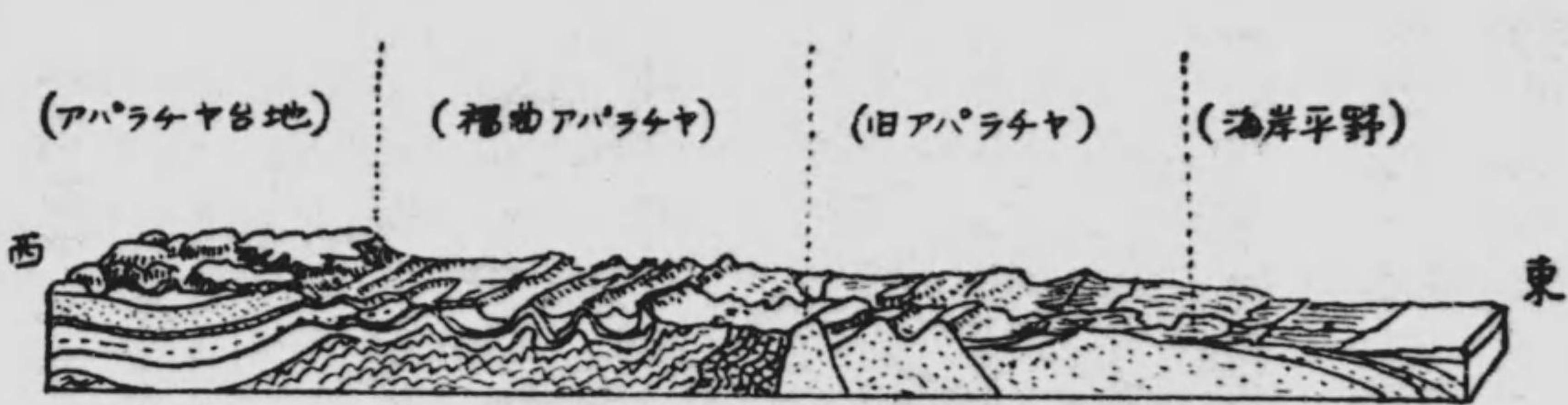


第124圖 サスケハナ河と交通路

アラバチヤ山脈は重輪廻の褶曲山脈で、古い褶曲構造の山地が長期の侵蝕を受けて準平原となり、後に隆起して褶曲した地層が木目状の地形を呈するに至つた。最も広い地域に亘る珠羅——白聖紀の準平原はキタツチニー準平原 (Kittatinny Penplain) と稱せられ、北部山地にその準平原を認め得るのである。アラバチヤの地形的一特徴をなすものは、地質構造を横断して南東流する河川の多いことで、サスケハナ河 (Susquehanna) デラウエーア (Delaware R.) 等の流路は之をよく示してゐる。之等は Davis 教授によつて表生流路として説明されたもので、この特色の研究をなした D. Johnson はキタツチニー準平原より一層古い準平原を考察して居り、瀑帯にまで及ぶ所の Fall Zone Penplain の存在を認め、次いで海浸を蒙り後に

隆起して再び準平原が形成せられ、南東流する河川は表生河流として舊流路を持続したのである。

アラバチヤ山系中で高峻な山脈状の地形を示すものは、ブルー山脈・新アラバチヤであつて、後者は褶曲アラバチヤとアラバチヤ臺地とに區分せられ、ブルー山脈及び Piedmont Plateau の古アラバチヤ西部の内陸海に生じた堆積層が、古生代末期の地殻運動に依つて褶曲を受けて褶曲アラバチヤとなり、強大なる斷層運動によつて西部のアラバチヤ高原が高く隆起したのである。かくの如くアラバチヤ山系の構造は極めて複雑であり、その地形の發達も變化に富んでゐる。次に主要なる山脈状の部分について特色を記述した。



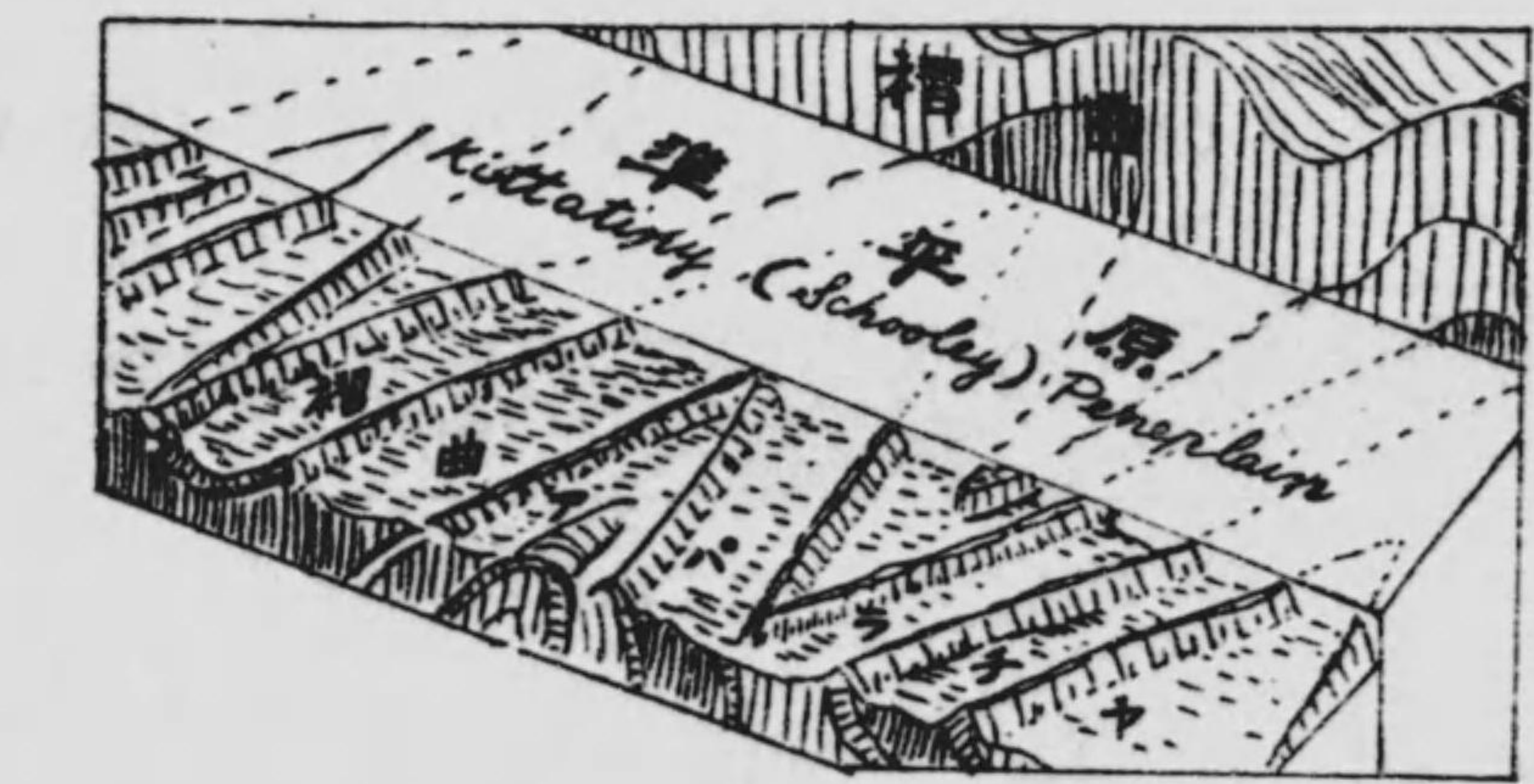
第125圖 アラバチヤ山脈の東西斷面

【ブルーリッジ】(Blue Ridge) ビドモント準平原よりこの山地を望む時には、常に靄が懸つて青色に見える爲にブルーリッジの名を得たといふ。その最高點はミツチエル山 (Mitchell) で二六〇〇mの高度を有し、その西方はウナカ山脈 (Unaka Mountains) の名で知られ、ビドモント臺地に對しては侵蝕遺物の關係にある。Davis によつてウナカと提議された殘丘連山は、この山脈に由來してゐる。北カロライナ州の西部にあるアッシュビル盆地 (Asheville Basin) は、Great Smoky Mountains 地方の保養地で、山中の豊富な木材によつて人造絹絲 (Rayon) 工業の發達を促した。南部の山地は高度も大で交通上の障害

となつてゐるが、北部では横谷が發達して横斷交通路をなし、植民時代より重要視せられたのである。

【褶曲アラバチヤ】(Folded Appalachians)

ブルーツジと西方のアラバチヤ臺地との中間地帯で、北



第126圖 褶曲アラバチヤの地形

東—南西に細長い地帯をなしてゐる。古生代地層は一高一低波状をなす模式的褶曲構造を示し、Kittatinny Penplain に依つて截斷された地層は、現輪廻に於いて背斜部及び向斜部の地層を現して連嶺と縦谷の地形を呈したのである。従つて Valleys and Ridges と呼ばれる所で山嶺は硬い砂岩・礫岩等によつて構成され、谷の部分は頁岩・石灰岩等の部分に相當してゐる。褶曲アラバチヤは軟弱な石灰岩の岩石に關係して容易に侵蝕せられた爲に、各低地は土壤によつて厚く被はれてゐる程であり、從順地形 (Subdued Topography) を示してゐるから山地の如きも餘り高くない。北部に於いては高度を増してゐるけれども、交通上の障害となること少なく、最初には狩獵を目的としてこの地に多くの移民を集めたが、後には農業地として谷底の各地が開拓せられたのである。この一高一低の地形は二疊紀の褶曲を受けた地層が、白堊紀に準平原 (Kittatinny Penplain) となり、後の侵蝕によつてこの特色ある地形を呈した。然し東西の兩山地の高度に比して著しく低い爲に、アラバチヤ縦谷 (Appalachian Valley) 或は Great Valley 等の名に依つて呼ばれてゐるのである。

【アラバチヤ高原】(Appalachian Plateau)

土語の果なき山脈の意であるアレガニー山脈 (Allegheny

Mountains) 及びその西部にあるカムバーランド山脈 (Cumberland) 等の地帯は、地形上一大高原をなすものであつて、地質的には前述の褶曲アラバチヤと同様であるが、彼の如く褶曲構造を示すことなく臺地狀の水平地層を示してゐる。この地帯は北東部ではニューヨーク附近から、南部ではアラバマ州に至るまで連続するものであり、その水平構造は Catskill, Allegheny, Cumberland 等の諸山地を通じてゐる。その高原面は堅い砂岩層から成り、侵蝕を受けた臺地面は河谷に刻まれて壯年期の地形を呈するに至つた。北方のキャツキル山地の臺地面には、礫岩から成る小起伏があつて平坦なメサ (Mesa) の地形を呈してゐる。

アラバチヤ高原の各地に於いては、石炭及び石油の礦物資源に富み、經濟的に大きな價值がある。ペンシルヴァニア州に於いてはアレガニー臺地に良質の石炭を産出し、その中心地がピッツバーグである。またこの地帯には石油の埋藏も著るしい。この山地が交通上に及ぼす影響は非常に大なるものがあり、南部のテネッシー地方では大きな妨げとなるに反し、北部では河谷交通が發達した。サスケハナ河 (Susquehanna R.) ポトマク河 (Potomac R.) デラウェア河 (Delaware R.) の如きはその主要なるもので、都市の分布も河谷交通の要地に點在してゐる。

(4) アデIRONダツク (Adirondack)

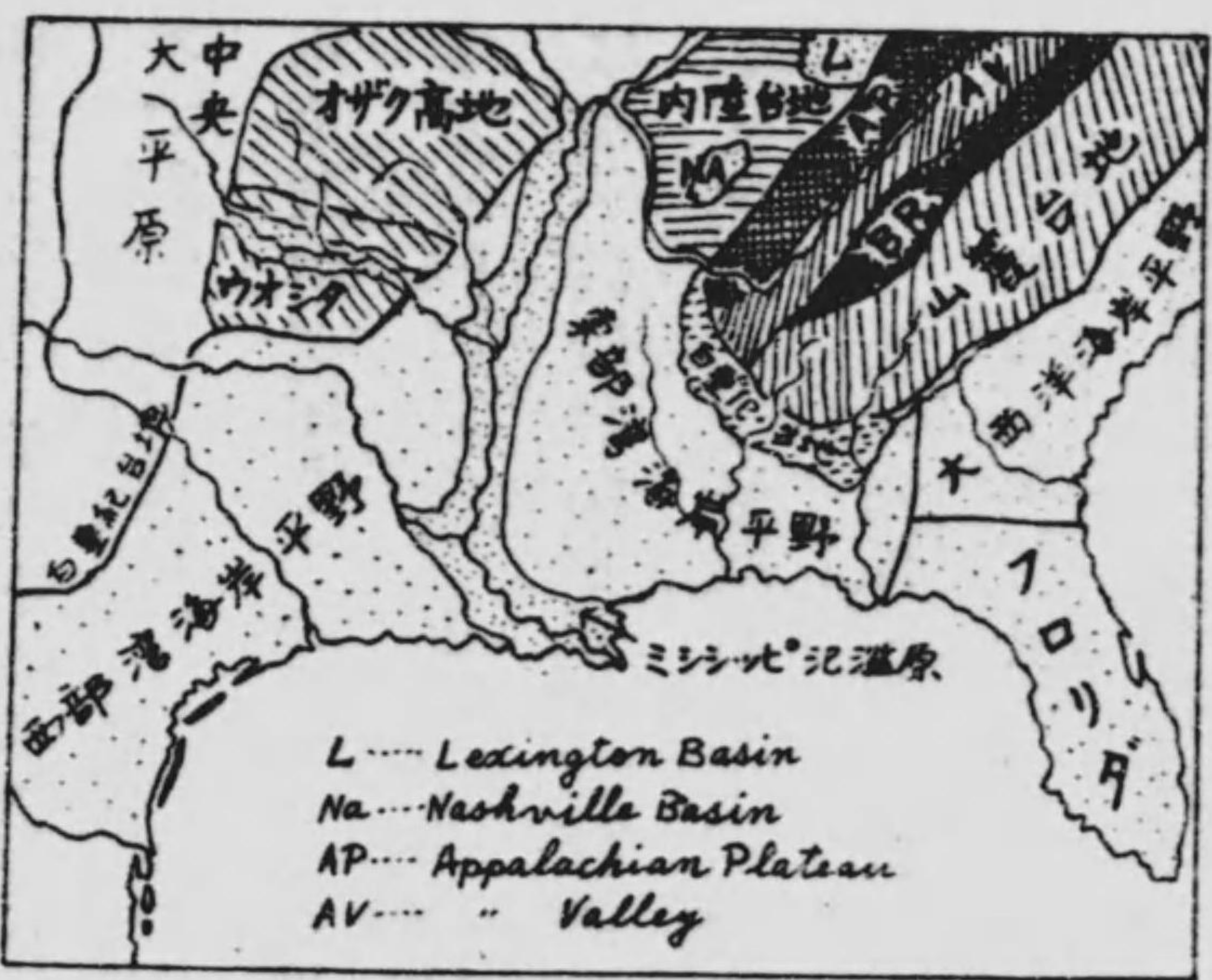
山地は、Catskill Mountainsの北方に一低地——モホーク (Mohawk)

の谷を隔て、存在し、マレー山は一六三九mの高度を有してゐる。ローレンシャン高地は延長してアデイロ

ンダックの結晶質岩石の山地となり、多くの湖沼を有してゐて避暑地として有名である。

【三】 メキシコ湾岸平野 (Gulf Coastal Plain)

メキシコ湾海岸平野は廣義の大西洋海岸平野に屬するものであるが、大陸盆地の大低地に連続するものであるから之を區別したのである。この平野は最近の地質時代に海床から隆起した砂及び粘土層から成つてゐて、白堊紀及び第三紀・第四紀の地層が南方に緩傾斜して、带状海岸平野 (Belted Coastal Plain) となり、中央部に於いては幅員は實に七〇〇
野に達してゐる。經濟的には合衆國の棉花地帯を構成し、良好な土壤を有してゐるから棉花耕作を著るしく發達せしめた。この地帯はフロリダ半島及びミシシッピー沖積平野、更にこの沖積平野によつて東部及び西部のメキシコ湾岸平野の四區に分たれる。



第127圖 メキシコ湾岸平野

る Black Belt は棉花耕作の好適地をなしてゐる。ミシシッピー沖積平野は、同河の氾濫原 (Flood Plain)

であつて、五〇——一〇〇の幅を有する地帯である。この大氾濫原は堤防の出来る迄は増水毎に水に没したが、今は堤防によつて保護されてゐるから僅かに一〇の河幅を有するのみとなつた。ミシシッピー河 (Mississippi R.) はこの Flood Plain を蛇行してゐて、河の兩岸には多くの三日月沼を残し、河口は著るしく海中に突出して鳥趾状三角洲を形成してゐる。西部湾岸平野はアーカンサス・ルイジアナ・テキサス諸州の低地で、棉花地帯の西部に當つてゐる。テキサス州の海岸は沿岸潮流によつて見事な沿岸洲 (Off-shore Bar) が續してゐて、ガルヴェストン (Galveston) の如きはその洲上に位してゐる。

【註】ミシシッピー河 ミシシッピー河はインデアン語の大河の意で、全長は六五三〇新で世界第一の長流をなし、流域面積は三二五萬方軒(日本面積の四・八倍)である。その本流はミネソタ州の小湖に發し、長大な支流を多く集めてメキシコ湾に注ぐ。その支派にはミズーリ河 (Missouri 4747 km) オハイオ河 (Ohio) アーカンサス河 (Arkansas) レッド河 (Red) 等の大河があつて、その流域はアメリカ合衆國の五分の二に當る面積を占めてゐる。河口の突出デルタ (Projection Delta) は多量の土砂を流入して鳥趾状となり、年一〇〇mの突出を續けてゐるといふ。この大河は四季を通じてセントルイス (St. Louis) に至るまで大汽船が航行することが出来、小船は更にセントポールに至る迄一年の大部は通航し得るのである。かくの如き状態にあるけれども、商業上の價値は大であると言ひ難いもので、その流路の方面が南北であることがその利用を大ならしめない理由である。若しこの河川の流路が、ヨーロッパの工業地帯に向つて東流するものであつたならば、合衆國交通の幹線をなしたと思はれる。

【四】 内陸諸臺地及び高地 (Interior Plateaus and Highlands)

【内陸臺地】(Interior Low Plateaus) アブラチャ高原の西部にある低い臺地で、ケンタッキー州・ Tennessee 州等の地域を占めてゐる。アブラチャ臺地は東方に山嶺として屹立し、複雑な山麓線に依つてこの

内陸臺地に接してゐて、この二州山地に對しては侵蝕遺物の關係にある。内陸臺地の原表面は第三紀初期の形成による準平原であつて、東部では三〇〇—三五〇mの高度を有してゐるが、次第に西方に傾いて一五〇mの高さを示すに至る。Highland Rim 臺地がその大部を占め、石灰岩が多い爲にその各地に於いてカルスト (Karst) 地形を見るのである。この荒れた臺地の山間には、レキシントン盆地 (Lexington Basin) ナッシュビル盆地 (Nashville Basin) の豊沃なる二低地があつて農耕がよく行はれ、同名の二都市がその中心をなしてゐる。

【内陸高地】(Interior Highlands) この高地はミシシッピー河を隔て、内陸臺地と相對し、メキシコ灣海岸平野と内陸平野を隔てゝゐる。オザーク高原 (Ozark) はミズーリ州及びアーカンサス州北部にある高原で、内陸高地の北部を占めてゐる。オウアキタ高地 (Ouachita Highland) はアーカンサス河以南に横はつてゐて、中生層から成る山地は山脈状をなして東西に走つてゐる。この高地はアパラチャ系の褶曲山地と同様の形成によるもので、アパラチャ山地とは海岸平野の地層の存在に依つて分離されてゐるが、同一のもの、一部であらうと言はれてゐる。山地は森林に富み材木を産出する。この山地地方は交通が不便であつて、その開發は他の諸地方よりも遅れてゐる。

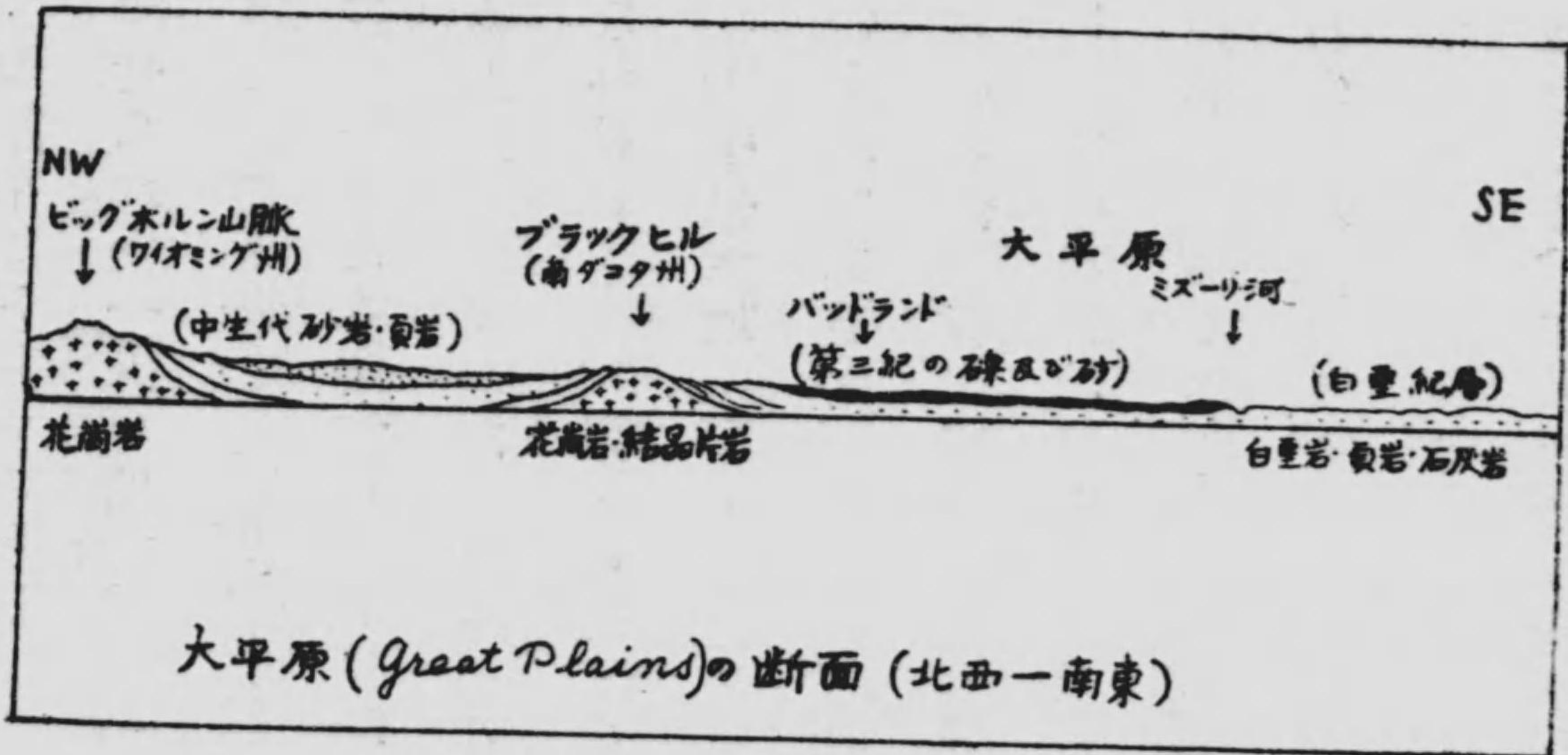
【五】内陸平原 (Interior Plains)

内陸平原と稱する所は、アパラチャ山脈・内陸諸高地・ロッキーマウンテン・スペリオル湖畔高地等によつて圍繞せられた一大平原で、第一二二圖に示す如く中央低地及び大平原の二部に分つことが出来る。所謂プレーリー (Prairies) と稱せられてゐる大平原であるが、西部のグレートプレーンでは寧ろ高原状となり、High Prairies とも稱せられる。略、百度の經線によつて東西に兩分せられるもので、地形及び氣候上からも亦産業上からも異つた二地域をなしてゐる。百度の經線以西では雨量は五〇〇耗以下で、その爲に農業が行はれないけれども、以東の地では農業の發達が近來著るしく行はれてゐる。

(1) 中央低地 (Central Lowland) ミシシッピー河以西が、樹木の少ない草地の特色を有した Prairies の土地であるが、オハイオ河以北のインディアナ州・オハイオ州等もプレーリー諸州と稱せられ、インディアンの居住時代には開放的な草地が各地に存在してゐた。プレーリーの總面積は合衆國の半ばに近い面積を有し、凡そ四〇〇萬方呎に及んでゐる。五大湖の地方には、オンタリオ湖沿岸地帯・イリー湖畔・ミシガン湖岸等には湖底堆積物から成る平原——Lake Plains があつて、農業が發達してゐる。之に接した各地には堆石の分布が多く、ドラムリン (Drumlin) の地形が各地に見られる。スペリオル湖は他の四湖とは異つてゐて、ローレンシャン高地中に突入して横はつてゐる。ミシガン湖・ヒューロン湖・イリー湖・オンタリオ湖地方では、アパラチャ舊大陸から北方に運ばれて生じた累層があつて、ハドソン灣から南方に存在した一大内海中に沈積したのである。古生代の地層である Ordovician, Silurian, Devonian の各層は幾つかの急崖を

北方に向けてゐるケスタ(Cuesta) (Niagara Cuesta) 地形をなしてゐる。ナイアガラ瀑布の懸つてゐるナイアガラ石灰岩はその急崖の一であり、Niagara Cuesta と稱せられてゐる。

(2) 大平原 (Great Plains) プレーリー西部をなす大平原は次第に西方に高くなり、一〇〇〇—二〇〇〇mの高原状の土地に移つてゐる。プレーリー東部の中央平原とは區別し得るものであるが、劃然たる線状の境界をなす部分は少なく次第に漸移するものである。然しこの移行地帯(Transition Belt) は極めて狭いものであつて、雨量五〇〇耗の線によつて中央平原と區別し得るのである。コロラド・ワイオミング・モンタナ諸州の各地には、臺地の侵蝕地形をなすメサ(Mesa)及びビュート(Butte)があり、カンサス・ネブラカス州等では不定期の豪雨及び風に依つて形成された Badland 地形がある。この地方は雨量が少ない爲に農業が未だ發達せず、牧場として利用されてゐる程度である。然し乾燥農業の好適地であると言はれ、灌漑事業の如きも次第に發達するに至つた。南ダコタ州 (South Dakota) の西部にあるブラックヒル(Black Hills)は地層がドーム型に隆起した穹隆状山地 (Domed Mountain) であり、内部の花崗岩・結晶片岩等を



第128圖 大平原の断面圖 (北西—南東)

露はし、上層は侵蝕を受けて鋸齒状になつてゐる。この山地は平原より屹立して二一八〇m餘の高さとなり、雨量がこの山地には比較的多いから森林が繁茂してゐる海中の島の如くであるといふ。

【教授】 大西洋海岸平野及びアラチャ山系の地形を述べて、更に中央平原の地形を概説したのであるが、自然地理の考察を人文地理より重視してはならない。地形の考察は地理の基礎をなすものであつて、將來とも輕視し得るものではなく、人文現象の考察に當つて大なる力をもつものである。然し、人文の考察に全く無關係な地形的論議はなるべく避けねばならない。この意味に於いて北東部の海岸地方・五大湖地方・中央平原を特に注意して授けることにしたい。時間の都合によつては、單にこの三地域を比較して置くだけでもよいと思ふ。

(3) スペリオル湖畔高地 (Lake Superior Highland) スペリオル湖畔西部に當つて存在する高地で、ミネソタ州からワイオミング州にかけて延長する。カナダのローレンシア高地に屬する準平原高地であつて、更に氷河の侵蝕作用を受けてゐるから無數の氷河湖があり、森林の多い高地である。この地方は鑛物の産出に富み、銅鑛及び鐵鑛の重要な産地をなしてゐる。鐵鑛は太古代のアルゴンキヤ系の中にあつて、湖の南岸には鐵鑛の産地をなす Mineral Range がある。世界に於いて著名の鑛産地で、極めて重要な地帯である。

【六】 ロッキー山脈 (The Rocky Mountains)

ロッキー山脈はグレートプレーンの西に崛起してゐる新褶曲山脈——コルデラの東部をなす高も高峻な部分である。この山脈は A. Bevan, M. Fenneman, P. Little, W. M. Davis 等の研究によつて知られてゐる如く、主として二の過去の準平原化があつて後に隆起したものであるから、各地にその隆起準平原面を見るのである。ロッキー山脈を細分すれば、北部ロッキー・ワイオミング盆地及び南部ロッキーの三區となすことが出来るもので、ワイオミング盆地の存在によつて南北を区分し得るのである。

【北部ロッキー】(Northern Rocky) はカナダに續く部分で四〇〇〇m以上の高峯多く存在し、モンタナ州の西部に當つてはロッキー山地地溝(Rocky Mountain Trench)があり、この南北走る低地には Kalispell, Missoula, Hamilton 等の都市がある。この山地には氷河国立公園がある程で、氷蝕の地形が著るしい爲に、この美景によつて多くの観光客を集めてゐる。北部ロッキーの南部では山脈が數條の獨立性を有するものとなり、ワイオミング州には、Darton に依つて圓頂褶曲山地(Domed Mountain)の好例として擧げられたビッグホルン山脈(Big Horn Mountains)があり、その南西にはウィンドリヴァー山脈(Wind River Mountains)等がある。イエローストン公園(Yellow-stone National Park)として知られてゐる間歇泉の多い山地は、ワイオミング州の北西部を占めてゐる。ワイオミング盆地(Wyoming Basin)は、北部及び南部ロッキーの中間にある盆地で、一九七〇——二二八〇mの高度を有し、更に數個の小盆地に分たれてゐるが、グレートプレーンからワイオミング盆地を横断してコロラド高原に及ぶ高原狀地域をなしてゐる。従つてこの地

帯が東西横断の交通路として早くから利用せられたのである。

【南部ロッキー】(Southern Rocky) 南北に走る Front Range, Park Range, San Juan Mountains 等から成つてゐて、全體としてドーム狀の穹隆山地をなす。フロントレンジは最も東部に横はつてゐる山脈で、三〇〇〇mの高度に準平原面があつて、四三一二mのバイクス峯(Pikes Peak)は殘丘の一つであるといふ。かゝる山地間には高草の多い盆地をなすパーク(Park)と稱する地域があつて針葉樹林を見ることが出来、盆地床は水成岩層から成つてゐる。この南部ロッキーは交通上の障害となること甚だ大であつて、産業の如きも餘り發達してゐない。

【七】 山間諸盆地 (Intermontane Basins)

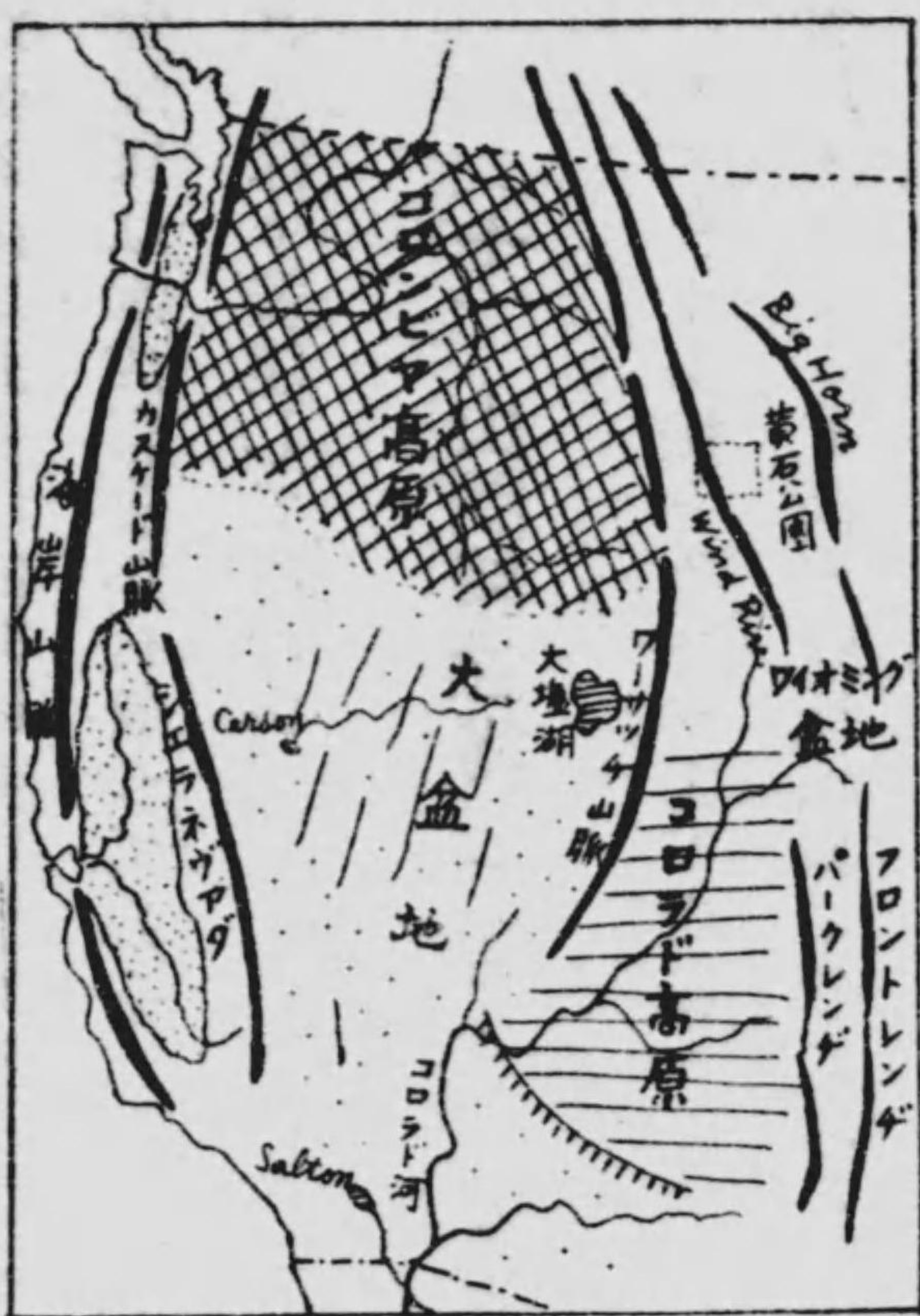
ロッキー山脈とカスケード山脈・シエラネヴァダ兩山地間には廣大な盆地があつて、コロムビア高原・大盆地・コロラド高原の三地域に分たれる。この諸盆地は何れも乾燥地域であつて、年雨量も五〇〇耗以下であり殊に大盆地以南は著るしく乾燥してゐる。この地方に於いても高山地には降雨があつて、山岳よりの灌溉水はこの地方の農牧業にとつて至大の關係がある。

(1)コロムビア高原 (Columbia Plateau) 山間盆地の北部にあるコロムビア河流域の高原で、玄武岩の熔岩臺地をなしてゐる。熔岩臺地の基盤をなすものは花崗岩・流紋岩・石灰岩等であつて、侵蝕によつて起

伏を生じた土地が、中新期以後に繼續した熔岩の流出に依つて被覆せられた。ブルー山脈(Blue Mts.)は前輪廻の侵蝕山であつて、熔岩の流出に際しても埋められることなく熔岩臺地上に屹立してゐる。高原の南部では下撓曲が見られ、この高原を北流するスネーク河(Snake R.)は先行性流路を持してコロムビア河に注ぐ。コロムビア河(Columbia R.)の著るしい侵蝕作用によつて水成岩の地層に深い峡谷が穿たれ、玄武

岩はその上部に於いてメサ或は火山錐の地形を呈するものもある。鐵道交通線は比較的廣い河岸段丘上が用ひられ、北太平洋鐵道の通路となつてゐる。

(2)大盆地(Great Basin) 東部のロッキーマウンテンと西部のシエラネヴァダ間に於いて最も幅員の大きな中央部の盆地で、大盆地或は別に Basin and Range とも稱せられてゐる。南北に走る山地群は無数の螟蟲が群る如くであるといふ



第129圖 合衆國西部の地形

Powellの形容は、斷層地形であるプロック山地群の特色を示すものである。東部界をなす Wasatch Mts. は、ワーサッチ斷層崖と呼ばれてゐる大斷層崖を西に向け、ギルバートの研究に依つて知られてゐるが、七〇〇mの垂直移動を來した正斷層によるものである。

盆地中の山脈群は多くは地壘山地で、地溝・地壘・斷層角窪地等の地形が乾燥氣候によつて保存せられ、

グレートソルト湖(Great Salt Lake)カルソン窪地(Carson Sink)デースヴァレー(Death Valley)等は谷底をなしてゐる。フムボルト河(Humboldt R.)はネヴァダ州を西流してカルソン窪地に流入し、シエラネヴァダ東部のデースヴァレーは海面下の低地であるが、乾燥の甚だしい爲に沙漠性である。ソルトレーク地方は、ワーサッチ山脈よりの灌溉水に依つてよく開拓せられてゐる。オレゴン州の高原では一層明瞭な斷層地形を示し、地壘及び地溝等が南北の斷層線によつて排列せられてゐる。

(3)コロラド高原(Colorado Plateau) 南ロッキーマウンテンの西にあるコロラド河流域を占めた高原で、基盤は花崗岩・結晶片岩のアーケアン岩石で、その上にアルゴンキヤンの厚層が二〇度の傾斜をもつて堆積し、更にその上には之を不整合に覆つた二疊石炭紀以後第三紀に至る臺地層が堆積した。従つてこの高原を侵蝕してゐるコロラド河(Colorado R.)は上流山地の水を受けて乾燥地を流れ、この氣候に依存して雄大な大峽谷(Grand Cañon)を造つたのである。實に永い地質時代を通じて形成された厚い臺地層は、極めて堅い岩石で前輪廻の曲流を其の儘受けついで曲流——籐入曲流(Inclosed Meander)をなし、現輪廻に於いてコロラド河の下刻によつて形成された地形は、造化の最も驚くべき作品(The most wonderful work of Nature)と稱せられてゐる。この地方は乾燥の氣候であり生産に乏しく、地形の如きも交通上の障害をなすものであるからその開發は十分でない。只大峽谷の神秘的なそして無比なる風景が遊覽者を誘つてゐる。

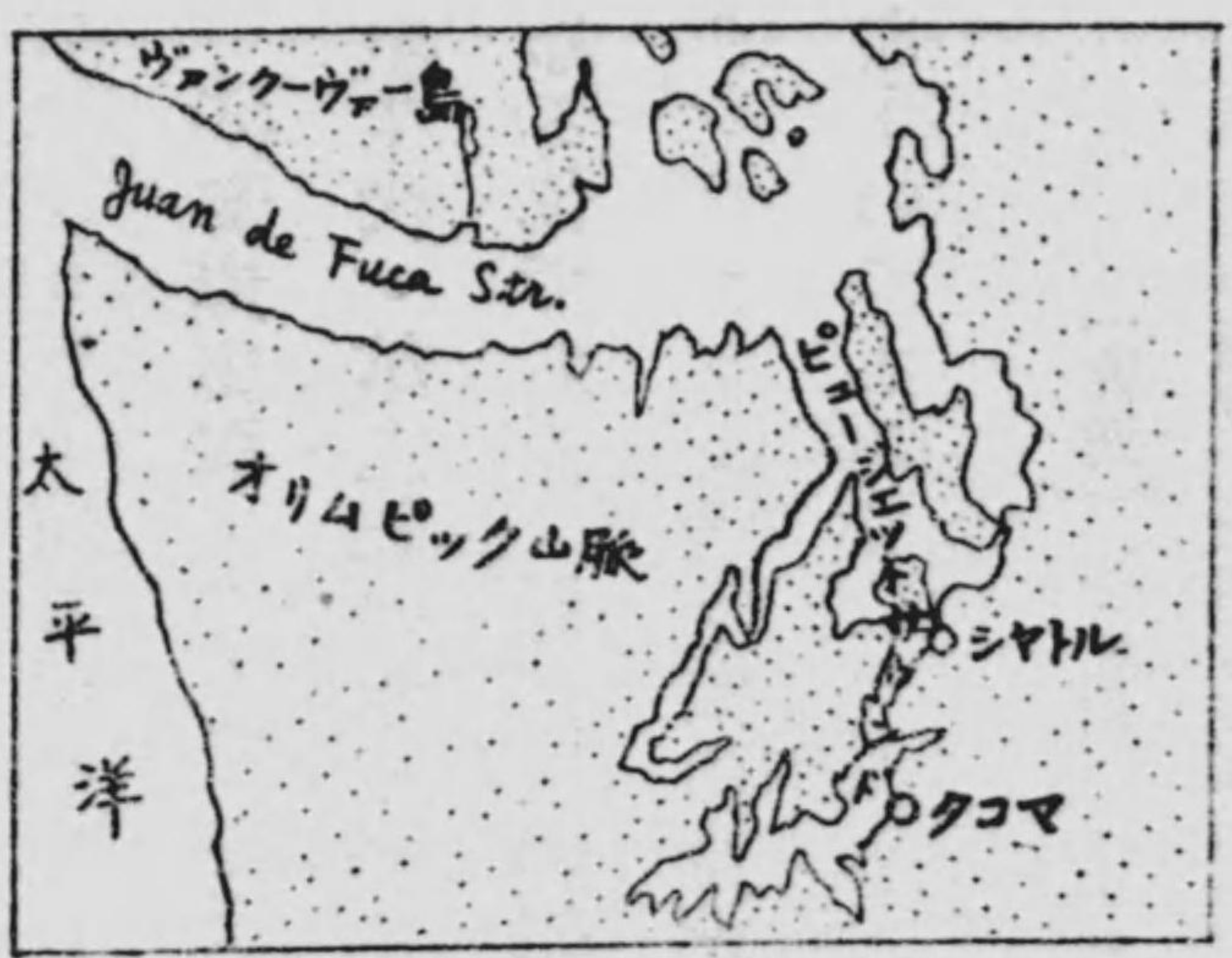
【註】コロラド大峽谷 この大峽谷の見物はアリゾナ州の略々中心に近いウィリアムより支線によつて北上して達することが出来る。海拔

二〇〇〇mの高原中には、深き一〇〇〇—一五〇〇mに達する深峽があつて、樹木のない乾燥地に水層が帯状に存してゐて、内部の地質構造を見事に示現して地形の發達史の鍵となり、神秘的な感じを與へてゐる。この臺地層は或は赤く、或は褐色・紫等の色彩を呈してゐるもので、侵蝕による岩壁は造化の妙を盡し實にウオンダーフルである。米國地質調査所長であつたパウウェルは一八六九年このコロラド河を船によつて下り、上流のグリーン河より一五〇〇軒、日數では九十九日を要して河口に達することが出来、非常な困難を冒してこの深峽を下ることが出来た。

〔八〕太平洋岸諸地方 (Pacific Coastal Regions)

太平洋沿岸地方は東部のカスケード山脈及びシエラネヴァダと、中央に南北走る低地帯と、海岸山脈を區分することが出来る。この中で中央部をなす低地帯は、北方のピュージェット灣から、カリフォルニア平原を経てサルトン低地及びカリフォルニア灣に達する地溝性の一大地向斜部をなすもので、太平洋海岸に於ける主要なる平原を展開してゐる。

(1)シエラネヴァダ (Sierra Nevada) 【カスケード山脈】コロムビア高原の西方にある表面は平坦な山地で、シヤスタ山 (Shasta) レーニヤ山 (Rainier) 等の火山が噴出してゐる。レーニヤ山は四三七六mシヤスタ山は四三八六mの高度を有し、三〇〇〇m以上の高地には氷河を懸けてゐる。本山脈は西風によつて降雨量極めて多く、ダグラス樅を主とした森林がよく繁茂して多量の材木を出してゐる。石炭は不足であるが水力による發電を可能ならしめ、電力によつて動力を得ることが出来る。



第130圖 ピュージェットサウンド

【シエラネヴァダ】(Sierra Nevada) この山地はサクラメント河 (Sacramento R.) 上流のピット河 (Pitt R.) 以南であつて、大盆地に對しては急斜面を向けて大斷層崖に終り、西方はカリフォルニア平原に向つて緩傾斜してゐる一の傾動地塊 (Tilted Block) である。地質は主として中生代・古生代及び之に伴つた噴出岩の花崗岩等で、中生代の造山運動によつて褶曲した地層が中新世に至つて準平原化し、其の後の地殻運動によつて傾動地塊となつたものである。この西斜面は太平洋よりの西風を遮斷する大障壁となり、セクオイヤの如き巨樹及び森林が繁茂してゐる。セクオイヤ國立公園 (Sequoia National Park) には一萬二〇〇〇の巨樹があり、その北方のヨセミテ國立公園 (Yosemite National Park) は氷蝕地形と大瀑布等のもつ雄大なる風景によつて知られてゐる。

(2)縦谷低地帯 前述のカスケード山脈及びシエラネヴァダの東方高地と、西方の海岸山脈との中間地帯をなして、狭長な地溝性の一大低地帯をなしてゐる。褶曲山脈にかゝる大低地帯の存在することは極めて著しい特色をなすもので、Pacific Coast Valley と呼ばれる褶曲山脈中の向斜部に相當してゐる。北部に於いてはピュージェットサウンド低地があつて向斜部が陥没して Puget Trough をなし、中央部の California Trough は第三紀の中新世 (Miocene) の造山運動以前から存在したもので、沈水状態にあつたものが鮮新世 (Pliocene)

以後東西兩山地の隆起と共に海岸との連絡が断たれた。このカリフォルニア平原は、サクラメント河及びサ
ンジョーキンの二河川によつて灌漑せられて肥沃な農耕地をなしてゐる。カリフォルニア州の最南部には、
インペリアル谷 (Imperial Valley) があつてサルトン湖を藏してゐる。カリフォルニア灣に續いた低地帯
が、コロラド河の扇状地状三角洲によつて分離されてこの低地を形成したのである。

(3) 海岸山脈 (Coast Range) カリフォルニア平原の西方を縦走する山脈で、花崗岩・片麻岩・片岩及び
中生代・第三紀の水成岩から成る。高度は一般に低く、北方のオリムピック山が二四八〇mの高度を有して
ゐる位である。偏西風の影響を受けて降雨は極めて多く、鬱蒼たる森林がある。海岸山脈が断たれた所には、
サンフランシスコ灣の金門海峡 (Golden Gate) 北方には Juan de Fuca 等があるが、一般に單調な海岸を
なすのである。

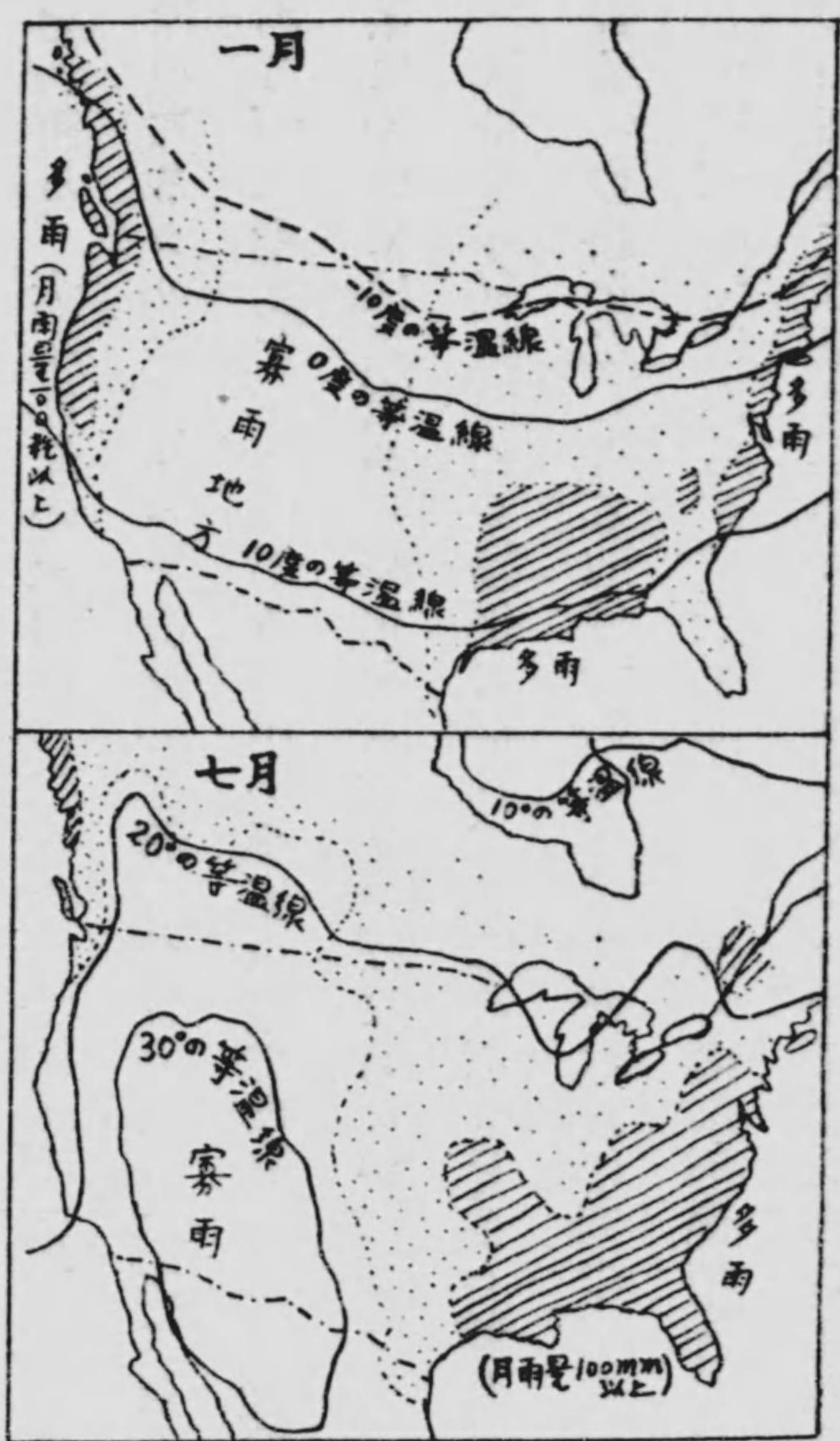
【教授】 合衆國の地形區を先づ三大地區に分つて説明し、更に細部について説明したのであるがその根本をなすものは矢
張り三大區分である。東部諸低地が重要であることは前に述べたが、太平洋岸に於いてはこゝに横はる諸低地を特に觀察
せねばならない。

第三節 氣候區域

【地形區と氣候との關係】

アメリカ合衆國の地形を三大區に分ち、更に八地形區を分つたのである。この

場合に於いて、西部のコルデラ山系は氣候上の一大障壁をなすもので、氣候區は山脈に並行した帶狀の地域
を構成してゐる。氣候考察上の基本的諸事象をなすものは、(a)卓越西風の影響(b)コルデラ山系の氣候上の
障壁(c)大陸的氣候の位置的變化(d)氣候の緯度的變化即ち南北性(e)旋風による氣候の影響等を擧げることが出
来る。卓越西風の影響は、特に太平洋岸諸地方に於いて注意を要するものであり、(c)以下は特にコルデラ山



第131圖 合衆國の氣温及び雨量

することに依つて生ずる。東部氣候區と旋風地帯とは關係が極めて著るしい。

【氣温・雨量】 一月の等温線圖によれば、海岸の地方は温暖であることを示し、等温線は海岸では北に
彎曲を示し大陸の中央部では南に彎曲してゐる。零度の等温線は北緯四〇度の線に略々一致してゐて、ニュ

イヨーク附近よりオマハ附近に及んでゐるが、その西部は甚だしく北偏を示してカナダの海岸に及んでゐる。平均気温一〇度の線は合衆國の南部に位してゐるから、その大部は零度——一〇度である。七月に於いては、二〇度の等温線は北方に存在してゐるものであり、五大湖附近では小さい南方彎曲をなして湖の影響を物語る。太平洋岸の気温は二〇度以下で、最も南方に位するサンデーゴに於いてさへ一九度であるから、冷涼なるカリフォルニア海流の影響を受けてゐる。之に反して大西洋岸のチャールストンは、略々同緯度にあるが二七度を示してゐる。中央平原以東では気温の緯度的變化をよく示してゐるが、西部のホルデラ山系に就いては垂直的の變化を考慮せねばならない。

雨量も亦気温の如く變化に富み、地形の影響をよく現してゐる。合衆國東半は雨量が多く、その大部分は普通の農耕をなし得る地域であるが、乾燥氣候の西半では農耕に際して灌漑を必要とする。然しながら、その局部的ではあるが、太平洋岸の諸地方は多雨地帯となつてゐる。オリムピック山脈・シエラネヴァダ等の山脈地には豪雨があり、オリムピック山脈から海岸山脈北部に於いては二〇〇〇耗の降雨がある。

【氣候區】

合衆國は一三二圖に示す如く六の氣候區に分つことが出来る。中央平原以東では東部區・メキシコ灣區・平原區の三區を區別し得るものであり、西部山地では高原區・南太平洋區(地中海型)・北太平洋區(西ヨーロッパ型)の三區を區分した。

(1)東部區

合衆國東部の主要部で、西部界は一〇〇度の經線によつてゐる。雨量が西方に至るに従つて

漸減するので、五〇〇耗の雨量をもつ地域が百度以東となつてゐる。この地方の氣候は大陸的であり、夏と冬の気温差は大きく、四季を通じて雨が相當に多いといふ諸特性をもち、更に旋風地帯をなしてゐる。旋風は他の如何なる大陸よりも一層多數であるといふ。合衆國に於いて最も生産に富んだ所をなし、農業・牧畜業及び商工業の發達は驚くべきもので、刺戟性の氣候は住民をして活動的たらしめた。ニューヨークの年平均気温は一度であり、一月と七月の月平均較差は二四度に達し、雨量は一一〇〇耗である。

(2)メキシコ灣區

メキシコ灣岸の地帯で、海洋の影響が大であり、南方的位置にあるから気温高く且つ降雨量が大きい。ニューヨークの年平均気温は二〇・六度で、較差は一六度であり、降雨は四季を通じて多く年雨量は一五〇〇耗に及んでゐる。この地帯内に於いても、メキシコ灣岸の狭長地帯に特に雨が多く、フロリダ半島地は秋の雨量が大である爲に棉花の耕作には不適である。

(3)平原區

前述せる東部區域とは凡そ百度の經線によつて劃されるもので、海洋の影響を受けること少なく雨量は五〇〇耗以下となり、西方に至るに従つて漸減する。Herbertsonの○○○型(Turan type)の氣候で、大陸的であり雨量が少ないから農業には灌漑を必要とする。ロッキーマウンテン地方より吹き下すチヌ



第132圖 合衆國の氣候區

ーク風(Chinook Wind)は、乾燥で高温であるから作物に害を及ぼすのである。

(4)高原區 既に北米の概説中で沙漠の分布を論じて、この内陸盆地の氣候を説明した。カリフォルニア海流上を吹く西風の影響は、南北に走る二重の地形的障壁によつて中斷せられ、北回歸線に近い高氣壓帯の存在に依存して乾燥氣候を呈するに至つた。この内陸盆地の諸地方は沙漠性であり灌漑も不能であるが、ロッキー山麓の如き諸高原にあつては、山地よりの流水を利用して農耕・牧畜の業が行はれる様になつた。

(5)地中海型區 カリフォルニア州各地は常に春の様な氣候で、冬の雨期と夏の乾燥期を特色とする地中海式氣候である。暖流が西海岸に存在してゐて溫和な氣候を呈し、夏の暑さも案外であることは、太平洋の高氣壓帯から流出する風が北西風となつて内陸に生じた低氣壓部に進入することによるもので、高緯度よりの冷涼帯の影響を受けるからである。サンフランシスコは年平均一三・四度で較差は僅かに六度に過ぎない。

(6)西ヨーロッパ型區 ワシントン・オレゴン兩州の西海岸地方で、西風に依つて年中降雨がある。海岸山脈及びカスケード山脈の兩斜面の雨量變化は、最も模式的のものであつて、合衆國に於いて最も雨量の多い地方はこの山脈の太平洋斜面である。

〔註〕 氣候區の變化に富んでゐることは各植民大陸中で最も複雑であり、地形・海流・風向及び緯度的位置に關係してゐる。アメリカ合衆國の氣候は極めて複雑であり、良好な温帶氣候と變化に富んだ氣候の土地に、植民大陸中で最も發達したこの文化地帯が生じたのである。そして旋風による氣候の影響が著るしいことも、北部諸州に降雪日数の多いことなどもその氣候の特色とも言ふべきである。

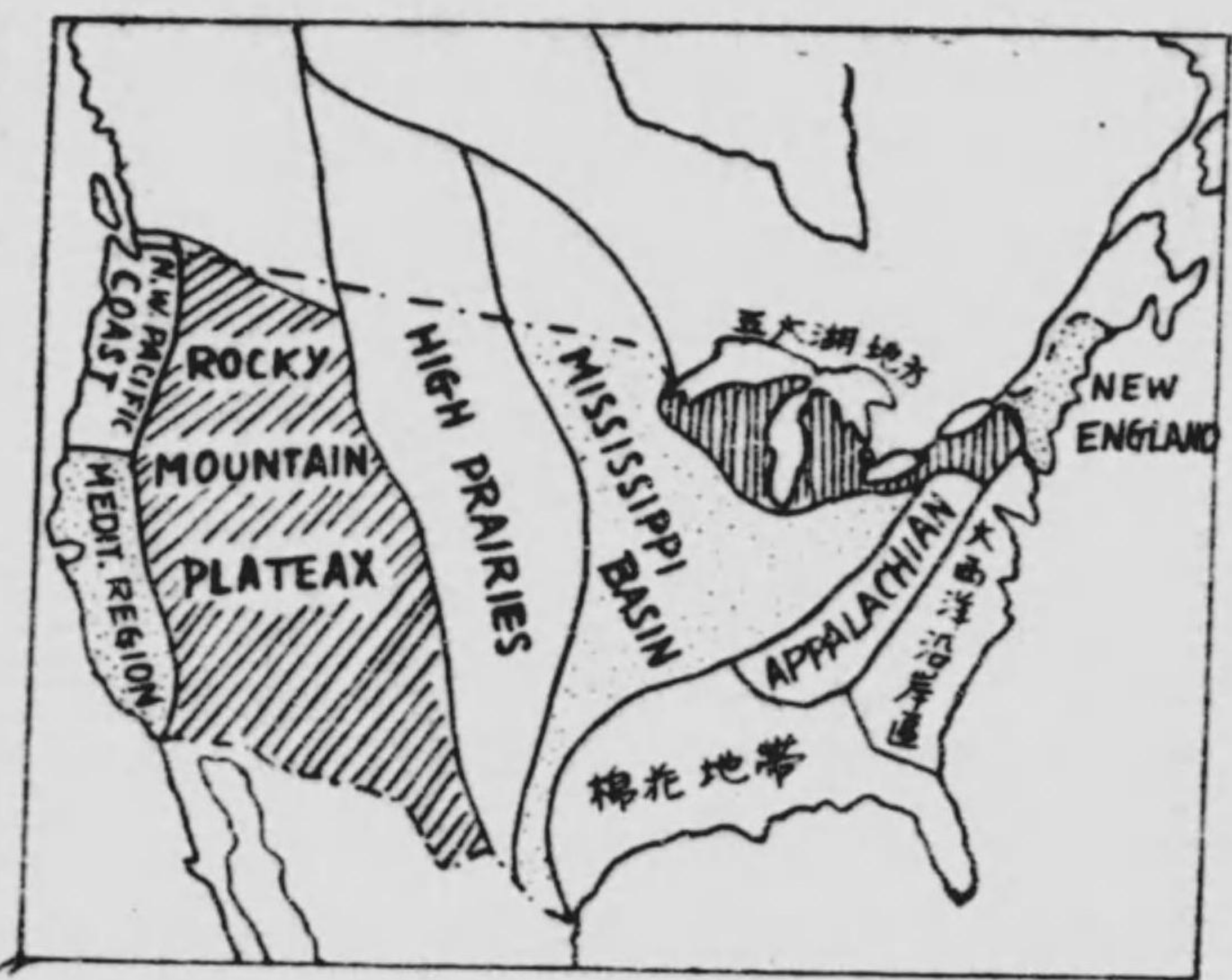
第四節 地理區

【植民地の開發】

スペイン人は早くからアメリカ合衆國の地に植民して、太平洋沿岸地方及びメキシコ灣岸に居住したが、植民地經營の法を誤つたから成功することが出来なかつた。英人はスペイン人・フランス人に比較して新大陸に植民したのは遅かつたのであるが、これ等諸國に打勝つて植民地を經營することが出来た。一六〇六年には『處女の國』の意であるヴァージニア會社を興して植民事業に當り、ヴァージニア州(エリザベス王の獨身なるに因む)の名を得たのであるが、ヨーロッパに輸出する煙草の栽培地としてその發達を促した。ジェームスタウン(Jamestown)の一市はジェームス一世の名に因んで名づけたものである。

北方のニューイングランド(New England)地方は、一六二〇年この地に渡航した清教徒によつて開發されたことは前述したが、その後も陸續として渡つた清教徒に依つて植民せられ、この地の發達は著るしくなつた。其の後ニューヨーク(ヨーク公に因む)附近には蘭人の植民もあつたが英人之に代り、ハドソン河下流地方には英本國の宗教壓迫の爲に同じく渡つた友教徒(Quakers)によつて開拓せられ、ウィリアム・ペン(William Penn)によつてペンシルヴァニア(ペンの森)の名が生じたのである。従つてポストンの市街に對して Puritan City の名があり、フィラデルフィアは Quaker City の別名があるのである。ボルチモアの如きもジェームス一世朝の名相ボルチモア氏の名に依つてゐる。

かく東部諸州は英國民の植民によつてその發展を來したものであり、其の後の領土擴張に従つて西方に擴大せられて遂に太平洋岸に達した。この廣大な新陸地の開拓には、多數の労働者を必要としたのでヨーロッパ移民及びアフリカ黒人の移動が見られ、アメリカ合衆國の基礎が鞏固となるに及んで益々多數の移民が見

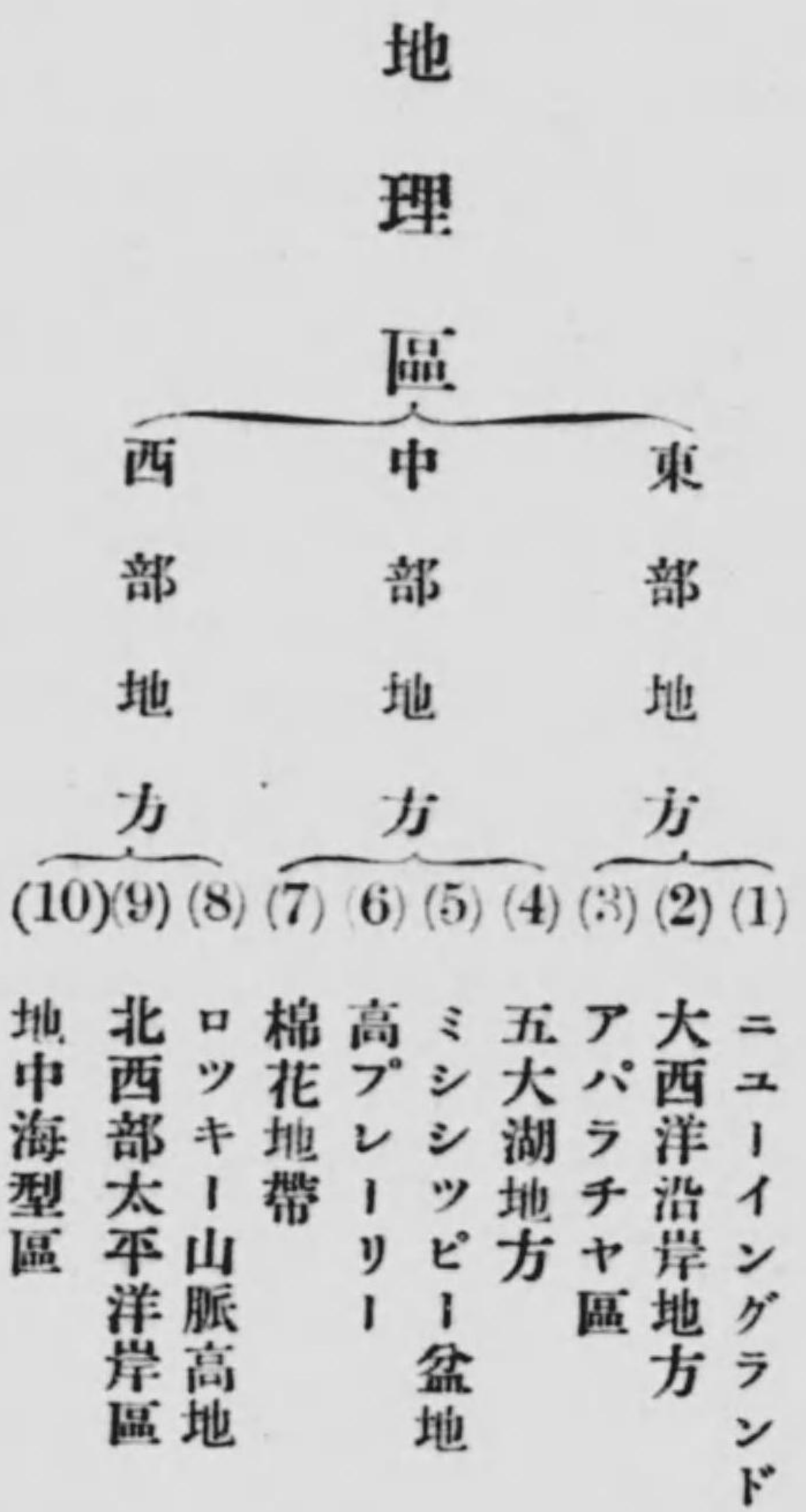


第133圖 アメリカ合衆國の地理區

られた。イギリスは一八三〇年頃に至つて商業及び工業が益々發展し、自由貿易主義が行はれて農業者は非常に不利となつたから、農業者の海外移民が多くアイルランド人は特にその移動が著るしかつた。その肥沃な而して廣大な平原には産業が急速に發達し、工業の發達もニューイングランド地方に見られた。それが十九世紀の後期から二〇世紀にかけては、一方に於いては著るしい人口増加があり、工業資源の極めて豊富なことによつて、ヨーロッパ大戦の影響を受けて特に工業の一大躍進を示した。太平洋沿岸地方に於いては、金鑛の發見の爲に人口増加を來し、ヨーロッパ系の移民の他にアジア系の支那人・日本人の移動を見たのであつたが、今ではその入國は禁止せられた。カリフォルニア州の如きは廣い平原を有し、地中海式の氣候によつて果實等の産出は著るしいものがある。

【地理區】 第二節及び第三節に於いては、合衆國の地形區及び氣候區を分類して比較考察した。之によ

つて地理區を定めると次の一〇區となる。この地理區中に於いて、ニューイングランド・大西洋沿岸地方・アパラチャ區・五大湖地方等に亘つて工業地帯があり、大西洋岸のポートランド (Portland) ボルチモア (Baltimore) 及びミシガン湖岸のミルウォーキー (Milwaukee) 内陸のセントルイス (St. Louis) の四都市を結んだ平行四邊形内はその地帯をなしてゐる。



【一】 ニューイングランド (New England)

【イギリス植民の基礎】

ニューイングランドとは、Maine, New Hampshire, Rhode Island, Connecticut, Vermont, Massachusetts の六州の地方で、ハドソン河——シャンプレン湖——ワシエリーの谷の一線以東のアパラチャ山系である。この地方にはヨーロッパ人の植民以前已に原住民たるインディアンに依つて農業が行はれ、準平原地貌の臺地中に於いて比較的肥沃な土地を選定して豆類・玉蜀黍等の耕作が行はれてゐた。彼

等の農業は施肥をすることなく、沃地を次から次へと移つてゐた所謂移住農業（Migratory Agriculture）の域を脱し得なかつた。

英國よりの移住民たる一〇二名の清教徒は、ロバートソン（John Robertson）に率ゐられて大西洋を横断し、メイフラワー號（Mayflower）に投じてマサチューセッツ州に上陸した。マサチューセッツ（Massachusetts）とは土語の丘の意で氷堆石の地形によるもので、同州の南部にあるプリマス（Plymouth）に着いた。ニューイングランドは氷蝕作用を受けて岩石が多く、地味も決して肥沃ではなく、その氣候も寒冷であるといふ地理的條件の悪い所であつたが、彼等の強い宗教心に依つてイギリス植民地の基礎が築かれた。確かな土地の石礫は耕作地より運ばれて開拓せられ、農耕が次第に行はるゝに至り、更に原始林より木材を得て造船に従事し、東海岸の漁場に出漁したのである。Pilgrim Fathers と呼ばれてゐる彼等は、この間に於いて獨立自由の精神が強く養はれ、合衆國住民の自由尊重の基をなした點に於いて重要である。この地方の農村は米國の他の地方に見る如く整然たる開拓景を有してゐないのは、主としてその地形に依つてゐる。氷河の運搬した石礫は畑地の周圍に積まれてゐて、不規則なる開拓景を示してゐる。

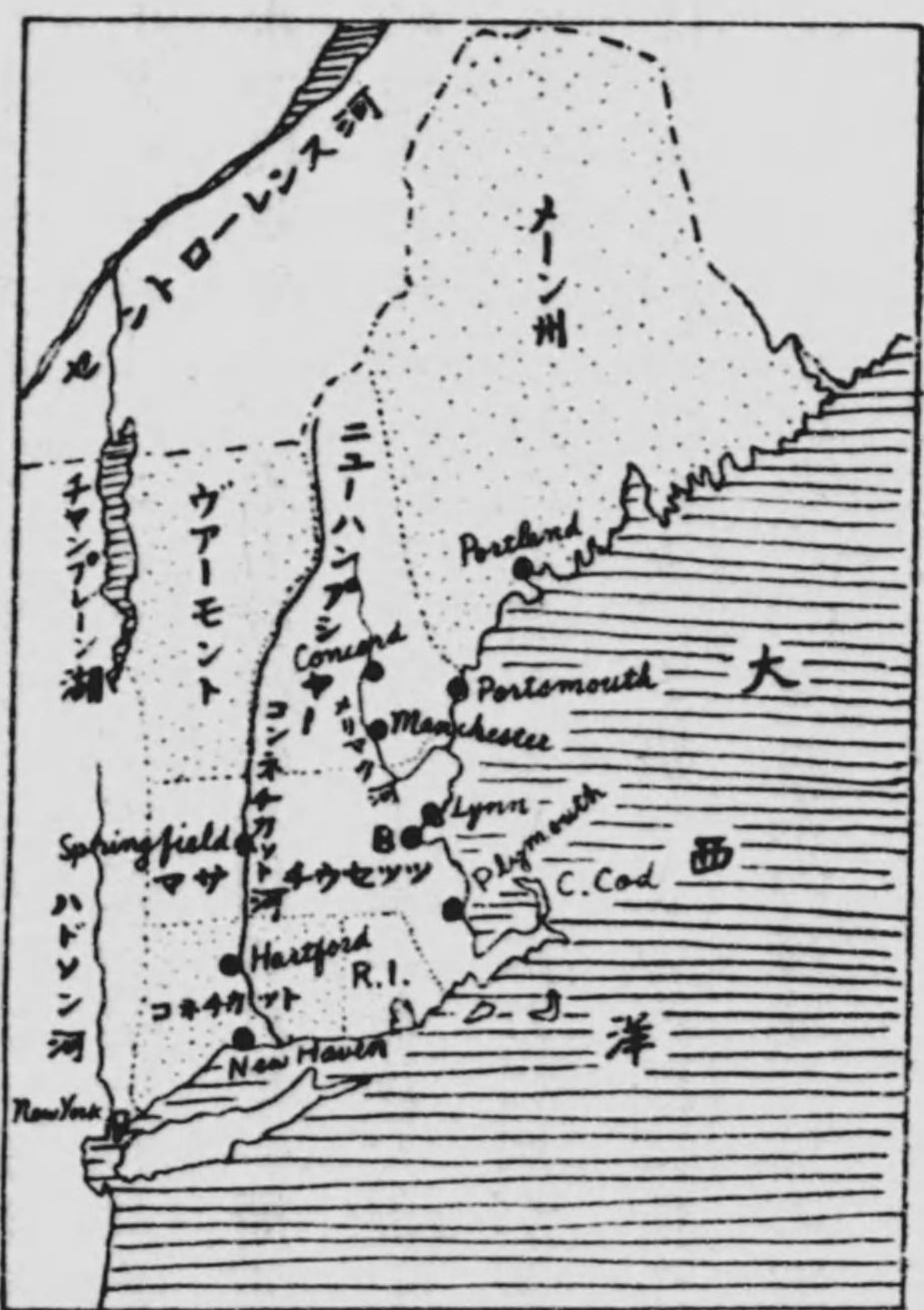
【産業】 初期の移民は農業を主業としてゐたが、米國中央平原の如き豊沃なる土地が開發せらるゝに及んでその衰微を來した。氷河堆積物の多い土地であるから大農法による耕作は不適であり、中央平原の農業に比しては劣つてゐたから、農業者の中には中央平原へ移住する者もあつた。現在では林檎の如き果樹栽培・園藝及び酪農業が行はれてゐる。

この地方は合衆國の主要工業地帯をなし、その特色とすべきものは（イ）繊維・金屬・皮革・製紙・ゴム等の各種工業が發達してゐること、（ロ）時計・寶石・機械等の熟練を要する工業であつて、（ハ）重工業は鐵・石炭の不足の爲に起つてゐない等を挙げ得るのである。工業中に於いて紡績工業は十九世紀初葉からこの地方に發達し、流水によつて動力源を得た爲に綿織物の工場地帯は河谷中に存在してゐる。綿織物及び毛織物の繊維工業はニューイングランド工業の第一位にあり、その三〇%以上の製品價格を有してゐる。現在に於いても水力は重要で、水力發電に利用されて一層重きをなすに至り、石炭はノヴァスコチヤ・ペンシルヴァニアの地方に求めてゐる。かく工業の發達を促した條件としては（一）ニューイングランドの臨海的位置。（二）氷蝕地形に依存して急流瀑布が多く、水力利用が著るしい。（三）海岸には溺れ谷があつて良港をなしてゐる。（四）人口は比較的稠密であり、素質のよい移民に依つてゐる。（五）工業原料品の生産が自國內にあり、その輸送によつて容易に得られる。（六）交通系の發達。等の理由がある。

【谷中の工業地帯】 ニューイングランド準平原は二——三〇〇mの高さにあつて、更に氷蝕を受けて多くの湖沼が存在してゐる。多くの河川は未だグレードの状態に達せず、湖沼の水を受けて流下するから至る所に急流瀑布がある。農業時代に於いても製粉工場が河岸に設けられ、十九世紀初期の紡績工場も水力利用に關係して谷中にその位置が定められた。現在は水力發電に依つて動力を得るに至り電力の供給は自由であ

るが、工場位置はその儘舊位置に存してゐる。コンネチカット谷 (Connecticut Valley) のスプリングフィールド (Springfield 15) ハルトフォード (Hartford 16) 等は綿毛織物・製紙業等が行はれ、ニューハンプシャーのメリマック谷 (Merrimac Valley) には織物都市コンコルド (Concord) マンチェスター (Manchester) の両市がある。之等の各河谷には同種類の工業が發達したといふ特色が見られ、模倣に依る工業地帯發達の一例を示すものである。

【都市】 ニューイングランドに於ける都市の分布は、工業都市としてボストン低地 (Boston Lowland) コネチカット谷・ブラックストーン谷・メリマック谷等に分布するものと、之等各河谷の口に發達した港——Boston, New Haven, New Port, Portsmouth 等の海岸地に分布するものがある。



第134圖 ニューイングランド地方

【ボストン】 (Boston 78) マサチウセツ湾の溺れ谷ボストン灣に面してゐる貿易港で、ヨーロッパに近い位置にありニューイングランド工業地帯を背域 (Hinterland) としてゐる。古い市街で風光明媚の土地として知られ、氷堆丘を中心として放射狀に發達してゐる。羊毛取引の市場町をなしてゐることは背域の工

業地に依るもので、市は綿・毛織物の工業が盛大である。米國の歴史上由緒深い所で米國精神文化の中樞をなし、美術博物館・ボストン大學がある。市の西郊にあるケムブリッジ (Cambridge) は有名なハーバード大學の所在地で、學術都市をなしてゐる。灣岸の地方ボストン低地はニューイングランドの主要工業地をなし、北東のリン (Lynn 10) は靴製造の中心地で、西方にあるウォルサムは時計製造に名高い。

ポーツマス (Portsmouth 14) は米國海軍の一根據地で、日露の講和條約締結の地である。メイン州のポートランド (Portland) は木材・製粉等の工業が行はれてゐる。コンネチカット州のニューヘヴン (18) は機械製造の盛大な工業市で、有名なエール大學の所在地である。

【教授】 植民地であるからその開拓の順序に従つて、先づニューイングランドを記述した。教授に際してもこの地方より歴史的に調べることが便宜であつて、合衆國工業地帯の一部として考察せねばならない。

【三】 大西洋岸區

大西洋沿岸區とは、大西洋海岸平野及び山麓臺地の部を包括したもので、人文的に一連の地帯をなしてゐる。地理的にはその北部と南部を分ち得るものであり、北部は沈降の結果として入江ある海岸平野となり米國の商工業地帯の樞要地帯をなし、特に米國の門戸たる性質を有する港市が發達した。

(1)入江ある海岸 (Embayed Shoreline) 大西洋海岸平野の北部は沈降した結果、海岸平野上の侵蝕谷は沈水して入江ある海岸となり、チエサピーク灣・デラウエーア灣等の溺れ谷 (Drowned Valley) が生じたのである。之等諸灣の灣頭は山麓臺地の一部にまで達してゐるので、瀑布線都市は臨海都市となり合衆國の主



第135圖 東部地方交通路と紐育の位置

要門戸をなすに至つた。ニューヨーク・フィラデルフィア等はかゝる性質を有するもので、貿易港として發達したのである。米國の主要經濟地帯がこの海岸に依存して發達し、こゝに商工業地帯が形成された。この地帯に於ける各都市は、道路・鐵道・運河等によつて連絡せられ、人口密度は全米中最大となり、附近の農村の如きも之等の都市に關係を有するもので、近郊的農業——果實栽培・酪農業等の發達が見られる。

【ニューヨーク】(New York) 人口は六九三萬あつて北米第一の大都市であるばかりでなく、大紐育の人口は九〇〇萬に達し實に世界第一の大都會である。ハドソン河 (Hudson R.) の河口にあるマンハッタン島 (Manhattan) を中心としてロング島・ステータン島に跨り、ブロンクス區・マンハッタン區・ブルックリン區・クインス區・リッチモンド區等に分たれ、其の面積は八〇〇方呎に及んでゐる。ハドソン河及びイースト河 (East R.) の南部は沈降してアッパーベイ (Upper Bay) と呼ばれ、

水深が大であるから紐育港發達の基をなした。其の發達の原因としては、(1)アメリカ合衆國の門戸としての良好なる位置。(2)背域 (Hinterland) をなす生産地帯との關係——特にイリー運河・ハドソン河によつて五大湖附近の工業地帯に連絡せられ、アバラチャ横斷の鐵道に依つて中央平原に達することが出来る。(3)良港としての諸條件——沈降によつて生じた天與の良港で、港は凡そ二六〇方呎の廣さを有し、低潮時に於いても一〇mの水深がある。この海岸には九〇〇本の棧橋が櫛の齒の如く連つてゐる。(4)ヨーロッパ大陸との關係——前方地 (Foreland) としてのイギリスを主とするヨーロッパ諸國との貿易。(5)工業都市としての發達——ペンシルヴァニア炭田より動力を得て、衣服・精糖・鐵工業・皮革等の製造業が發達を遂げたこと等を擧げることが出来る。従つて合衆國貿易額の四五%を占め世界第一の貿易港となり、世界金融の中心となつたのである。マンハッタン島は最も重要な地域であるから、その地價は高騰して土一斤金一斤と言はれる所となり、こゝには所謂摩天樓の都市景觀を呈するに至つた。マンハッタン島の地質は堅固な結晶質岩石で、氷蝕を受けた爲に表土が殆んどなかつたから高層建築を可能ならしめた。高層建築の集團はマンハッタン島の南部と中央公園に接した所の二區である。ロングアイランドのブルックリン (Brooklyn) は住宅區をなし、北方のブロンクス (Bronx) は工場が多く、マンハッタン商業の中心區に連絡せられてゐる。

【註】オランダ人は一六一三年現在のマンハッタン島に植民し、こゝをニューアムステルダムと名づけたが、一六六四年英人の有となるに及んでニューヨークと改めた。市の南部にあるウォール街は土人の侵入を防ぐ爲に壁 (Wall) を設けたことに依つたもので、バッテリー

公園も砲臺(Battery)のあつた位置を物語つてゐる。高層建築の中で、最高のもはエンバイヤーステートビルで一〇二階、三八〇mの高さを有し、クライスラービルは七七階で三一九mに及んでゐる。かゝる大建築物に挟まれた街路は全く峡谷の如きもので不健康の所であるから、下の階層屋賃は減ぜられてゐる。ニューヨーク市の陸地交通を妨げることが大である。従つて渡船・橋梁・隧道等に多額の費用を投じて、その水の障碍を除かんとしてゐる。ブルックリンとマンハッタンを結ぶマンハッタン橋(長さ二五三〇m)及び最東のヘルゲート橋(五五二六m)の如き長橋がそれである。

ニューヨーク市北西郊外にあるバタースン(Batavon 14)は我が國の生絲を原料として發達した絹織工業の中心地で、その生産額の大なること世界第一である。

【フィラデルフィヤ】(Philadelphia 135) 費府と稱せられ Delaware Gap に依つて背域と結ばれた貿易港で、良質の石炭と鐵を得て製鐵業・造船業・機械製造等の工業が行はれてゐる。石油取引の大中心地で、其の他には小麥・石炭・棉花等の輸出が多い。友教徒植民地(Quaker Colony)の中心都市であつて、一七七六年の獨立宣言によつて知られ、その獨立關には有名な自由の鐘が藏されてゐる。

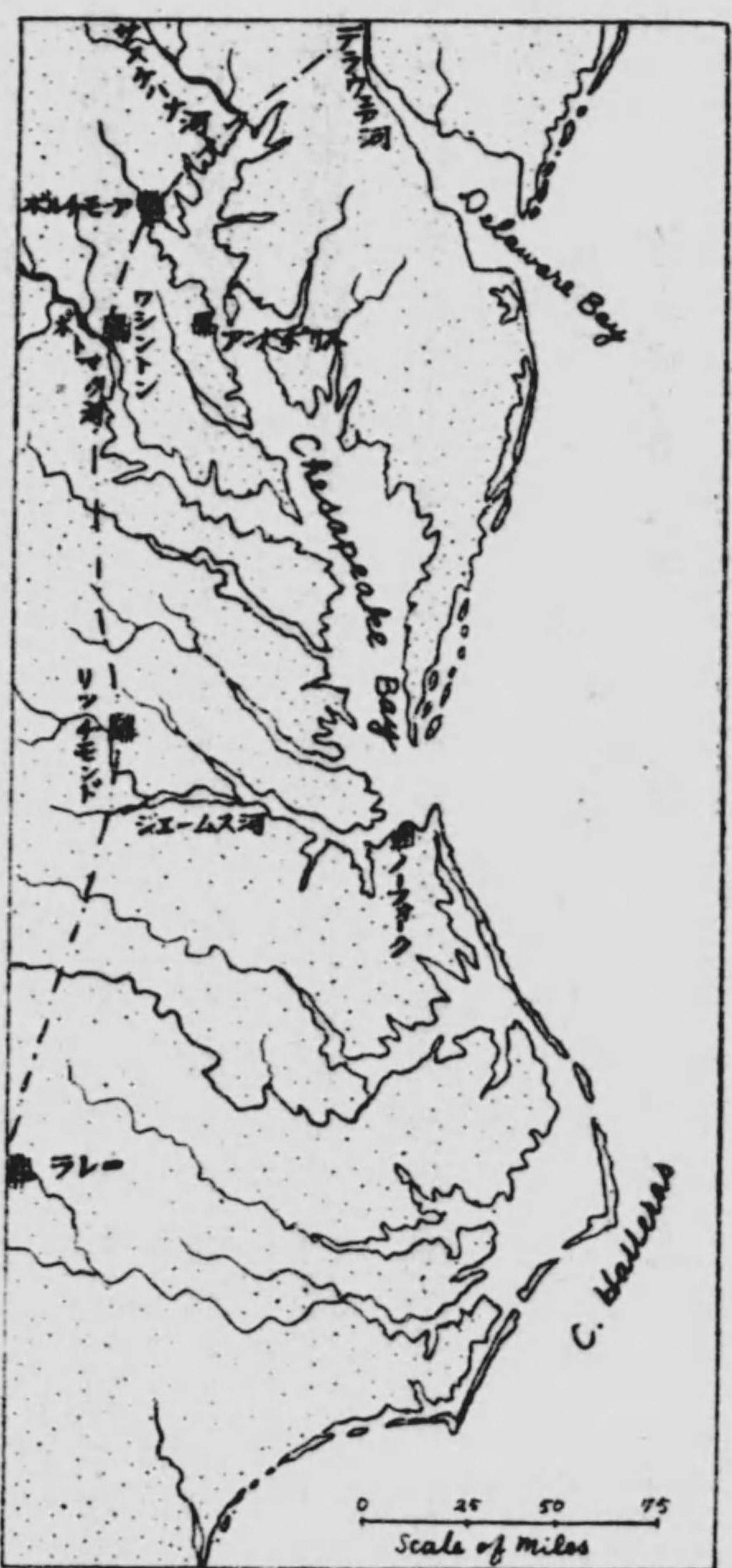
【チエサピーク灣】は溺れ谷で深度が小であるから、灣内の各地に牡蠣の養殖が發達した。ボルチモア(Baltimore 80)は牡蠣及び蟹罐詰の製造が行はれ、サスケハナ河谷によつて内陸盆地に結ばれた東岸の貿易港である。灣岸の小都市アンナポリス(Annapolis)は海軍兵學校の所在地で、灣口に位するノーフォーク(Norfolk)は軍港である。ワシントン(Washington)は商工業の如きもの、發達を見ること少なく、

ポトマク河に面して建設せられた首府で人口は五〇萬である。中央政府直屬のコロンビア區(District of Columbia)の中に、ヴェルサイユを模したといふ格子状と放射状の通路があつて、中央には國會議事堂と大統領官舎たる白聖館が置かれてある。純然たる政治都市で諸宮廳以外には大學の如きものもなく、米國の特

色あるすべての分業的傾向を如實に物語つてゐる。

(口)瀑布線都市(Fall Line City)

ニューヨーク・フィラデルフィヤ等の北部の瀑布線都市は貿易港として發達したものであるが、ヴァージニア以南に於けるものは瀑布の存在に依つて發達したことが著るしい。山麓臺地と海



第136圖 溺れ谷沿岸州の地形と都市

岸平野の地質境界線(Geological Boundary Line)は一方に於いては瀑布の存在に依つて動力が得られ、舟運の終點たる性質を有して居り、他方に於いては、異つた地質のもつ土壤の二地方の産物が交易されるといふ意義を有するものである。従つてこゝに經濟上の中心都市として Richmond, Raleigh, Columbia, Augusta, Macon, Columbus 等の都市が發達した。

帯状海岸平野であるからその地質に應じて生産を異にし、粘土地帯には農産が豊かであり、砂質地には松の森林が多い。北部のヴァージニア州に於いては玉蜀黍・煙草・小麥等の産出が多く、果實の栽培の發達も著るしい。メロン・桃・苺等は主に罐詰に製造せられて大都市に供給せられる。北カロライナ州以南では二〇〇日の無霜期間を有する所であるから、棉花耕作の地帯となつたのである。この地方では植民の初期よりネグロの低廉な勞力に依つて、棉花は獨占的地位を占めてゐる。山麓臺地に於いても肥沃な殘留土壤があつて棉花地帯となり、アトランタ(Atlanta 20)の如き紡績工業の都市が發達した。

大西洋岸區の都市の分布は三帯を區別し得るものであつて、山麓臺地には紡績工業都市が發達し、この臺地と海岸平野の境界には瀑布都市の存在を見、海岸にはウィルミントン(Wilmington) チャールストン(Charleston) サヴァンナ(Savannah)等の棉花輸出港が存在するのである。

【教授】 大西洋海岸平野の南部と北部の地形を比較して沈降海岸と港との關係を知らしめる。ニューヨーク・フィラデルフィア等の港は合衆國の門戸であつて、その地理的位置を見た時にその發達理由を解することが出来る。マンハッタン島附近の鳥瞰圖を用意してその都市景觀を知らしめたい。

【三】 アパラチヤ區

【南部地方】 アパラチヤ山系のブルーリッジ・褶曲アパラチヤ・カムバールランド高原等は東西交通の障

碍となつてゐる。従つて交通系に關係して都市の分布が見られ、或は森林・水力等に依つて山間にも都市の發達を見た。北カロライナ州の西部にあるアッシュビル盆地中のアッシュビル(Ashville)は、グレートスモーキー國立公園に於ける中心地で、保養地及び登山地として知られてゐる。水力利用と山地の森林によつて人造絹絲工業の發達を來した。褶曲アパラチヤの縦谷をなすテンネッシー河(Tennessee R.)の谷はこの地方の主要交通路をなし、此處に位するノックスビル(Knoxville)は大理石・石炭等を産し商業都市となり、チャタヌガ(Chatanooga)は舟運の終點に位し農産物の集散が行はれてゐる。アラバマ州のバーミンガム(Birmingham 26)は、この地の石炭・鐵の産出によつて製鐵が行はれてゐる。

【北部地方】 アパラチヤ山系の北部では、表生河流として南東流を示したサスケハナ河(Susquehanna)デラウェア河(Delaware)等があつて、アパラチヤ山地を横斷して流れてゐる。この河谷が道路及び鐵道交通上極めて重要であり、五大湖地方と東海岸の商工業地帯を結ぶものである。サスケハナ河谷にあるハリスブルグ(Harrisburg 8)は鐵工業の都市で、その北東に位する炭坑聚落スクラントン(Scranton 15)と共に横斷鐵道の要路に位してゐる。アレガニー臺地は前述の地方の如く褶曲構造を示すことなく、臺地中に古生代末期の炭層があつてペンシルヴァニア炭田と稱せられてゐる。この石炭はアパラチヤ炭田の北部を占めてゐて、褶曲地方の如き良質の無煙炭ではないが産出量は著るしい。ニューイングランド・ニューヨーク地方・イリー湖地方等に送られて工業の動力となるもので、合衆國炭田中の首位にある。石油は石炭紀の岩層

中であつて天然瓦斯と共に重要な産出地となつてゐる。

【ピッツバーグ】(Pittsburg, Pa.)

は炭田地方の中心であつて、河川及び鐵道に依る四通八達の要地にあ

る。製鐵工業の場合にはその使用量の大きな石炭を運搬することよりも、鐵鑛を輸送することがより利益であるから、スベリオル湖畔の鐵鑛を得て製鐵の業が行はれてゐる。有名なカーネギー (Andrew Carnegie) によつて設立された大製鐵所は、この地の豊富な石炭に依つて發達したのである。

【註】ピッツバーグはピッツ城のあつた所で、一七五四年英佛間に於いて起つたオハイオ河流域の歸屬問題を機として戦端が開かれた地方にあり、英國の大ピットによつてゐる。この地方の石炭を利用して大製鐵所を設け、この都市發達の原因をなしたものはカーネギー氏であつた。彼はスコットランドに生れ、一八四八年幼少にして米國に渡航し綿工場に働いてゐたが、後に製鐵業の有利なことに着眼して之に従事し、一八八九年カーネギー製鐵所を設立したのである。この事業によつて巨萬の富を得るに至つたもので、彼は圖書館・學術研究所・教育・慈善事業に盡すこと大で、利益の一部を公共の爲に供することを忘れなかつた。ピッツバーグと南部のバーミンガムは南北相對する製鐵都市である。

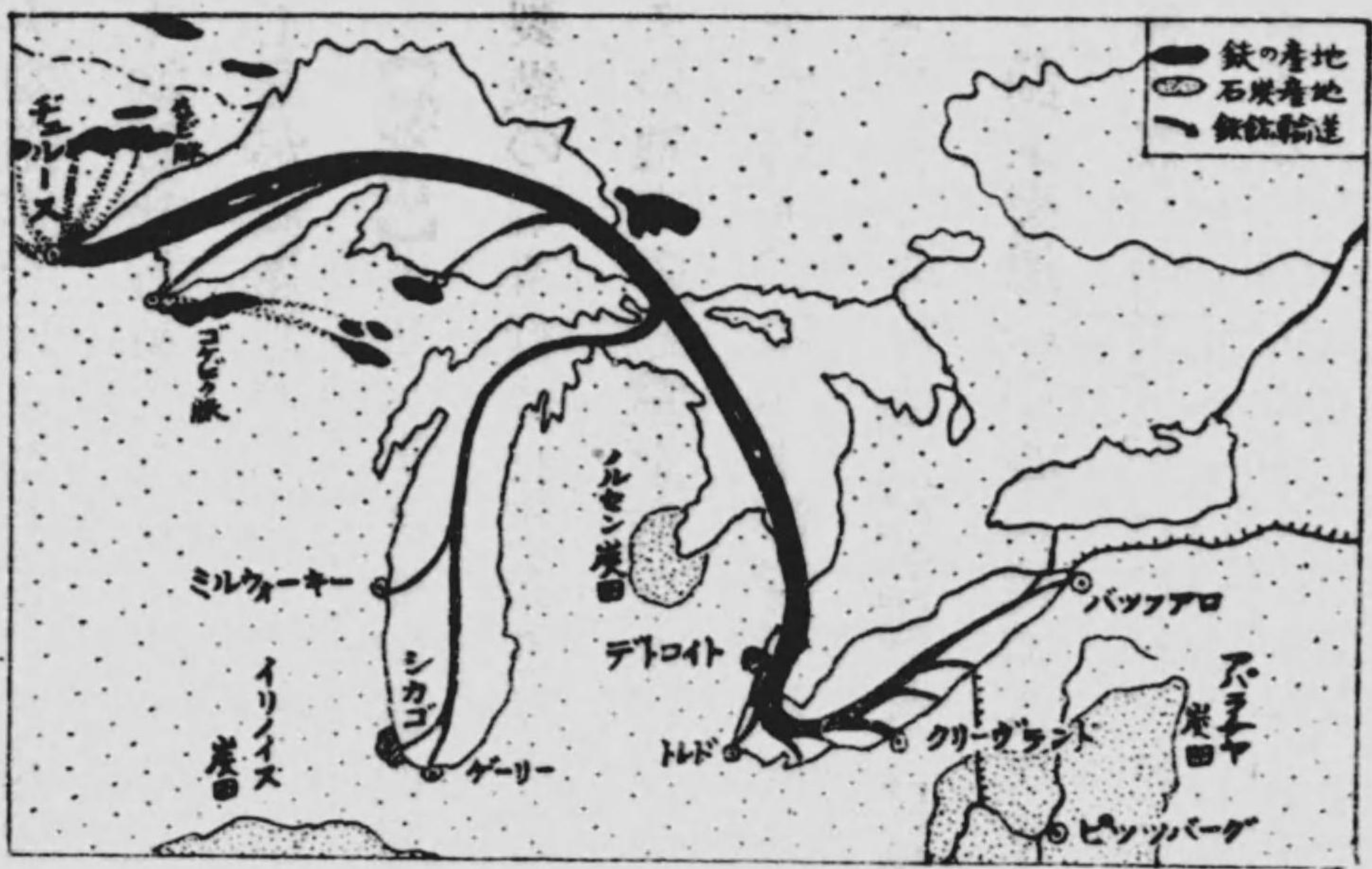
アディロンダック (Adirondack) とアパラチャ山系との中間にはモハーク (Mohawk) の谷があつて、イリー湖とハドソン河を結ぶイリー運河 (Eric Canal) が通じてゐる。この低地は重要な工業地帯をなし、編物・敷物等の産出が多い。アルバニー (Albany) は人口は十萬餘に過ぎないがニューヨーク州政治の中心で、機械製造・出版業が行はれる。ウチカ (Utica) はその西方にあつて、編物・敷物の産がある。東海岸の工業地帯と五大湖地方を結ぶ河谷の工業地帯をなすものである。

【四】五大湖地方

【大湖沿岸の特色】

五大湖は世界著名の内陸水系で、冬季三—四ヶ月間の結氷期間があるといふ缺點はあるけれども、其の利用は極めて大であつて、沿岸には多くの工業都市が發達してゐる。工業都市の主なるものは、シカゴ (Chicago) ミルウォーキー (Milwaukee) デュルース (Duluth) デトロイト (Detroit) クリーヴランド (Cleveland) バッファロ (Buffalo) 等の湖岸都市であるが、前述したピッツバーグの如きも五大湖工業地帯に屬してゐる。アパラチャ炭田の存在に依つてその北部にピッツバーグの製鐵首都が發達したものであるが、湖岸の鐵鑛と湖上の便利な舟運に關係することが至大である。

五大湖地方の特色ある點は次の如くである。(1) スベリオル湖畔には合衆國鐵鑛の八五%の産出を有する——卓絶せる鐵鑛床が存在してゐる。(2) ペンシルヴァニア炭田及びイリノイス炭田・ペンシルヴァニア油田が湖岸地方にあり、之に依つて動力を得るばかりでなくナイアガラ瀑布の水



第137圖 五大湖地方の鐵鑛及石炭

力利用が行はれてゐる。(3)中央平原に於ける農産物の産出。(4)五大湖の内陸水域の存在は、之等諸地方を全く結合せしめてゐる。(5)従つてこの地方は世界の大工業地域となり、食料品・製鐵・機械製造・造船等の諸工業が發達した。

【都市】 スペリオル湖西岸のデュルース (Duluth 10) には商工業發達し、小麥・木材等の集散が多く製鐵の業も行はれてゐる。この港は自然の良港であつて、南東部及び北西部に産出する鐵礦の積出が多い。この地方の鐵礦を送つて、ミシガン湖頭のゲーリー (Gary 10) ではイリノイス炭田の石炭と結合して製鐵業が起り、イリー湖岸ではペンシルヴァニア炭田に依存して湖岸に製鐵・機械製造の工業市クリヴランド (Cleveland 90) が發達し、同炭田の産出地にピッツバーグの製鐵首都の發展を見た。

湖上交通の中心に位するデトロイト (Detroit 167) は、西部よりは木材・鐵礦、東方よりは石炭を得て機械・器具の製造が行はれ、特にフォード (Henry Ford) の自動車工場に名高い。アメリカ工業の一面を代表するものであつて、一年の製造高は實に二四〇萬臺、一日に就いても七二〇〇臺に達するものである。イリー湖岸の工業都市トレド (Toledo 30) 及びクリヴランド等にも自動車製造が行はれてゐる。東岸のイリー運河に臨んだバッファロ (Buffalo 57) は、鐵工業・製粉・製材等の諸工業が著るしい。

【シカゴ】 (Chicago 338) は舌狀に突出したミシガン湖の南岸に位し、最近百年間に人口百の一寒村から三〇〇餘萬の大都となり、合衆國第二の人口を有するに至つた。(1)ミシガン湖の存在は湖上交通を盛んな

らしめてゐるが、(2)他方に於いては陸上の交通を制約して横斷交通路をこの地に集中せしめ、合衆國交通の大中心となり、(3)穀物・牛・豚・羊等の生産地帯の取引が起り商業都市となつたもので、(4)イリノイス炭田から石炭を得て工業の發達を促した。ユニオン屠畜場の如きは其の著るしいもので、肉類の罐詰製造が行はれる。その北方に位してゐるミルウォーキー (Milwaukee 58) は、小麥・木材を取引し屠畜場がある。

【五】ミシシッピ盆地 (Mississippi Basin)

【商業市】 五大湖の南方平原には、オハイオ河・ミズーリ河の大支流があつてミシシッピ河に合流してゐる。合衆國に於ける最も農耕の發達した地方で、玉蜀黍の栽培は全耕地の半に近く、其の他小麥・燕麥の耕作が行はれてゐる。玉蜀黍はその大部が牛・豚の飼料となるものであるからこゝに牧畜地帯が發達し、主要都市は何れも農牧業の中心地たる性質を有してゐる。都市の位置は何れも河岸にあつてミシシッピ水系の舟運によるものであるが、昔時程その航行は殷盛でない。即ち、都市の位置は過去の舟運によつて決定され、河川及び鐵道系の發達に伴つて商業市としてその中心地となつた。

オハイオ河岸のシンシナチ (Cincinnati 45) は豚肉の市場で、ケンタッキー州のルイスヴィル (Louisville 31) は同河の瀑布市 (Fall City) をなし、煙草の産地である。インディアナポリス (Indianapolis 36) は鐵道の要地をなし、屠畜業が行はれてゐる。セントルイス (St. Louis 82) はミシシッピ河水運の中心で、佛

王ルイ九世の名に因んで命名されたものであり、古くから毛皮交易の市場であつた。鐵道が発達するに及んで商業の中心となり、穀物・肉類・煙草・毛皮等の取引の中心地をなした。カンサスシチー (Kansas City) 及びオマハ (Omaha 20) は共にセントルイスに類似し、穀物・肉類の集散地である。

【双子都市】(Twin City) ウィスコン州とミネソタ州の地方は極めて重要な農業地帯をなし、アガシール湖 (Agassiz Lake) と名づけられた舊湖床の沖積土から成る沃野をなしてゐる。この地方の中心がセントポール (St. Paul 27) 及びミネアポリス (Minneapolis 45) の兩都市で、何れも從屬的關係にあることなく、セントポールはミシシッピー河の終航點をなし、ミネアポリスは渡河點として重要であり、共に小麥を集散して製粉工業が発達した。

北流してカナダのウイニペグ湖に注ぐレッド河 (Red R.) に位するファールゴ (Fargo) も小麥の集散地である。

【六】高プレーリー (High Prairies)

モンタナ・北ダコタ・南ダコタ・ネブラスカ・カンサス・コロラド・テキサス等の大平原 (Great Plains) 諸州で、ロッキーマウンテン麓の地方を占め、雨量は五〇〇耗以下の半乾燥の土地である。丈の低い草の生ずる平原草地 (Plains Grassland) をなしてゐて、羊及び牛の牧畜及び乾燥農業が行はれる。ミシシッピー盆地に比し

その開發は甚だ劣り、氣候・産業からも亦人口分布・鐵道分布・都市發達等に於いても、一〇〇度の經線附近に於いて著しい變化を示してゐる。高プレーリーの中心都市は何れも山麓にあつて、石炭・金・銀産出に依つてデンヴァー (Denver 30) の鑛山都が發達した。チェイエンヌ (Cheyenne 2) 及びプエブロ (Pueblo 5) は横斷交通路の要地を占めた山麓都市である。

【七】棉花地帯 (Cotton Belt)

【植栽業 (Plantation) の發達】 メキシコ灣海岸平野は氣候的には棉花耕作に適する地方で、二〇〇日の中斷しない無霜期間といふ條件を有して居り、更にネグロ人の勞力によつて棉花の植栽業が発達した。棉花の栽培には機械使用は困難であるから、低廉なネグロの勞力を得てこの地方に行はれた奴隸制度の下に發達を來したもので、現在に於いても棉花生産とネグロの分布とはよく一致してゐる。生産地帯の分布は大西洋沿岸の如く地質に關係して帶狀の分布をなし、砂質地帯には松柏科の森林があり、黒い石灰岩の土壤から成るアラバマの Black Belt の農業地の如き、テキサスの棉花の中心サンアントニオ (San Antonio) 附近の Black Prairies の如きものがある。然しメキシコ灣岸とフロリダ半島地とは秋の降雨の爲に、棉花耕作に對しては不適であり、海岸地は米の生産多くフロリダ半島には果實栽培が発達した。甘蔗はミシシッピー三角洲及び洪涵平原に耕作せられ、棉花は内陸の海岸平野に産出する。

フロリダ半島は亞熱帶氣候に依つて果實栽培が行はれてゐるが、近年は保養地・避寒地として知られてゐる。東岸のマイアミ (Miami 15) はその中心地で、珊瑚礁から成る二五〇軒の長さを有するフロリダキー (Florida Keys) の先端にあるキーウエスト (Key West) は軍港である。

【棉花市場町】 ミシシッピ河岸のメンフィス (Memphis 17) テキサス州のダラス (Dallas 20) サンアントニオ (San Antonio 21) 等は、内地に位する棉花・穀物取引の中心地をなし、メキシコ灣岸の港市とは舟運・鐵道の便がある。ニューオーリアンヌ (New Orleans 16) は河口より一三〇軒の上流にある港市で、河道は屈曲してゐるが一〇——六〇mの水深があるので舟運が便である。もとフランス人によつて建設せられたから、フランスのオルレアンに因んで名づけられた。舟運と鐵道に依つて棉花を集め、テキサス州のガルヴェストン (Galveston 5) ハウストン (Houston 14) と共に棉花の三大輸出港である。

【教授】 中央平原の教授に際しては、生産地帯の特色とミシシッピ河系の交通に注意せねばならない。ハンチントンの論の如く、この水系の一大缺點は南北流することであり、東西方向の交通はオハイオ河・ミズーリ河の流路が比較的利用されてゐる。従つてミシシッピ盆地内では河の合流點に都市が発達して居り、下流では陸地交通を妨げてゐる。

【八】 ロッキ山地高原 (Rocky Mountain Plateaux)

【ロッキー山脈】 ロッキー山脈地は、人文的には東西の横断交通路・鑛山聚落の發達・氷河公園 (Glacial National Park) イエローストーン公園 (Yellowstone National Park) 等の觀光業等の觀點に留意すべきである。ロッキー山脈北部のモンタナ州にあるビュート (Butte 5) アナコンダ (Anaconda) 等は銅の鑛山町であり、コロラド州の山間にあるリードヴィル (Leadville) は金・銀・鉛等の産出が多い。東西の交通にはコロムビア河谷・ワイオミング盆地・コロラド河谷等に依つてゐる。イエローストーン公園は一萬三八〇〇方軒あつて、我が國の四國島から徳島縣の面積を除外した面積に類似して居り、火山・深溪・森林・間歇温泉・瀑布等の自然の美景が觀光客を集めてゐる。

【註】 イエローストーン公園 ワイオミング州の西北部にあつて、東西一三〇軒・南北一〇〇軒に餘る矩形の地域で、太平・大西兩洋の分水界上にある。この地域は第三紀の火山作用に依つて形成された一大火山高原で多くの高峯が峙ち、間歇泉の多い盆地 (Tetzer Basin) 中にはオールドフェースフル (Old Faithful) 巨人泉 (Giant Geyser) 等百餘の間歇泉がある。イエローストーン公園中の化石林は立木が火山灰の爲に埋められて石化したものであり、イエローストーン湖に發する同名の河谷中には無数の温泉・瀑布等があり、その小支流には深暗な峡谷があつて悪魔洞 (Devil's Den) の稱がある。

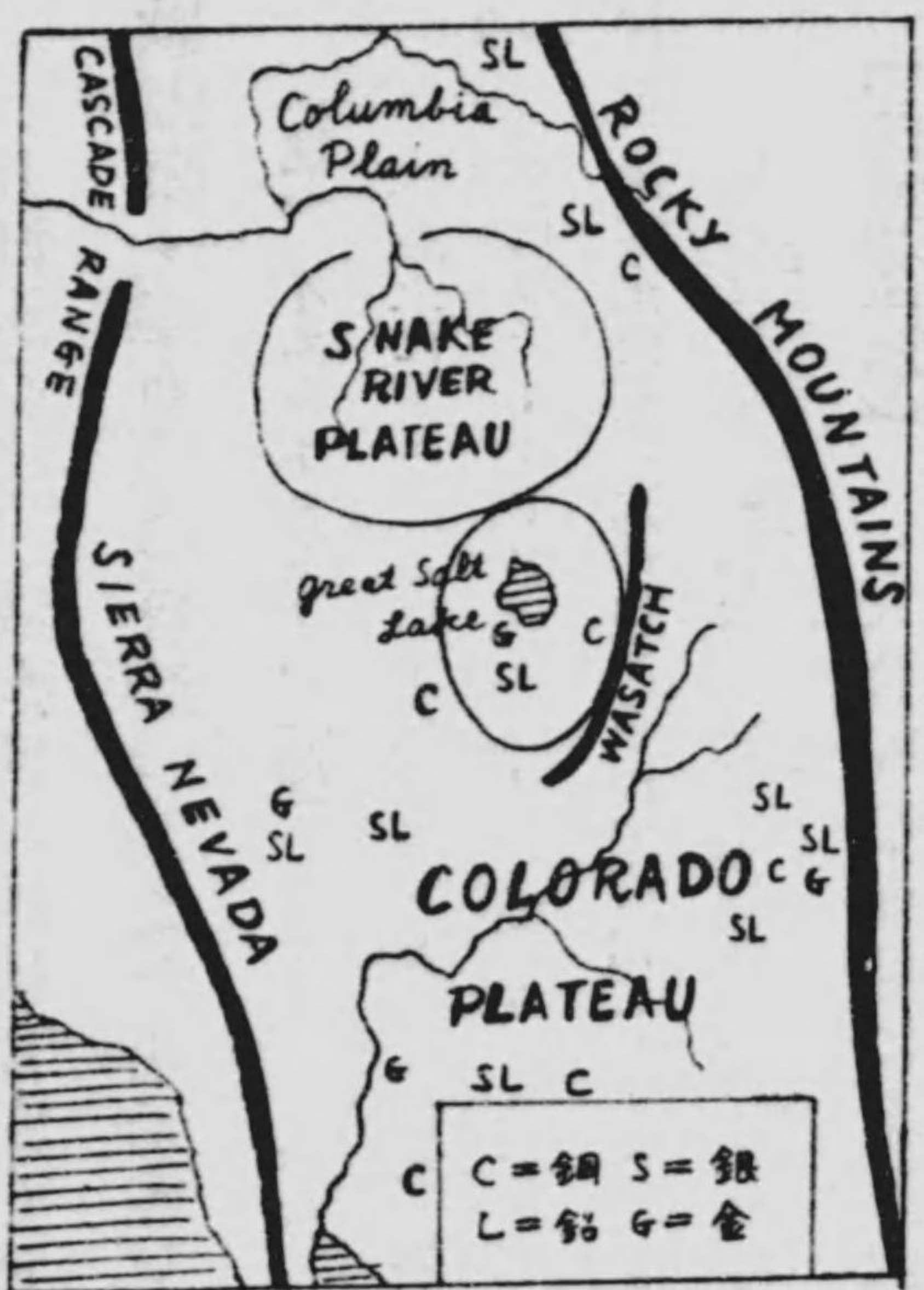
【内陸盆地】 大盆地の東部にある大鹽湖は、氣候の變化に依つて舊湖面に比して著るしく縮小したものであつて、ワーサッチ山脈の水を受けて山麓に横はつてゐる。この山麓地帯が灌漑によつて農業地帯となり、ソルトレーク市 (Salt Lake City 14) はその中心地である。一八三〇年デジョセフ・スミス (Joseph Smith) に依つて開かれたモルモン教徒 (Mormonists) がこの地に逃れて來て、一八四七年に建設した宗教都市である。市の西南四〇軒の地にはビングガム (Bingham) の銅山があつて、世界第一の稱ある露天掘が行は

れてゐる。オグデン(Ogden)もこの地方の農耕地に位し、ユニオン太平洋線と Overland Route の分岐點にあり、大盆地を横断して居るが、Basin and Range の盆地は何れも乾燥地で生産に乏しく、西方のシエラネヴァダの東麓にはヴァーヂニア市(Virginia City)の鑛山町がある。

コロムビア高原の熔岩臺地は風化して肥沃な土壤となり、冬と春の降雨期があつて夏は高温乾燥となるので春蒔小麦の適地である。灌漑事業と相俟つて小麦の産出多く、ワシントン州のスポーケン(Spokane 10)はその中心地である。

【九】北西部太平洋岸(N. W. Pacific Coast)

【森林の分布】 北西部太平洋地方は西ヨーロッパ式の氣候であつて、西風による降雨が大であるから森林の分布が著るしい。森林帯は氣候と地形とに影響することが極めて大であつて、海岸山脈・カスケード山脈地の森林は極めて密で熱帯森林の如くであるといふ。樺(Douglas Fir)は最も主要なる樹木で、降雪の少ない——雨量は一四〇〇耗以下なる地方で一三〇〇耗位の雨量を可とするが故に、九〇〇m以下の山地に繁茂してゐる。それより高所には赤杉(Western Red Cedar)が分布してゐる。我が國に於いてメリケン松(米松)と稱せら



第138圖 内陸盆地の鑛産

れてゐるものは、ダグラス樺であつて、無節の大木で建築材として合衆國東岸地方・ヨーロッパ・東洋等に輸送せられてゐる。

【ユージェット灣】(Puget Sound) この灣はユージェット低地の一大背斜部にある氷蝕谷が沈降によつて溺れ谷となつたもので、百餘軒の長さを有する不規則な灣入をなしてゐる。この灣岸にはシヤトル・タコマの二貿易港があつて、横断鐵道の起點となつてゐる。シヤトル(Seattle 51)は、世界無比の豊富な森林地を背域としてその製材の中心となり、石炭産出の不足は水力電氣の利用によつて補はれ、こゝには三〇〇餘の大製材所があつてその木材は輸出品の第一位を占め、其の他に小麦・果實等がある。日本郵船・大阪商船の定期航路が開け、この都市からは横断線がコロムビア河谷によつて東方に通じてゐる。タコマ(Tacoma 15)はシヤトルの縮圖と見るべき都市で、製材が発達してゐる。

ポートランド(Portland 35)は山紫水明の市街で薔薇の町と言はれる程郊外には美しい花があり、海岸山脈東部の低地に横はる貿易港である。コロムビア河が海岸山脈を横断して西流し、漁港としては鮭の取引が多い。輸出品には小麦・林檎・木材等があり、オレゴン州の豊富な森林地によつて製材の工業都市となつたのである。

日本人は明治初年からこの地に渡航し、ワシントン州には一萬五〇〇〇〇人あつて各種の業に従つてゐる。ポートランドに居住する日本人も多い。

【10】地中海型區 (Mediterranean Region)

【移民の大移動】

シエラネヴァダ (Sierra Nevada) の西斜面を流下してゐるアメリカ河谷は、カリフォルニヤ州に於ける金産出の濫觴で、一八四八年に一人の木挽が之を發見し莫大な砂金の産出に依つて所謂ゴールドラッシュ (Gold Rush) が起つたのである。未だ横斷鐵道もなく、勿論パナマ運河も開通してゐなかつたから、南米を迂回する等實に交通は不便であつたが、移民の大移動を招來して四年を経ない中に約十萬の採取者を算するに至つた。サンフランシスコは一八四六年には僅か六〇〇人の人口であつたが、一八五〇年には二萬五千に急増したことも金に依るもので、移民の西部への大移動 (Grand Rush to the West) の原動力をなしたことは著るしいものがある。

この多くの移民は後にカリフォルニヤ平原に定住し、爲にこの平原は次第に開發せられて地中海式氣候に適する果樹・園藝の農業地となつたのである。カリフォルニヤ州は金産出に就いては現在も合衆國第一で、シエラネヴァダの西斜面には南北に連る石英脈中に之を産出するのである。石油は鑛産中最も主要なるもので、平原の南方にあるベーカースフィールド (Bakersfield) より産出する。森林は海岸山脈・シエラネヴァダの山地に多く、木材として最も價值の大なるものはダグラス樅で全森林の約四分の一を占めてゐる。またアメリカカ杉 (Red Wood) と稱する巨樹があつて、單にセクオイヤとも稱せられ、樹高は一〇〇mに達し徑

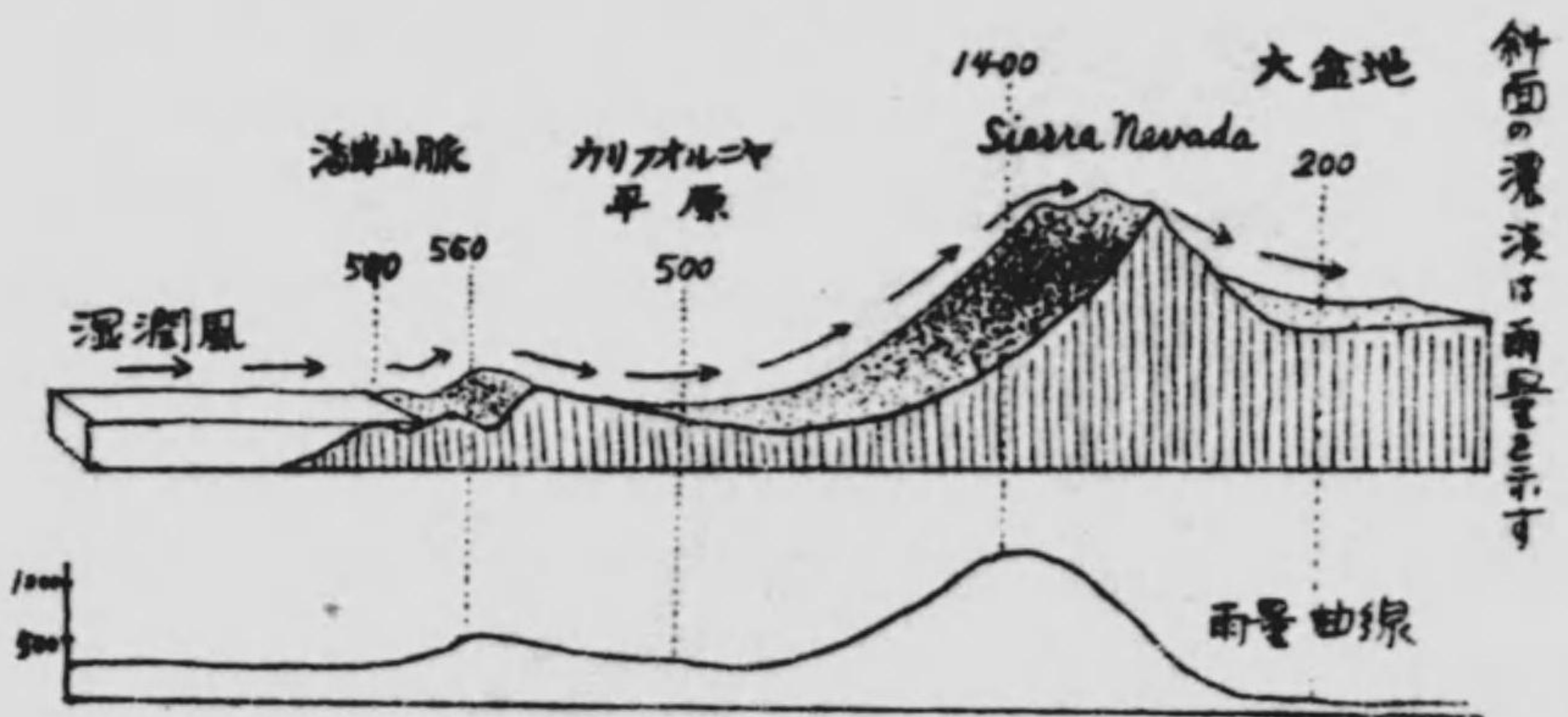
は時に五mに及ぶものがある。セクオイヤ國立公園 (Sequoia National Park) には一萬二〇〇〇本のセクオイヤの巨樹があつて保存せられてゐる。

【カリフォルニヤ平原】

西方には海岸山脈が連亘し、東方にはシエラネヴァダの山地が横つてゐて、その中間にカリフォルニヤ平原がある。海岸山脈には花崗岩・輝綠岩等の露出があるけれども、主として第三紀・中生代の地層であつて新しい隆起によつて形成された。シエラネヴァダは雪山の意で傾動によつて生じた山地であり、古生代及び中生代の地層と之を貫く花崗岩・輝綠岩の地質から成つてゐる。

この山地に水源を有するサクラメント河 (Sacramento R.) サンヨーキン河 (Yuba Joaquin R.) 等は、サンフランシスコ灣に注ぐものであつて、カリフォルニヤ平原を貫流してゐる。この地方の地殻運動は現在にまで引續いてゐるもので、サンフランシスコ地震・サンタバルバラ地震 (Santa Barbara) 等は之を明示してゐる。

氣候は地中海性であつて、十二月——三月の雨期を過ぎると四月——十一月の乾燥が續く。この夏秋の乾燥がある爲に、果樹の栽培に好適である。降雨は偏西風に依るものであるから、山地を上昇することによつて冷却し、山地西斜面の多雨を特色とする。第一三九圖はこの關係を示したものである。即ち、西より東に帶狀に變化するもので、海岸山脈の多雨・大平原地の乾燥・シエラネヴァダの多



第139圖 垂直的變化と雨量(カリフォルニヤ)

雨・大盆地の乾燥等を區別し得るのである。

カリフォルニアの産業發達は、次の三時代を經過して來たのである。(1)牧畜時代がその初期であつて、イ
スパニア人の植民によつて牧羊之に次いで牧羊が行はれたもので、金發見以後は人口が急増するに従つて、
より有利な産業——(2)小麦耕作の時代となつた。然し最近に於ける最も主要産業は、(3)果樹栽培であつて、



第140圖 カリフォルニア地形圖

地中海式の氣候であつたからその栽培に好適であ
り、灌漑の發達によつて世界主要の果實生産地域と
なつた。シエラネヴァダ西斜面の温暖な谷には香橙
が多く、フレズノ(Fresno)附近は葡萄生産の中
心で乾葡萄の産出に名高い。その他桃・杏・梨・
梅・櫻・桃等の産出が多い。之等の果實は乾燥・荷
造等が行はれて輸送せられるが、各都市に於いては
果實の罐詰工業(Fruit-canning Industry)が發達し
てゐる。遠隔地への輸送其の他について果實栽培業者は、特に共同を必要とする爲に組合が各地に組織せら
れてゐる。

【サンフランシスコ】(San Francisco) 太平洋岸第一の良港で商港と軍港を兼ね、金門海峡(Golden Gate)によつて太平洋に連るサンフランシスコ灣に面してゐる。金の發見以來急速に人口が増加し、カリフ

オルニヤ平原の沃地を背域として其の發達を來したもので、果實・石油・穀物・羊毛・金等を輸出し、生
絲・砂糖・コーヒー等を輸入する。港灣に面した南東部の低地は商業地域であり、地形の變化に富んだ中央
以西は主に住宅地となつてゐる。サンフランシスコの人口は六五萬であるが、灣東の都市オークランド(Oak-
land 35)アラメダ(Alameda 3)バークレー(Berkeley 8)等を合した大サンフランシスコは百萬餘の大
都市となる。

オークランドは商業都市として發達し、アラメダには造船・罐詰其の他の工業が行はれてゐる。バークレ
ーは加州大學の所在地で、純學術都市である。サクラメント河谷に位するサクラメント(Sacramento 10)
は、カリフォルニア州政治の中心地で樹木に包まれた整然たる市街地であり、果實の産出が多い。サンフラ
ンシスコ灣南岸にあるサンタクララ(Santa Clara)の谷は前述したフレズノと共に葡萄栽培の核心をなし
てゐる。

【註】ヨセミテ公園(Yosemite National Park) はシエラネヴァダの西斜面にある公園地で、マースド河上流の地方である。水河の侵
蝕作用によつてU字形の峽谷が形成され、兩側は大懸谷となつて谷地に接してゐるから、飛瀑が懸り秀峯が屹立してゐるのである。ヨセ
ミテ瀑の如きは七〇〇mの高さがあつて三段の飛瀑となり落下する様は實に雄大なものである。ホテル・貸別荘其の他娯樂の設備等があ
つて遊覧者が多い。

【ロスアンゼルス】(Los Angeles 124) カリフォルニア州の南部海岸地は殊に温暖な地方で、雨量は五

○〇耗の寡雨地であり、ロスアンゼルスLos Angelesの北東部にはモハーベ沙漠(Mohave Desert)の存在を見る。ウィルソン山の天文臺はかゝる寡雨地を選定したのである。ロスアンゼルスは一八六〇年の人口は三七〇〇人、一九〇〇年には約一〇萬、一九二〇年に五八萬、一九三〇年には實に一二五萬となつたもので、その驚異的發展は著るしいものである。その理由は(1)灌漑に依つて市附近の海岸平野が地中海性果樹栽培の中心となり、ロスアンゼルスLos Angelesの飲料水は三六〇餘軒の遠方にあるシエラネヴァダ東麓のオーウエンス湖(Owens L.)より得てゐる。(2)ロスアンゼルス油田の驚くべき産出の増加(3)フィルム工業(Film Industry)の發達、(4)保養地としての大宣傳等に依るものである。南西の海岸にあるサンペドロ(San Pedro)は市の一部で、石油・果實・肉類の輸出港である。

市の北郊にあるパサデナ(Pasadena)は美しい住宅地で、花園の町と稱せられ、ハリウッド(Hollywood)は二〇〇に餘るフィルム製造會社のある所である。ロングビーチ(Long Beach)はサンペドロの南方にある海水浴場で、メキシコ國境に近いサンデiego(San Diego)は米國海軍の根據地である。

【インペリアル盆地】(Imperial Basin) カリフォルニア灣に續く低地帯の一部にインペリアル谷があつて、サルトン湖(Saltan L.)沿岸の窪地をなしてゐる。コロラド河の運搬物が堆積して生じた扇狀地狀三角洲の發達に依つてメキシコのカリフォルニア灣に續く低地が分離せられたもので、海面以下に位する面積は四五〇〇方軒を有してゐる。盆地床は海面下六〇mにあり、最低地は八九mである。氣候は乾燥であつて僅

かに一〇〇耗の降雨があるに過ぎないから、コロラド河より灌漑水を得てサルトン湖岸低地の農耕が行はれ、棉花・果實の栽培が發達した。その農耕に従事する者の中では、日本人が最も多數である。

【教授】 太平洋沿岸諸地方は日本の對岸の地方であつて、我が移民の活躍した地方である。昭和七年の合衆國居住日本人數一〇萬中その過半はカリフォルニア州に居て、ロスアンゼルス・オークランド・桑港・サクラメント等がその集團の中心地である。日本人の果樹栽培は特に模範であり、青物市場では大きな勢力を有してゐる。明治廿一年渡航した牛島謹爾氏の如きは成功者の一人であつて、福岡に生れこの地に渡航してサクラメント河畔を開拓して馬鈴薯の耕作に従事し、彼の生前二〇年間は合衆國生産の八割を占めて、シマ・ポテトの名は全米に知られた。現在の日本人の活動を知らしめ歴史的にも日本人の發展を授けて、排日の問題と結びつけて一考することが望ましい。

第五節 産業

(一) 農業

【粗放的農業】(Extensive Cultivation) 合衆國の農業は其の發達が近年の事に屬し、舊世界に於ける如く未だ一定の成熟期には達してゐない。農業の主要地域は、中央大平原及び大西洋岸の地方であつて、廣大な平原の耕作に際して勞力の不足が大であつたから、畜力による大規模の農業が行はれた。日本では勞力が多大であり且つ耕地面積が小であるから、集約的農業(Intensive Cultivation)が行はれてゐるが、アメリ

カでは粗放的で廣い土地の耕作に依つて多大の收穫を得てゐる。一八三〇年頃より機械時代となり、アメリカ式の大規模な企業的農業が行はれて來た。その爲に農閑期に於いて家畜の飼養をなすこと、及び其の期間労働者に支拂ふ賃金の如きものが不必要となり、農業の合理化がなされたのである。現在六五〇萬の農場中四〇——二〇〇ヘクタールの農場は四〇%に達し、農場の播種等が終ると各労働者は工場に働き、或は小麥地帯に於ける如く播種・收穫を異にする地方を順次に移動する労働者群が生じたのである。

栽培地發達の著るしいプレーリー草地——西經一〇〇度以東——では、丈高き草地 (Tall Grassland) の自然植物地域をなしてゐるが、この地方が次第に栽培植物に更替せられた割合は極めて著るしい。西經一〇〇度以西の丈低き草地 (Short Grassland) では、著るしく少ないことに氣づくのである。今この状態を示すものとして、自然植物が如何に耕作せられて變化したかを見れば、アイオワ・インデアナ・イリノイス・オハイオの四州は州面積の五〇%以上が栽培地域となり、北ダコタ・カンサス二州は四〇%以上を示し、かくその割合の最も多い諸州は中央平原に位してゐる。

【農業地域】(Agricultural Region) ヌーカー氏 (O. A. Baker) はアメリカ合衆國の農業について、濕氣・溫度・地形・土壤等の自然的條件が農業發達に及ぼす影響の極めて大なることを論じた。アメリカでは機械使用が大である爲に平坦である耕地が最も望ましいもので、爲に丘陵の地方・傾斜の大きい地方の開發は後れてゐる。土壤は恒久的の富源とも言ふべきもので、耕作法の循環によつて窒素と腐植土の消耗の如きは維持し得るのである。濕氣に關しても灌溉による耕作法の發達、乾燥に耐へ得る種類の栽培等に依つて耕



第141圖 合衆國の農業地域

地面積を増大し、乾燥農業の發達を見たのである。溫度については、北東部諸州の酪農業の發達はこの關係を物語るもので、夏季の冷涼と牧草に適する降雨があること、牧草と玉蜀黍の飼料とを得て、この地方の寒い冬季の業に好適であるといふ條件によつてゐる。

かゝる(1)自然的條件と其の他に(2)土地の廣大であること、(3)精力的な農民、(4)機械力の利用、(5)交通系の發達、(6)政府の奨励等の人文的緒條件によつて農業の發達を促した。氣候の冷涼な五大湖及びニューイングランド地方は前述の酪農業 (Dairy Farming) の發達した所であり、大西洋海岸には狭長なトラクタ農業 (Truck Farming) の地方がある。こゝでは(7)經濟的條件がより主要なるものであり、特に大都市との關係によつて野菜・果實等が多く、市場への輸送に對しては鐵道・水運・トラクタ等で運搬し得るといふ條件によつてゐる。

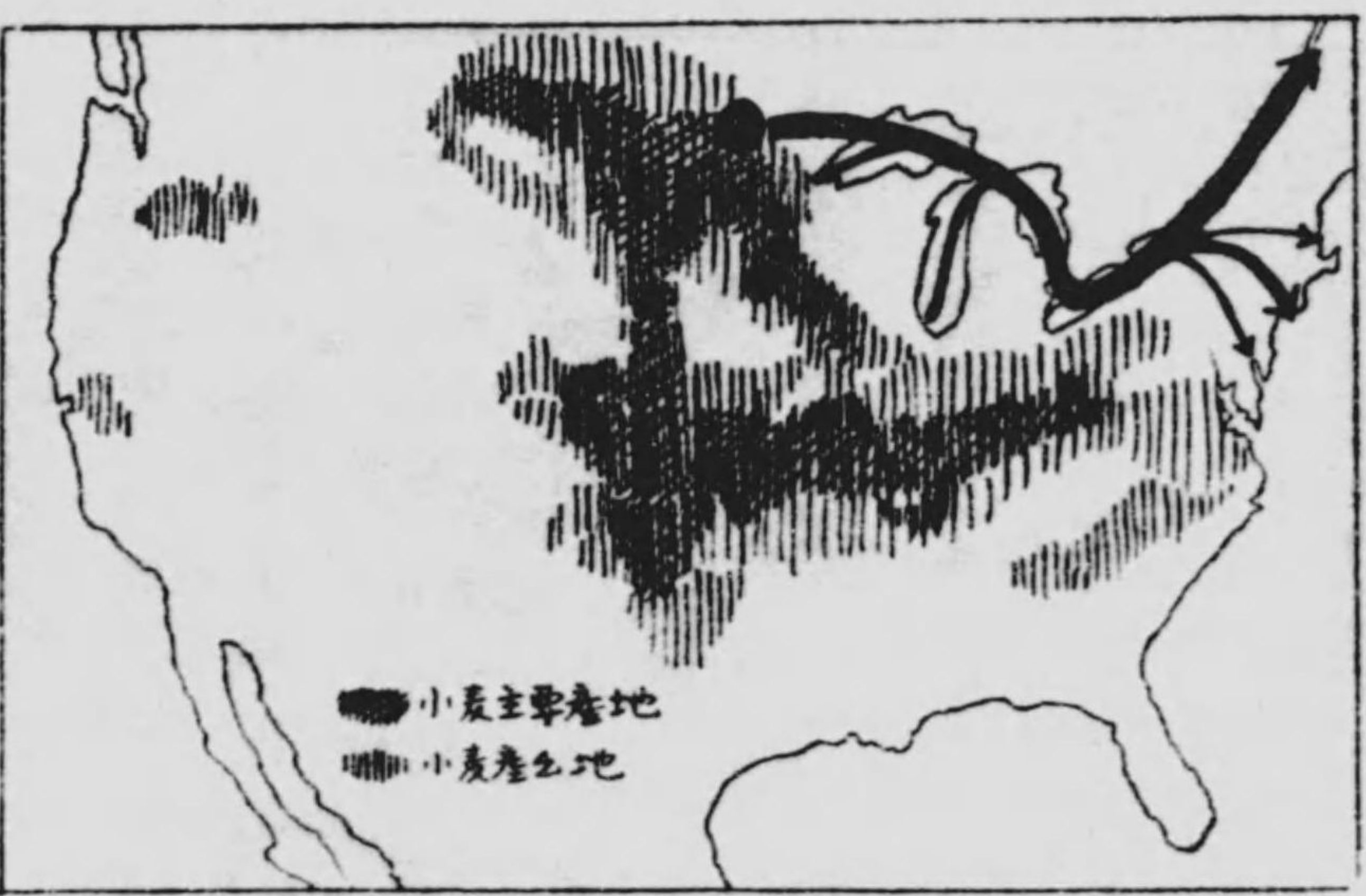
中央大平原の農業地域について見れば、最北には春小麦地帯があり、その南には帶狀に玉蜀黍地帯・玉蜀

黍及び冬小麦地帯・棉花地帯・湿润亞熱帶性作物地帯等を區分することが出来る。太平洋岸地方の南部地方には亞熱帶的の地中海性果實 (Mediterranean Fruits) の生産がある。これ等は主として自然的の諸條件に

依るもので、生産地帯の分布を異にしてゐることは著るしいものである。

【小麦地帯】(Wheat Belt) 小麦はパン製造用穀物として重要なもので、大農法による耕作に對して代表的の穀物である。その耕地面積は二二〇〇萬ヘクタールあつて、産額は凡そ二億ブッシェルあつて世界産出の六%を占めてゐる。近年に於けるソウイェートロシヤの小麥産出は急増を示して、世界第一の小麥國たる合衆國に接近し、世界の二大産出國となつた。小麦の耕作に對する條件としては、肥沃なる土壤が適地であり、氣候上からは播種期と成長期に適度の降雨を必要とし、收穫期の温暖且つ乾燥を條件とする。

合衆國の小麥生産に關しては二つの重要地域を認め得るのであつて、中央平原北部では冬季が寒冷に過ぎる爲に春に至つて播種する春時小麦地帯 (Spring Wheat Belt) となり、温暖な氣候である中部平原中央では冬時の小麦地帯 (Winter Wheat Belt) となつてゐる。



第142圖 小麦栽培地域

春小麦地帯は、ミネソタ・北ダコタ・南ダコタ諸州を中心とした地方で肥沃なアガシー湖の湖成層 (lacustrine Deposits) から成る地方が中心となり、レッド河谷 (Red River Valley) がその核心となつてゐる。この地方の小麥産出が近年に至つて幾分減額を示したことは、他の作物が栽培せらるゝに至つた爲である。冬小麦地帯は、オハイオ河谷から西方に延長してカンサス・オクラホマ諸州に及ぶ地帯で、殊にカンサス・オクラホマ二州は近年の増加が著るしく、小麦産出の中心地となつたのである。冬に播種せられるので、冬の寒さが甚だしい時には凶作を來すことが多く、年々蒔き直しが行はれてゐる程である。

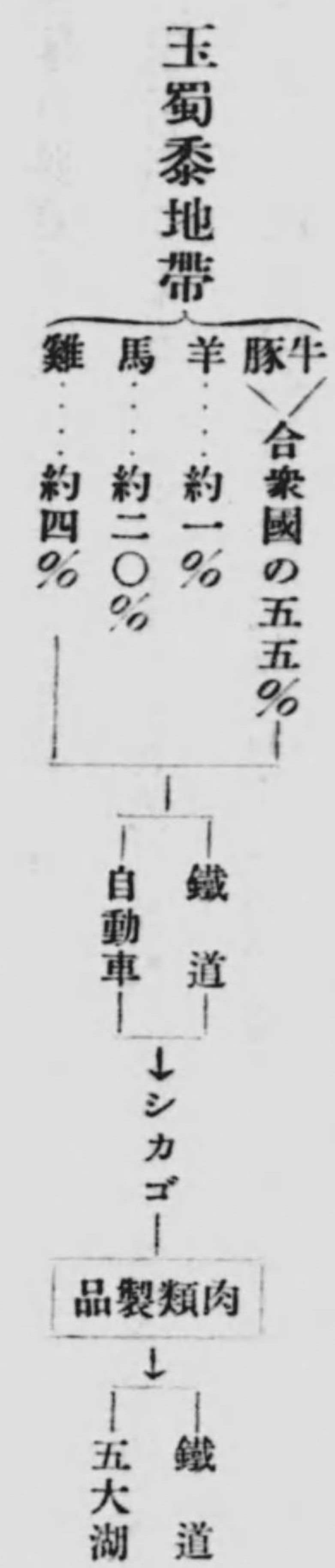
【玉蜀黍地帯】(Corn Belt)

玉蜀黍は米大陸の原産であつて、英語では Corn, Maize 等の稱がある。アメリカでは食料として重要であつたもので、インカ人・インディアン等の舊文化と密接な關係にあつた。コロンブスは未だ歐洲

國名	産出額	百分	比
世界小麥産額比較 (一九三二—三三)			
アメリカ合衆國	二〇二五〇萬キントル		一七・七%
ソウイェット・ロシヤ	二〇二五〇 "		一七・七%
カナダ領土	一二〇五八 "		一〇・五%
英領インド	九一六八 "		七・三%
フランス	九〇七七 "		七・二%
イタリー	七五三六 "		六・〇%
アルゼンチン	六四〇六 "		五・一%
オーストラリヤ	五八〇五 "		四・七%
全世界	一二四六四〇 "		一〇〇・〇%

人に知られてゐない玉蜀黍を持ち帰り、土語に基いてメイズと呼んだのである。この植物は普通一四〇日の成長期間を必要とするもので、霜に對しては弱いから一四〇日以上は無霜期間を必要としてゐる。其の他多量の熱と濕氣とを要とし、排水のよい肥沃な窒素を含んだ腐植土を好適としてゐる。アイオワ州(Iowa)では大豆を玉蜀黍畑に耕作して窒素を含んだ土壌となし、玉蜀黍耕作の發達を助けてゐる。また甚だしく乾燥した高温な南西風が、作物に對して損害を與へることが多く、常緑樹の防風林によつてその損害を減ずることが出来る。樹林によつて保護されてゐる所では産出が多いけれども、熱風を受けた所では玉蜀黍は萎縮して收穫は半減される。

玉蜀黍の産出地は、イリノイス・アイオワ・ネブラスカ・カンサス等の諸州が中心をなし、東西に續いた带状の地帯をなしてゐる。その産出量は七億三八〇〇萬キントルあつて世界第一であり、世界産出の約六〇%を占めてゐる。玉蜀黍地帯は經濟的に、牛・豚・馬等の牧畜地帯となつてゐることは著しいことで、食料としての價値は少なく、合衆國大家畜群は實にこの玉蜀黍を飼料としてゐるのである。シカゴの位置は玉蜀黍地帯の略々中央にあつて、合衆國交通の一大中心である。従つて牛・豚・羊等の集散に最も適した所となり、屠畜業の著るしい發達を見たのである。



【棉花地帯】(Cotton Belt)

米棉は世

界最上の優良棉であると言はれる海島棉(Sea Island Cotton)種であつて、纖維の長さは一時四分の三あつて、絹絲の如き光澤を有し、細くして且つ強靱である。かゝる點から綿織物の縦絲は米棉に限ると迄言はれてゐる。合衆國に於ける棉花産出は世界第一であつて、全世界の六割餘(一九三二年)を占め、その輸出額は三億四五〇〇萬弗に達し輸出品の第一位にある。輸出港はガルベズトン・ニューオルリヤンス港であつて、ヨーロッパへの輸出及びパナマ經由によつて亞細亞地方への輸出にも適してゐる。我が國へはその輸出額の約二五%に當る八五五〇萬弗の輸出を示してゐる。

産出地	産出量(萬俵)	割合(%)
アメリカ合衆國	一七一〇	六三%
インド	三四〇	一二%
支那	一八〇	六%
エジプト	一三〇	五%
其他	三九〇	一四%
全世界	二七五〇	一〇〇%

となつてゐる。その東では②ミシシッピー河流域のメンフィスを中心とした地方で、黄土(Loess)及び沖

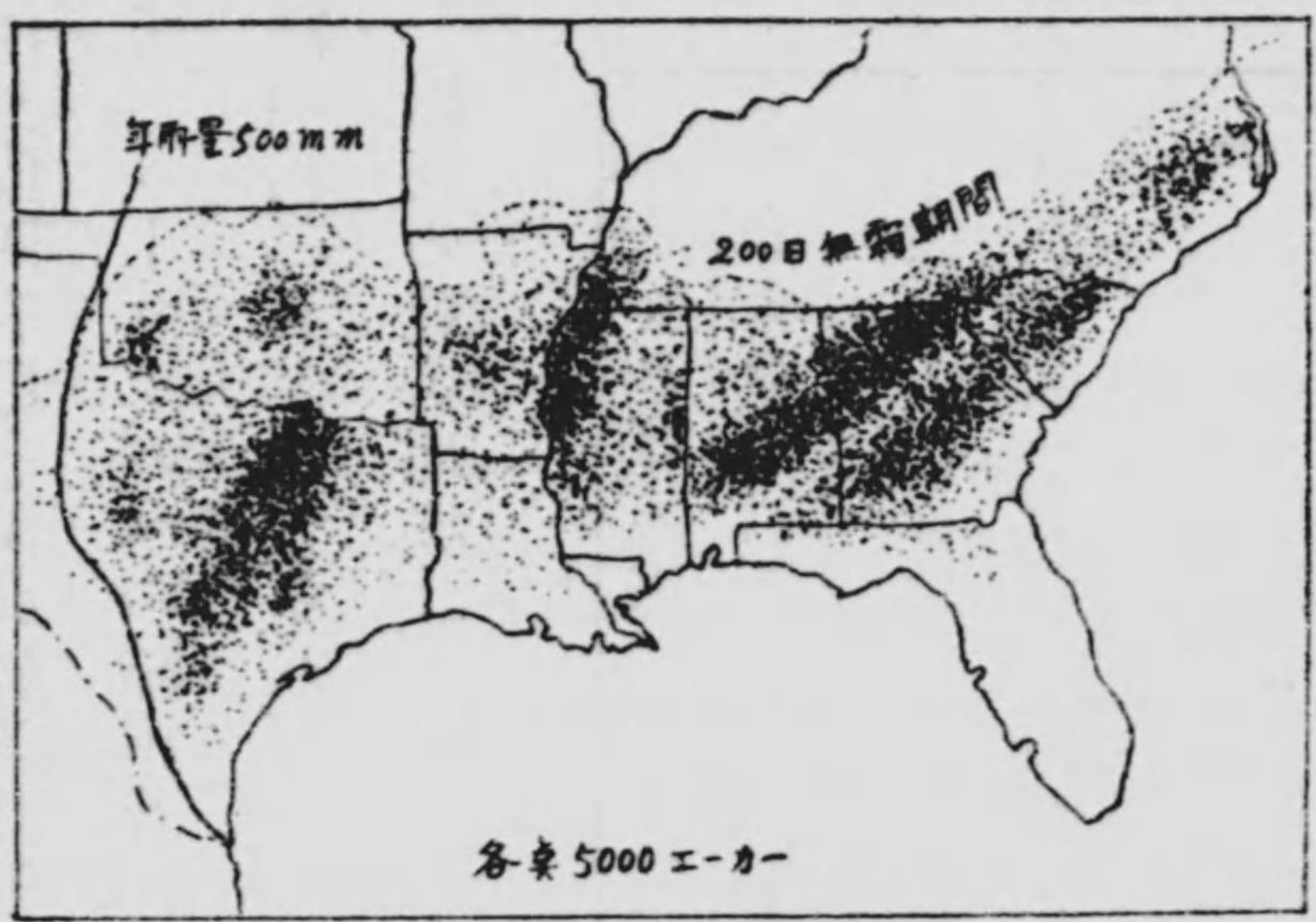
積土壌の地方を占めてゐる。次に③アラバマ及びミシシッピ河の Black Prairie と、④山麓臺地 (Piedmont Plateau) の赤色粘土・粘土ローム (Clay Loam) の土壤、⑤大西洋海岸平野に於けるヴァージニア

アラバマ間の諸州で、軽い砂質のローム土壤の地を占めてゐる。

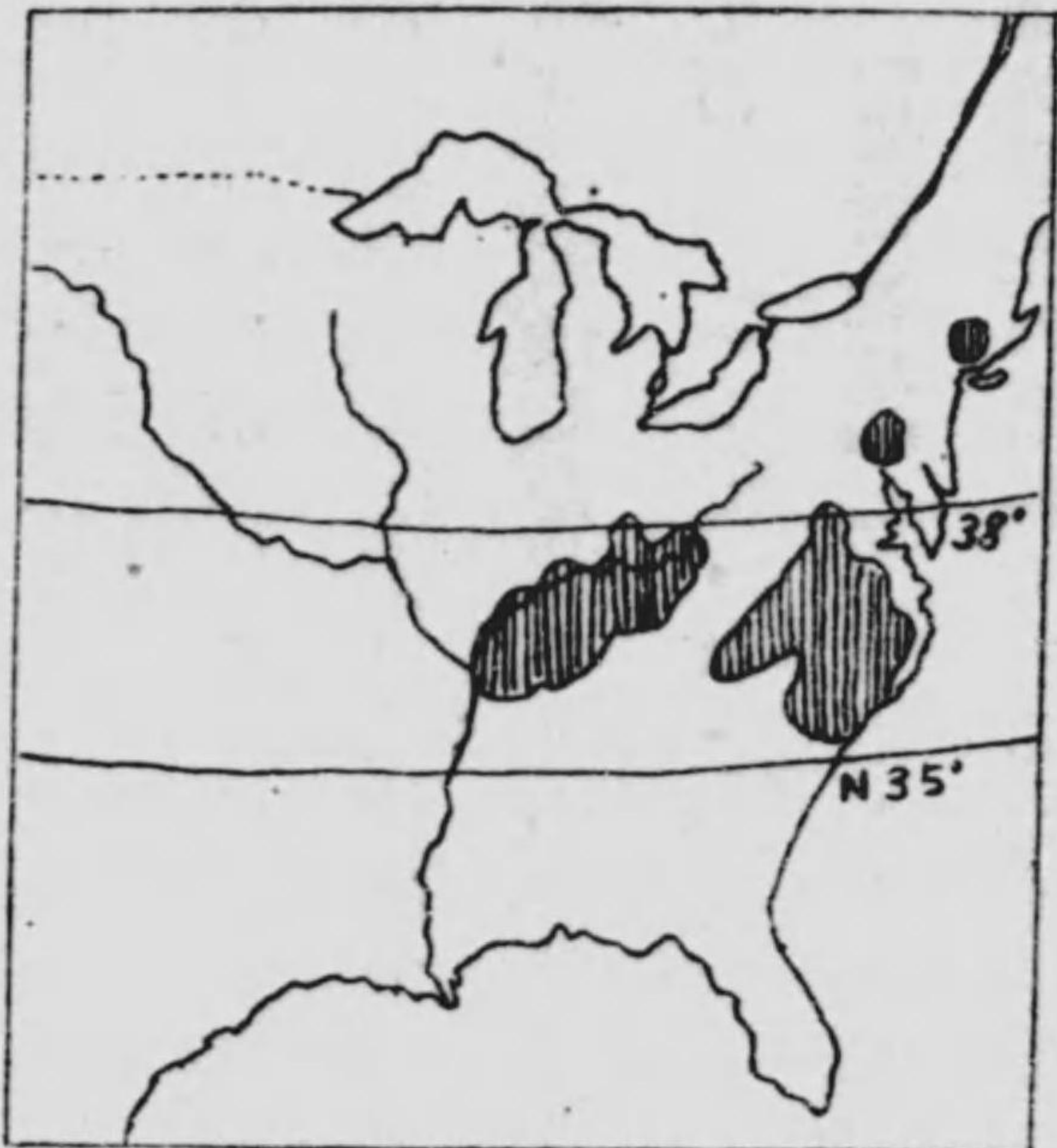
米棉の産出地がかくの如く広い地域を有してゐるから、播種・摘取等の時期を異にするもので、南方より次第に北方に移動してゆく。テキサス州では三月中旬に植付が開始せられ、ルイジアナ・ジョージヤ・フロリダ等では四月上旬、オクラホマ・テンネツシー・アーカンサス・カロライナ諸州では四月中旬となつてゐる。摘取は八月上旬に始め、出盛は九、十、十一の三ヶ月間である。

棉花は熱帯地方を原産として居り、前述の如き栽培条件を必要としてゐるが、氣候的條件によつてこの地方では白人労働者の活動は期し難い。棉花の摘取についての労働或は低廉なる賃金を要とすること、機械力に頼ることを得ざる爲等の經濟的條件によつて、黒人の「特殊労働者」によらねばならない。その爲に黒人の分布と棉花の生産とは極めてよく一致し、黒人が棉花地帯開發についての基礎となつてゐる。

【煙草地帯】 アメリカの原産であつて、その種類は五〇種程もあるが、喫煙用として一般に用ひられてゐるものはヴァージニヤ種が第一であつて、中米又は南米より送られて現今でも溫暖な氣候の各地に栽培されてゐる。イギリス人の植民地として早くから煙草栽培の行はれた所は、ジェームスタウン (Jamestown) 附近であつて、その栽培はヨーロッパ人の喫煙流行の爲に大いに成功したのである。現在煙草栽培地の分布を見ると、北緯三五度と三八度の中間地帯にあつて、ケンタツキー・テンネツシー・北カロライナ・ヴァージ



第143圖 棉花の生産地帯



第144圖 煙草の生産地帯

ニヤ諸州が中心となつてゐる。ケンタツキー州西部は米國第一の生産地で石灰岩質の地方に耕作せられ、ルイスヰイルは煙草市場として知られてゐる。東部ではヴァージニヤ州が中心で、リツチモンド (Richmond) は煙草取引の核心をなしてゐる。ケンタツキー州では石灰岩質土壤の地方ブルーグラス (Bluegrass) が良質の煙草を産し、ヴァージニヤでは重い地質の土壤に色が黒い甚だ強いペリク (Perique) と呼ばれる良質の煙草を産してゐる。その産出は世界第一であつて三一%を占めてゐるが、(一九三〇)近年は英領印度の産出が急増を示して米國を凌駕するに至つた。一九三二年の葉煙草の輸出は六五〇〇萬弗で、農産物輸出品中の主要なるものである。

【乾草及び酪農區】 (Hay and Dairy Region) 乾草の分布は広い地域を占めてゐて、アルファルファ (Alfalfa) クローヰアー・オホアハガヘリ (Timothy-grass) 等の好適地をなしてゐる。五大湖沿岸の地方

は氷河堆積物が多く、土壤は氷成粘土・泥滓等があつて農耕に適しない。その上に夏期の氣候が冷涼に過ぎる爲に、玉蜀黍耕作による牧畜は不可能であつて、牧草に依存して農業上からは牧草・酪農地帯をなしている。特に湖岸諸地方及び北東部の工業都市に於いて、牛乳等の需要が大なる爲にその發達が著るしい。

【トラック農業】(Truck Farming) ニューイングランドの南東海岸地方から、ニューヨーク・フィラデフィアを経てカロライナに至る大西洋岸の狭長地帯を占めてゐる。この地方の大工業地帯の發達によつて、これ等の都市に供給する蔬菜の栽培地が増加したもので、市場へは汽車・水運・トラック等によつて運搬してゐる。農業は稍々粗放的で、キャベツ・ホウレンソウ・セリー等の蔬菜が大規模に耕作せられてゐる。大都市に近接した郊外地の農業は集約的に傾き、マーケット・ガードニング(Market Gardening)と稱せられてゐる。メロン・桃・苺等はその儘市場に送られたり、罐詰に製造されてから輸送されるものも多い。

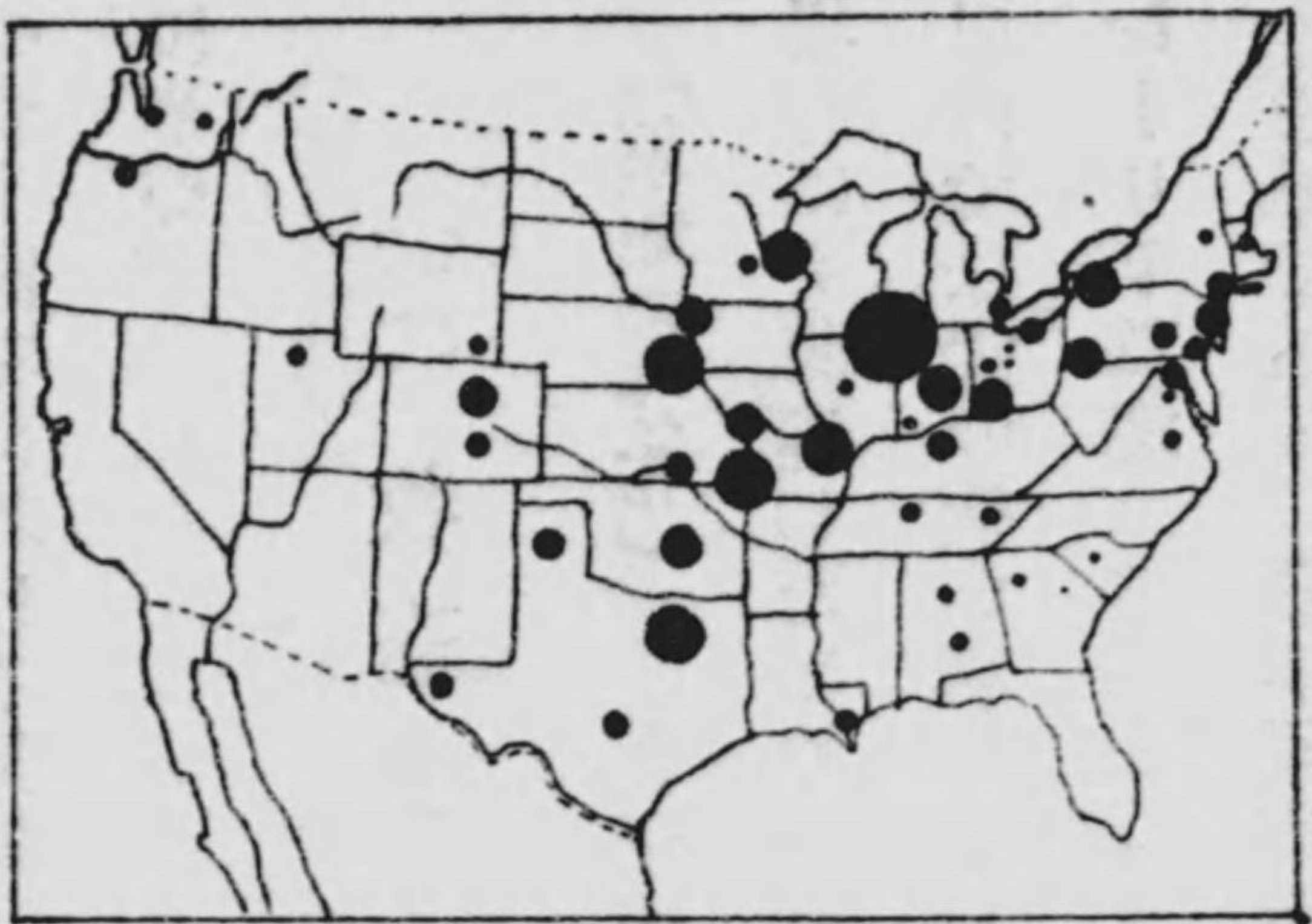
【果樹栽培】 フロリダ半島とカリフォルニアの二地方が果樹栽培の中心となつてゐる。フロリダ半島は亞熱帯性の氣候であるから避寒地として利用せられ、フランスのリヴェイラと比較せられてゐる。珍草或は美花が常に咲き亂れてゐる爲にフラワー即ち花を意味するフロリダの名を得たものである。フロリダは特有のグレープ・フルーツ(Grape Fruit) 其他レモン・オレンジ・西瓜・マスクメロン(Musk-melon) バインアップル等の果實産出に知られてゐる。

カリフォルニア州では、南部地方のロスアンゼルス附近にフロリダに類似した果實を産出し、葡萄は特にカリフォルニア平原に多い。シエラネヴァダより灌漑水を得て、果樹栽培の業が發達した。葡萄栽培の中心地はサクラメント河谷・サンタクララ(Santa Clara)附近であつて、食用及び葡萄酒醸造が主となつてゐるが、フレズノ地方のものは乾葡萄として各地に輸送せられる。其他梨・桃・林檎・杏等の産出も豊かであつて、世界に於ける果樹栽培の中心をなしてゐる。林檎はこの地方に産する他に、五大湖地方の合衆國北部に多い。

【二】 牧畜業

【草地の分布】 合衆國に於ける草地の自然的分布は、特に中央平原の西部に於いて著るしい。地方誌の場合にも記述した如く西經一〇〇度の線について見れば、それ以東では丈の高い草(Tallgrass)であつて、以西では丈の低い草(Short-grass)が存在してゐる。草地を自然的に區分すれば次の如き各地となる。①プレーリー草地(Prairie Grassland) ……は西經一〇〇度以東の丈の高い草のある所で、雨量が五〇〇耗以上の地方である。②平原草地(Plains Grassland) ……西經一〇〇度以西の地方で、雨量が少ないから丈の低い草地となつてゐて、乾燥農業が行はれてゐる。③太平洋草地(Pacific Grassland) ……太平洋岸のカリフォルニア・オレゴン・ワシントン・ネヴァダ諸州に多い草地で、房状の葉をもつた Bunch-grass から成る草地である。④沙漠草地(Desert Grassland) ……テキサス・ニューメキシコ・アリゾナ諸州の雨量の極めて少ない

地方で、農業地・牧畜地としては最も劣つてゐる。⑤高山性草地(Alpine Grazeland)……カスケード・シエラ
ネヴァダ・ロッキー諸山地に見られる所の、森林地よりも高い所に見られる草地である。⑥沙漠サヴァンナ
(Desert Savanna)……メキシコ灣岸よりテキサス州西部を北に延びてレッド河に及ぶ地帯で、小さい草と

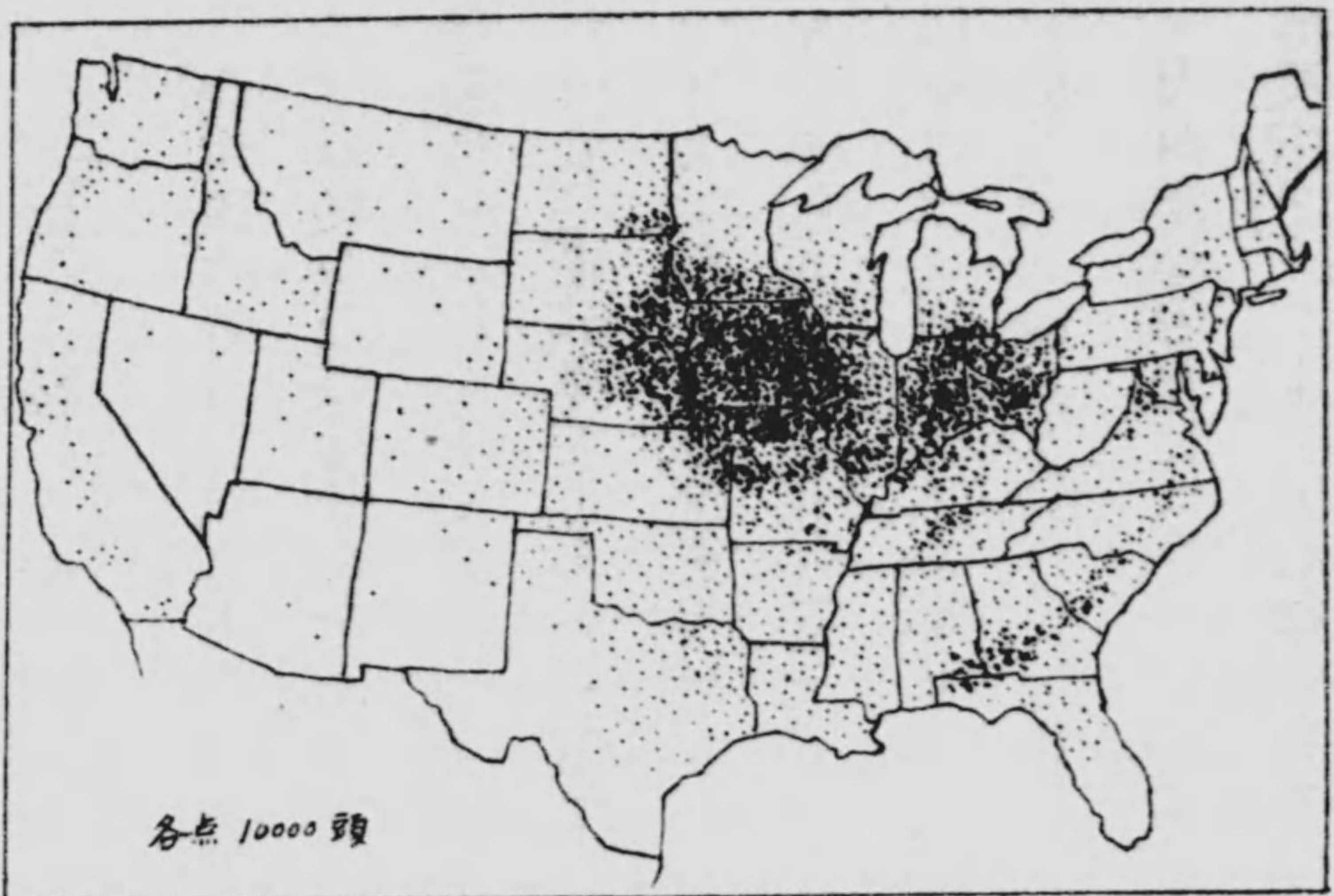


第145圖 屠牛場に集る牛の比較

小さい樹木とから成る所である。綿花・玉蜀黍耕作に對しては將來ある程度
の發達は可能である。⑦沼澤草地(Marsh Grazeland)……フロリダ半島の沼
澤地、大西洋沿岸の地帯、カリフォルニア中央谷等の各地に見られる。
かゝる自然性の草地の分布は牧畜と大なる關係を有するものであつて、特
にプレーリーに於いてさうである。五大湖地方では乾草の栽培によつて乳牛
が多く養はれ、玉蜀黍地帯には多數の牛・豚の飼養が行はれてゐる。

牛 合衆國の牛の頭数は六七〇〇萬頭あり、印度に次いで世界第二位にあ
るが、その利用度の大なることは世界第一である。玉蜀黍地帯の有する經濟
的價値は、玉蜀黍そのものによることは甚だ小であつて、之を牛・豚等の飼
料として肉を供給する點にある。従つて肉牛の分布は玉蜀黍地帯によく一致を見るのであつて、分布の中心
はシカゴより南西に續く地帯である。中でもアイオワ・ネブラスカ・カンサス三州がその中心で、シカゴ・
オマハ等には屠殺業が起つてゐる。乳牛の分布は五大湖地方の牧草地帯であつて、牛乳・酪製品の主要産地

をなしてゐる。この地方は大都市が多いからその消費が大であり、夏季の氣温が冷涼である爲に酪業に適し
てゐるのである。



第146圖 合衆國の豚の分布

アメリカ合衆國家畜數 (一九三四)	
牛	六七三五萬頭 世界第二位
豚	五六〇〇萬頭 世界第一位
羊	五一四〇萬頭 世界第三位
馬	一一九〇萬頭 世界第二位

豚 牛の場合に於けるよ
りも玉蜀黍地帯との關係が
大である。之は玉蜀黍飼料
に依るものであつて、豚肉
よりは良質のラード(Lard)

及びハム(Ham)等が製造される。イリノイス州東部地方が玉蜀黍
帯の中心にありながら、豚の分布が割合に少いことは玉蜀黍が葡萄
糖に製造されてゐる爲である。かゝる點よりするも、その關係の重
要なることが知られる。

羊 牛及び豚の如く中央平原のある地域に限定されてゐないで高
プレーリー地方にも亦西部高地等にも廣い分布をもつてゐる。羊は
寡雨地方が好適であつて、前述した自然草地の各地に牧羊を可能と
してゐる。その頭数は五一四〇萬頭あつて、濠洲・露西亞に次いで世界第三位にある。その利用は單に肉の

みでなく、羊毛・皮革等にも著るしい価値を有してゐる。

〔三〕 林 業

合衆國の森林面積は全國土の四八%に相當し、太平洋岸地帯と大西洋岸地帯の二大地域に分たれる。この二つの異つた森林景相を隔てゝゐるものが、中央平原の草地 (Great Plain) であつて、インディアン[○]の爲に荒廢化せられた所である。太平洋岸では、カリフォルニア・オレゴン・ワシントン三州に跨る大森林地帯があつて、我が國でメリケン松(米松)と稱してゐるダグラス樅 (Douglas Fir) 一名オレゴンバインは、無節で巨大であるから建築用材として知られ、大震災後我が國に輸入せらるゝに至つた。又、我が國で米杉と呼ぶものはレッドシダー (Red Cedar) で、加州北部よりカナダに亘つて産出する。レッドウッド (Red Wood) は單にセクオイヤとも稱せられ、オレゴン州から加州に分布し、高さ一〇〇m 徑は時に5m に達する巨樹である。

大西洋岸の森林は初期の移民によつて濫伐せられ、或は工業地方に木材需要が大である爲に費され、赤唐檜及びストロブ五葉松の森林はその一割内外を殘存するに過ぎない状態である。これ等はすべて米國では Coniferous Forest と呼んでゐるもので、更にミシシッピ下流及びフロリダ地方のカシ・栗・クルミ等の闊葉樹の森林があつて Hard Wood と稱せられ、ニューオルリヤンスはこの堅材取引の市場町である。

〔四〕 鑛 素

〔石炭〕 合衆國は世界第一の石炭産出國で、世界産出量の凡そ三五%を占めてゐる。その埋藏量は萬國地質學會の調査によれば實に全世界の五二%を占めてゐて、爾餘の諸國の總和よりも大である。石炭が現世界に於ける動力源として價值の大なることは言ふ迄もなく、合衆國産業發達の基礎も石炭に依存してゐる。その分布は主として西經一〇〇度以東であつて、交通の便がよく輸送に好都合であり、殊に東部地方に於いて良質の石炭が産出する爲に、工業の發達を促進したのである。その主要なる産出地は次の如くであつて、ラインハルトは之を六區に分つてゐる。

(1) ペンシルヴァニア無煙炭田 (Pennsylvania Anthracite Coal-fields) ペンシルヴァニアの東部にある炭田で、無煙炭産出については世界第一である。この地の硬炭 (Hard coal) は産出量が極めて大で、北アメリカ洲の九九%を占めてゐる。ニューヨーク・ペンシルヴァニア等の東部海岸に送られて、工業都市の燃料に供されてゐる。

(2) アパラチャ炭田 (Appalachian Coal-fields) アパラチャ山脈の西部に續く瀝青炭の大炭田で、その北部炭田 (Northern Appalachian) はピッツバーグ附近のペンシルヴァニア炭田となつてゐる。中部 (Middle Appalachian) はケンタッキー・西ヴァージニア地方に連るもので、南部 (Southern Appalachian) の

(1) **アパラチャ油田** (Appalachian Fields) アパラチャ炭田地方と略々一致してゐて、特に北部のペンシルヴァニア油田が古くから有名である。この地方の重要油田は何れも大溪谷の軸の西側にあり、單に背斜部のみではなく、多孔質の砂層中或は地下水の洩れた向斜部にも存在する。空氣壓入法・水壓張り込み法等の發達によつて、石油産出を持續せしめてゐる。

(2) **イリノイス・インディアナ油田** (Illinois-Indiana Fields) イリノイス炭田地方にあつて、石炭紀層中から産出してゐる。

(3) **リマインディアナ油田** (Lima-Indiana Fields) オハイオ・インディアナ兩州に連つてゐる。

(4) **ミッド・コンチネント油田** (Mid-Continent Fields) カンサス・オクラホマ諸州の地方であつて、現在

では合衆國油田の大中心をなしてゐる。この油田の油砂 (Oil sand) の地質時代はカムブリア・オルドヴィシ

世界の石油産出 (一九三二)	
アメリカ合衆國	七八四〇〇萬バレル 六〇%
ソヴィエツト聯邦	一五六〇〇 " 一二%
ヴェネズエラ	一一六〇〇 " 九%
ルーマニヤ	五二〇〇 " 四%
ペルシヤ	四五〇〇 " 三%
全世界	一三〇三〇〇 " 一〇〇%

アンより第三紀エオシオンに至るもので、多くは地層の背斜部に油を保つてゐる。地下の褶曲を認むる様な地表面の證據は全くない。

(5) **メキシコ灣岸油田** (Gulf Coast Fields)

テキサス州の石油産出は近年著るしく増加を來し、殊にその東部に於いて約三萬バレル

(一九三三) を産して合衆國油田の核心をなすに至つた。

(6) **ロッキー油田** (Rocky Fields) ワイオミング州にある油田。

(7) **カリフォルニア油田** (California Fields) その大部は鮮新期の砂層に産し、ロスアンゼルス油帯の發見によつて一時は合衆國の第一位となつたこともある。ロスアンゼルス・サンフランシスコ等が、この油田に關係をもつことは極めて大である。

各地に散在する油田の石油は、殊んど全部輸送管によつて送られてゐる。強力なるポンプによつてパイプに注入し、長距離の輸送路を連絡せしめて、五大湖岸・大西洋岸地方に送つてゐる。合衆國の各地に油田を有し、その輸送系統を完全に掌握してゐるスタンダード石油會社 (Standard Oil Co.) は、合衆國石油事業の王座を占めてゐる。

【註】 **スタンダード石油會社** 合衆國の偉大なる會社の一つで、米國製鋼會社と共に世界最大の産業機關の一である。この會社は八〇億圓以上の資本を有して、世界石油業に重要なものとなつてゐる。石油業は投機的なその性質から見て、少數の人々によつて大なる支配權を獲得するに都合がよいもので、現在は合衆國石油業の八・九割の支配權を有してゐるのである。かゝる發達を來したことは、この會社が順調な發達をなして石油の輸送パイプ線を所有することによる。が至便であることによつてゐる。従つて他の競争に對しては投資 (ダンピング Dumping) をやつて他の會社に對抗し、營業の放棄するのを待つて高價に販賣して過去の損失を補ふもので、かゝる理由から其の發達を遂げたのである。

【鐵鑛】 鐵鑛の産出は五大湖地方に多く、スペリオル湖畔の太古代の岩石中より採掘せられてゐる。世

界に於ける鐵鑛の分布は、ブラジル・米國・フランス・ニューファンドランド等の順であるが、その産出とは一致してゐない。特にスペリオル湖岸の鐵鑛は、合衆國鐵鑛の八五%を産出し、世界に於いても最も主要なるものとなつてゐる。ペンシルヴァニアの石炭地とデユルース附近の最大なる鐵鑛産地とは一〇〇〇哩の距離にあるもので、五大湖の完全なる「連絡通路」の存在によつて結合せられ、この地の鐵鑛が世界最大の價値を有するに至つたのである。

スペリオル湖岸の鑛産地としては、デユルース北方にあるメサビが最もよく知られ、この地方産出の約 $\frac{1}{3}$ を出し、南岸にはゴケビク脈・マールケット脈等があつて、スペリオル湖南西岸にはデユルース・スペリオル・アシュランド(Ashland)等の鐵鑛輸送港が並列し、ミシガン州にはマールケット(Marquette)港がある。この地方の鐵鑛は赤鐵鑛が主であつて、これ等の港から五大湖の舟運によつて東方に送られ、ゲーリー・クリーヴランド・ピッツバーグ地方の製鐵を發達せしめた。その他に重要な産地はアラバマ州のバーミンガム(Birmingham)附近で、こゝにも製鐵業が起つてゐる。

【銅及び其他】 銅の産地は北アメリカ洲に偏在し、アメリカ合衆國が矢張り世界第一である。一九三一年には五億五〇〇〇萬噸を出して世界の約四〇%を占めてゐたが、不況の影響を受けて消費が激減を來し、一九三三年には僅かに二億一〇〇〇萬噸(世界の約二〇%)を出したに過ぎない。その主なる産地はミシガン地方及びロッキーマウンテン山地で、モンタナ州のビュート(Butte)ユタ州のビンガム(Bingham)等はその中心であ

欠

MISSING

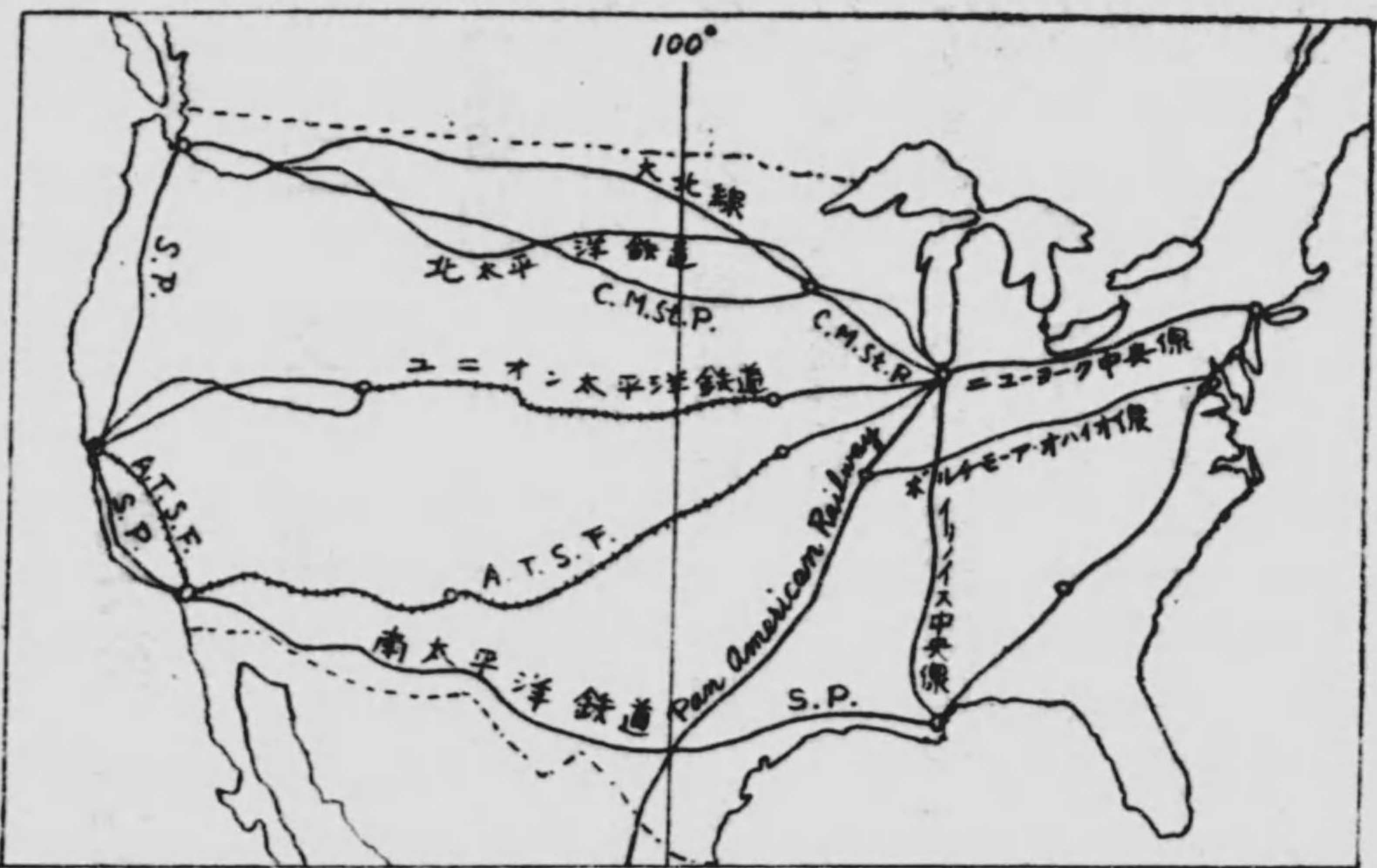
もつ教授法に着眼せねばならないと思ふのである。何故ならば世界各國の認識を高め、我が國との關係及び其の發達を促すべき國民の養成は地理科の大なる任務であると思はれるからである。

第六節 交通・貿易

(一) 交通

【鐵道網】 ヨーロッパの鐵道の如く文化地帯に敷設されたものでなく、文化促進に對して極めて重要なものであつた。過去に於いてのみでなく、現在に於いても文化の將來者 (Culture bringer) とも言ふべきものである。鐵道の總延長は四〇萬軒に達し、世界の約三分の一を有してゐる。その分布は主として一〇〇度の經線以東に密であつて、單に地形上に關係があるばかりでなく、雨量及び草地に關係を有し、經濟的發展に支配されてゐる。鐵道網についてもその北東部は特に密であつて、合衆國の工業地帯の位置を暗示して居り、ミシガン湖及びイリー湖の存在に依つて、シカゴ等の交通都市が發達した。

ニューヨーク・シカゴの二都を結ぶニューヨーク中央線 (New York Central Railway) ボルチモア・オハイオ間のボルチモア—オハイオ線 (Baltimore-Ohio Railway) 等は東部の主要横斷線で、縦貫線としてはイリノイス中央線 (Illinois Central Railway) によつてシカゴとニューヨークリヤンスを結び、汎米鐵道



第150圖 合衆國の大陸横斷線

(Pan-American Railway)の一部をなすシカゴ—セントルイス—サンアントニオを経てメキシコに至る線等がある。

【大陸横斷線】 合衆國の横斷鐵道には主要幹線が六條あつて、太平洋岸の地方と東部地方とを結んでゐる。米國人の西部地方への進出を實現して、兩洋を結ぶ横斷鐵道が完成せられ、交通・經濟・軍事上至大の價值を有するに至つた。東海岸に於いては、ボストン・ニューヨーク・ニューオーリアンヌ等の港市が起點となり、太平洋岸ではシアトル・桑港・ロスアンジェルズ等が終點となつてゐる。大陸横斷線は五〇〇〇—六〇〇〇軒の距離を有し、その横斷には四—五日を要してゐる。その主要なる横斷鐵道は次の如きものである。

- (1) 大北鐵道 (Great Northern Railway) シアトル—セントポール—シカゴ間。三六一〇軒。
- (2) 北太平洋鐵道 (Northern Pacific Railway) シアトル—シカゴ間の競争線。三七三〇軒。
- (3) シカゴ—ミルウオーキー線 (Chicago-Milwaukee Railway) シアトル—ミルウオーキー—シカゴ間。
- (4) ユニオン太平洋鐵道 (Union Pacific Railway) オグデン—オマハ間。東部ではオマハ—シカゴ間のシカゴ北西線に結び、オグデン

以西では、オグデン線或は西太平洋線によつて桑港に至る。

- (5) アチソン—トベカ—サンタフェ線 (Atchison-Topeka-Santa Fe Railway) シカゴ—ロスアンジェルズ—桑港間。
- (6) 南太平洋鐵道 (Southern Pacific Railway) ニューオーリアンヌ—ロスアンジェルズ—桑港間。三九六〇軒。

【自動車】

その普及は世界に比類なく、(世界の七〇%) 一九三四年の總數は二三八〇萬臺に達し、人口約五人に對して一臺の割合である。その中二〇〇〇萬臺は家用の自動車で、乗合自動車は僅かに六萬臺に過ぎない。鐵道の發達は舊式な運河交通及び乗合馬車を驅逐したのであつたが、自動車の普及は鐵道を驅逐せんとする傾向が見られる。従つて道路交通の重要性は、自動車交通の發達によつて増大し、土地が平原であることの利益によつて舗裝道路の發達が著るしい。

【内陸水路】

(1) 五大湖の交通 スペリオル湖・ミシガン湖・ヒューロン湖・イリー湖・オンタリオ湖の總面積は二五萬方軒あつて、我が國の本州島よりも廣大な内海である。この湖岸地方は小麥・畜産物・鐵礦・石炭等の世界無比の大富源を包藏し、工業地帯として活動の中心をなしてゐる。従つて貨物輸送の著るしいことは世界第一で、スペリオル湖とヒューロン湖を結ぶ閘門式のソーサンマリー運河は、一ケ年一萬八〇〇〇隻の通過船舶を有し、パナマ運河・スエズ運河の交通よりも大である。この大水路は食料の生産地・原料及び製品の産地の三つの異つた型の地方を貫いてゐることに價値があり、運河と水運によつて東方へ進出する通路に關し

ても理想的である。

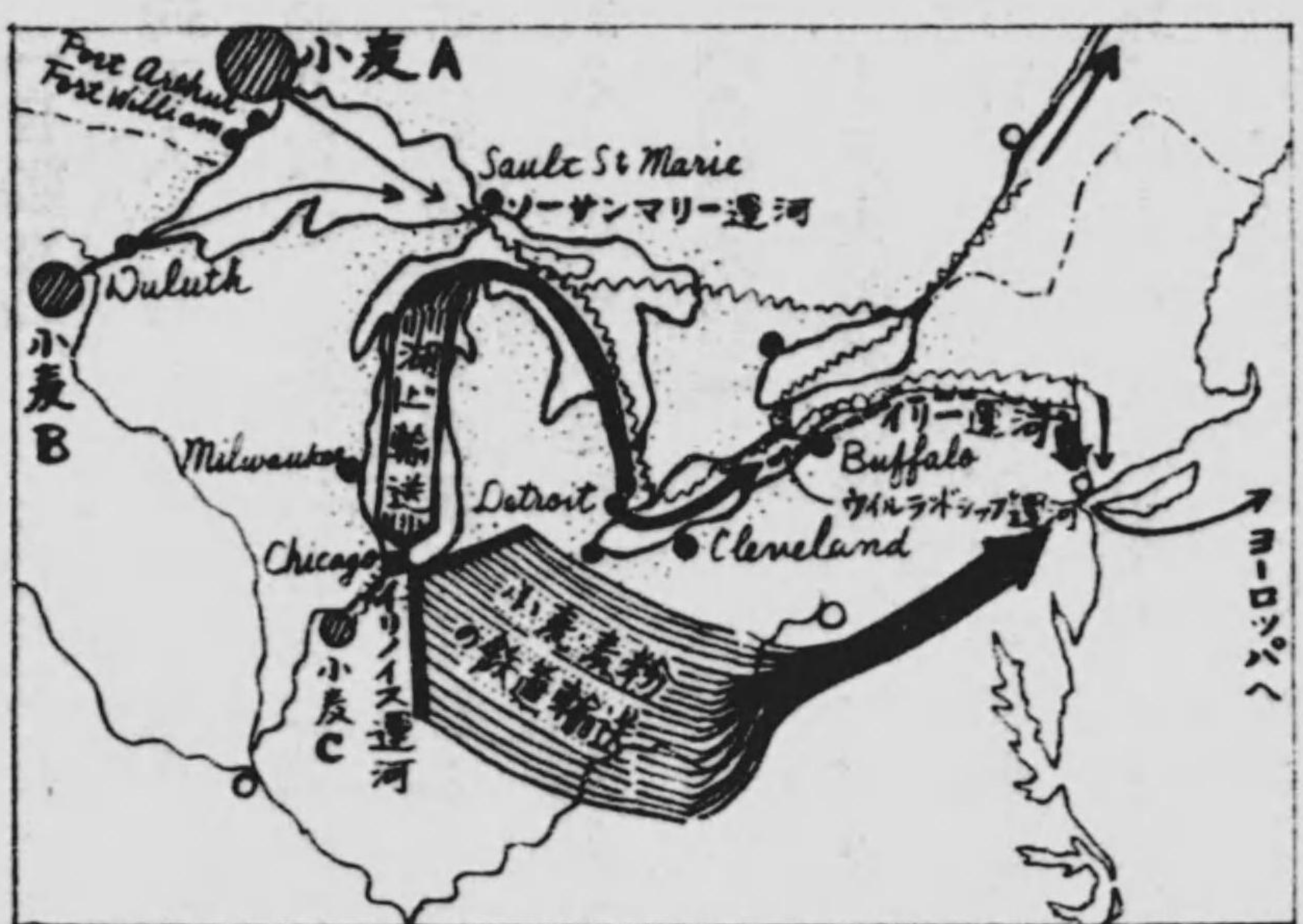
(2) 運河交通

ソーサンマリー運河(Sault St. Marie Canal)は、カナダ側と合衆國側と二條の運河があつて

て開門式の構造を有してゐる。この運河利用の大なることは、内陸水路としての五大湖の價值を物語るに充分である。之に對してウエルランドシップ運河(Welland Ship Canal)は五大湖とセントローレンス河を結び、イリー運河(Erie Canal, 550km)は五大湖とニューヨークを結ぶ二條の通路となつてゐる。イリー運河の重要性は、五大湖沿岸の大生産地帯と大西洋岸地方を結ぶことで、三千噸級の船を通ずることが出来、ニューヨークの發達に對して主要なる原因をなしてゐる。

(3) 河川交通

鐵道の開通しない以前は河川交通が最も主要なるもので、北東部諸州の諸河或はミシシッピ河等は交通路として貢獻することが大であつた。ハドソン河の如きはイリー運河に結合して重要な交通路



第151圖 五大湖地方の交通

となり、その河谷の溺れ谷が絶大の價值を示してゐるのである。ミシシッピ河はイリノイス運河(Illinois Canal)の開鑿によつて五大湖に通ずることが出来、レークス・ツー・ガルフ通路が完成されてゐる。ミシシッピ河の航行可航路は二二〇〇浬に達し、長さには合衆國可航水路の半に達してゐるが、交通上は

餘り重要ではない。地形の説明に際してその概略を述べた如く、①ミシシッピ河の流路方向が主要交通の示す方向に直交してゐる。②水量が大であり、氾濫等の理由によつて東西の交通の障碍となつてゐる。③流路は甚だしく蛇曲してゐて、航行の不便がある。④河口は浅くデルタの發達は良港を見出すことが出来ない。

【航空路】

定期航空路の發達は他國を壓倒して第一位にあり、その延長は一〇萬浬に近い。ニューヨーク・シカゴ・デトロイト・サンフランシスコ・ロスアンジェルスの鐵道交通及び水運の要地が、航空路についてもその中心となつてゐる。近年に於ける航空路の發達は實に著るしいものがあり、合衆國各地の都市には何れも『空港』があつて、その数は約三〇〇〇に及んでゐる。主として旅客の輸送を目的とするから、空港の位置は人口中心よりの距離といふ點が重きをなし、都市の郊外に接して設置されてゐる。主要航空路には次の如きものがある。

- ① ニューヨーク—シカゴ—サンフランシスコ間。
- ② サンフランシスコ—ロスアンジェルズ—カンサス市—ニューヨーク間。
- ③ シカゴ—セントルイス間。
- ④ シカゴ—カンサス市—ダラス間。
- ⑤ ソルトレーク市—サンフランシスコ間。

(三) 貿易

【貿易の特色】 合衆國の國民經濟の自然的發達の結果として、近年に於ける米國の貿易は内容上に著しい變化を來したのである。殊に世界大戰の結果として、(a)新工業が勃興して米國の輸入品であつた機械類が輸出せられ、(b)その貿易相手國は世界各地と取引が開始された。(c)大戰前の債務國は一變して債權國となり、著るしい輸出超過國となつたのである。出超が過大である爲に貿易のバランスが失はれ、殊に戦後の大景氣と共に益々この傾向が著るしくなつた。これは輸出制限によるか輸入増加によつて貿易のバランスを保つか、又は海外投資或は貸付をなさねば國家經濟は安定でない結果となつたのである。

近年に於ける世界貿易の最高年度は一九二九年で、同年の米國貿易額も最高を示し、輸出入額は九五億弗以上で世界第一であつた。然し世界不況の影響によつて近年は貿易額の減少を來し、米國の不況は英國よりも甚だしく、一九三二年には二九億弗となつて英國に次ぐ第二位となつてゐる。

合衆國貿易の特色は、①貿易額が甚だ大なることで、英國と共に世界最大の貿易國である。②常に輸出超過で、その額が過大である。一九三一年の出超は三億三〇〇〇萬弗、同三三年は二億二〇〇〇萬弗であつた。③輸入品は珈琲(約一〇%)生絲(九%)砂糖(七%)其他印刷紙・パルプ・ゴム・原油・毛皮等で、熱帶産物或は生絲の如き特殊原料品である。輸出は棉花(二一%)を主とし、石油(五%)自動車(五%)が之に次ぎ、其他煙草・機械油・石炭酸炭・電氣機械器具・小麦等で、農産物と共に工業製品の輸出がある。④貿易相手國は輸出入共にカナダ・英國・日本との間に比較的多く、其他世界各國との間に行は

れ一國に偏することがない。

【自足的國家】 國家の經濟的狀態を考察して見る時、自給自足即ちアウトアルキー(Autarkie)の状態にあることは望ましいのではあるが、現在世界の何處を見てもかゝる國家は存在してゐない。大英帝國は本國の重商主義によつて廣大な植民地と結合して自給自足をなさんとし、自由貿易を主張して世界的なそして極めて大規模な自給自足が確立した。然し多くの工業國の出現によつてこの自由貿易主義は既に保護貿易に轉向した。この大經濟國家に對して、合衆國は實に世界に於ける最も資源に富んだ自足的國家である。農業國であると同時に工業國として發達を遂げ、經濟的には理想狀態を呈してゐる。

世界大戰に際してドイツは強制的に自足をなさねばならぬ状態に置かれ、單にドイツのみでなく各國とも苦い經驗から自足せんとする傾向が強くなり、國內の産業を保護する爲に高い關稅を課して外國よりの輸入を防壓せんとするに至つた。英國はその植民地を糾合して經濟ブロックを構成せんとし、合衆國はこの大國の大なる産業によつて獨立した自足經濟の國家に導かんとしてゐる。然しながら完全なる自足國は現世界に於いては決して出現し得るものではない。

【教授】 交通上、自動車及び飛行機の價値は非常に大である。アメリカの交通を考察する上に極めて大切なものである。

貿易の如き數量上の變動が多い教材は、常に年鑑等によつて新しい數量を知ることが大切である。その數量は教授する必要がない場合にも、正しい最近のものを調査し、之によつて近年の傾向を知らねばならない。

一九三三年の日本貿易は、日本よりの輸入が一億二八〇〇萬弗あつて、生絲(九一〇〇萬弗)陶磁器・蟹・茶・絹布等を輸入し、日本への輸出が一億四三〇〇萬弗で、棉花(七八〇〇萬弗)石油(一二〇〇萬弗)其他自動車・錫・材木・銅等がある。あらゆる場合に我が國との關係を説明することが、地理教育上必要である。

第七節 住民

【人種問題】

(1)インディアン 原住民族であつて、歐人の到來前は約一〇〇萬の人口を有してゐたと推算せられてゐるが、狩獵民族の生活から見れば或は飽和状態に近かつたものと思はれてゐる。それがオーストラリヤ土人・ニュージールランド土人に於いて見られた様に、歐人との闘争・經濟的壓迫・疾病の傳染等の爲に著しい人口の減少を來すに至り、現在合衆國には約三五萬のインディアンが住してゐる。彼等の生活に對しては、歐人の土地所有、野生動物の濫獲、漁獲或は海棲哺乳動物の減少等は實に大なる壓迫であつて、其の生活は全く一變されたのである。インディアンの人口減少に對して合衆國政府は之が保護に當り、インディアン保護地(Indian Reservation)を設けてゐる。

(2)黒人問題 黒人は主として合衆國の南部地方に多く、開發の爲に奴隸として輸入されたもので、現在は約一二〇〇萬の人口を有してゐる。全人口に對して約一割に相當する多數の人口を有し、合衆國人種問題の

最も大なる問題である。合衆國人は黒人についての論議は餘りなされないといふけれども、事實上常に人種争闘が繰り返されてゐるもので、黒人は差別的に待遇せられ、白人と同等の權利を認めるといふ合衆國の憲法は實行されてゐない。選舉權・電車・劇場等あらゆる方面にその差別が認められ、殊に黒人を私刑によつて残酷極まる制裁を加へてゐる。世界大戰當時ヨーロッパ移民の入國が杜絶した爲、南方の黒人は北東部の工業地帯に迄進出し、その分布を北方に擴大した。北方の黒人は種々の組合を組織し、或は黒人學校を設立して教育に留意するに至り、白人が常に黒人を迫害する限りは合衆國の人種問題上の癌である。

(3)支那人問題 他の人種問題として東洋人があり、支那人の加州への移動は金鑛發見當時以後であつた。然し金産出が減少を來して支那人は多く工場の労働者となるに及んで、一八六六年頃より漸く排斥せらるるに至り、遂に一八八二年移民制限が行はれたのである。

(4)日本人問題 支那人の移住が休止したので之に代つて日本人が多く移住するに至り、日本人の安價な労働者は加州に於いて非常に歓迎を受けて果樹園或は野菜園に活動した。日本移民が漸く盛んとなるに及んで、白人労働者間に排日運動が起り、一九〇一年カリフォルニア州議會は排日建議案を通過した。一九〇六年桑港で日本人學童を學校より隔離せんとする學校問題が起り、日本政府は日本移民の轉航をなさざる事を承認して學童問題は落着を見た。一九〇七年日本は自發的に移民を制限する紳士協約(Gentlemen's Agreement)を結んだことは對米外交上大なる失敗となつた。一九一三年は排日土地法が加州議會で決議され、日

本人は土地の所有を禁止された。その上に借地権・收穫契約等も剝奪されて、日本人は單に勞働者として活動する以外に方法が皆無となつた。一九二四年我が國の震災直後、埴原大使よりの抗議文を一蹴して所謂「重大なる結果」(Grave Consequence)の言葉を問題となし、Coolidge氏は同法律案を認定して合衆國への移民は全く禁止されたのである。日米の問題は排日を中心として進展し、兩國間の疎隔を來したもので、決して短期間に醸成されたものではない。

【ヤンキー國民】(Yankeeation) 一八二一—一九二〇年の一〇〇年間の入移民は實に三五〇〇萬であつて、世界最大の入移民國である。合衆國の人口は一億二〇〇〇萬あつてその密度は一方籽僅か十五人であるから、多數の移民を容れる餘地があるが、亞細亞の移民を禁止してアジャの『排斥區域』なるものを設定した。之は將來に於いて人種の上の問題を無くする爲に行はたものであらうが、米國には實に雜多の住民があつて嚴密には米國民族と稱することが出來ない。住民中アングロサクソン人・ドイツ人が主で、その他アイルランド人・イタリー人・ポーランド人・ロシア人・フランス人・オランダ人・オース

人種別	人口(一九三〇)	種別	總數(萬人)	割合
白人	一〇八八〇	白人	八八・六%	
黑人	一一九〇	黑人	九・六%	
メキシコ人	一四〇	メキシコ人	一・一%	
インデアン	三三	インデアン	〇・三%	
日本人	一四	日本人	〇・一%	
支那人	七	支那人		
合計	一二二八〇	合計	一〇〇・〇%	

トラリヤ人・ハンガリー人等の白人のみでなく、黑人・インデアン・日本人・支那人等極めて雜多なる住民から成つてゐる。それが未だ言語上の統一も完成せず、勿論人種上の統一も出來ないで、合衆國人はその領土の大きい鎔解鍋の中でヤンキー國民が形成されたのである。

ヤンキー國民は自由平等の觀念が強く、階級・爵位等は全くないけれども、人種的の偏見が強い。新陸地の環境の影響を受けて古來の自國に於ける傳統・習慣を逸脱し、産業其の他の驚異的發展によつて——世界第一主義の影響を強く受けてゐる。かゝる國民の統一には政治上の標語が必要で、モンロー主義・汎米主義等はヤンキー國民を鼓舞し統一する上に大なる効果があつたのである。

【註】インデアン：鬪争を好む民族で、ヨーロッパ人の移住以來その數が著るしく減少を來した。米國政府はアバレーチャ地方及び西部のロッキーマウンテン等にインデアン保護地を設けてゐる。彼等は大部分狩獵をなしてゐたが、耕作・機械等も知つてゐた。西南部には有名なプエブロ(Pueblo)が居て、メサ(mesa)の卓狀地形を利用して城塞を構へて之によつてゐた。

【教授】地誌の教授に際しては、その最後は必ず總括的教材によつて終るのがよい。その意味から最後に住民の一節を置いて「ヤンキー國民」の特性を記述した。板書に就いても教科書に示した條項に必ずやらねばならないものではなく、最も適切な内容をもつたものがよろしい。住民の教材について教授する場合には、教科書の内容を板書することも決して不可ではないが、教育の生命はそれでは達成し得ない。従つて板書の要項の如きも、教授者獨自のものでなければならぬ。